

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B2)

(11) 特許番号
特許第6717552号
(P6717552)

(45) 発行日 令和2年7月1日 (2020. 7. 1)

(24) 登録日 令和2年6月15日 (2020. 6. 15)

(51) Int. Cl.

A 6 3 F 7/02 (2006. 01)

F 1

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

請求項の数 2 (全 172 頁)

(21) 出願番号	特願2018-131440 (P2018-131440)	(73) 特許権者	000148922
(22) 出願日	平成30年7月11日 (2018. 7. 11)		株式会社大一商会
(62) 分割の表示	特願2014-13014 (P2014-13014)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川 1 番地
	の分割	(72) 発明者	市原 高明
原出願日	平成26年1月28日 (2014. 1. 28)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川 1 番地 株式
(65) 公開番号	特開2018-158167 (P2018-158167A)		会社大一商会内
(43) 公開日	平成30年10月11日 (2018. 10. 11)	(72) 発明者	附柴 亜弥
審査請求日	平成30年7月13日 (2018. 7. 13)		愛知県北名古屋市沖村西ノ川 1 番地 株式
前置審査			会社大一商会内
		審査官	井上 昌宏
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外枠と、前記外枠に対して開閉可能な本体枠とを備え、遊技球を用いて遊技が行われる遊技機であって、

前記外枠は、

下部に設けられて前記本体枠が外枠に対して閉じた状態で前記本体枠が載置される幕板を含む下部部材と、

前記外枠の左方側に設けられ、前記本体枠を開閉可能に支持するヒンジ部材と、を少なくとも有し、

前記ヒンジ部材が設けられた側において前記外枠の前端より後方に退避した位置で横長に立設される立壁部と、

前記立壁部の手前で前記本体枠が開閉する際の回転軸より右方側に形成され、前記幕板の後面側へ遊技球を排出するための遊技球排出領域と、

を備え、

前記遊技球排出領域は、ヒンジ部材が設けられた側において前記外枠の前端より後方に退避した位置で前記立壁部の横方向幅より小さな幅で形成されており、

前記立壁部は、前記本体枠が前記外枠に対して開いた状態で、前記ヒンジ部材上を後方に向けて転動する遊技球を受け止め可能な1つの立壁部で構成され、

前記立壁部は、前記本体枠が閉じたときの前記本体枠下端後面より少なくとも遊技球1個分隔てた後方で上方へ立ち上がる形態を呈して固定的に設けられ、

10

20

前記本体枠が閉じられているとき、前記立壁部の前壁面が前記ヒンジ部材前方から挿入される異物の直進を妨げる機能を有している

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記立壁部は、横方向の途中で前後方向に折れ曲がる屈曲部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ぱちんこ遊技機（一般的に「パチンコ機」とも称する）や回胴式遊技機（一般的に「パチスロ機」とも称する）等の遊技機に関するものである。 10

【背景技術】

【0002】

パチンコ機等の遊技機は、遊技者の操作によって遊技球等の遊技媒体が打込まれる遊技領域を区画している遊技パネルと、遊技パネルに取付けられており遊技領域内に打込まれた遊技媒体の受入れに応じて所定数の遊技媒体が払出される複数の受入口（一般入賞口、可変入賞口、始動口、可変始動口、大入賞口、役物入賞口、等）と、を備えている。

【0003】

この種の遊技機として、遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて、正面視遊技領域内で可動する装飾体を備えたものが知られている（特許文献 1 及び特許文献 2）。これにより、遊技状態に応じて装飾体が可動することで、装飾体の動きによって遊技者を楽しませたり、チャンスの到来を示唆したりして、遊技者の興味を高められるようにしている。 20

【0006】

しかしながら、特許文献 1 の技術では、遊技媒体がこぼれてしまうと、外枠と本体枠との間に遊技球が挟まれてしまう虞があった。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0007】

【特許文献 1】特開 2011-245215 号公報

30

【特許文献 2】特開 2012-143268 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0008】

そこで、本発明は上記の実情に鑑み、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、外枠と本体枠との間に遊技球が挟まれることを低減させることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0009】

手段 1：遊技機において、

「外枠と、前記外枠に対して開閉可能な本体枠とを備え、遊技球を用いて遊技が行われる遊技機であって、 40

前記外枠は、

下部に設けられて前記本体枠が外枠に対して閉じた状態で前記本体枠が載置される幕板を含む下部部材と、

前記外枠の左方側に設けられ、前記本体枠を開閉可能に支持するヒンジ部材と、

を少なくとも有し、

前記ヒンジ部材が設けられた側において前記外枠の前端より後方に退避した位置で横長に立設される立壁部と、

前記立壁部の手前で前記本体枠が開閉する際の回転軸より右方側に形成され、前記幕板の後面側へ遊技球を排出するための遊技球排出領域と、 50

を備え、

前記遊技球排出領域は、ヒンジ部材が設けられた側において前記外枠の前端より後方に退避した位置で前記立壁部の横方向幅より小さな幅で形成されており、

前記立壁部は、前記本体枠が前記外枠に対して開いた状態で、前記ヒンジ部材上を後方に向けて転動する遊技球を受け止め可能な1つの立壁部で構成され、

前記立壁部は、前記本体枠が閉じたときの前記本体枠下端後面より少なくとも遊技球1個分隔てた後方で上方へ立ち上がる形態を呈して固定的に設けられ、

前記本体枠が閉じられているとき、前記立壁部の前壁面が前記ヒンジ部材前方から挿入される異物の直進を妨げる機能を有している」ものであることを特徴とする。

【発明の効果】

10

【0072】

このように、本発明によれば、外枠と本体枠との間に遊技球が挟まれることを低減させることができる。

【図面の簡単な説明】

【0073】

【図1】本発明の一実施形態であるパチンコ機の正面図である。

【図2】パチンコ機の右側面図である。

【図3】パチンコ機の平面図である。

【図4】パチンコ機の背面図である。

【図5】パチンコ機を前から見た斜視図である。

20

【図6】パチンコ機を後ろから見た斜視図である。

【図7】本体枠から扉枠を開放させると共に、外枠から本体枠を開放させた状態で前から見たパチンコ機の斜視図である。

【図8】パチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して前から見た分解斜視図である。

【図9】パチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図10】パチンコ機における外枠の正面図である。

【図11】外枠の右側面図である。

【図12】外枠を前から見た斜視図である。

30

【図13】外枠を後ろから見た斜視図である。

【図14】外枠を分解して前から見た分解斜視図である。

【図15】(a)は外枠における外枠側上ヒンジ部材の部位を左枠部材を省略して下側から見た斜視図であり、(b)は(a)を分解して示す分解斜視図である。

【図16】(a)は外枠の外枠側上ヒンジ部材に対して本体枠の本体枠側上ヒンジ部材が取外されている状態を拡大して示す斜視図であり、(b)は外側上ヒンジ部材に本体側上ヒンジ部材が取付けられている状態を拡大して示す斜視図である。

【図17】外枠におけるロック部材の作用を示す説明図である。

【図18】(a)は図1におけるA-A断面図であり、(b)は(a)において外枠に対して扉枠と共に本体枠を開いた状態を示す断面図である。

40

【図19】(a)は外枠側下ヒンジ部材の部位に誘導羽根を備えて外枠に対して本体枠を開いた状態で示す説明図であり、(b)は(a)の実施形態において外枠に対して本体枠を閉じた状態で示す説明図であり、(c)は(a)及び(b)とは異なる実施形態の誘導羽根を備えて外枠に対して本体枠を開いた状態で示す説明図であり、(d)は(c)の実施形態において外枠に対して本体枠を閉じた状態で示す説明図である。

【図20】パチンコ機における扉枠の正面図である。

【図21】扉枠の背面図である。

【図22】扉枠を右前から見た斜視図である。

【図23】扉枠を左前から見た斜視図である。

【図24】扉枠を後ろから見た斜視図である。

50

- 【図 2 5】扉枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 2 6】扉枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 2 7】扉枠の皿ユニットを前から見た斜視図である。
- 【図 2 8】皿ユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 2 9】皿ユニットを主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 3 0】皿ユニットを主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 3 1】(a) は皿ユニットの演出操作ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は演出操作ユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 3 2】演出操作ユニットを主な部材毎に分解して上から見た斜視図である。
- 【図 3 3】演出操作ユニットを主な部材毎に分解して下から見た分解斜視図である。 10
- 【図 3 4】演出操作ユニットの取付ベースユニットを分解して上から見た分解斜視図である。
- 【図 3 5】取付ベースユニットを分解して下から見た分解斜視図である。
- 【図 3 6】演出操作ユニットのタッチユニットを分解して上から見た分解斜視図である。
- 【図 3 7】タッチユニットを分解して下から見た分解斜視図である。
- 【図 3 8】演出操作ユニットのボタンユニットを分解して上から見た分解斜視図である。
- 【図 3 9】ボタンユニットを分解して下から見た分解斜視図である。
- 【図 4 0】皿ユニットの平面図である。
- 【図 4 1】図 4 0 における B - B 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。 20
- 【図 4 2】図 4 0 における C - C 断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。
- 【図 4 3】(a) は皿ユニットの扉右下演出ユニットの正面図であり、(b) は扉右下演出ユニットの右側面図である。
- 【図 4 4】(a) は扉右下演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は扉右下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 4 5】図 4 3 (b) の扉右下演出ユニットにおける D - D 断面図である。
- 【図 4 6】扉右下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 4 7】扉右下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 4 8】扉右下演出ユニットの回転体内部ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。 30
- 【図 4 9】回転体内部ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 5 0】(a) は扉右下演出ユニットの扉右下回転体が前を向いた状態の正面図であり、(b) は扉右下回転体が後ろを向いた状態の正面図である。
- 【図 5 1】(a) は皿ユニットの上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で前から見た斜視図であり、(b) は上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で後ろから見た斜視図である。
- 【図 5 2】上皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 5 3】上皿球抜きユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 5 4】(a) は皿ユニットの下皿球抜きユニットを前から見た斜視図であり、(b) は下皿球抜きユニットを後ろから見た斜視図である。 40
- 【図 5 5】(a) は扉枠のファールカバーユニットを前から見た斜視図であり、(b) はファールカバーユニットを後ろから見た斜視図である。
- 【図 5 6】(a) はファールカバーユニットを蓋部材を外して前から見た分解斜視図であり、(b) はファールカバーユニットを蓋部材を外して後ろから見た分解斜視図である。
- 【図 5 7】蓋部材を外した状態のファールカバーユニットの正面図である。
- 【図 5 8】本体枠を前から見た斜視図である。
- 【図 5 9】本体枠を後ろから見た斜視図である。
- 【図 6 0】本体枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図である。
- 【図 6 1】本体枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。 50

【図62】払出ユニットを前から見た斜視図である。

【図63】払出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図64】払出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図65】払出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図66】(a)は払出ユニットの球誘導ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は球誘導ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図67】球誘導ユニットの分解斜視図である。

【図68】(a)は払出ユニットの払出装置を前から見た斜視図であり、(b)は払出装置を後ろから見た斜視図である。

【図69】払出装置を分解して前から見た分解斜視図である。

10

【図70】払出装置を分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図71】(a)は払出装置の正面図であり、(b)は(a)におけるE-E線で切断した断面図である。

【図72】(a)は払出装置において球抜き可動片により球抜き通路を閉鎖した状態を示す説明図であり、(b)は球抜き可動片により球抜き通路を開放した状態を示す説明図である。

【図73】払出装置における払出羽根の部位を拡大して示す説明図である。

【図74】(a)は払出ユニットにおける上部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は上部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図75】(a)は上部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、(b)は上部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

20

【図76】(a)は払出ユニットにおける下部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は下部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図77】下部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図78】下部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図79】(a)は下部満タン球経路ユニットにおいて誘導路開閉扉が閉じている状態を示す説明図であり、(b)は誘導路開閉扉が開いている状態を示す説明図である。

【図80】扉枠のファールカバーユニットと下部満タン球経路ユニットとの関係を示す説明図である。

【図81】図76乃至図80とは異なる形態の誘導路開閉扉を示す説明図である。

30

【図82】払出ユニットにおける遊技球の流れを示す説明図である。

【図83】遊技盤の正面図である。

【図84】遊技盤を右前から見た斜視図である。

【図85】遊技盤を左前から見た斜視図である。

【図86】遊技盤を後ろから見た斜視図である。

【図87】遊技盤を主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図88】遊技盤を主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図89】遊技盤における前構成部材と遊技パネルのみを示す前から見た斜視図である。

【図90】遊技盤における前構成部材と遊技パネルのみを示す後ろから見た斜視図である。

40

【図91】遊技盤の表ユニットを前から見た斜視図である。

【図92】遊技盤の表ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図93】(a)は表ユニットの始動口ユニットを前上から見た斜視図であり、(b)は始動口ユニットを後ろ下から見た斜視図である。

【図94】(a)は表ユニットのサイドユニットを前から見た斜視図であり、(b)はサイドユニットを後ろから見た斜視図である。

【図95】(a)は表ユニットのアタッカユニットを前上から見た斜視図であり、(b)はアタッカユニットを後ろ上から見た斜視図であり、(c)はアタッカユニットを後ろ下から見た斜視図である。

【図96】表ユニットのセンター役物を前から見た斜視図である。

50

【図 9 7】表ユニットのセンター役物を後ろから見た斜視図である。

【図 9 8】裏ユニットを前から見た斜視図である。

【図 9 9】裏ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 1 0 0】裏ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図である。

【図 1 0 1】裏ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 1 0 2】(a) は裏ユニットにおける裏上可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏上可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 1 0 3】裏上可動演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図 1 0 4】裏上可動演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 1 0 5】裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

10

【図 1 0 6】裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図 1 0 7】裏上可動装飾体ユニットにおける裏上副装飾体の動きを示す説明図である。

【図 1 0 8】裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットが退避位置の時の内部機構の状態を示す正面図である。

【図 1 0 9】裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットが第一出現位置の時の内部機構の状態を示す正面図である。

【図 1 1 0】裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットが第二出現位置の時の内部機構の状態を示す正面図である。

20

【図 1 1 1】(a) は裏上可動演出ユニットの内部機構の一部を示す正面図であり、(b) は内部機構における (a) とは異なる一部を前から見た斜視図であり、(c) は (b) を後ろから見た斜視図である。

【図 1 1 2】裏上可動演出ユニットの内部機構の一部の動きを示す説明図である。

【図 1 1 3】(a) は退避位置における内部機構を構成している主な部材の状態を示す説明図であり、(b) は (a) の状態から第一伝達部材が回転して第一被伝達部材への回転の伝達が始まった状態を示す説明図である。

【図 1 1 4】(c) は図 1 1 3 (b) の状態から第一伝達部材と共に第一被伝達部材が更に回転して裏上装飾体ユニットが退避位置から第一出現位置へ向かって下降している状態を示す説明図であり、(d) は (c) の状態から第一伝達部材と共に第一被伝達部材が更に回転して第一被伝達部材への回転の伝達が終了し裏上装飾体ユニットが第一出現位置に到達した状態を示す説明図である。

30

【図 1 1 5】(e) は図 1 1 4 (d) の状態から第一伝達部材と一緒に回転していた伝達機構の第二伝達部材が更に回転して第二被伝達部材への回転の伝達が始まった状態を示す説明図であり、(f) は (e) の状態から第二伝達部材と共に第二被伝達部材が回転して裏上装飾体ユニットが第一出現位置から第二出現位置へ向かって下降しながら回転している状態を示す説明図である。

【図 1 1 6】(g) は図 1 1 5 の (f) の状態から第二伝達部材と共に第二被伝達部材が回転して裏上装飾体ユニットが第二出現位置へ向かって更に下降しながら回転している状態を示す説明図であり、(h) は (g) の状態から第二伝達部材と共に第二被伝達部材が更に回転して第二被伝達部材への回転の伝達が終了し裏上装飾体ユニットが第一出現位置の状態から下降しながら半回転して第二出現位置に到達した状態を示す説明図である。

40

【図 1 1 7】(a) は裏ユニットの裏下前可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏ユニットの裏下前可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図 1 1 8】(a) は裏下前可動演出ユニットの裏下前第一装飾体と裏下前第二装飾体とを通常の退避位置の状態から正面から示す説明図であり、(b) は裏下前可動演出ユニットの裏下前第一装飾体と裏下前第二装飾体とを出現位置の状態から正面から示す説明図である。

。

【図 1 1 9】(a) は裏ユニットの裏右可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏ユニットの裏右可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

50

【図120】(a)は裏右回転装飾体の第一装飾面を正面へ向けた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図であり、(b)は(a)において裏右回転装飾体のシャッターを開いた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図であり、(c)は裏右回転装飾体の第二装飾面を正面へ向けた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図であり、(d)は裏右回転装飾体の第三装飾面を正面へ向けた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図である。

【図121】(a)は裏ユニットの裏左可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏ユニットの裏左可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図122】(a)は裏左回転装飾体の第一装飾面を正面へ向けた状態で示す裏左可動演出ユニットの正面図であり、(b)は裏左回転装飾体の第二装飾面を正面に向けた状態で示す裏左可動演出ユニットの正面図であり、(c)は裏左回転装飾体の第三装飾面を正面に向けた状態で示す裏左可動演出ユニットの正面図であり、(d)は(a)の状態です裏左回転装飾体の裏左突出装飾体を出現位置とした状態を示す裏左可動演出ユニットの正面図である。

【図123】図122(a)におけるF-F線で切断した断面図である。

【図124】(a)は裏ユニットの裏下後可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏ユニットの裏下後可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図125】裏下後可動演出ユニットの昇降ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図126】裏下後可動演出ユニットの昇降ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図127】裏下後回転装飾ユニットが下降端位置の時の昇降ユニットの状態を正面から示す説明図である。

【図128】裏下後回転装飾ユニットが上昇端位置の時の昇降ユニットの状態を正面から示す説明図である。

【図129】(a)は裏下後可動演出ユニットの正面図であり、(b)は裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体ユニットを前から見た斜視図であり、(c)は裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図130】裏下後回転装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図131】裏下後回転装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図132】図129(a)におけるG-G線で切断した断面図である。

【図133】(a)は裏下後回転装飾ユニットの裏下後回転装飾体が回転停止している状態を示す正面図であり、(b)は裏下後回転装飾体が正面視反時計回りの方向へ回転している状態を示す正面図であり、(c)は裏下後回転装飾体が開いて正面視時計回りの方向へ回転する直前の状態を示す正面図であり、(d)は裏下後回転装飾体が正面視時計回りの方向へ回転している状態を示す正面図である。

【図134】(a)は裏下後回転装飾体ユニットにおいて裏下後回転駆動モータに係る駆動機構の構成を示す説明図であり、(b)は裏下後回転装飾体ユニットにおいて回転ダンパに係る差動機構の構成を示す説明図であり、(c)は裏下後回転装飾体ユニットにおいて裏下後回転駆動モータに係る駆動機構と回転ダンパに係る差動機構とを連結している連結機構の構成を示す説明図である。

【図135】(a)は裏下後回転装飾体が閉じて回転停止している時の連結機構の状態を示す説明図であり、(b)は裏下後回転装飾体が反時計回りの方向へ回転している時の連結機構の状態を示す説明図である。

【図136】(a)は裏下後回転装飾体が閉じて回転停止している時の連結機構の状態を示す説明図であり、(b)は駆動機構の連結リングが時計回りの方向へ回転して裏下後回転装飾体が開きつつある時の連結機構の状態を示す説明図であり、(c)は駆動機構の連結リングが更に時計回りの方向へ回転して裏下後回転装飾体が完全に開いた時の連結機構の状態を示す説明図であり、(d)は開いた状態の裏下後回転装飾体が駆動機構の連結機構と共に時計回りの方向へ回転している時の連結機構の状態を示す説明図である。

【図137】裏ユニットの裏四隅可動演出ユニットを前から見た斜視図である。

10

20

30

40

50

【図138】裏ユニットの裏四隅可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。

【図139】裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第一ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図140】裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第一ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図141】裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第二ユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【図142】裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第二ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

【図143】(a)は通常の退避位置の状態での裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第一ユニットの正面図であり、(b)は裏四隅第一装飾体が出現位置の状態での裏四隅第一ユニットの正面図であり、(c)は裏四隅第二装飾体が出現位置の状態での裏四隅第一ユニットの正面図である。

10

【図144】(a)は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第一装飾体が退避位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、(b)は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第一装飾体が退避位置から出現位置へ向かう途中の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、(c)は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第一装飾体が出現位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図である。

【図145】(a)は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第二装飾体が退避位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、(b)は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第二装飾体が退避位置から出現位置へ向かう途中の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、(c)は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第二装飾体が出現位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図である。

20

【図146】センター役物における表上可動演出ユニットの表上可動装飾体の動きを示す遊技盤の正面図である。

【図147】裏ユニットにおける裏上可動演出ユニットの裏上装飾体が第一出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

【図148】裏ユニットにおける裏上可動演出ユニットの裏上装飾体が第二出現位置で、且つ、裏下前可動演出ユニットの裏下前第一装飾体と裏下前第二装飾体とが出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

30

【図149】裏ユニットにおける裏右可動演出ユニットの裏右回転装飾体の第一装飾面を前方へ向けた状態で一对のシャッターが開いていると共に、裏左可動演出ユニットの裏左回転装飾体の第一装飾面を前方へ向けた状態で裏左突出装飾体が出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

【図150】裏ユニットにおける裏右可動演出ユニットの裏右回転装飾体と裏左可動演出ユニットの裏左回転装飾体とを夫々の第二装飾面を前方へ向けた状態で示す遊技盤の正面図である。

【図151】裏ユニットにおける裏右可動演出ユニットの裏右回転装飾体と裏左可動演出ユニットの裏左回転装飾体とを夫々の第三装飾面を前方へ向けた状態で示す遊技盤の正面図である。

40

【図152】裏ユニットにおける裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体を上昇端位置で正面視反時計回りの方向へ回転させている状態を示す遊技盤の正面図である。

【図153】裏ユニットにおける裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体を上昇端位置で正面視時計回りの方向へ回転させていると共に、裏四隅可動演出ユニットの裏四隅第二装飾体が出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

【図154】裏ユニットにおける裏四隅可動演出ユニットの裏四隅第一装飾体を出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

【図155】前構成部材及び表ユニットを遊技領域内における前後方向の略中央で切断した遊技盤の正面図である。

【図156】(a)は図155において遊技領域内の右部を拡大して示す正面図であり、

50

(b) は (a) における H-H 線で切断して要部のみを示す断面図である。

【図 157】 図 155 において上大入賞口付近を拡大して示す説明図である。

【発明を実施するための形態】

【0074】

[1. パチンコ機の全体構造]

本発明の一実施形態であるパチンコ機 1 について、図面を参照して詳細に説明する。まず、図 1 乃至図 9 を参照して本実施形態のパチンコ機 1 の全体構成について説明する。図 1 は本発明の一実施形態であるパチンコ機の正面図である。図 2 はパチンコ機の右側面図であり、図 3 はパチンコ機の平面図であり、図 4 はパチンコ機の背面図である。図 5 はパチンコ機を前から見た斜視図であり、図 6 はパチンコ機を後ろから見た斜視図である。図 7 は本体枠から扉枠を開放させると共に、外枠から本体枠を開放させた状態で前から見たパチンコ機の斜視図である。図 8 はパチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して前から見た分解斜視図であり、図 9 はパチンコ機を扉枠、遊技盤、本体枠、及び外枠に分解して後ろから見た分解斜視図である。

10

【0075】

本実施形態のパチンコ機 1 は、遊技ホールの島設備（図示しない）に設置される枠状の外枠 2 と、外枠 2 の前面を開閉可能に閉鎖する扉枠 3 と、扉枠 3 を開閉可能に支持していると共に外枠 2 に開閉可能に取付けられている本体枠 4 と、本体枠 4 に前側から着脱可能に取付けられると共に扉枠 3 を通して遊技者側から視認可能とされ遊技者によって遊技球が打込まれる遊技領域 5 a を有した遊技盤 5 と、を備えている。

20

【0076】

パチンコ機 1 の外枠 2 は、図 8 及び図 9 等に示すように、上下に離間しており左右に延びている上枠部材 10 及び下枠部材 20 と、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の両端同士を連結しており上下に延びている左枠部材 30 及び右枠部材 40 と、を備えている。上枠部材 10、下枠部材 20、左枠部材 30、及び右枠部材 40 は、前後の幅が同じ幅に形成されている。また、上枠部材 10 及び下枠部材 20 の左右の長さに対して、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の上下の長さが、長く形成されている。

【0077】

また、外枠 2 は、左枠部材 30 及び右枠部材 40 の下端同士を連結し下枠部材 20 の前側に取付けられる幕板部材 50 と、上枠部材 10 の正面視左端側に取付けられている外枠側上ヒンジ部材 60 と、幕板部材 50 の正面視左端側上部と左枠部材 30 とに取付けられている外枠側下ヒンジ部材 70 と、を備えている。外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 と外枠側下ヒンジ部材 70 とによって、本体枠 4 及び扉枠 3 が開閉可能に取付けられている。

30

【0078】

パチンコ機 1 の扉枠 3 は、正面視の外形が四角形で前後に貫通している貫通口 111 を有した枠状の扉枠ベースユニット 100 と、扉枠ベースユニット 100 の前面下部に取付けられ遊技球を貯留可能な上皿 201 及び下皿 202 を有した皿ユニット 200 と、扉枠ベースユニット 100 の前面上部に取付けられるトップユニット 350 と、扉枠ベースユニット 100 の前面左部に取付けられる左サイドユニット 400 と、扉枠ベースユニット 100 の前面右部に取付けられる右サイドユニット 450 と、扉枠ベースユニット 100 の前面右下部に皿ユニット 200 を貫通して取付けられ上皿 201 に貯留された遊技球を遊技盤 5 の遊技領域内へ打込むために遊技者が操作可能なハンドルユニット 500 と、扉枠ベースユニット 100 の後面下部に取付けられ遊技領域内へ打ち損じた遊技球を受けて皿ユニット 200 の下皿 202 へ排出するファールカバーユニット 520 と、扉枠ベースユニット 100 の後面下部に取付けられ上皿 201 の遊技球を球発射装置 680 へ送るための球送りユニット 540 と、扉枠ベースユニット 100 の後面に取付けられ貫通口 111 を閉鎖するガラスユニット 560 と、ガラスユニット 560 の後面下部を覆う防犯カバー 580 と、を備えている。

40

【0079】

50

パチンコ機 1 の本体枠 4 は、一部が外枠 2 の枠内に挿入可能とされると共に遊技盤 5 の外周を支持可能とされた枠状の本体枠ベース 600 と、本体枠ベース 600 の正面視左側の上下両端に取付けられ外枠 2 の外枠側上ヒンジ部材 60 及び外枠側下ヒンジ部材 70 に夫々回転可能に取付けられると共に扉枠 3 の扉枠側上ヒンジ部材 140 及び扉枠側下ヒンジ部材 150 が夫々回転可能に取付けられる本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒンジ部材 640 と、本体枠ベース 600 の正面視左側面に取付けられる補強フレーム 660 と、本体枠ベース 600 の前面下部に取付けられており遊技盤 5 の遊技領域 5a 内に遊技球を打込むための球発射装置 680 と、本体枠ベースの正面視右側面に取付けられており外枠 2 と本体枠 4、及び扉枠 3 と本体枠 4 の間を施錠する施錠ユニット 700 と、本体枠ベース 600 の正面視上辺及び左辺に沿って後側に取付けられており遊技者側へ遊技球を払出す逆 L 字状の払出ユニット 800 と、本体枠ベース 600 の後面下部に取付けられている基板ユニット 900 と、本体枠ベース 600 の後側に開閉可能に取付けられ本体枠ベース 600 に取付けられた遊技盤 5 の後側を覆う裏カバー 980 と、を備えている。

10

【0080】

本体枠 4 の払出ユニット 800 は、本体枠ベース 600 の後側に取付けられる逆 L 字状の払出ユニットベース 801 と、払出ユニットベース 801 の上部に取付けられており上方へ開放された左右に延びた箱状で図示しない島設備から供給される遊技球を貯留する球タンク 802 と、球タンク 802 の下側で払出ユニットベース 801 に取付けられており球タンク 802 内の遊技球を正面視左方向へ誘導する左右に延びたタンクレール 803 と、払出ユニットベース 801 における正面視左側上部の後面に取付けられタンクレール 803 からの遊技球を蛇行状に下方へ誘導する球誘導ユニット 820 と、球誘導ユニット 820 の下側で払出ユニットベース 801 から着脱可能に取付けられており球誘導ユニット 820 により誘導された遊技球を払出制御基板ボックス 950 に収容された払出制御基板からの指示に基づいて一つずつ払出す払出装束 830 と、払出ユニットベース 801 の後面に取付けられ払出装束 830 によって払出された遊技球を下方へ誘導すると共に皿ユニット 200 における上皿 201 での遊技球の貯留状態に応じて遊技球を通常放出口又は満タン放出口の何れかから放出させる上部満タン球経路ユニット 850 と、払出ユニットベース 801 の下端に取付けられ上部満タン球経路ユニット 850 の通常放出口から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠 3 の貫通球通路 526 へ誘導する通常誘導路及び満タン放出口から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠 3 の満タン球受口 530 へ誘導する満タン誘導路を有した下部満タン球経路ユニット 860 と、を備えている。

20

30

【0081】

本体枠 4 の基板ユニット 900 は、本体枠ベース 600 の後側に取付けられる基板ユニットベース 910 と、基板ユニットベース 910 の正面視左側で本体枠ベース 600 の後側に取付けられ内部に低音スピーカを有したスピーカユニット 920 と、基板ユニットベース 910 の後側で正面視右側に取付けられ内部に電源基板が収容されている電源基板ボックス 930 と、スピーカユニット 920 の後側に取付けられており内部にインターフェイス制御基板が収容されているインターフェイス制御基板ボックス 940 と、電源基板ボックス 930 及びインターフェイス制御基板ボックス 940 に跨って取付けられており内部に遊技球の払出しを制御する払出制御基板が収容された払出制御基板ボックス 950 と、を備えている。

40

【0082】

パチンコ機 1 の遊技盤 5 は、図 8 及び図 9 等に示すように、遊技球が打込まれる遊技領域 5a の外周を区画し球発射装置 680 から発射された遊技球を遊技領域 5a の上部に案内する外レール 1001 及び内レール 1002 を有した前構成部材 1000 と、前構成部材 1000 の後側に取付けられると共に遊技領域 5a の後端を区画する平板状の遊技パネル 1100 と、遊技パネル 1100 の後側の下部に取付けられており上方に開放された箱状の基板ホルダ 1200 と、基板ホルダ 1200 の後側に取付けられておりパチンコ機 1 の遊技を制御するための主制御基板を有している主制御ユニット 1300 と、遊技パネル

50

1100の前側で遊技領域5a内に取付けられ遊技領域5a内に打込まれた遊技球を受入可能な複数の入賞口を有した表ユニット（図示は省略）と、基板ボックス1200の上側で遊技パネル1100の後側に取付けられ遊技パネル1100を通して遊技者側から視認可能な液晶表示装置を有した裏ユニット（図示は省略）と、を備えている。

【0083】

本実施形態のパチンコ機1は、上皿201に遊技球を貯留した状態で、遊技者がハンドルレバー504を回転操作すると、球発射装置680によってハンドルレバー504の回転角度に応じた強さで遊技球が遊技盤5の遊技領域5a内へ打込まれる。そして、遊技領域5a内に打込まれた遊技球が、図示しない入賞口に受入れられると、受入れられた入賞口に応じて、所定数の遊技球が払出装置830によって上皿201に払出される。この遊技球の払出しによって遊技者の興趣を高めることができるため、上皿201内の遊技球を遊技領域5a内へ打込ませることができ、遊技者に遊技を楽しませることができる。

10

【0084】

[2. 外枠の全体構成]

パチンコ機1の外枠2について、図10乃至図15を参照して説明する。図10はパチンコ機における外枠の正面図であり、図11は外枠の右側面図である。また、図12は外枠を前から見た斜視図であり、図13は外枠を後ろから見た斜視図である。図14は、外枠を分解して前から見た分解斜視図である。図15は（a）は外枠における外枠側上ヒンジ部材の部位を左枠部材を省略して下側から見た斜視図であり、（b）は（a）を分解して示す分解斜視図である。外枠2は、遊技ホール等のパチンコ機1が設置される島設備（図示は省略）に取付けられるものである。

20

【0085】

外枠2は、図示するように、上下に離間しており左右に延びている上枠部材10及び下枠部材20と、上枠部材10及び下枠部材20の両端同士を連結しており上下に延びている左枠部材30及び右枠部材40と、を備えている。上枠部材10、下枠部材20、左枠部材30、及び右枠部材40は、前後の幅が同じ幅に形成されている。また、上枠部材10及び下枠部材20の左右の長さに対して、左枠部材30及び右枠部材40の上下の長さが、長く形成されている。また、外枠2は、上枠部材10及び下枠部材20の左右両端面と、左枠部材30及び右枠部材40の左右方向の外側を向いた側面とが、同一面となるように組立てられている。

30

【0086】

また、外枠2は、上枠部材10の正面視左端部側に取付けられている外枠側上ヒンジ部材60と、外枠側上ヒンジ部材60の下面に取付けられているロック部材66と、幕板部材50の正面視左端側上部と左枠部材30とに取付けられている外枠側下ヒンジ部材70と、を備えている。外枠2の外枠側上ヒンジ部材60と外枠側下ヒンジ部材70とによって、本体枠4及び扉枠3を開閉可能に取付けることができる。

【0087】

また、外枠2は、左枠部材30及び右枠部材40の下端同士を連結し下枠部材20の前側に取付けられる幕板部材50と、幕板部材50の後側に取付けられていると共に両端が左枠部材30及び右枠部材40に夫々取付けられる幕板補強部材80と、幕板部材50の上面における左右中央から左寄りの位置に取付けられている平板状の左滑り部材81と、幕板部材50の上面における右端付近の位置に取付けられている平板状の右滑り部材82と、を備えている。幕板補強部材80は、中実の部材（例えば、木材、合板、等）によって形成されており、下枠部材20、左枠部材30、及び右枠部材40に、取付けられている。

40

【0088】

更に、外枠2は、上枠部材10と左枠部材30、上枠部材10と右枠部材40、下枠部材20と左枠部材30、及び下枠部材20と右枠部材40を、夫々連結している連結部材85を備えている。また、外枠2は、右枠部材40の内側（左側面側）に取付けられており後述する施錠ユニット700の外枠用鉤703に係止される上鉤掛部材90及び下鉤掛

50

部材 91 を、備えている。

【0089】

[2-1. 上枠部材]

外枠 2 の上枠部材 10 は、所定厚さの無垢（中実）の材料（例えば、木材、合板、等）によって形成されている。この上枠部材 10 は、左右両端における前後方向の中央に、上下に貫通しており左右方向中央側へ窪んだ係合切欠部 11 を備えている。この係合切欠部 11 内には、連結部材 85 の後述する左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B の上横固定部 87 が取付けられる。また、上枠部材 10 は、正面視左側端部の上面と前面に、一般面よりも窪んだ取付段部 12 を備えている。この取付段部 12 には、外枠側上ヒンジ部材 60 が取付けられる。

10

【0090】

[2-2. 下枠部材]

外枠 2 の下枠部材 20 は、所定厚さの無垢（中実）の材料（例えば、木材、合板、等）によって形成されている。この下枠部材 20 は、左右の長さ及び上下の厚さが、上枠部材 10 の左右の長さ及び上下の厚さと同じ寸法に形成されていると共に、前後の幅が、上枠部材 10 の前後の幅よりも長く形成されている。下枠部材 20 は、左右両端における前後方向の中央よりも後側寄りの位置に、上下に貫通しており左右方向中央側へ窪んだ係合切欠部 21 を備えている。この係合切欠部 21 内には、連結部材 85 の後述する左下連結部材 85C 及び右下連結部材 85D の下横固定部 88 が取付けられる。

20

【0091】

また、下枠部材 20 は、左右両端の前面から後方へ窪んだ前端切欠部 22 を備えている。下枠部材 20 において、前端切欠部 22 の後端から下枠部材 20 の後面までの前後方向の幅が、上枠部材 10 の前後方向の幅と同じ寸法に形成されている。この下枠部材 20 は、外枠 2 に組立てた状態で、左右の前端切欠部 22 同士の間部位が、幕板部材 50 内に挿入される。

【0092】

[2-3. 左枠部材及び右枠部材]

外枠 2 の左枠部材 30 及び右枠部材 40 は、一定の断面形状で上下に延びており、アルミ合金等の金属の押出型材によって形成されている。左枠部材 30 及び右枠部材 40 は、平面視において互に対称の形状に形成されている。左枠部材 30 及び右枠部材 40 は、外枠 2 として組立てた時に、左右方向の外側となる側面において、前後方向中央に対して後寄りの位置から後端付近までの間に、内側へ窪んだ凹部 31、41 と、凹部 31、41 の反対側の側面から膨出しており内部が空洞に形成されている突出部 32、42 と、を備えている。この左枠部材 30 及び右枠部材 40 は、突出部 32、42 によって、強度・剛性が高められている。また、突出部 32、42 内には、連結部材 85 の後述する左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B の後側の下横固定部 88 が挿入されて取付けられる。

30

【0093】

また、左枠部材 30 及び右枠部材 40 は、表面に上下に延びた複数の溝が形成されている。この複数の溝によって、パチンコ機 1 を遊技ホール等の島設備に設置したり運搬したりする等の際に、作業者の指掛りとなってパチンコ機 1 を持ち易くすることができると共に、パチンコ機 1 の外観の意匠性を高めることができる。

40

【0094】

[2-4. 幕板部材]

外枠 2 の幕板部材 50 は、後側が開放された箱状に形成されている。幕板部材 50 は、上面における正面視左端付近に後方へ平板状に延出している後方延出部 51 と、後方延出部 51 の左端から遊技球が通過可能な大きさで U 字状に切欠かれており上下に貫通している左排出孔 52 と、後方延出部 51 における左排出孔 52 の右側において遊技球が通過可能な大きさで上下に貫通している右排出孔 53 と、後方延出部 51 の後端を含む幕板部材 50 の上面の後端から上方へ平板状に延出している立壁部 54 と、立壁部 54 の上端付近から前方へ膨出しており前面が上方へ向かうに従って後方へ向かうように傾斜している返

50

し部５５と、を備えている。

【００９５】

幕板部材５０は、後方延出部５１の前側の上面と、後方延出部５１の上面とに、外枠側下ヒンジ部材７０が載置されるように、外枠側下ヒンジ部材７０の後述する水平部７１が取付けられる。また、幕板部材５０の左排出孔５２は、外枠２に組立てた状態で外枠側下ヒンジ部材６０の後述する排出孔７４と一致する位置に形成されている。また、右排出孔５３は、外枠に組立てた状態で外枠側下ヒンジ部材６０よりも右側となる位置に形成されている。右排出孔５３は、左排出孔５２よりも大きく形成されている（図１８等を参照）。

【００９６】

また、幕板部材５０は、後方延出部５１よりも右側の上面が、前端側が低くなるように傾斜している。また、幕板部材５０は、上面における後方延出部５１よりも右側の部位に左滑り部材８１を取付けるための左取付部５６と、上面における右端付近に右滑り部材８２を取付けるための右取付部５７と、を備えている。幕板部材５０は、上面に、左滑り部材８１及び右滑り部材８２を介して本体枠３の下面が載置される。

【００９７】

この幕板部材５０は、図示するように、前面に浅いレリーフ状の装飾が形成されている。また、幕板部材５０は、図示は省略するが、箱状の内部が複数のリブによって格子状に仕切られており、強度・剛性が高められている。また、幕板部材５０は、幕板補強部材８０の前側半分を、内部に収容可能に形成されている。

【００９８】

[２－５．外枠側上ヒンジ部材]

外枠２の外枠側上ヒンジ部材６０は、図示するように、水平に延びた平板状で外形が四角形の上固定部６１と、上固定部６１の前端から前方へ延出している平板状の前方延出部６２と、前方延出部６２の右端から前方へ向かうに従って前方延出部６２の左右中央へ延びており上下に貫通している軸受溝６３と、上固定部６１の平面視左辺から下方へ延びている平板状の横固定部６４と、前方延出部６２の左端から前端を周って軸受溝６３が開口している部位までの端辺から下方へ延びており横固定部６４と連続している平板状の垂下部６５と、を備えている（図１５（ｂ）等を参照）。

【００９９】

外枠側上ヒンジ部材６０は、外枠２が組立てられた状態で、上固定部６１が、上枠部材１０の取付段部１２の上面に載置されており、図示しないビスによって固定されている。また、前方延出部６２は、上枠部材１０の前端よりも前方へ延出している。また、横固定部６４は、左枠部材３０の外側側面の凹部３１内に上側から挿入された状態で、ビスによって左枠部材３０に固定されている。

【０１００】

この外枠側上ヒンジ部材６０は、軸受溝６３内に本体枠側上ヒンジ部材６２０の本体枠上ヒンジピン６２２を挿入させることで、外枠側下ヒンジ部材７０と協働して本体枠４を開閉可能に支持することができる。この外枠側上ヒンジ部材６０は、金属板をプレス成型により屈曲させて形成されている。

【０１０１】

[２－６．ロック部材]

外枠２のロック部材６６は、図１５に示すように、左右が所定幅で前後に延びている帯板状のロック本体６６ａと、ロック本体６６ａの後端から右方へ突出している操作部６６ｂと、ロック本体６６ａの後端から左方へ延びた後に斜め左前方へ延びている弾性変形可能な棒状の弾性部６６ｃと、ロック本体６６ａの後端付近で上下に貫通している取付孔６６ｄと、を備えている。このロック部材６６は、合成樹脂によって形成されている。ロック部材６６は、取付ビス６７によって、外枠側上ヒンジ部材６０における前方延出部６２の下面に回動可能に取付けられる。

【０１０２】

このロック部材 66 は、取付孔 66 d を通して、ロック本体 66 a の後端が、外枠側上ヒンジ部材 60 の前方延出部 62 における軸受溝 63 よりも後側の位置に取付けられる。また、ロック部材 66 を外枠側上ヒンジ部材 60 に取付けた状態では、ロック本体 66 a が、平面視で軸受溝 63 を遮ることができると共に、前端付近の右側面が、外枠側上ヒンジ部材 60 の垂下部 65 における軸受溝 63 の開口まで延びている部位と当接可能となるように前方へ延びている（図 17 を参照）。

【0103】

また、ロック本体 66 a の後端から左方へ延びている弾性部 66 c の先端は、外枠側上ヒンジ部材 60 における垂下部 65 の内周面に当接している。このロック部材 66 は、弾性部 66 c の付勢力によって取付孔 66 d を中心に、前端が左方へ回転する方向に付勢されている。従って、通常の状態では、ロック部材 66 のロック本体 66 a の前端付近の右側面が、垂下部 65 に当接している（図 17 を参照）。この状態では、軸受溝 63 におけるロック本体 66 a よりも前側の部位に、本体枠側上ヒンジ部材 620 の後述する本体枠側上ヒンジピン 622 を収容可能な空間が形成される。

【0104】

このロック部材 66 は、操作部 66 b を操作することで、弾性部 66 c の付勢力に抗してロック本体 66 a を回転させることができる。そして、操作部 66 b の操作によって、ロック本体 66 a を、その前端が左方へ移動する方向へ回転させることで、平面視において軸受溝 63 からロック本体 66 a を後退させることができ、軸受溝 63 が全通している状態とすることができる。これにより、軸受溝 63 内に本体枠側上ヒンジピン 622 を挿入したり、軸受溝 63 内から本体枠側上ヒンジピン 622 を外したりすることができる。

【0105】

[2-7. 外枠側下ヒンジ部材]

外枠 2 の外枠側下ヒンジ部材 70 は、図示するように、水平に延びている平板状の水平部 71 と、水平部 71 の左辺において前後方向中央よりも後側の部位から上方へ立上がっている平板状の立上り部 72 と、水平部 71 の前端付近から上方へ突出している外枠側下ヒンジピン 73 と、水平部 71 を上下に貫通しており遊技球が一つのみ通過可能な大きさの排出孔 74 と、を備えている。この外枠側下ヒンジ部材 70 は、金属板をプレス成型により屈曲させて形成されている。

【0106】

外枠側下ヒンジ部材 70 の水平部 71 は、平面視において、左辺を底辺とした台形に形成されている。外枠側下ヒンジピン 73 は、円柱状で、上下方向中央よりも上部が、上端が窄まった円錐台状に形成されている。この外枠側下ヒンジピン 73 は、水平部 71 の前端付近における左寄りの位置に取付けられている。排出孔 74 は、水平部 71 において、立上り部 72 の前後方向中央の部位と接し、水平部 71 の左辺から右方へ逆 U 字状に延びるように形成されている。この排出孔 74 は、幕板部材 50 の左排出孔 52 と、略同じ大きさに形成されている。

【0107】

外枠側下ヒンジ部材 70 は、外枠 2 が組立てられた状態では、水平部 71 が、幕板部材 50 の左端付近の上面と後方延出部 51 上に載置されており、水平部 71 が、幕板部材 50 の上面を貫通する図示しないビスによって幕板補強部材 80 に固定されている。また、外枠 2 が組立てられた状態では、立上り部 72 が、左枠部材 30 の内側側面における突出部 32 よりも前側の部位に、図示しないビスによって取付けられている。この外枠側下ヒンジ部材 70 は、外枠側下ヒンジピン 73 を、本体枠 4 の本体枠側下ヒンジ部材 640 における本体枠用下ヒンジ孔（図示は省略）に挿通させることで、外枠側上ヒンジ部材 60 と協働して本体枠 4 を開閉可能に取付けることができる。

【0108】

また、外枠 2 が組立てられた状態では、排出孔 74 が、幕板部材 50 の左排出孔 52 と一致している。これにより、水平部 71 上の遊技球を、排出孔 74 及び左排出孔 52 を通して、幕板部材 50 の後側へ落下（排出）させることができる。詳述すると、外枠 2 に対

して本体枠 4 を閉じる時に、外枠 2 と本体枠 4 との間に落下した遊技球が、本体枠 4 が閉じられるのに従って、外枠 2 と本体枠 4 との間が徐々に狭くなることから、間隔が広い後方側へ転動とすることとなり、排出孔 74 から排出させることができる。この際に、排出孔 74 が、パチンコ機 1 に組立てた状態で、外枠 2 に対して本体枠 4 を閉じた時に、本体枠 4 の後端と略同じとなる位置に形成されているため、外枠 2 と本体枠 4 との間に落下した遊技球を、排出孔 74 から排出させることで本体枠 4 よりも後側へ転動するのを阻止し易くすることができ、外枠側下ヒンジ部材 70 の部位に遊技球が留まり難くすることができる。

【0109】

[2-8. 連結部材]

外枠 2 の連結部材 85 は、上枠部材 10 と左枠部材 30 とを連結する左上連結部材 85A と、上枠部材 10 と右枠部材 40 とを連結する右上連結部材 85B と、下枠部材 20 と左枠部材 30 とを連結する左下連結部材 85C と、下枠部材 20 と右枠部材 40 とを連結する右下連結部材 85D と、がある。

【0110】

連結部材 85 は、水平に延びた平板状の水平固定部 86 と、水平固定部 86 の左右側辺の何れか一方から上方へ延出している平板状の上横固定部 87 と、水平固定部 86 における上横固定部 87 が延出している部位と同じ側から下方へ延出している平板状の下横固定部 88 と、を備えている。この連結部材 85 は、平板状の金属板を屈曲させて形成されている。

【0111】

左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B では、水平固定部 86 の前後方向の中央から上横固定部 87 が上方へ延出していると共に、上横固定部 87 の前後両側から下横固定部 88 が下方へ延出している。つまり、左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B では、下横固定部 88 が前後に離間して二つ備えられている。左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B の水平固定部 86 は、上枠部材 10 の下面に当接した状態で上枠部材 10 に固定される。また、左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B の上横固定部 87 は、上枠部材 10 の係合切欠部 11 内に挿入されて、上枠部材 10 の左右方向の端部に固定される。また、左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B の前側の下横固定部 88 は、左枠部材 30 又は右枠部材 40 突出部 32, 42 よりも前側の内側側面に固定される。更に、左上連結部材 85A 及び右上連結部材 85B の後側の下横固定部 88 は、左枠部材 30 又は右枠部材 40 突出部 32, 42 内に挿入されて外側側面から掘り込まれるビスにより左枠部材 30 又は右枠部材 40 に固定される。

【0112】

左下連結部材 85C 及び右下連結部材 85D では、上横固定部 87 の後端が、水平固定部 86 の後端よりも後方へ突出していると共に、上横固定部 87 の水平固定部 86 よりも後方へ突出している部位の下端から下横固定部 88 が水平固定部 86 よりも下方へ延出している。また、左下連結部材 85C 及び右下連結部材 85D では、上横固定部 87 の後端から水平固定部 86 と同じ側へ突出している屈曲部 89 を更に備えている。左下連結部材 85C 及び右下連結部材 85D の水平固定部 86 は、下枠部材 20 の上面に当接した状態で固定される。また、左下連結部材 85C 及び右下連結部材 85D の上横固定部 87 は、左枠部材 30 又は右枠部材 40 の突出部 32, 42 よりも前側の内側側面に固定される。更に、左下連結部材 85C 及び右下連結部材 85D の下横固定部 88 は、下枠部材 20 の係合切欠部 21 内に挿入されて下枠部材 20 の左右方向の端面に固定される。

【0113】

[2-9. 外枠側上ヒンジ部材のロック機構]

次に、本実施形態のパチンコ機 1 の外枠 2 において、外枠側上ヒンジ部材 60 におけるロック部材 66 による本体枠 4 の本体枠側上ヒンジ部材 620 に対するロック機構について、図 16 及び図 17 を参照して説明する。図 16 は (a) は外枠の外枠側上ヒンジ部材に対して本体枠の本体枠側上ヒンジ部材が取外されている状態を拡大して示す斜視図であ

10

20

30

40

50

り、(b)は外側上ヒンジ部材に本体側上ヒンジ部材が取付けられている状態を拡大して示す斜視図である。図17は外枠におけるロック部材の作用を示す説明図である。

【0114】

外枠2におけるロック部材66は、外枠側上ヒンジ部材60の前方延出部62に取り付けた状態(通常の状態)では、弾性部66cの先端が垂下部65の内周面と当接しており、ロック本体66aがく字状に屈曲した軸受溝63の一部を閉塞するようになっていると共に、ロック本体66aの先端部分が、軸受溝63の最深部分を閉塞した状態とはならず、軸受溝63の最深部分に本体枠4の本体枠側上ヒンジ部材620の本体枠上ヒンジピン622を挿入可能な空間が形成された状態となっている。

【0115】

本実施形態における外枠側上ヒンジ部材60とロック部材66とを用いた本体枠上ヒンジピン622の支持機構は、本体枠上ヒンジピン622が軸受溝63の最深部分に挿入されてロック本体66aの前端の右側面が、右側の垂下部65と接近している状態(この状態ではロック本体66aの前端の右側面と右側の垂下部65との間に僅かな隙間があり当接した状態となっていない)である通常の軸支状態においては、屈曲している軸受溝63の最深部分に位置する本体枠上ヒンジピン622とロック本体63の前端面との夫々の中心が斜め方向にずれて対向した状態となっている。

【0116】

そして、この通常の軸支状態においては、重量のある本体枠4を軸支している本体枠上ヒンジピン622が軸受溝63の前端部分に当接した状態となっているので、本体枠上ヒンジピン622からロック部材66aの前端面への負荷がほとんどかかっていない。つまり、ロック部材66の弾性部66cに対し負荷がかかっていない状態となっている。なお、ロック本体66aの前端面が円弧状に形成されているため、ロック部材66を回動させるために操作部66bを回動操作した時に、ロック部材66がスムーズに回動するようになっている。また、図示では、ロック本体66aの前端面の円弧中心が、取付孔66dの中心(ロック部材66の回転中心)とされている。

【0117】

従って、本体枠上ヒンジピン622がく字状に形成された軸受溝63の傾斜に沿って抜ける方向に作用力Fがかかって、ロック本体66aの円弧状の前端面に当接したとき、その作用力Fを、本体枠上ヒンジピン622と円弧状の前端面との当接部分に作用する分力F1(ロック本体66aの前端面の円弧の法線方向)と、本体枠上ヒンジピン622と軸受溝63の一侧内面との当接部分に作用する分力F2と、に分けたときに、分力F1の方向が取付孔66d(取付ビス67)の中心(ロック部材66の回転中心)を向くため、ロック部材66のロック本体66aの前端が、右側の垂下部65から離れる方向に回転させるモーメントが働かず、本体枠上ヒンジピン622がロック部材66のロック本体66aの前端部と軸受溝63の一侧内面との間に挟持された状態が保持される。

【0118】

このため、通常の軸支状態、或は、本体枠上ヒンジピン622の作用力がロック部材66にかかった状態でも、ロック部材66の弾性部66cに常時負荷がかからず、合成樹脂で一体形成される弾性部66cのクリープによる塑性変形を防止し、長期間に亘って本体枠上ヒンジピン622の軸受溝63からの脱落を防止することができる。なお、仮に無理な力がかかってロック部材66のロック本体66aの前端部が右方へ移動する方向へ回転させられても、ロック本体66aの前端右側面が垂下部65に当接してそれ以上回転しないので、ロック部材66が前方延出部62の外側にはみ出ないようになっている。

【0119】

なお、ロック本体66aの前端面の形状は円弧状でなくても、上記した分力F1の作用により回転モーメントが生じない位置又はロック部材66をその前端部が前方突出部62の外側に向って回転させる回転モーメントが生ずる位置にロック部材66の回転中心(取付ビス67により固定される軸)を位置させることにより、常時ロック部材66の弾性部66cに対しても負荷がかかることはないし、ロック部材66が回転してもロック本体6

10

20

30

40

50

6 aの前端の右側面が垂下部 6 5に当接するだけであるため、ロック部材 6 6が前方延出部 6 2の外側にはみ出ることもない。

【0120】

外枠側上ヒンジ部材 6 0の軸受溝 6 3に、本体枠側上ヒンジ部材 6 2 0の本体枠上ヒンジピン 6 2 2を支持させる場合は、軸受溝 6 3の開放されている側から軸受溝 6 3内に本体枠上ヒンジピン 6 2 2を挿入する。軸受溝 6 3内に本体枠上ヒンジピン 6 2 2を挿入すると、ロック部材 6 6のロック本体 6 6 aの右側面に本体枠上ヒンジピン 6 2 2が当接し、弾性部 6 6 cの付勢力に抗してロック本体 6 6 aの前端が左方へ移動するようにロック部材 6 6が取付ビス 6 7を中心に回転する。これにより、軸受溝 6 3を閉鎖していたロック本体 6 6 aが後退して軸受溝 6 3が開放され、軸受溝 6 3の最深部（前端）へ本体枠上ヒンジピン 6 2 2を移動させることができるようになる。

10

【0121】

そして、軸受溝 6 3の最深部に本体枠上ヒンジピン 6 2 2を移動させると、本体枠上ヒンジピン 6 2 2とロック部材 6 6のロック本体 6 6 aとの当接が解除され、弾性部 6 6 cの付勢力によってロック本体 6 6 aの前端が右方へ移動するようにロック部材 6 6が回転し、ロック部材 6 6が通常の状態に復帰する。これにより、本体枠上ヒンジピン 6 2 2が、軸受溝 6 3内におけるロック本体 6 6 aの前端よりも前側の空間に収容された状態となり、本体枠上ヒンジピン 6 2 2が、軸受溝 6 3の最深部において回転可能な状態で保持（ロック）された状態となる。

【0122】

20

軸受溝 6 3内から本体枠上ヒンジピン 6 2 2を取外す場合は、ロック部材 6 6の操作部 6 6 bを操作して、ロック本体 6 6 aの前端が左方へ移動するようにロック部材 6 6を回転させ、弾性部 6 6 cの付勢力に抗して軸受溝 6 3からロック本体 6 6 aを後退させる。これにより、軸受溝 6 3の最深部と開口部とが連通した状態となり、軸受溝 6 3から本体枠上ヒンジピン 6 2 2を取外すことができる。

【0123】

[2-10. 外枠側下ヒンジ部材の部位における防犯機構と球噛み防止機構]

本実施形態のパチンコ機 1における外枠 2の外枠側下ヒンジ部材 7 0の部位における防犯機構と外枠 2と本体枠 4との間に遊技球が挟まれるのを防止するための球噛み防止機構について、図 1 8及び図 1 9を参照して説明する。図 1 8（a）は図 1における A-A 断面図であり、（b）は（a）において外枠に対して扉枠と共に本体枠を開いた状態を示す断面図である。図 1 9（a）は外枠側下ヒンジ部材の部位に誘導羽根を備えて外枠に対して本体枠を開いた状態で示す説明図であり、（b）は（a）の実施形態において外枠に対して本体枠を閉じた状態で示す説明図であり、（c）は（a）及び（b）とは異なる実施形態の誘導羽根を備えて外枠に対して本体枠を開いた状態で示す説明図であり、（d）は（c）の実施形態において外枠に対して本体枠を閉じた状態で示す説明図である。

30

【0124】

外枠 2は、組立てた状態では、幕板部材 5 0の上面における正面視左端部に外枠側下ヒンジ部材 7 0が取付けられている。外枠側下ヒンジ部材 7 0の水平部 7 1は、幕板部材 5 0の上面の左端付近と後方延出部 5 1の上面とに載置された状態で取付けられている。この幕板部材 5 0には、上面の後端から上方へ立上っている立壁部 5 4を備えている。これにより、外枠側下ヒンジ部材 7 0と本体枠側下ヒンジ部材 6 4 0との間の隙間を通して、本体枠 4（パチンコ機 1）の後側へピアノ線等の不正な工具を侵入させようとしても、不正な工具の先端が幕板部材 5 0の上面の後端から上方へ延出している立壁部 5 4に当接するため、不正な工具がこれ以上後側へ挿入されるのを阻止することができる。外枠側下ヒンジ部材 7 0の部位を介して不正行為が行われるのを防止することができる。

40

【0125】

また、立壁部 5 4の上端に、前方へ延出している返し部 5 5を備えているため、立壁部 5 4に当接した不正な工具が上方へ曲がった場合、返し部 5 5によって不正な工具の先端を更に前方へ折返させることができるため、本体枠 4の後側に不正な工具が侵入させられ

50

るのを阻止することができ、外枠側下ヒンジ部材 70 の部位を介して不正行為が行われるのを確実に阻止することができる。

【0126】

ところで、幕板部材 50 の上面の後端に上方へ延出している立壁部 54 を備えるようにした場合、図 18 (b) に示すように、外枠 2 に対して本体枠 4 を開いている状態で、遊技球が外枠側下ヒンジ部材 70 (水平部 71) 上に落下した場合、水平部 71 上の遊技球が、立壁部 54 の存在によって水平部 71 の後端から後方へ排出されないため、外枠 2 と本体枠 4 との間に挟まれてしまう虞がある。これに対して、本実施形態では、外枠側下ヒンジ部材 70 の水平部 71 と、幕板部材 50 の後方延出部 51 とに、遊技球が通過可能な排出孔 74、右排出孔 52、及び左排出孔 53 を備えているため、外枠側下ヒンジ部材 70 の水平部 71 上の遊技球を、排出孔 74 等から下方へ排出することができ、外枠 2 と本体枠 4 との間に遊技球が挟まれるのを低減させることができる。

10

【0127】

従って、外枠 2 と本体枠 4 との間に遊技球が挟まれることで、外枠側下ヒンジ部材 70 の周りが破損したり、本体枠 4 が正常な状態で閉まらずに外枠 2 と本体枠 4 との間に隙間ができてしまい、その隙間を使って不正行為が行われてしまったりするのを防止することができる。

【0128】

また、本実施形態では、上記の構成に加えて、外枠 2 に対して本体枠 4 を開いている時に、外枠側下ヒンジ部材 70 上に落下した遊技球を、排出孔 74 等から排出させ易くするために、図 19 に示すように、外枠 2 や本体枠 4 に、遊技球を排出孔 74 等へ誘導する誘導羽根 95、96 を、備えるようにしても良い。

20

【0129】

具体的に説明すると、図 19 (a) 及び (b) に示す誘導羽根 95 は、先端が本体枠 4 よりも外側へ突出しており、基端側が本体枠 4 における左側面の後端付近の下側で上下に延びた軸周りに回動可能に取付けられており、棒状に形成されている。この誘導羽根 95 は、図示しないバネによって、平面視において反時計回りの方向へ回動するように付勢されている。そして、誘導羽根 95 は、図 19 (a) に示すように、外枠 2 に対して本体枠 4 を開いた状態で、先端が本体枠 4 の左側面に対して直角よりもやや後方へ斜めに突出した状態となるように、反時計回りの方向への回動端が規制されている。従って、誘導羽根 95 は、この状態からは、バネの付勢力に抗することで、先端側が後方へ移動するように回動することができる。

30

【0130】

外枠 2 に対して本体枠 4 を開いている状態から、本体枠 4 を閉じる方向へ回動させると、誘導羽根 95 の先端が外枠側下ヒンジ部材 70 の立上り部 72 の右側面に当接し、誘導羽根 95 が図示しないバネの付勢力に抗して基端側を中心に先端が後方へ移動する方向 (平面視において時計回りの方向) に回動する。そして、本体枠 4 を更に閉じる方向へ回動させると、誘導羽根 95 が本体枠 4 から後方へ突出しているような状態へ更に回動し、誘導羽根 95 が邪魔することなく外枠 2 に対して本体枠 4 を閉じることができる (図 19 (b) を参照)。

40

【0131】

外枠 2 に対して本体枠 4 を閉じる際に、外枠側上ヒンジ部材 70 の水平部 71 上に遊技球が落下した場合、本体枠 4 の後端から誘導羽根 95 が斜め左後方へ突出しているため、外枠 2 と本体枠 4 との間に落下した遊技球を、本体枠 4 の左側面と誘導羽根 95 とによって右側へ寄せることができ、本体枠 4 の後側へ遊技球が転動していつてしまうのを抑制することができると共に、遊技球を右側へ寄せることで排出孔 74 へ誘導することができ、排出孔 74 から遊技球を排出させることができる。従って、外枠 2 と本体枠 4 との間に遊技球が挟まれるのを防止することができる。

【0132】

なお、外枠 2 に対して本体枠 4 を開く時には、誘導羽根 95 が図示しないバネの付勢力

50

によって、平面視において反時計回りの方向に、図19(a)の位置の状態まで回転する。従って、本実施形態の誘導羽根95は、本体枠4の開閉動作に伴って回転(可動)するものである。

【0133】

一方、図19(c)及び(d)に示す誘導羽根96は、図示するように、両端が外枠2と本体枠4とに取付けられており、外枠2に対して本体枠4を開けている時には扇状に展開されると共に後方へ向かって低くなるように傾斜し、外枠2に対して本体枠4を閉めた時には折り畳まれる扇形の蛇腹状に形成されている。この誘導羽根96は、上記の誘導羽根95と同様に、本体枠4の開閉動作に伴って可動する。

【0134】

この誘導羽根96は、外枠2に対して本体枠4を開いている時に、外枠側下ヒンジ部材70上へ遊技球が落下すると、外枠2と本体枠4との間で展開されている誘導羽根96によって、落下してきた遊技球を本体枠4よりも後側へ転動させて誘導することができ、本体枠4の後側で開口している排出孔74や右排出孔53から遊技球を下方へ排出することができる。従って、この誘導羽根96によっても、外枠2と本体枠4との間に遊技球が挟まれるのを防止することができる。

【0135】

本実施形態によれば、誘導羽根95、96によって、水平部71上の遊技球を排出孔74へ誘導させることができるため、排出孔74を大きくしなくても遊技球を排出孔74から排出させることができ、水平部71を貫通している孔(排出孔74)が大きくなることで外枠側下ヒンジ部材70の強度が低下してしまうのを抑制することができる。従って、外枠2と本体枠4との間に不正行為を行うための工具が差し込まれても、外枠側下ヒンジ部材70が十分な強度を有しているため、外枠側下ヒンジ部材70が歪み難く、外枠側下ヒンジ部材70の部位で隙間が形成されてしまうのを抑制することができ、不正行為が行われるのを防止することができる。

【0136】

[3. 扉枠の全体構成]

パチンコ機1の扉枠3について、図20乃至図26を参照して説明する。図20はパチンコ機における扉枠の正面図であり、図21は扉枠の背面図である。図22は扉枠を右前から見た斜視図であり、図23は扉枠を左前から見た斜視図であり、図24は扉枠を後ろから見た斜視図である。図25は扉枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図26は扉枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。

【0137】

扉枠3は、正面視の外形が四角形で枠状の扉枠ベースユニット100と、扉枠ベースユニット100の前面下部に取付けられる皿ユニット200と、扉枠ベースユニット100の前面上部に取付けられるトップユニット350と、扉枠ベースユニット100の前面左部に取付けられる左サイドユニット400と、扉枠ベースユニット100の前面右部に取付けられる右サイドユニット450と、扉枠ベースユニット100の前面右下部に皿ユニット200を貫通して取付けられるハンドルユニット500と、を備えている。

【0138】

また、扉枠3は、扉枠ベースユニット100の後面下部に取付けられるファールカバーユニット520と、扉枠ベースユニット100の後面下部に取付けられる球送りユニット540と、扉枠ベースユニット100の後面に取付けられ貫通口111を閉鎖するガラスユニット560と、ガラスユニット560の後面下部を覆う防犯カバー580と、を備えている。

【0139】

扉枠3の扉枠ベースユニット100は、図25及び図26に等々示すように、外形が縦長の長方形で前後に貫通している貫通口111を有した板状の扉枠ベース110と、扉枠ベース110の前面で正面視右下隅に取付けられておりハンドルユニット500を取付けるための筒状のハンドル取付部材120と、扉枠ベース110の後側に取付けられている

枠状の補強ユニット130と、補強ユニット130の正面視左端側の上下両端に取付けられており前方へ突出して本体枠4の本体枠側上ヒンジ部材620及び本体枠側下ヒンジ部材640に回転可能に取付けられる扉枠側上ヒンジ部材140及び扉枠側下ヒンジ部材150と、扉枠ベース110の後側に回動可能に取付けられておりガラスユニット560を着脱可能に取付けるためのガラスユニット取付部材160と、を備えている。

【0140】

扉枠3の皿ユニット200は、詳細は後述するが、上下に列設されており前方へ膨出しており遊技球を貯留可能な上皿201及び下皿202と、上皿201及び下皿202が取付けられていると共に扉枠ベースユニット100の前面に取付けられる板状の皿ユニットベース210と、上皿201の前側で皿ユニットベース210に取付けられ画像を表示可能な上皿液晶表示装置244、遊技者が操作可能なタッチパネル246及び上皿演出ボタン257を有している演出操作ユニット220と、上皿201及び下皿202を前側から覆う皿ユニットカバー260と、正面視上皿201の右側に配置されており遊技状態に応じて回転する扉右下回転体270Aを有している扉右下演出ユニット270と、扉右下演出ユニット270を前側から覆う透明な演出ユニットカバー300と、上皿201に貯留されている遊技球を下皿202へ抜くための上皿球抜きユニット310と、下皿202に貯留されている遊技球を下方へ抜くための下皿球抜きユニット320と、遊技ホールの島設備においてパチンコ機1と隣接して配置される球貸機（図示は省略する。CRユニットとも称す）を操作するための球貸操作ユニット330と、皿ユニットベース210の上部に取付けられており発光装飾可能な上皿トップ装飾部材340と、を主に備えている。

【0141】

扉枠3のトップユニット350は、図25及び図26等に応示するように、扉枠ベースユニット100の前面において上辺に沿って取付けられる一部が透光性を有したユニットベース360と、ユニットベース360の前面で左右の中央に取付けられており前方へ膨出している透光性を有したトップ装飾部材370と、トップ装飾部材370内に取付けられており高音域のサウンドを出力するトップスピーカ（図示は省略）と、ユニットベース360の後側に取付けられており前面に複数のLEDが取付けられている扉枠上装飾基板380と、を備えている。

【0142】

扉枠3の左サイドユニット400は、図25及び図26等に応示するように、扉枠ベースユニット100の前面で貫通口111の左側外周縁に沿って取付けられる平板状のユニットベース410と、ユニットベース410の前面に取付けられており上端がトップユニット350のトップ装飾部材370の左端まで延びている透光性を有した左サイド装飾部材420と、左サイド装飾部材420の前側で正面視扉枠3の左上隅となる位置に取付けられており左スピーカ（図示は省略）を有した左スピーカユニット430と、ユニットベース410の後側に取付けられており前面に複数のLEDが取付けられた扉枠左装飾基板440と、を備えている。

【0143】

扉枠3の右サイドユニット450は、図25及び図26等に応示するように、扉枠ベースユニット100の前面で貫通口111の右側外周縁に沿って取付けられる平板状のユニットベース460と、ユニットベース460の前側に取付けられており上端がトップユニット350のトップ装飾部材370の右端まで延びている透光性を有した右サイド装飾部材470と、右サイド装飾部材470の前面で正面視扉枠3の右上隅となる位置に取付けられており右スピーカ（図示は省略）を有した右スピーカユニット480と、ユニットベース460と右サイド装飾部材470との間に取付けられており前面に複数のLEDが取付けられた扉枠右装飾基板（図示は省略）と、を備えている。

【0144】

扉枠3のハンドルユニット500は、図25及び図26等に応示するように、扉枠ベースユニット100のハンドル取付部材120に取付けられるハンドル本体502と、ハンドル本体502に回動可能に取付けられており遊技者が回動操作可能なハンドルレバー504

と、ハンドルレバー 504 の前側からハンドル本体 502 に取付けられておりハンドル本体 502 と協働してハンドルレバー 504 を回転可能に支持しているハンドルカバー 506 と、を備えている。また、ハンドルユニット 500 は、図示は省略するが、ハンドル本体 502 内に取付けられておりハンドルレバー 504 の回転角度を検知するハンドル操作センサと、ハンドル本体 502 に取付けられており遊技者が操作可能なストップボタンと、ハンドル本体 502 内に取付けられており遊技者とハンドルレバー 504 との接触を検知する接触検知センサと、を備えている。

【0145】

扉枠 3 のファールカバーユニット 520 は、図 25、図 26、及び図 55 乃至図 57 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 の後側に取付けられ前側が開放された浅い箱状のユニット本体 522 と、ユニット本体 522 の前面に取付けられている平板状の蓋部材 524 と、を主に備えている。ファールカバーユニット 520 は、正面視左上隅において前後に貫通しており本体枠 4 の下部満タン球経路ユニット 860 の通常誘導路と皿ユニット 200 の上皿球供給口 210a とを連通させる貫通球通路 526 と、貫通球通路 526 の正面視右側で後方へ向かって開口しており本体枠 4 の下部満タン球経路ユニット 860 の満タン誘導路と連通可能な満タン球受口 528 と、満タン球受口 528 の正面視右側で上方へ向かって開口しており本体枠 4 の球発射装置 680 により発射されにも関わらず遊技領域 5a 内へ到達しなかった遊技球（ファール球）を受けるファール球受口 530 と、正面視右下隅で前方へ向かって開口しており満タン球受口 528 及びファール球受口 530 に受入れられた遊技球を放出すると共に皿ユニット 200 の下皿球供給口 210c と連

10

20

【0146】

扉枠 3 の球送りユニット 540 は、図 25 及び図 26 等に示すように、左右に延びており後側が開放された箱状のユニット本体 542 と、ユニット本体 542 の後側に取付けられており前側が開放された箱状でファールカバーユニット 520 の正面視右側で扉枠ベースユニット 100 の後側に着脱可能に取付けられるユニットカバー 544 と、前方へ向かって開口しており皿ユニット 200 の上皿 201 に貯留されている遊技球が進入する球進入口 546 と、球進入口 546 に進入した遊技球を放出可能とされており後方へ向かって開口している球放出口 548 と、球進入口 546 に進入した遊技球を排出可能とされており球進入口 546 の下側で前方へ向かって開口している球排出口 550 と、を備えている。また、球送りユニット 540 は、図示は省略するが、球進入口 546 から進入した遊技球を一つずつ球放出口 548 から放出させるための球送りソレノイドと、球進入口 546 から進入した遊技球を球放出口 548 側又は球排出口 550 側の何れかに切替える切替機構と、を備えている。

30

【0147】

扉枠 3 のガラスユニット 560 は、図 25 及び図 26 等に示すように、扉枠ベースユニット 100 の貫通口 111 よりも大きい枠状のユニット枠 562 と、ユニット枠 562 の前後両側に取付けられておりユニット枠 562 の枠内を閉鎖する一対のガラス板 564 と、を備えている。

【0148】

[3-1. 皿ユニットの全体構成]

扉枠 3 の皿ユニット 200 について、図 27 乃至図 42 を参照して詳細に説明する。図 27 は扉枠の皿ユニットを前から見た斜視図であり、図 28 は皿ユニットを後ろから見た斜視図である。図 29 は皿ユニットを主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 30 は皿ユニットを主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。図 31 (a) は皿ユニットの演出操作ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は演出操作ユニットを後ろから見た斜視図である。図 32 は演出操作ユニットを主な部材毎に分解して上から見た斜視図であり、図 33 は演出操作ユニットを主な部材毎に分解して下から見た分解斜視図である。図 34 は演出操作ユニットの取付ベースユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図 35 は取付ベースユニットを分解して下から見た分解斜視図である

40

50

。

【0149】

また、図36は演出操作ユニットのタッチユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図37はタッチユニットを分解して下から見た分解斜視図である。図38は演出操作ユニットのボタンユニットを分解して上から見た分解斜視図であり、図39はボタンユニットを分解して下から見た分解斜視図である。図40は皿ユニットの平面図であり、図41は図40におけるB-B断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図であり、図42は図40におけるC-C断面において演出操作ユニットの部位を拡大して示す断面図である。

【0150】

10

更に、図43(a)は皿ユニットの扉右下演出ユニットの正面図であり、(b)は扉右下演出ユニットの右側面図であり、図44(a)は扉右下演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は扉右下演出ユニットを後ろから見た斜視図である。図45は、図43(b)の扉右下演出ユニットにおけるD-D断面図である。図46は扉右下演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図47は扉右下演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図48は扉右下演出ユニットの回転体内部ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図49は回転体内部ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。図50(a)は扉右下演出ユニットの扉右下回転体が前を向いた状態の正面図であり、(b)は扉右下回転体が後ろを向いた状態の正面図である。

【0151】

20

また、図51(a)は皿ユニットの上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で前から見た斜視図であり、(b)は上皿球抜きユニットを皿ユニットベースに取付けた状態で後ろから見た斜視図である。図52は上皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図53は上皿球抜きユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図54(a)は皿ユニットの下皿球抜きユニットを前から見た斜視図であり、(b)下皿球抜きユニットを分解して前から見た分解斜視図である。

【0152】

皿ユニット200は、扉枠ベースユニット100から前方へ膨出している。この皿ユニット200は、払出装830から払出され遊技領域5a内に打込むための遊技球を貯留する上皿201と、上皿201の下側に配置されており上皿201から供給される遊技球を貯留可能な下皿202と、を備えている。また、皿ユニット200は、扉枠ベースユニット100に取付けられる平板状の皿ユニットベース210と、皿ユニットベース210の前面上部に取付けられると共に左右中央より左側が前方へ大きく膨出しており上皿201を形成している上皿本体212と、皿ユニットベース210の前面下部で左右中央に取付けられると共に前方へ大きく膨出しており下皿202を形成している下皿本体214と、を備えている。

30

【0153】

また、皿ユニット200は、上皿本体212の前側及び皿ユニットベース210の前面に取付けられる演出操作ユニット220と、上皿本体212、下皿本体214、及び演出操作ユニットの前側及び下側を覆い皿ユニットベース210の前面に取付けられる皿ユニットカバー260と、演出操作ユニット220の右側に配置されており皿ユニットベース210の前面右部に取付けられる扉右下演出ユニット270と、扉右下演出ユニット270の前側を覆い皿ユニットベース210の前面に取付けられる演出ユニットカバー300と、皿ユニットベース210を前後から挟むように取付けられており上皿本体212の上皿201内に貯留されている遊技球を下皿202へ抜き取るための上皿球抜きユニット310と、下皿本体214の下側に取付けられており下皿202に貯留されている遊技球を下方へ排出するための下皿球抜きユニット320と、を備えている。

40

【0154】

更に、皿ユニット200は、演出操作ユニット220の上面に取付けられており遊技ホールの島設備においてパチンコ機1と隣接して配置される球貸機を操作するための球貸操

50

作ユニット 330 と、皿ユニットベース 210 の上部に取付けられており発光装飾可能な上皿トップ装飾部材 340 と、皿ユニットカバー 260 の後側で皿ユニットベース 210 の前面左側に取付けられており前方へ向かって光を照射可能な複数の LED を備えている皿ユニット左装飾基板 345 と、演出ユニットカバー 300 の後側且つ扉右下演出ユニット 270 の下側で皿ユニットベース 210 の前面右側に取付けられており前方へ向かって光を照射可能な複数の LED を備えている皿ユニット右装飾基板 346 と、皿ユニットベース 210 の後側に取付けられており後述する上皿前装飾基板 233、上皿後装飾基板 235、上皿液晶基板 241、加振装置 242、タッチパネル 246、演出ボタン装飾基板 251、演出ボタン押圧センサ 258、扉右下中継基板 281、皿ユニット左装飾基板 345、及び皿ユニット右装飾基板 346 と遊技盤 5 の図示しない周辺制御基板との接続を中継する皿ユニット中継基板 347 と、を備えている。

10

【0155】**[3-1a. 皿ユニットベース]**

皿ユニット 200 の皿ユニットベース 210 は、図 29 及び図 30 に示すように、扉枠ベースユニット 100 の全幅に亘って左右に長く延びている。皿ユニットベース 210 は、正面視左上隅付近で前後に貫通していると共に後方へ筒状に延びている上皿球供給口 210a と、上皿球供給口 210a の下側で前後に貫通していると共に上下に延びている複数の長穴からなるスピーカスリット 210b と、正面視左右中央の下部において前後に貫通していると共に後方へ筒状に延びている下皿球供給口 210c と、下皿球供給口 210c の正面視右上隅で前後に貫通していると共に上下に延びており上部が上皿本体 212 の右端に位置する上皿球送り口 210d と、を備えている。

20

【0156】

また、皿ユニットベース 210 は、上皿球送り口 210d の正面視左側で前後に貫通している内周が四角形の透口 210e と、透口 210e の下辺から前方へ板状に突出している受片 210f と、上皿球送り口 210d の正面視右上隅で前後に貫通している逃し口 210g と、正面視右下隅で前後に貫通しており扉枠ベースユニット 100 のハンドル取付部材 120 が挿通されるハンドル挿通口 210h と、正面視右隅付近で前後に貫通しており施錠ユニット 700 の鍵シリンダ 710 が挿通されるシリンダ挿通口 210i と、筒状の下皿球供給口 210c の正面視右側の側面において後端から前方へ向かって切欠かれている切欠部 210j と、を備えている。

30

【0157】**[3-1b. 上皿本体]**

皿ユニット 200 の上皿本体 212 は、図 29 及び図 30 に示すように、正面視左右の中央より左側の方が大きく前方へ膨出しており、上方及び後方へ開放された容器状に形成されている。上皿本体 212 は、正面視右端側に左方及び後方へのみ開放されており遊技球が流通可能な誘導通路部 212a を備えている。この上皿本体 212 は、底面が全体的に右端が低くなるように傾斜している。詳述すると、上皿本体 212 を皿ユニットベース 210 に取付けた状態で、上皿本体 212 の底面が、上皿球供給口 210a の下側の位置から上皿球送り口 210d の上端から遊技球の外径よりも若干下側の位置へ向かって低くなるように傾斜している。これにより、上皿球供給口 210a から前方へ放出された遊技球を、上皿本体 212 内に受けて貯留することができると共に、受けた遊技球を誘導通路部 212a の右端側から上皿球送り口 210d へ供給することができる。

40

【0158】

また、上皿本体 212 は、底面の後端側で左右の中央から右端付近まで延びている金属製のアース金具 212b を備えている。このアース金具 212b は、図示は省略するが、電氣的に接地（アース）されており、遊技球が接触することで、遊技球に帯電した静電気を除去することができる。

【0159】**[3-1c. 下皿本体]**

皿ユニット 200 の下皿本体 214 は、図 29 及び図 30 に示すように、前端辺に対し

50

て後端辺が長い平面視台形で、上方及び後方が開放された容器状に形成されている。下皿本体 214 は、底面に上下に貫通しており下皿球抜きユニット 320 によって閉鎖可能とされている球抜き孔 214a を備えており、球抜き孔 214a へ向かって低くなるように底面が傾斜している。この下皿本体 214 は、皿ユニットベース 210 の下皿球供給口 210c から前方へ放出された遊技球を受けて貯留することができると共に、球抜き孔 214a から遊技球を皿ユニット 200 の下方へ排出することができる。

【0160】

[3-1d. 演出操作ユニットの全体構成]

皿ユニット 200 の演出操作ユニット 220 は、図 31 乃至図 33 に示すように、正面視左右の中央で皿ユニットベース 210 及び上皿本体 212 に取付けられる取付ベースユニット 220A と、取付ベースユニット 220A に取付けられるタッチユニット 220B と、タッチユニット 220B の正面視左側で取付ベースユニット 220A に取付けられるボタンユニット 220C と、タッチユニット 220B と取付ベースユニット 220A との間に介装される円筒状の複数のダンパ 222 と、タッチユニット 220B 及びボタンユニット 220C の外周を上側から覆うように取付ベースユニット 220A に取付けられるユニットカバー 224 と、取付ベースユニット 220A の正面視右端に取付けられる装飾部材 226 と、を備えている。

10

【0161】

演出操作ユニット 220 のダンパ 222 は、円筒状に形成されており、外周面における軸方向の中央に溝 222a が全周に亘って形成されている。本実施形態におけるダンパ 222 は、合成ゴムによって形成されている。複数のダンパ 222 によって、タッチユニット 220B が叩かれた時の衝撃を緩和させて取付ベースユニット 220 や皿ユニットベース 210 側へ作用する負荷（衝撃）を低減させることができると共に、タッチユニット 220B の後述する加振装置 242 による振動が、取付ベースユニット 220 や皿ユニットベース 210 側へ伝達されるのを低減させることができる。

20

【0162】

[3-1d-1. 取付ベースユニット]

演出操作ユニット 220 の取付ベースユニット 220A は、図 32 乃至図 35 に示すように、皿ユニットベース 210 の前面に取付けられ上方が開放された浅い箱状の取付ベース 230 と、取付ベース 230 の上側に取付けられると共に後端が上皿本体 212 の前端に取付けられ上側からタッチユニット 200B を収容可能な上方が開放された浅い箱状のユニットケース 231 と、ユニットケース 231 の前端に取付けられる横長の上皿前レンズ部材 232 と、上皿前レンズ部材 232 とユニットケース 231 との間に配置され前面に複数の LED を備えた上皿前装飾基板 233 と、上皿前レンズ部材 232 の前側を覆いユニットカバー 224 に取付けられる透光性を有した上皿前装飾部材 234 と、を備えている。

30

【0163】

また、取付ベースユニット 220A は、ユニットケース 231 の後端に取付けられており上方へ向かって光を照射可能な複数の LED を備えた上皿後装飾基板 235 と、上皿後装飾基板 235 の上側に配置されユニットカバー 224 に取付けられる透光性を有した上皿後装飾部材 236 と、上皿後装飾部材 236 の前側においてユニットカバー 224 とユニットケース 231 とによって挟持され上皿後装飾基板 235 からの光を導いて上端が線状に発光可能な線状発光レンズ部材 237 と、上皿後装飾部材 236 の正面視右側でユニットカバー 224 に取付けられる筒状のボタン取付部材 238 と、ボタン取付部材 238 によって上下にスライド可能に取付けられる上皿球抜きボタン 239 と、を備えている。

40

【0164】

取付ベース 230 は、前後の略中央から前側に、前方へ向かうに従って低くなるように傾斜している平板状の取付側受部 230a と、取付側受部 230a を貫通しており左右に離間した二つの貫通口 230b と、貫通口 230b の周縁から下方へ延出している筒状の筒状受部 230c と、を備えている。貫通口 230b は、内周が四角形に形成されている

50

。筒状受部 230c は、下方へ向かうに従って窄まるように角錐筒状に形成されている（図 42 を参照）。詳述すると、筒状受部 230c は、前側の内周壁が取付側受部 230a の面に対して略垂直に延びており、後側の内周壁が取付側受部 230a の面に対して下方へ向かうに従って前方へ向かうように傾斜して延びている。また、筒状受部 230c は、左右両側の内周壁が取付側受部 230a の面の垂直に対して下端（先端）同士が僅かに接近するように傾斜して延びている。

【0165】

ユニットケース 231 は、上方へ開放されておりタッチユニット 220B を収容可能な収容凹部 231a と、収容凹部 231a の底面の正面視左右両端付近から夫々前後に離間して一対ずつ上方へ円柱状に突出している横支持ピン 231b と、収容凹部 231a の底面の前端付近から左右に離間して上方へ円柱状に突出している一対の前支持ピン 231c と、収容凹部 231a において底面の前後端側の左右中央から上方へ突出している中央支持突起 231d と、収容凹部 231a の底面の下側から下方へ向かうに従って窄まるように角錐状に突出しており左右に離間した二つの受突部 231e と、を備えている。

【0166】

また、ユニットケース 231 は、収容凹部 231a よりも正面視左側で上下に円形に貫通しておりボタンユニット 220C の下部が挿通される挿通孔 231f と、上面における挿通孔 231f の周りに配置されておりボタンユニット 220C を取付けるためのボタンユニット取付部 231g と、収容凹部 231a の後側の外周壁において左右に延びていると共に上端から下方へ窪み線状発光レンズ部材 237 の線状発光部 237b が配置される切欠部 231h と、を備えている。

【0167】

ユニットケース 231 の収容凹部 231a は、平面視の形状が、左右に延びた四角形と、その四角形の左右両辺から外側へ突出した台形とを組合せた形状に形成されている。また、収容凹部 231a は、左右両側の台形の部位の底面に対して、四角形の部位の底面が、下方へ低く形成されている。この収容凹部 231a の底面の段差は、ダンパ 222 の高さ（軸方向の長さ）よりも若干低く形成されている。

【0168】

四つの横支持ピン 231b は、収容凹部 231a における台形の部位の底面から上方へ突出しており、筒状のダンパ 222 内へ挿入可能に形成されている。また、横支持ピン 231b は、上端側に、上端側へ向かうに従って直径が小さくなる円錐台状のテーパ部 231i を備えている（図 41 を参照）。横支持ピン 231b は、収容凹部 231a の底面からテーパ部 231i の中間までの距離が、ダンパ 222 の長さと同じとされており、全体がダンパ 222 よりも長く形成されている。一対の前支持ピン 231c は、筒状のダンパ 222 内へ挿入可能とされており、ダンパ 222 の半分の長さよりも若干長く形成されている。

【0169】

中央支持突起 231d の上端は、収容凹部 231a における台形の部位の底面と同じ高さまで突出している。受突部 231e は、外周が四角形の円錐台状に形成されている。二つの受突部 231e は、取付ベース 230 の二つの貫通口 230b と対応した位置に形成されている。受突部 231e は、前側の外周壁が収容凹部 231a の底面に対して略垂直に延びており、後側の外周壁が収容凹部 231a の底面に対して下方へ向かうに従って前方へ向かうように傾斜して延びている。また、受突部 231e は、左右両側の外周壁が収容凹部 231a の面の垂直に対して下端（先端）同士が僅かに接近するように傾斜して延びている。受突部 231e の外周壁の形状は、取付ベース 230 の筒状受部 230c の内周壁の形状と対応している。この受突部 231e は、組立てた状態で、下端が取付ベース 231 の貫通口 230a 内に挿入されると共に、筒状受部 230c の内周壁との間に僅かな隙間が形成される。

【0170】

上皿前装飾部材 234 は、皿ユニット 200 が組立てられた状態で、前面が外部に露出

10

20

30

40

50

する。上皿後装飾基板 235 は、上皿後装飾部材 236 を発光装飾させるための複数の装飾用 LED 235a と、線状発光レンズ部材 237 を発光装飾させるための複数の周縁用 LED 235b と、を備えている。

【0171】

線状発光レンズ部材 237 は、上皿後装飾部材 236 よりも左右が長く形成されており、上皿後装飾基板 235 の複数の周縁用 LED 235b の上側に配置される受光部 237a と、受光部 237a と連続しユニットケース 231 の切欠部 231h に嵌め込まれる平板状の線状発光部 237b と、を備えている。線状発光レンズ部材 237 は、線状発光部 237b をユニットケース 231 の切欠部 231h に嵌め込むことで、線状発光部 237a の前面が収容凹部 231a の内周壁の一部を形成する。また、線状発光レンズ部材 237 は、皿ユニット 200 が組立てられた状態で、線状発光部 237b の上端が外部に露出する。この線状発光レンズ部材 237 は、周縁用 LED 235b からの光を受光部 237a で受光することができ、受光部 237a で受光した光を線状発光部 237b へ導光して線状発光部 237b の上端全体を（線状に）発光させることができる。

10

【0172】

上皿球抜きボタン 239 は、ボタン取付部材 238 によって上下にスライド可能に取付けられ、ボタン取付部材 238 よりも下方へ延出している延出片 239a を備えている。この上皿球抜きボタン 239 を下方へ押圧することで、上皿球抜きユニット 310 を動作させて上皿 201 内に貯留されている遊技球を、上皿 201 から下皿 202 へ排出する（抜く）ことができる。

20

【0173】

取付ベースユニット 220A は、四つの横支持ピン 231b と二つの前支持ピン 231c に夫々挿入されたダンパ 222 によって、タッチユニット 220B を弾性的に支持することができる。また、タッチユニット 220B が取付けられるユニットケース 231 の下方へ突出している二つの受突部 231e の外周面と、ユニットケース 231 の下側で受突部 231e の下端が挿入されている取付ベース 230 の筒状受部の内周面との間に僅かな隙間を形成している。これにより、タッチユニット 220B 側からユニットケース 231 が下方へ移動するような力（衝撃）が作用した時に、その力が直ちに取付ベース 230 の取付側受部 230a に伝達されず、ユニットケース 231 の収容凹部 231a の底面が下方へある程度撓んで受突部 231e の下端の外周面が筒状受部 230c の内周面に当接することで、取付ベース 230 側へ力が伝達される。つまり、ユニットケース 231 から取付ベース 230 へ力を伝達させる際に、ユニットケース 231 が撓むため、その撓みによって力のある程度減衰させて取付ベース 230 へ伝達させることができる。

30

【0174】

また、ユニットケース 231 の受突部 231e 及び取付ベース 230 の筒状受部 230c は、それらが形成されている面（タッチユニット 220B の上面と平行な面）に対して傾斜した外周面及び内周面を備えているため、受突部 231e から筒状受部 230c へ伝達される力の一部が、筒状受部 230c が備えられている取付側受部 230a の底面に沿った方向へ作用する。これにより、受突部 231e（ユニットケース 231）側からの力が分散し、取付ベース 230 に対して一方向へ大きな力が作用するのを回避させることができ、取付ベース 230 が破損し難くなる。

40

【0175】

[3-1d-2. タッチユニット]

演出操作ユニット 220 のタッチユニット 220B は、図 36 及び図 37 に示すように、上方が開放された浅い箱状の下ケース 240 と、下ケース 240 内に上側から取付けられる上皿液晶基板 241 と、下ケース 240 内において上皿液晶基板 241 の左右両外側に配置される一対の加振装置 242 と、一対の加振装置 242 及び上皿液晶基板 241 の上側を覆うと共に下ケース 240 に取付けられ上方が開放された浅い箱状のベース部材 243 と、ベース部材 243 内に上側から挿入され上皿液晶基板 241 によって制御され画像を表示可能な上皿液晶表示装置 244 と、上皿液晶表示装置 244 の外周を覆う薄い金

50

属板からなる枠状のアース金具 2 4 5 と、アース金具 2 4 5 及び上皿液晶表示装置 2 4 4 の上面を覆う透明なタッチパネル 2 4 6 と、タッチパネル 2 4 6 の外周を上側から覆いベース部材 2 4 3 を通して下ケース 2 4 0 に取付けられる枠状の上カバー 2 4 7 と、を備えている。

【0176】

また、タッチユニット 2 2 0 B は、下ケース 2 4 0、ベース部材 2 4 3 及び上カバー 2 4 7 を組立てた状態で、それらの後端面において、下ケース 2 4 0 の下端から上カバー 2 4 7 の上端まで上下に延びていると共に、下ケース 2 4 0 等の後端面の左右の略全長に亘って延びており、下ケース 2 4 0、ベース部材 2 4 3 及び上カバー 2 4 7 の後端面に貼付けられている防水性を有したシート状の防水シール 2 4 8 を備えている。

10

【0177】

下ケース 2 4 0 は、外形がユニットケース 2 3 1 の収容凹部 2 1 3 a の内形と対応しており、収容凹部 2 1 3 a 内に収容可能に形成されている。下ケース 2 4 0 は、左右に延びた長方形の基板取付部 2 4 0 a と、基板取付部 2 4 0 a の左右両側から夫々台形に突出している平板状の突出部 2 4 0 b と、各突出部 2 4 0 b をダンパ 2 2 2 の外径と同じ内形で上下に貫通していると共に一部が左右方向外側へ開放されており前後に離間して形成された一対のダンパ取付凹部 2 4 0 c と、ダンパ取付凹部 2 4 0 c の内周面から突出しているフランジ部 2 4 0 d と、突出部 2 4 0 b における一対のダンパ取付凹部 2 4 0 c の間で基板取付部 2 4 0 a 寄りに配置され加振装置 2 4 2 が取付けられる加振装置取付部 2 4 0 e と、を備えている。

20

【0178】

下ケース 2 4 0 のダンパ取付凹部 2 4 0 c は、平面視の形状が C 字状に形成されており、C 字の開放されている側からダンパ 2 2 2 を挿入させることができる。また、フランジ部 2 4 0 d は、ダンパ取付凹部 2 4 0 c の上下の略中央で、ダンパ取付凹部 2 4 0 c の C 字状の内周面の全周に亘って備えられている。このフランジ部 2 4 0 d は、ダンパ 2 2 2 の溝 2 2 2 a 内に挿入可能とされている。

【0179】

加振装置 2 4 2 は、小型の加振駆動モータ 2 4 2 a と、加振駆動モータ 2 4 2 a の回転軸に重心が偏芯して取付けられる錘 2 4 2 b と、を備えている。この加振装置 2 4 2 は、加振駆動モータ 2 4 2 a によって錘 2 4 2 b を回転させることで、振動を発生させることができる。

30

【0180】

ベース部材 2 4 3 は、上皿液晶表示装置 2 4 4 が上側から挿入され浅い箱状に形成された液晶取付凹部 2 4 3 a と、液晶取付凹部 2 4 3 a の左右両側から外方へ延出している延出部 2 4 3 b と、延出部 2 4 3 b の先端で下ケース 2 4 0 のダンパ取付凹部 2 4 0 c と対応する位置で上下に貫通しており上側が大径に座グリされたネジ孔 2 4 3 c と、ネジ孔 2 4 3 c の下端側に形成されており下端へ向かうに従って直径が大きくなる C 面取り状のテーパ部 2 4 3 d (図 4 1 を参照) と、を備えている。

【0181】

ベース部材 2 4 3 のネジ孔 2 4 3 c の下側の内径は、ユニットケース 2 3 1 における横支持ピン 2 3 1 b のテーパ部 2 3 1 i よりも先端側が通過することができると共に、テーパ部 2 3 1 i よりも基端側(下側)が通過することができない大きさに形成されている。

40

【0182】

タッチパネル 2 4 6 は、衝撃に強く割れ難い強化ガラスと、強化ガラスの上面に備えられた静電容量方式の透明なセンサシートと、強化ガラス及びセンサシートの外周を覆う枠状の保護カバーと、を備えている。

【0183】

タッチユニット 2 2 0 B は、下ケース 2 4 0 の左右に夫々一対ずつ備えられたダンパ取付凹部 2 4 0 c 内に、C 字の開放されている側からダンパ 2 2 2 を挿入して、ダンパ 2 2 2 を取付けることができる。この際に、ダンパ取付凹部 2 4 0 c の内周面から突出してい

50

るフランジ部240dが、ダンパ222の溝222a内に挿入される。これにより、ダンパ取付凹部240c内のダンパ222が、軸方向へ移動するのが規制される。ダンパ取付凹部240cにダンパ222を取付けた状態では、ダンパ222の上端がベース部材243の延出部243bの下面に当接すると共に、ダンパ222の下端が下ケース240の下端（下面）よりも下方へ突出する。

【0184】

また、タッチユニット220Bは、一對の加振装置242の加振駆動モータ242aが、下ケース240とベース部材243との間に挟持されている。一對の加振装置242は、夫々独立して振動を発生させることができる。

【0185】

また、タッチユニット220Bは、タッチパネル246を通して上皿液晶表示装置244に表示される画像を上側から視認することができる。そして、上皿液晶表示装置244にボタン等の画像を表示させ、遊技者がその画像のボタンを操作するようにタッチパネル246に触れることで、画像のボタンを操作することができる。

【0186】

更に、タッチユニット220Bは、後側の外周面に防水シール248が貼付けられているため、皿ユニット200上で飲み物等の液体をこぼした時に、その液体がタッチユニット220B内に浸入するのを防止することができ、タッチユニット220Bが液体の浸入によって破損するのを防止することができる。

【0187】

[3-1d-3. ボタンユニット]

演出操作ユニット220のボタンユニット220Cは、図38及び図39に示すように、取付ベースユニット220Aにおけるユニットケース231のボタンユニット取付部231gに取付けられる円筒状のユニット本体250と、ユニット本体250の下側に配置され上面にLEDが備えられた演出ボタン装飾基板251と、演出ボタン装飾基板251の下側を覆いユニット本体250の下側に取付けられる基板カバー252と、を備えている。

【0188】

また、ボタンユニット220Cは、ユニット本体250内に上側から上下へスライド可能に挿入される筒状のボタンベース253と、ボタンベース253とユニット本体250との間に配置されボタンベース253を上方へ付勢するバネ部材254と、ボタンベース253内に挿入され演出ボタン装飾基板251のLEDからの光を上方へ導くことが可能な導光部材255と、導光部材255の上側に配置され複数の微小なプリズムを備えたシート状の拡散レンズ部材256と、拡散レンズ部材256の上側を覆いボタンベース253に取付けられる透光性を有した上皿演出ボタン257と、演出ボタン装飾基板251の上面に取付けられておりボタンベース253の下降端への移動を検知する演出ボタン押圧センサ258と、を備えている。

【0189】

ユニット本体250は、外周面の下端から外方へ延出しボタンユニット取付部231gに取付けられる三つの取付片250aと、内周面の下端から内方へ延出しているフランジ状の柵部250bと、内周面に沿って柵部250bを貫通している一對の貫通口250cと、を備えている。

【0190】

ボタンベース253は、柵部250bの内周に挿入される筒状の下筒部253aと、下筒部253aの上端から上方へ向かうに従って直径が大きくなる円錐筒状の上筒部253bと、上筒部253bの上端から下方へ延出しており下端がユニット本体250の貫通口250cを貫通可能とされていると共に下端から外方へ突出しユニット本体250の下面と係合（当接）可能な爪を有する一對の係合爪部253cと、上筒部253bの外周面から上端の外径よりも短く外方へ放射状に突出しており下端がユニット本体250の柵部250bの上面と当接可能な複数の平板状の当接片253dと、下筒部253a及び上筒部

10

20

30

40

50

253bの外周面から外方へ平板状に延出しており演出ボタン押圧センサ258に検知される検知片253eと、を備えている。

【0191】

バネ部材254は、図示するように、コイルバネとされている。このバネ部材254は、下端がユニット本体250の棚部250bの上面に当接され、上端がボタンベース253における複数の当接片253dによって支持される。

【0192】

導光部材255は、ボタンベース253における上筒部253bの上部に嵌め込まれる円盤状の本体部255aと、本体部255aの下面から下方へボタンベース253の下筒部253aの下端付近まで延びている円柱状の複数の導光部255bと、を備えている。複数の導光部255bは、演出ボタン装飾基板251のLEDと対応するように備えられており、LEDからの光を導いて本体部255aの上面全体から放出させることができる。

10

【0193】

このボタンユニット220Cは、ボタンベース253、導光部材255、拡散レンズ部材256、及び上皿演出ボタン本体が一体的に組立てられており、それらが一緒にユニット本体250内を上下にスライドすることができる。これらボタンベース253等は、バネ部材254の付勢力によって、上皿演出ボタン257の上面がユニット本体250の上端よりも上方へ突出すると共に、ボタンベース253の一对の係合爪部253cがユニット本体250の下面と係合することで、これ以上の上昇が規制され、上皿演出ボタン257等が上昇端に位置した状態となる。

20

【0194】

バネ部材254の付勢力に抗して上皿演出ボタン257を下方へ押圧すると、上皿演出ボタン257等が下降し、ボタンベース253の検知片253eが、演出ボタン押圧センサ258によって検知され、上皿演出ボタン257の押圧操作が検知される。上皿演出ボタン257の押圧により、ボタンベース253が下降すると、ボタンベース253の複数の当接片253dの下端が、ユニット本体250の棚部250bの上面に当接し、これ以上の下降が規制され、上皿演出ボタン257等が下降端に位置した状態となる。

【0195】

また、ボタンユニット220Cは、演出ボタン装飾基板251のLEDを発光させることで、上皿演出ボタン257を発光装飾させることができる。演出ボタン装飾基板251のLEDは、フルカラーLEDとされており、上皿演出ボタン257を様々な色に発光装飾させることができる。

30

【0196】

[3-1d-4. 演出操作ユニットの特徴]

本実施形態の演出操作ユニット220は、図41に示すように、組立てた状態で、タッチユニット220Bの下ケース240のダンパ取付凹部240cに取付けられたダンパ222の下端が、下ケース240の下面よりも下方へ突出していることから、取付ベースユニット220Aのユニットケース231の収容凹部231aの底面と、タッチユニット220Bの下ケース240の下面との間に、隙間が形成される。また、ユニットケース231の四つの横支持ピン231bの先端面（上端面）は、ベース部材243のネジ孔243cの座グリの底面と一致しており、横支持ピン231bに対するタッチユニット220Bの上方へ移動が、横支持ピン231bの上端にねじ込まれたビス227の頭部の平座金によって規制されている。また、横支持ピン231bの上端側に形成されたテーパ部231iと、ベース部材243のネジ孔243cの下端側に形成されたテーパ部243dとは、互いに離間している。

40

【0197】

また、演出操作ユニット220は、図42に示すように、ユニットケース231の前支持ピン231cに挿入されているダンパ222の上面は、収容凹部231aの底面における横支持ピン231b側の底面よりも若干上方へ突出している。また、ユニットケース2

50

31の収容凹部231aの底面と、下ケース240の下面との間に隙間が形成されていることから、ユニットケース231の前支持ピン231cに挿入されたダンパ222の上面と、下ケース240の下面との間にも隙間が形成されている。また、ユニットケース231の中央支持突起231dの上面と下ケース240の下面との間にも隙間が形成されている。つまり、タッチユニット220Bは、左右両側の横支持ピン231bに挿入されたダンパ222によって、下面が宙に浮いた状態で取付ベースユニット220Aに取付けられている。

【0198】

更に、演出操作ユニット220は、取付ベースユニット220Aの取付ベース230における下方へ窄まる角錐筒状の筒状受部230c内に、上側からタッチユニット220Bが取付けられているユニットケース231における下方へ窄まる角錐状の受突部231eの下端が挿入されている。この筒状受部230cの内周壁と、受突部231eの外周壁との間には、僅かな隙間が形成されている。これにより、通常の状態では、取付ベース230には、ユニットケース231の内側（収容凹部231aの中央側）が宙に浮いた状態で、ユニットケース231の外周付近のみが取付けられている。

【0199】

また、演出操作ユニット220は、図31等に応示するように、タッチユニット220Bにおいて遊技領域5aに近い後側の辺に沿って線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの上端が線状（帯状）に露出している。線状発光部237bの上端の長さは、タッチユニット220Bの後辺の長さの約2/3である。このタッチユニット220Bの後辺に沿って露出している線状発光部237bの上端の後側に、上皿後装飾部材236が配置されている。また、上皿後装飾部材236の正面視右側に、上皿球抜きボタン239が配置されている。更に、タッチユニット220Bの正面視左側に、ボタンユニット220Cが配置されている。

【0200】

この演出操作ユニット220は、遊技領域5a内に遊技球を打込むことで変化する遊技状態に応じて、遊技者に対して様々な演出を提示することができる。例えば、タッチユニット220Bの上皿液晶表示装置244に画像を表示させることで、透明なタッチパネル246を通して画像（演出画像）を遊技者に提示して楽しませることができる。

【0201】

この上皿液晶表示装置244に表示される画像として、操作ボタンを模した画像を表示させると共に、タッチパネル246のセンサシート246bによるタッチの検知を受付可能とすることで、遊技者に対して画像の操作ボタンを操作させることができ、タッチパネル246を用いた演出を楽しむことができる。タッチパネル246を用いた演出の際に上皿液晶表示装置244に表示される画像は、操作ボタンに限定するものではなく、様々な画像を表示させることができる。

【0202】

また、演出操作ユニット220では、タッチユニット220Bを複数のダンパ222によってユニットケース231から浮いた状態で支持しているため、遊技状態に応じて加振装置242を動作させることで、タッチユニット220Bを振動させることができる。タッチパネル246を用いた演出の際に、加振装置242によってタッチパネル246（タッチユニット220B）を振動させることで、加振装置242による振動をタッチパネル246に接触している遊技者の指や手等に伝達させて、遊技者に対して画像の操作ボタンを操作しているにも関わらず恰も実体のある操作ボタンを操作しているように錯覚させて驚かせることができ、タッチパネル246と振動による演出を遊技者に楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0203】

更に、演出操作ユニット220では、タッチユニット220Bの正面視左側にボタンユニット220Cを備えているため、遊技状態に応じて遊技者に上皿演出ボタン257を押圧操作させて、上皿演出ボタン257の操作を楽しむことができる。詳述すると、タ

タッチパネル 246 における画像の操作ボタンでは、タッチパネル 246 に触れるだけであるため実際の操作ボタンと比較して操作感に欠ける嫌いがあるが、上皿演出ボタン 257 では現実には押圧操作することができるため、上皿演出ボタン 257 の操作に違和感を与えてしまうことがなく、上皿演出ボタン 257 の操作を快適に楽しませることができ、遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

【0204】

この演出操作ユニット 220 は、前方へ膨出している皿ユニット 200 において上皿 201 が備えられている部位に配置されているため、タッチユニット 220 B やボタンユニット 220 C を用いた演出中以外においても、遊技者をタッチユニット 220 B 等を上から叩く虞がある。これに対して、演出操作ユニット 220 では、タッチユニット 220 B をダンパ 222 によって下側のユニットケース 231 から浮いた状態で支持しているため、タッチユニット 220 B が上から叩かれても、ダンパ 222 の弾性力によってその衝撃をある程度吸収することができる。詳述すると、タッチユニット 220 B が叩かれたり等して上から衝撃（荷重）が作用すると、左右の横支持ピン 231 b が挿入されているダンパ 222 に伝達され、タッチユニット 220 B が下降しながらダンパ 222 が圧縮される。横支持ピン 231 b に支持されたダンパ 222 が圧縮されることで、タッチユニット 220 B からの衝撃が吸収される。

10

【0205】

そして、更に、衝撃によってタッチユニット 220 B が下降すると、下ケース 240 の下面が前支持ピン 231 c が挿入されているダンパ 222 の上端に当接し、タッチユニット 220 B の下降に伴って前支持ピン 231 c に支持されているダンパ 222 が下方へ圧縮される。これにより、横支持ピン 231 b に支持されているダンパ 222 に加えて、前支持ピン 231 c に支持されているダンパ 222 によっても、タッチユニット 220 B からの衝撃が吸収される。

20

【0206】

タッチユニット 220 B に作用する衝撃によってタッチユニット 220 B が更に下降すると、タッチユニット 220 B の下ケース 240 の下面がユニットケース 231 における収容凹部 231 a の左右両側の底面と中央支持突起 231 d の上面とに当接する。これにより、タッチユニット 220 B からの衝撃が、複数のダンパ 222 介さず、タッチユニット 220 B からユニットケース 231 へ直接作用することとなる。

30

【0207】

更に、タッチユニット 220 B が下降すると、中央支持突起 231 d からの荷重によってユニットケース 231 の収容凹部 231 a の底面が、その中央が下方へ移動するように撓むこととなる。この収容凹部 231 a の底面の撓みによる弾性力によって、タッチユニット 220 B からの衝撃が吸収される。この収容凹部 231 a の底面が撓むことで、収容凹部 231 a の底面の下側から下方へ突出している一对の受突部 231 e が下降する。そして、タッチユニット 220 B からの衝撃によって受突部 231 e が更に下降すると、受突部 231 e の外周壁の下端側が、取付ベース 230 の筒状受部 230 c の内周壁に当接し、タッチユニット 220 B からの衝撃が、ユニットケース 231 から取付ベース 230 へ伝達されることとなる。

40

【0208】

受突部 231 e の外周壁と筒状受部 230 c の内周壁は、夫々が下方へ窄まる角錐状に形成されていることから、受突部 231 e から筒状受部 230 c（取付ベース 230 側）へ伝達される荷重が、取付ベース 230 の取付側受部 230 a の底面に沿った方向と底面に垂直な方向とに分散されて伝達される。このように、タッチユニット 220 B に作用した衝撃が、取付ベース 230 に伝達されるまでに、その衝撃を吸収する構成が幾重にも配置されているため、タッチユニット 220 B に作用した衝撃を十分に吸収して緩和させることができ、その衝撃によって、タッチユニット 220 B、ユニットケース 231、取付ベース 230 等を破損し難くすることができる。

【0209】

50

また、演出操作ユニット220は、遊技状態に応じて上皿後装飾基板235の周縁用LED235bによりタッチユニット220Bの後側の外周縁に沿って延びている線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの上端を線状に発光させることができる。これにより、遊技者の関心をタッチユニット220Bへ引付けることができ、タッチユニット220Bにおける上皿液晶表示装置244に表示される画像や、タッチパネル246を用いたタッチ演出等を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0210】

また、遊技状態に応じて、上皿後装飾基板235の装飾用LED235aによりタッチパネル220Bの後側（線状発光部237bよりも後側）に配置されている上皿後装飾部材236を発光装飾させることができる。この上皿後装飾部材236を発光装飾させることで、線状発光レンズ部材237の線状発光部237bの発光と同様に、遊技者の関心をタッチユニット220B等の演出操作ユニット220へ引付けることができ、演出操作ユニット220によって提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

10

【0211】

更に、上皿液晶基板241や上皿液晶表示装置244を備えたタッチユニット220Bを、取付ベースユニット220Aの取付ベース230とユニットケース231とによって、皿ユニットカバー260の後述する上皿下被覆部262の上面よりも高い位置に配置していると共に、タッチユニット220Bの後側の外周面に防水シール248を貼付けている。これにより、上皿201において、外気に触れることで上皿本体212や遊技球の表面で結露した水（水滴）が、上皿201の下方（上皿下被覆部262上）へ流動しても、タッチユニット220B内へ結露した水が浸入するのを防止することができ、タッチユニット220Bにおいて不具合が発生するのを防止することができる。

20

【0212】

また、図42に示すように、上皿後装飾部材236や線状発光レンズ部材237を発光装飾させる上皿後装飾基板235を、上皿201の底面よりも高い位置に配置しているため、上皿201で結露した水滴にさらされることがなく、上皿後装飾基板235においてショートや腐蝕等の不具合が発生するのを防止することができる。

【0213】

[3-1e. 皿ユニットカバー]

30

皿ユニット200の皿ユニットカバー260は、図27乃至図30に示すように、左右に延びていると共に、左右の中央が前方へ膨出しており、後方へ開放された殻状に形成されている。皿ユニットカバー260は、左右の略中央で前方へ開口しており後端が皿ユニットベース210によって閉鎖される下皿開口部261と、下皿開口部261の内周壁における天板側（上側）を形成しており上皿本体212及び演出操作ユニット220の下側を覆う上皿下被覆部262と、下皿開口部261の正面視左側に配置されており本体枠4のスピーカユニット920の低音スピーカからの音を透過させるスピーカグリル263と、スピーカグリル263の上側に配置され皿ユニット左装飾基板345によって発光装飾される皿ユニット左装飾部材264と、下皿開口部261の正面視右側に配置されておりハンドルユニット500のハンドル本体502の後部が通過するハンドル口265と、皿ユニットカバー260の底面を形成しており下皿本体214の下側を覆う底板部266と、左右の中央で底板部266を上下に貫通しており下皿球抜きユニット320によって閉鎖される底板開口部267と、を備えている。

40

【0214】

下皿開口部261は、内周壁の底板側（下側）が下皿本体214によって閉鎖される。スピーカグリル263及び皿ユニット左装飾部材264は、金属板に複数の孔を設けたパンチングメタルによって構成されている。

【0215】

この皿ユニットカバー260は、正面視左側の表面が滑らかな感じに形成されているのに対して、右側の表面がゴツゴツした感じに形成されている。また、正面視の右側は、略

50

全体的に透光性を有している。

【0216】

皿ユニットカバー260は、皿ユニット200に組立てた状態で、タッチユニット220Bの上面と上皿下被覆部262の下面との間が、片手で掴むことが可能な間隔に形成されている。これにより、遊技者が、タッチユニット220Bをタッチ操作する際に、下皿開口部261の上側を掴むことで、タッチする指（手や腕）を安定させることができ、タッチユニット220Bのタッチ操作を行い易くできる。

【0217】

詳述すると、組立てた状態では、タッチユニット220Bの前端上面と上皿下被覆部262の下面との間の厚さが約25mmに、タッチユニット220Bの後端上面と上皿下被覆部262の下面との間の厚さが約50mmに、上皿下被覆部262の前端からタッチユニット220Bの後端までの前後の距離が約60mmに、夫々形成されている。また、タッチユニット220Bの上面が、水平に対して約20度傾斜している。これにより、タッチユニット220Bの上面と上皿下被覆部262の下面との間を、遊技者の手で掴むことができる。

【0218】

[3-1f. 扉右下演出ユニット]

皿ユニット200の扉右下演出ユニット270は、図43乃至図50に示すように、ハンドルユニット500の上側、且つ、演出操作ユニット200の右側に配置されており、遊技状態に応じて回転すると共に発光装飾する球状の扉右下回転体270Aを備えている。扉右下演出ユニット270は、皿ユニットベース210の前面で逃し口210gを閉鎖するように取付けられ扉右下回転体270Aを回転可能に支持するユニットベース271と、ユニットベース271に取付けられている扉右下駆動モータ272と、扉右下駆動モータ272の回転軸に固定されている駆動ギア273と、駆動ギア273と噛合し扉右下回転体270Aに取付けられている従動ギア274と、従動ギア274を回転可能に支持しておりユニットベース271に取付けられている軸部材275と、を備えている。

【0219】

また、扉右下演出ユニット270は、従動ギア274とは扉右下回転体270Aの反対側に取付けられておりユニットベース271に回転可能に支持されている回転体側軸受部材276と、扉右下回転体270Aの従動ギア274とは反対側をユニットベース271と協働して回転可能に支持しているベース側軸受部材277と、ユニットベース271に取付けられており扉右下回転体270Aの回転位置を検知可能な二つの回転検知センサ278と、扉右下回転体270Aの正面視左側でユニットベース271に取付けられている装飾部材279と、ユニットベース271の後側に取付けられており前面に複数のLEDを備えた扉右下ベース装飾基板280と、ユニットベース271の後側に取付けられており扉右下駆動モータ272、回転検知センサ278、扉右下ベース装飾基板280、及び後述する扉右下回転体装飾基板291と周辺制御基板（図示は省略）との接続を中継する扉右下中継基板281と、を備えている。

【0220】

扉右下回転体270Aは、外殻を構成し夫々が半球殻状の前外殻部材285及び後外殻部材286と、前外殻部材285と後外殻部材286との間に配置される回転体内部ユニット290と、を備えている。前外殻部材285及び後外殻部材286は、回転軸を中心に半円形状の切欠部285a、286aが夫々形成されている。前外殻部材285は、透光性を有した半球殻状の表面に、金属光沢を有し周方向へ帯状に延びている帯装飾285bと、帯装飾285bの中央に配置されているハート形のハート装飾285cと、を備えている。一方、後外殻部材286は、透光性を有した半球殻状の表面に、金属光沢を有し周方向へ帯状に延びている帯装飾286bを備えている。前外殻部材285と後外殻部材286とを合わせた時に、前外殻部材285の帯装飾285bと後外殻部材286の帯装飾286bとが繋がるように形成されている。

【0221】

回転体内部ユニット290は、図48及び図49に示すように、円盤状で両面に複数のLEDが備えられている扉右下回転体装飾基板291と、扉右下回転体装飾基板291の中心に取付けられており扉右下回転体装飾基板291の面に対して垂直に延びており先端が軸部材275に取付けられる円柱状の第一固定軸部材292と、第一固定軸部材292とは扉右下回転体装飾基板291の反対側に取付けられており扉右下回転体装飾基板291の面に対して垂直に延びており先端がユニットベース271及びベース側軸受部材277に取付けられる円筒状の第二固定軸部材293と、を備えている。図示は省略するが、第二固定軸部材293の内部には、扉右下中継基板281と扉右下回転体装飾基板291とを接続する配線コードが挿入されている。

【0222】

10

また、回転体内部ユニット290は、扉右下回転体装飾基板291の両側に配置されており前外殻部材285及び後外殻部材286の内側に取付けられる平板で円環状の透明なリフレクタベース294と、リフレクタベース294に取付けられており円環状で軸方向外側へ開いた朝顔状の第一リフレクタ295と、第一リフレクタ295の円環内を通してリフレクタベース294に取付けられており中心に六角形の貫通孔296aを有した第二リフレクタ296と、を備えている。第一リフレクタ295及び第二リフレクタ296は、表面に金属光沢を有したメッキ層が備えられており、扉右下回転体装飾基板291からの光を反射させることができる。また、第一リフレクタ295及び第二リフレクタ296には、放射状に延びた平板状のリブが複数備えられている。

【0223】

20

この回転体内部ユニット290は、扉右下回転体装飾基板291、第一固定軸部材292、及び第二固定軸部材293と、リフレクタベース294、第一リフレクタ295、及び第二リフレクタ296とが、相対回転可能に互いに分離している。

【0224】

ユニットベース271は、扉右下回転体270Aの後側に配置される環状のリング部271aと、リング部271aの外周におけるリング部271aの中心に対して正面視斜め右上の部位から前方へ平板状に突出している第一突出片271bと、リング部271aの外周における第一突出片271bとは反対側の部位から前方へ平板状に突出している第二突出片271cと、第二突出片271cの前端から後方へ向かってU字状に窪み第二固定軸部材293の先端が挿入される軸受溝271dと、を備えている。

30

【0225】

扉右下駆動モータ272は、第一突出片271bの外側の側面（右側の側面）に、回転軸が貫通した状態で取付けられる。従動ギア274は、駆動ギア273よりも大径に形成されている。軸部材275は、第一突出片271bの前端に取付けられる取付部275aと、取付部275aから筒状に突出している筒状軸部275bと、を備えている。この軸部材275は、筒状軸部275bの外周によって従動ギア274を回転可能に支持できると共に、筒状軸部275bの内周によって第一固定軸部材292の先端を回転不能に支持できる。

【0226】

回転体側軸受部材276は、第二固定軸部材293が回転可能に挿入される軸受孔276aと、外方へ延出している平板状の検知片276bと、を備えている。ベース側軸受部材277は、ユニットベース271における第二突出片271cの前端のU字状の軸受溝271dの開放されている前端側を閉鎖するように、第二突出片271cの前端に取付けられる。二つの回転検知センサ278は、扉右下回転体270Aの回転軸を挟んで対称に第二突出片271cに取付けられる。二つの回転検知センサ275は、扉右下回転体270Aのハート装飾285cが前方を向く回転位置（図50（a）を参照）と、ハート装飾285cが後方を向く回転位置（図50（b）を参照）とを、夫々検知することができる。

40

【0227】

本実施形態の扉右下演出ユニット270は、遊技状態に応じて、扉右下駆動モータ27

50

2によって扉右下回転体270Aを回転させることができると共に、ハート装飾285cが前方を向くように停止するか否かで、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0228】

また、扉右下演出ユニット270は、扉右下回転体270A内部の扉右下回転体装飾基板291が回転不能に取付けられていることから、扉右下回転体270Aの回転中に、扉右下回転体装飾基板291（のLED）を発光させると、扉右下回転体270Aの回転につれて扉右下回転体装飾基板291から照射される光の位置が移動すると共に、第一リフレクタ295や第二リフレクタ296によって反射誘導される光の方向が変化するため、扉右下回転体装飾基板291のLEDを点滅させなくても、光が点滅しているように扉右下回転体270Aを発光装飾させたり、LEDから多様な色の光を照射することで扉右下回転体270Aを虹色に発光装飾させたりすることができ、遊技者を楽しませることができる。

10

【0229】

[3-1g. 演出ユニットカバー]

皿ユニット200の演出ユニットカバー300は、図29及び図30に示すように、扉右下演出ユニット270における球状の扉右下回転体270Aの前側を覆う半球状で透明な回転体カバー部301と、回転体カバー部301の外周に形成されており皿ユニットカバー260の正面視右側の装飾と連続した装飾部302と、回転体カバー部301の下部右側において前後に貫通しており施錠ユニット700の鍵シリンダ710が挿通されるシリンダ挿通口303と、を備えている。

20

【0230】

演出ユニットカバー300は、全体が後方が開放された容器状で、透光性を有している。この演出ユニットカバー300は、回転体カバー部301の上側が扉右下演出ユニット270の扉右下ベース装飾基板280によって発光装飾されると共に、回転体カバー部301の下側が皿ユニット右装飾基板346によって発光装飾される。

【0231】

[3-1h. 上皿球抜きユニット]

皿ユニット200の上皿球抜きユニット310は、図51乃至図53に示すように、皿ユニットベース210の透口210e及び受片210fを前側から覆うように皿ユニットベース210の前面に取付けられ後方が開放された縦長箱状で上部に上皿球抜きボタン239の延出片239aが挿通可能な挿通口311aを有しているカバー311と、カバー311内における皿ユニットベース210の透口210eの正面視左上となる位置に取付けられている前ベース部材312と、前ベース部材312によって回転可能に支持されており上皿球抜きボタン239の押圧により回転する押圧伝達部材313と、押圧伝達部材313を上皿球抜きボタン239が上昇する方向へ付勢している第一バネ部材314と、を備えている。

30

【0232】

また、上皿球抜きユニット310は、皿ユニットベース210の上皿球送り口210dを後側から閉鎖するように皿ユニットベース210の後側に取付けられている後ベース部材315と、後ベース部材315と皿ユニットベース210との間に配置されていると共に後ベース部材315によって昇降可能に取付けられており上側から押圧伝達部材313が接触している上皿球抜きスライダ316と、上皿球抜きスライダ316を上方へ付勢している第二バネ部材317と、を備えている。

40

【0233】

前ベース部材312は、皿ユニットベース210の前面と平行に延びておりカバー311に取付けられる平板状のベース部312aと、ベース部312aの左右両辺から前方へ平板状に延出している一对の延出片312bと、延出片312bの前端から後方へU字状に凹んだ軸支部312cと、ベース部312aの前面下端付近に備えられており第一バネ部材314の後端に係止される鉤状のバネ係止部（図示は省略）と、を備えている。

50

【0234】

押圧伝達部材313は、両端が前ベース部材312の一对の軸支部312c内へ回転可能に挿入される横長円柱状の軸部313aと、軸部313aから後方へ平板状に延出している後方延出片313bと、後方延出片313bの上面における正面視左端付近から上方へ平板状に延出しており上皿球抜きボタン239の延出片239cの下端が当接可能な上方延出片313cと、後方延出片313bの下面における正面視右端から下方へ平板状に延出している下方延出片313dと、軸部313aにおける正面視左端付近の下側から下方へ突出しており第一バネ部材314の前端に係止される鉤状のバネ係止部313eと、を備えている。下方延出片313dは、後方へ向かうに従って下方へ延びる三角形に形成されており、下端が上皿球抜きスライダ316と当接可能とされている。

10

【0235】

後ベース部材315は、皿ユニットベース210の後面と平行に平板状に延びており皿ユニットベース210に取付けられるベース部315aと、ベース部315aの前面で左右に離間して備えられており上皿球抜きスライダ316の左右両端をスライド可能に支持するスライダ支持部315bと、ベース部315aの上端における皿ユニットベース210の上皿球送り口210dの上部と対応する位置に前方へ開口していると共にベース部315aの後側で下方へ開口し遊技球が流通可能な上部入口315cと、を備えている。

【0236】

また、後ベース部材315は、ベース部315aの後側で上部入口315cと連続して下方へ延びていると共に後方へ開放されており下端が後方へ湾曲している第一誘導路315dと、第一誘導路315dの下側から下方へ延びた後に正面視左方へ延びて左端が左方へ開放されており全体が後方へ開放されているL字状の第二誘導路315eと、第二誘導路315eにおける左方へ延びた部位の後端側を閉鎖している平板状の通路蓋315fと、L字状の第二誘導路315eに二辺が囲まれるようにベース部315aを前後に貫通している開口部315gと、ベース部315aの前面から前方へボス状に突出しており第二バネ部材317の上端に係止されるバネ係止部315hと、を備えている。

20

【0237】

後ベース部材315におけるL字状の第二誘導路315eは、左方へ延びた部位が、左方へ向かうに従って低くなるように傾斜している。この第二誘導路315eの左端は、図51(b)に示すように、皿ユニットベース210における筒状の下皿球供給口210cの切欠部210jに挿入されており、第二誘導路315eと下皿球供給口210cとが互いに連通している。

30

【0238】

上皿球抜きスライダ316は、平板状で左右両端が後ベース部材315のスライダ支持部315bにスライド可能に支持されるスライダベース316aと、スライダベース316aの上端における正面視中央より左側から前方へ皿ユニットベース210の透口210eを通して受片210fの上側へ延出し上面に押圧伝達部材313の下方延出片313dの下端が当接可能な伝達片316bと、伝達片316bの下側でスライダベース316aの後側から下方へ向かうに従って後方へ突出している三角状の作動伝達部316cと、スライダベース316aの前面から突出しており第二バネ部材317の下端に係止される鉤状のバネ係止部316dと、を備えている。

40

【0239】

上皿球抜きユニット310は、皿ユニット200を組立てた状態で、後ベース部材315の上部入口315cが、上皿本体212の誘導通路部212aの正面視右端側となる下端に開口している。これにより、上皿201内の遊技球を、上部入口315cからベース部315aの後側の第一誘導部315dを介して球送りユニット540へ供給することができる。

【0240】

また、上皿球抜きユニット310は、上皿球抜きボタン239を下方へ押圧すると、上皿球抜きボタン239の延出片239aによって押圧伝達部材313が、第一バネ部材3

50

14の付勢力に抗して軸部313aを中心に、下方延出片313dの下端が下方へ移動する方向へ回転する。押圧伝達部材313の回転に伴って下方延出片313dの下端が下方へ移動すると、下方延出片313dの下端が当接している上皿球抜きスライダ316の伝達片316bによって上皿球抜きスライダ316が第二バネ部材317の付勢力に抗して下方へスライドする。

【0241】

この上皿球抜きスライダ316が下方へスライドすることで、作動伝達部316cが、球送りユニット540の切換機構を動作させて球送りユニット540内での流路が切換えられて、第一誘導路315d側が第二誘導路315e側と連通した状態となる。これにより、上皿201内の遊技球が、上部入口315c、第一誘導路315d、球送りユニット540、及び第二誘導路315eを通して、下皿球供給口210cから下皿202へ排出され、上皿201内の遊技球を抜くことができる。

10

【0242】

なお、上皿球抜きボタン239の下方への押圧を解除すると、第一バネ部材314及び第二バネ部材317の付勢力によって、上皿球抜きスライダ316や上皿球抜きボタン239が上昇し、元の状態に復帰することができる。

【0243】

[3-1i. 下皿球抜きユニット]

皿ユニット200の下皿球抜きユニット320は、図54等に応示するように、皿ユニットカバー260の底板開口部267を閉鎖するように下皿本体214の下側に取付けられ下皿本体214の球抜き孔214aと一致する開口部321aを有している平板状の下皿球抜きベース321と、下皿球抜きベース321上を左右にスライドし開口部321aを閉鎖可能な平板状のスライド蓋322と、スライド蓋322の前端に取付けられており皿ユニットカバー260の前面から外部へ露出する摘み部323と、スライド蓋322によって開口部321aを閉鎖する方向へスライド蓋322を付勢しているバネ部材324と、バネ部材324の付勢力に抗してスライド蓋322を開口部321aを開放している位置に保持する保持装置325と、を備えている。

20

【0244】

下皿球抜きベース321の開口部321aは、正面視左右中から右寄りの位置に形成されている。この下皿球抜きベース321は、下皿本体212に取付けることで、下皿球抜きベース321と下皿本体212との間でスライド蓋322を左右へスライド可能に支持することができる。スライド蓋322は、正面視左端側に保持装置325によって保持される保持突起322aを備えている。

30

【0245】

保持装置325は、下皿球抜きベース321に取付けられる本体325aと、本体325aから開閉可能に突出しており保持突起322aを掴むことができる一対の保持爪325bと、を備えている。保持装置325は、開いている一対の保持爪325aの間に、保持突起322aを挿入して本体325a側へ押圧すると、一対の保持爪325bが閉じて保持突起322aを保持すると共に、一対の保持爪325bが閉じた状態で維持される。この状態で、保持突起322aを本体325a側へ移動させると、一対の保持爪325aが開いた状態となり、保持突起322aの保持が解除される。

40

【0246】

この下皿球抜きユニット320は、摘み部323（スライド蓋322）が正面視右側へ移動している状態では、開口部321aと下皿本体214の球抜き孔214aとの間にスライド蓋322が位置し、下皿202内の遊技球が、球抜き孔214aから下方へ抜けることがなく、下皿202内に遊技球を貯留させることができる。

【0247】

この状態から、摘み部323を左側へ操作することでスライド蓋322が左方へスライドし、開口部321aと球抜き孔214aとが連通する。これにより、下皿202内の遊技球が球抜き孔214a及び開口部321aを通して皿ユニット200の下方へ抜けるよ

50

うになり、下皿２０２内の遊技球を抜くことができる。この際に、スライド蓋３２２の保持突起３２２aが、保持装置３２５の一对の保持爪３２５bによって保持されるため、摘み部３２３の操作をやめてもスライド蓋３２２が開いたままの状態となり、下皿２０２内の遊技球を抜き続けることができる。

【０２４８】

スライド蓋３２２を閉めるには、摘み部３２３を左側へ僅かに操作すると、一对の保持爪３２５bが開いて保持突起３２２aの保持が解除され、バネ部材３２４の付勢力によってスライド蓋３２２が右側へスライドして、球抜き孔２１４aを閉鎖する。このように、下皿球抜きユニット３２０の摘み部３２３を操作することで、下皿２０２に遊技球を貯留させたり、下皿２０２に貯留された遊技球を抜いたりすることができる。

10

【０２４９】

[３－１j．球貸操作ユニット]

皿ユニット２００の球貸操作ユニット３３０は、図２９及び図３０等に応示するように、演出操作ユニット２２０における正面視右端付近の上面に取付けられ透光性を有しているユニットケース３３１と、ユニットケース３３１の上面に露出しており遊技者が操作可能な球貸ボタン３３２と、球貸ボタン３３２の後側でユニットケース３３１の上面に露出しており遊技者が操作可能な返却ボタン３３３と、返却ボタン３３３の後側でユニットケース３３１の上面を通して遊技者側から視認可能とされている表示部３３４と、を備えている。

【０２５０】

20

この球貸操作ユニット３３０は、パチンコ機１に隣接して設けられた球貸機に対して現金やプリペイドカードを投入した上で、球貸ボタン３３２を押すと、所定数の遊技球を皿ユニット２００の上皿２０１内へ貸出す（払出す）ことができると共に、返却ボタン３３３を押すと貸出された分の残りを引いた上で投入した現金の残金やプリペイドカードが返却される。また、表示部３３４には、球貸機に投入した現金やプリペイドカードの残数、或は、球貸機が故障した時のエラーコード等、が表示される。

【０２５１】

[３－１k．上皿トップ装飾部材]

皿ユニット２００の上皿トップ装飾部材３４０は、図２９及び図３０等に応示するように、皿ユニットベース２１０の上端における左右中央に取付けられ左右に帯状に延びた透光性を有する上皿トップレンズ３４０aと、上皿トップレンズ３４０aの下側に取付けられており上面に複数のＬＥＤが取付けられた上皿トップ装飾基板３４０bと、を備えている。

30

【０２５２】

この上皿トップ装飾部材３４０は、上皿トップ装飾基板３４０bのＬＥＤを発光させることで、上皿トップレンズ３４０aを帯状に発光させることができる。この上皿トップ装飾部材３４０は、演出操作ユニット２００の後側に配置されていることから、上皿後装飾部材２３６や線状発光レンズ部材２３７等の発光装飾と同様に、上皿トップ装飾部材３４０を発光装飾させることで、遊技者の関心をタッチユニット２２０B等の演出操作ユニット２２０へ引付けることができ、演出操作ユニット２２０によって提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

40

【０２５３】

[３－１l．皿ユニットの特徴的な作用効果]

本実施形態の皿ユニット２００は、遊技領域５aの下側の遊技球を貯留する上皿２０１を有した皿ユニット２００の上面における演出操作ユニット２２０のタッチユニット２２０Bに、遊技領域５a内に遊技球を打込むことで変化する遊技状態に応じて上皿液晶表示装置２４４に画像を表示させる際に、上皿液晶表示装置２４４の遊技領域５aに近い側の後側の外周縁に沿って帯状の線状発光レンズ部材２３７、上皿後装飾部材２３６、及び上皿トップ装飾部材３４０等を発光させることができるため、遊技者の視線が遊技領域５a内に集中していても、視線（視界）の外側から入る線状発光レンズ部材２３７等の光に気付くことができ、遊技者の視線（関心）を線状発光レンズ部材２３７等つまり上皿液晶表

50

示装置 244 側へ引き付けることができる。従って、上皿液晶表示装置 244 において、遊技状態に応じて画像等の演出を提示する際に、線状発光レンズ部材 237 等を発光させることで、遊技者に対して上皿液晶表示装置 244 による演出の提示に気付かせることができ、上皿液晶表示装置 244 による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0254】

また、皿ユニット 200 に遊技状態に応じて画像を表示可能な上皿液晶表示装置 244 を備えていることから、チャンスの到来を示唆する画像を表示させるようにした場合、遊技領域 5a 外に配置されている上皿液晶表示装置 244 によってチャンスの到来が示唆されることとなるため、遊技者に対して遊技領域 5a 内での遊技と、遊技領域 5a 外の上皿液晶表示装置 244 での演出との両方を気に掛けさせることができる。従って、遊技領域 5a 内と遊技領域 5a 外（上皿液晶表示装置 244）とを気に掛けさせることで、スピード感のあるタイトな遊技を楽しませることができ、遊技者の興味が低下するのを抑制することができる。また、上皿液晶表示装置 244 においてチャンスの到来を示唆する画像を表示する時に、線状発光レンズ部材 237 等を発光させることで、遊技者を上皿液晶表示装置 244 に注目させることができ、チャンスの到来を確実に認識させて遊技者を楽しませることができる。この場合、遊技者によっては、遊技領域 5a 内と遊技領域 5a 外との両方が気になることで、どちらにも集中できなくなって興味が低下してしまう虞があるが、遊技状態（チャンスの到来）に応じて線状発光レンズ部材 237 等が発光するため、線状発光レンズ部材 237 等が発光するまでは遊技領域 5a 内へ集中することができ、遊技領域 5a 内での遊技を楽しませることができると共に、線状発光レンズ部材 237 等の発光時には上皿液晶表示装置 244 での演出を楽しませることができ、遊技にメリハリを付けて飽き難くすることができる。

【0255】

また、遊技領域 5a の下側で遊技者側へ膨出した皿ユニット 200 に上皿液晶表示装置 244 を備えているため、上皿液晶表示装置 244 が遊技者から近い位置に配置されることとなる。これにより、本パチンコ機 1 の正面に位置している遊技者によって上皿液晶表示装置 244 が隠れ易くなり、上皿液晶表示装置 244 を隣や後ろの他の遊技者からは見え難くなるため、上皿液晶表示装置 244 により提示される演出を当該遊技者のみに楽しませることができる。従って、上皿液晶表示装置 244 による演出を楽しんでいる時に、他の遊技者によって覗かれることで、不快に感じて興味が低下してしまうのを低減させることができると共に、上皿液晶表示装置 244 による演出の提示の際に線状発光レンズ部材 237 等が発光することで、上皿液晶表示装置 244 による演出を見逃し難くすることができ、上皿液晶表示装置 244 による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0256】

更に、線状発光レンズ部材 237 等を帯状に発光させるようにしているため、点状に発光させる場合と比較して、線状発光レンズ部材 237 等の発光を目立ち易くすることができ、遊技者の意識が遊技領域 5a 内に集中していても、線状発光レンズ部材 237 等の発光に気付かせ易くすることができ、上皿液晶表示装置 244 やタッチパネル 246 等による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。また、線状発光レンズ部材 237 等を帯状に発光させるため、他の発光装飾体等の発光とは異なる発光態様となり、発光装飾体等の発光と誤認してしまうのを低減させることができ、確実に線状発光レンズ部材 237 等の発光に気付かせることができる。

【0257】

また、上皿液晶表示装置 244 の外周縁のうち遊技領域 5a に近い後側の位置に線状発光レンズ部材 237 等を配置しているため、線状発光レンズ部材 237 等を発光させた時に、線状発光レンズ部材 237 等の光を遊技者の視界に入り易くすることができ、線状発光レンズ部材 237 等の発光に気付かせて上皿液晶表示装置 244 の演出を楽しませることができる。

【0258】

また、上皿201等を有している皿ユニット200の上面に上皿液晶表示装置244等を有した演出操作ユニット200を備えており、皿ユニット200の上皿201は遊技領域5a内に打込むための遊技球の量を確認するための遊技者がある程度の頻度で視線を向けることから、上皿201へ視線を向けた際に上皿液晶表示装置244や線状発光レンズ部材237等が視界に入り易く、線状発光レンズ部材237の発光に気が付き易くなる。また、遊技者が上皿201へある程度の頻度で視線を向けることから、視線を遊技領域5a内から上皿201（上皿液晶表示装置244）へ向け易い。従って、線状発光レンズ部材237等の発光に気付いた時に、即座に視線を上皿液晶表示装置244へ移すことができ、上皿液晶表示装置244により提示される演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

10

【0259】

更に、遊技領域5aの下側に演出操作ユニット200を配置しており、下側から遊技者へ線状発光レンズ部材237等からの光が照射されるため、遊技領域5aの上側に配置した場合と比較して、遊技者の目に入り易く線状発光レンズ部材237等の発光に気付かせ易くすることができ、遊技者を上皿液晶表示装置244に確実に注目させることが可能となり、演出操作ユニット200による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0260】

また、遊技領域5aの左右方向の中央と対応する位置に演出操作ユニット200（上皿液晶表示装置244）を配置しているため、遊技者の視線の中心が遊技領域5a内のどの位置にあっても、線状発光レンズ部材237等からの光に気が付き易くすることができ、遊技者を確実に上皿液晶表示装置244へ注目させることが可能となり、演出操作ユニット200による演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0261】

また、演出操作ユニット200にタッチパネル246を備えているため、画像による演出の他に、遊技者にタッチパネル246を操作させる演出も行うことができ、多彩な演出によって遊技者を楽しませることができると共に、遊技者にタッチパネル246を操作させることで、演出に参加させることができ、遊技者に対して能動的に演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

30

【0262】

更に、タッチユニット220Bの後側の外周縁に沿って配置された線状発光レンズ部材237（線状発光部237b）が、上皿201における遊技球を球送りユニット540（球発射装置680）へ送る誘導通路部212aに沿って配置されていると共に、誘導通路部212aとの間に上皿球抜きユニット310を動作させる上皿球抜きボタン239を配置されている。つまり、遊技者が遊技に必要な遊技球を確認する場所の近傍に線状発光レンズ部材237が備えられており、遊技中でも遊技者が気にする位置に線状発光レンズ部材237を配置した構成としているため、線状発光レンズ部材237の発光に気付かせることができ、遊技者の関心をタッチユニット220Bに引付けてタッチユニット220Bによる演出（上皿液晶表示装置244による演出画像、タッチパネル246のタッチ操作、等）のタイミングに気が付き易くすることができる。

40

【0263】

また、上皿液晶基板241や上皿液晶表示装置244を備えたタッチユニット220Bを、取付ベースユニット220Aの取付ベース230とユニットケース231とによって、皿ユニットカバー260の上皿下被覆部262の上面よりも高い位置に配置していると共に、タッチユニット220Bの後側の外周面に防水シール248を貼付けているため、上皿201において、外気に触れることで上皿本体212や遊技球の表面で結露した水（水滴）が、上皿201の下方（上皿下被覆部262上）へ流動しても、タッチユニット220B内へ結露した水が浸入するのを防止することができ、タッチユニット220Bにおいて不具合が発生するのを防止することができる。

50

【0264】

また、図42に示すように、上皿後装飾部材236や線状発光レンズ部材237を発光装飾させる上皿後装飾基板235を、上皿201の底面よりも高い位置に配置しているため、上皿201で結露した水滴にさらされることがなく、上皿後装飾基板235においてショートや腐蝕等の不具合が発生するのを防止することができる。

【0265】

更に、皿ユニット200の演出操作ユニット220において、加振装置242によってタッチパネル246と上皿液晶表示装置244とを備えたタッチユニット220Bを振動させた際に、タッチユニット220Bが複数（二つ）のダンパ222を挟んで浮いた状態で取付ベースユニット220Aのユニットケース231に取付けられているため、タッチユニット220B（加振装置242）の振動がダンパ222によって吸収・減衰されて取付ベースユニット220Aに伝わることとなり、取付ベースユニット220Aの振動を低減させることができる。従って、タッチユニット220Bのタッチパネル246をタッチ操作した際に、加振装置242によってタッチユニット220Bを振動させると、タッチユニット220Bのみが振動することとなるため、遊技者に対してタッチユニット220Bのタッチパネル246の操作感を十分に付与することができ、遊技者にタッチパネル246のタッチ操作を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

10

【0266】

また、加振装置242によってタッチユニット220Bを振動させることができるため、遊技者に対してタッチパネル246の操作感の他に、タッチユニット220Bの振動によって驚かせたり、タッチパネル246を操作するタイミングを示唆したりすることができ、タッチユニット220Bのタッチパネル246による操作演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0267】

更に、タッチユニット220Bを複数のダンパ222によって下側から支持しているため、タッチユニット220Bを上側から叩いたり強く押したりしてタッチユニット220Bに衝撃や荷重等が加えられても、ダンパ222によってその衝撃等を吸収することが可能となるため、衝撃等によってタッチユニット220Bや取付ベースユニット220A等が破損してしまうのを低減させることができ、タッチユニット220B等の破損により遊技が中断することで遊技者の興味が低下してしまうのを抑制することができる。

30

【0268】

また、タッチユニット220Bの操作する部位をタッチパネル246としていることから、遊技者が操作する際には、ボタンを押圧操作する場合と比較して、タッチパネル246に触れている時間が長くなるため、タッチパネル246に触れた時に加振装置242でタッチユニット220Bを振動させると、その振動を遊技者の指（手）に確実に伝達させることができる。従って、遊技者の指が振動することでタッチパネル246を操作していることを遊技者に実感させることができるため、十分な操作感を付与することができ、遊技者にタッチパネル246の操作を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0269】

また、タッチユニット220Bの上皿液晶表示装置244に表示される画像を変更することで、タッチ操作（ボタン）の種類を簡単に変更することができ、多様な演出に対応することが可能となり、多様な演出によって遊技者を飽き難くして興味が低下するのを抑制することができる。更に、タッチユニット220Bにタッチパネル246を備えているため、従来の押圧ボタンと比較して、タッチ、タップ（シングルタップ、ダブルタップ）、ドラッグ、フリック、ピンチ（ピンチアウト、ピンチイン）、スワイプ、タッチアンドホールド、等の様々な操作を行うことができる。これにより、より多彩な操作演出を行うことができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

40

【0270】

更に、タッチユニット220Bを、取付ベースユニット220A（ユニットケース23

50

1) に対して上方へ移動不能且つ下方へ移動可能に取付けるようにしており、複数のダンパ222の弾性力(付勢力)によってタッチユニット220Bが上側の移動端に押し付けられた状態となるため、タッチパネル246の操作中にタッチユニット220Bを動き難くすることができ、タッチパネル246の操作を的確に行い易くすることができる。また、タッチユニット220Bが動き難くなることから、遊技者に対してタッチユニット220Bが動かないものであると思わせることができ、動かないと思っていたタッチユニット220Bが遊技状態に応じて加振装置242により振動することで遊技者を驚かせることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

【0271】

また、互いに離間した複数の加振装置242によってタッチユニット220Bを振動させるようにしているため、例えば、タッチパネル246において遊技者が操作する部位に近い位置の加振装置242を駆動させることで、強い振動を伝達させることができる。従って、タッチパネル246において、遊技者が操作すべき位置と異なる位置を操作した場合、遊技者に伝達される振動が異なることとなるため、遊技者に対して、操作を間違えていることを知らせることが可能となり、遊技者に対して正しい操作を行わせることができ、タッチパネル246を用いた操作演出を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

10

【0272】

また、互いに離間した複数の加振装置242を備えているため、各加振装置242の振動の周波数や強さ等を適宜制御することで、タッチパネル246の任意の位置で共振現象を発生させることができる。従って、遊技者が操作した任意の位置で共振現象が発生するように各加振装置242を制御することで、より一層の操作感を付与したり、遊技者を大いに驚かせたりすることができ、遊技者を楽しませて興味が低下するのを抑制することができる。

20

【0273】

更に、タッチユニット220Bが上側から叩かれたり強く押されたりしてタッチユニット220Bに衝撃や荷重等が作用した場合、タッチユニット220Bの左右両端側がダンパ222を挟んでユニットケース231に取付けられているため、ダンパ222とタッチユニット220Bの撓りとによって上側からの衝撃等がある程度吸収して(減衰させて)ユニットケース231側へ伝達させることができる。また、ユニットケース231側では、ユニットケース231の外縁が下側の取付ベース230に取付けられているため、ユニットケース231を介したタッチユニット220B側からの衝撃や荷重等を、取付ベース230に対して広く分散させて伝達させることができる。この際に、ユニットケース231の下面から下方へ突出した受突部231eの外周壁と、取付ベース230の取付側受部230aの底面において受突部231eが挿入されている筒状受部230cの内周壁との間に隙間が形成されているため、タッチユニット220Bからの衝撃や荷重等によって、ユニットケース231が下方へ撓んだ後に、受突部231eと筒状受部230cとが当接してユニットケース231から取付ベース230へ衝撃等が伝達されることとなり、ユニットケース231の撓みによって、衝撃等が更に減衰された状態で取付ベース230に伝達される。この受突部231eの外周壁と筒状受部230cの内周壁は、下方へ窄まっているため、受突部231eと筒状受部230cとが当接すると、受突部231e(ユニットケース231)側からの衝撃や荷重等が、取付ベース230の取付側受部230aの底面に対して斜め方向へ伝達され、取付ベース230の取付側受部230aの底面に垂直な方向と底面に沿った方向とに分解されることとなり、取付ベース230を撓ませようとする底面に垂直な方向(下方向)の力が小さくなって取付ベース230側へ伝達される。従って、タッチユニット220Bが上側から叩かれたり強く押されたりしても、複数のダンパ222、ユニットケース231、取付ベース230によって、その衝撃等を効果的に減衰させることができ、タッチユニット220Bや取付ベースユニット220Aが破損するのを抑制することができる。

30

40

【0274】

50

〔 3－2．ファールカバーユニット 〕

扉枠 3 のファールカバーユニット 5 2 0 について、図 5 5 乃至図 5 7 を参照して詳細に説明する。図 5 5 (a) は扉枠のファールカバーユニットを前から見た斜視図であり、(b) はファールカバーユニットを後ろから見た斜視図である。また、図 5 6 (a) はファールカバーユニットを蓋部材を外して前から見た分解斜視図であり、(b) はファールカバーユニットを蓋部材を外して後ろから見た分解斜視図である。更に、図 5 7 は、蓋部材を外した状態のファールカバーユニットの正面図である。

【 0 2 7 5 】

本実施形態のファールカバーユニット 5 2 0 は、図示するように、扉枠ベースユニット 1 0 0 の後側に取付けられ前側が開放された浅い箱状のユニット本体 5 2 2 と、ユニット本体 5 2 2 の前面に取付けられている平板状の蓋部材 5 2 4 と、を備えている。ファールカバーユニット 5 2 0 は、正面視左上隅において前後に貫通しており本体枠 4 の下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の通常誘導路 8 6 1 と皿ユニット 2 0 0 の上皿球供給口 2 1 0 a とを連通させる貫通球通路 5 2 6 と、貫通球通路 5 2 6 の正面視右側で後方へ向かって開口しており本体枠 4 の下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の満タン誘導路 8 6 2 と連通可能な満タン球受口 5 2 8 と、を備えている。

10

【 0 2 7 6 】

また、ファールカバーユニット 5 2 0 は、満タン球受口 5 2 8 の正面視右側で上方へ向かって開口しており本体枠 4 の球発射装置 6 8 0 により発射されにも関わらず遊技領域 5 a 内へ到達しなかった遊技球（ファール球）を受けるファール球受口 5 3 0 と、正面視右下隅で前方へ向かって開口しており満タン球受口 5 2 8 及びファール球受口 5 3 0 に受入れられた遊技球を放出すると共に皿ユニット 2 0 0 の下皿球供給口 2 1 0 c と連通する球放出口 5 3 2 と、を備えている。

20

【 0 2 7 7 】

更に、ファールカバーユニット 5 2 0 は、ユニット本体 5 2 2 及び蓋部材 5 2 4 とによって、満タン球受口 5 2 8 及びファール球受口 5 3 0 と球放出口 5 3 2 との間に形成されており所定量の遊技球を貯留可能な広さを有している貯留通路 5 3 3 と、貯留通路 5 3 3 の内壁の一部を構成しており下端が回動可能にユニット本体 5 2 2 に取付けられている平板状の可動片 5 3 4 と、可動片 5 3 4 の貯留通路 5 3 3 から遠ざかる方向への回動を検知する満タン検知センサ 5 3 5 と、可動片 5 3 4 を貯留通路 5 3 3 の中心側へ付勢しているバネ 5 3 6 と、を備えている。

30

【 0 2 7 8 】

このファールカバーユニット 5 2 0 は、皿ユニット 2 0 0 の下皿 2 0 2 内が遊技球で一杯になって、球放出口 5 3 2 から遊技球が下皿 2 0 2 側へ放出されなく無くると、貯留通路 5 3 3 内にある程度の数の遊技球を貯留することができる。そして、貯留通路 5 3 3 内にある程度の数の遊技球が貯留されると、遊技球の重さによって可動片 5 3 4 の上端が貯留通路 5 3 3 から遠ざかる方向へ移動するように可動片 5 3 4 が回動し、その回動が満タン検知センサ 5 3 5 によって検知される。これにより、下皿 2 0 2 が遊技球で満タンになっていると判断することができるため、満タン検知センサ 5 3 5 により満タンが検知されると、これ以上の遊技球の払出しを停止させると共に、その旨を遊技者や遊技ホールの係員等に報知して、下皿 2 0 2 の満タンを解消させるように促すことができる。

40

【 0 2 7 9 】

また、ファールカバーユニット 5 2 0 は、ユニット本体 5 2 2 の後側で貫通球通路 5 2 6 の下側に取付けられており、本体枠 4 の後述する払出ユニット 8 0 0 における下部満タン球経路ユニット 8 6 0 の誘導路開閉扉 8 6 3 の作動突部 8 6 3 e が当接可能な扉開閉当接部 5 3 7 を備えている（図 8 0 を参照）。扉開閉当接部 5 3 7 は、後面が下方へ向かうに従って前方へ移動するように傾斜している。この扉開閉当接部 5 3 7 は、本体枠 4 に対して扉枠 3 を閉じると、誘導路扉部材 8 6 3 の作動突部 8 6 3 e が当接するように形成されている。この扉開閉当接部 5 3 7 に誘導路開閉部 8 6 3 の作動突部 8 6 3 e が当接することで、誘導路扉部材 8 6 3 が回動して通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の下流

50

端（前側開口）を開放させることができる。

【0280】

[4. 本体枠の全体構成]

本実施形態のパチンコ機1における本体枠4について、図58乃至図61を参照して説明する。図58は本体枠を前から見た斜視図であり、図59は本体枠を後ろから見た斜視図である。また、図60は本体枠を主な部材毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図61は本体枠を主な部材毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。本実施形態の本体枠4は、図示するように、前方が開放された箱状に形成されており、内部に遊技盤5が着脱可能に収容される。この本体枠4は、正面左辺側前端の上下において、遊技ホルの島設備に取付けられる枠状の外枠2に開閉可能に取付けられると共に、開放された前面側が閉鎖されるように扉枠3が開閉可能に取付けられるものである。

10

【0281】

本実施形態の本体枠4は、一部が外枠2の枠内に挿入可能とされると共に遊技盤5の外周を支持可能とされた枠状の本体枠ベース600と、本体枠ベース600の正面視左側の上下両端に取付けられ外枠2の外枠側上ヒンジ部材60及び外枠側下ヒンジ部材70に夫々回転可能に取付けられると共に扉枠3の扉枠側上ヒンジ部材140及び扉枠側下ヒンジ部材150が夫々回転可能に取付けられる本体枠側上ヒンジ部材620及び本体枠側下ヒンジ部材640と、本体枠ベース600の正面視左側面に取付けられる補強フレーム660と、を備えている。

20

【0282】

また、本体枠4は、本体枠ベース600の前面下部に取付けられており遊技盤5の遊技領域5a内に遊技球を打込むための球発射装置680と、本体枠ベースの正面視右側面に取付けられており外枠2と本体枠4、及び扉枠3と本体枠4の間を施錠する施錠ユニット700と、本体枠ベース600の正面視上辺及び左辺に沿って後側に取付けられており遊技者側へ遊技球を払出す逆L字状の払出ユニット800と、本体枠ベース600の後面下部に取付けられている基板ユニット900と、本体枠ベース600の後側に開閉可能に取付けられ本体枠ベース600に取付けられた遊技盤5の後側を覆う裏カバー980と、を備えている。

【0283】

[4-1. 本体枠ベース]

本実施形態における本体枠4の本体枠ベース600は、図58乃至図61に示すように、正面視の形状が上下に延びた長方形に形成されている。この本体枠ベース600は、上端よりやや下側の位置から全高の約3/4の高さの範囲で前後に貫通しており遊技盤5が前側から挿入される遊技盤挿入口601と、遊技盤挿入口601の下辺を形成しており遊技盤5が載置される遊技盤載置部602と、遊技盤載置部602の左右方向中央から上方へ突出しており遊技盤5の下端の左右及び後方への移動を規制する遊技盤規制部603と、を備えている。

30

【0284】

また、本体枠4は、遊技盤載置部602の正面視右下側に形成されている球発射装置680を取付けるための発射装置取付部604と、発射装置取付部604の正面視右側で前後に貫通しており施錠ユニット700の鍵シリンダ710が挿通されるシリンダ挿通口605と、遊技盤載置部602の正面視左右中央から左寄り下側で前後に貫通しており基板ユニット900の低音スピーカを前方へ臨ませる接続用開口部606と、遊技盤載置部602の正面視左下側で前後に貫通しており基板ユニット900におけるスピーカユニット920を前方へ臨ませる円形状のスピーカ用開口部607と、を備えている。

40

【0285】

更に、本体枠4は、遊技盤挿入口601の正面視右辺から後方へ板状に延出しており、右側面に施錠ユニット700が取付けられると共に、後端に裏カバー980が回転可能に取付けられる後方延出部608を備えている。また、本体枠4は、後面における正面視左端の上下両端部付近に形成されており、本体枠側上ヒンジ部材620及び本体枠側下ヒン

50

ジ部材 640 を取付けるための上ヒンジ取付部 609 及び下ヒンジ取付部 610 を備えている。

【0286】

また、本体枠 4 は、接続用開口部 606 を開閉可能に閉鎖する開口カバー 615 と、遊技盤載置部 602 の正面視左右中央より左側でやや下側の位置に回動可能に取付けられ、遊技盤挿通口 601 に挿通された遊技盤 5 の前方への移動を規制可能な遊技盤ロック部材 616 と、を備えている。

【0287】

[4-2. 本体枠側上ヒンジ部材及び本体枠側下ヒンジ部材]

本実施形態における本体枠 4 の本体枠側上ヒンジ部材 620 と本体枠側下ヒンジ部材 640 について、図 47 乃至図 50 を参照して説明する。この本体枠側上ヒンジ部材 620 及び本体枠側下ヒンジ部材 640 は、本体枠 4 の上ヒンジ取付部 609 及び下ヒンジ取付部 610 に取付けられるものである。

10

【0288】

本体枠側上ヒンジ部材 620 は、水平に延びた平板状の板材の後部が下方へ L 字状に折り曲げられている上ヒンジ本体 621 と、上ヒンジ本体 621 の前端から上方へ円柱状に突出しており外枠側上ヒンジ部材 60 に軸支される本体枠上ヒンジピン 622 と、本体枠上ヒンジピン 622 の正面視左側で上ヒンジ本体 621 を貫通しており扉枠側上ヒンジ部材 140 を軸支するための扉枠用上ヒンジ孔 623 と、を備えている。本体枠側上ヒンジ部材 620 は、上ヒンジ本体 621 における下方へ折り曲げられた部位が、本体枠 4 の上ヒンジ取付部 609 に取付けられる。

20

【0289】

本体枠側下ヒンジ部材 640 は、水平に延びた平板状の板材の後部が上方へ L 字状に折り曲げられている下ヒンジ第一本体 641 と、下ヒンジ第一本体 641 の前端で上下に貫通しており外枠 2 の外枠側下ヒンジ部材 70 に軸支される外枠用下ヒンジ孔（図示は省略）と、下ヒンジ第一本体 641 の上側に配置されており水平に延びた平板状の板材の後部が上方へ L 字状に折り曲げられて下ヒンジ第二本体 643 と、下ヒンジ第二本体 643 の前端で上下に貫通しており扉枠 3 の扉枠側下ヒンジ部材 150 を軸支するための扉枠用下ヒンジ孔 644 と、下ヒンジ第二本体 643 の水平に延びている部位における扉枠用下ヒンジ孔 644 よりも後側で左端から上方へ延出しており扉枠 3 の回動範囲を規制するための規制片 645 と、を備えている。

30

【0290】

下ヒンジ第二本体 643 は、水平に延びた部位が、下ヒンジ第一本体 641 の水平に延びた部位の上側に一定の間隔を開けた状態で、上方へ折り曲げられた部位が下ヒンジ第一本体 641 の上方へ折り曲げられた部位の前面に当接している。この本体側下ヒンジ部材 640 は、下ヒンジ第一本体 641 及び下ヒンジ第二本体 643 の上方へ折り曲げられた部位が、本体枠 4 の下ヒンジ取付部 610 に取付けられる。

【0291】

[4-3. 補強フレーム]

本実施形態における本体枠 4 の補強フレーム 660 について、図 47 乃至図 50 を参照して説明する。補強フレーム 660 は、本体枠ベース 600 の左側面に取付けられるものである。この補強フレーム 660 は、平面視の断面形状が、右側が開放されたコ字状に形成されており、一定の断面形状で上下に延びている。また、補強フレーム 660 には、前端から右方へ延びている部位の後側に、本体枠ベース 600 の遊技盤挿入口 601 に挿入された遊技盤 5 が前方及び上下に移動するのを規制する左位置決め部材 661 が、上下に離間して一組取付けられている。

40

【0292】

この補強フレーム 660 によって本体枠ベース 600 のヒンジ側（正面視左側）を補強することができると共に、外枠 2 と本体枠 4 の間を通した左側からの本体枠 4 内（遊技盤 5）への不正な工具の差し込みを防止することができる。

50

【0293】

[4-4. 球発射装置]

本実施形態における本体枠4の球発射装置680について、図58、図60及び図61を参照して説明する。球発射装置680は、皿ユニット200の上皿201に貯留されている遊技球を、本体枠4に取付けられた遊技盤5の遊技領域5a内に打込むための装置である。この球発射装置680は、扉枠3の前面右下隅のハンドルユニット500のハンドルレバー504の回動角度に応じて、遊技球の打込強さが変化する。

【0294】

球発射装置680は、本体枠ベース600の発射装置取付部604に取付けられる平板状の発射ベース681と、発射ベース681の正面視右部の後面に取付けられており回動軸が発射ベース681を貫通して前方へ延出しているロータリーソレノイドからなる発射ソレノイド682と、発射ソレノイド682の回転軸に基端が取付けられている打球槌683と、打球槌683の先端付近から左斜め上方へ延出するように発射ベース681の前面に取付けられており遊技球が転動可能な発射レール684と、を備えている。

10

【0295】

この球発射装置680は、扉枠3の球送りユニット540から遊技球が発射レール684の上面右端に供給されるようになっており、発射レール684の上面右端に遊技球が供給されている状態で、ハンドルレバー504を回動操作すると、その回動操作角度に応じた強さで発射ソレノイド682が駆動して、打球槌683により遊技球を打球する。そして、打球槌683により打たれた遊技球は、発射レール684を通して遊技盤5の外レール1001及び内レール1002に案内されて遊技領域5a内に打込まれる。

20

【0296】

なお、遊技球の打込強さ等の関係で、打球した遊技球が遊技領域5a内に到達しなかった場合は、発射レール684と遊技盤5（外レール1001及び内レール1002）との間から、下方のファールカバーユニット520のファール球受口530へ落下し、ファールカバーユニット520内を通過して下皿202に排出される。

【0297】

[4-5. 施錠ユニット]

本実施形態における本体枠4の施錠ユニット700について、図58乃至図61を参照して説明する。本実施形態の施錠ユニット700は、本体枠4に取付けられ、本体枠4と扉枠3、本体枠4と外枠2、との間を施錠することができる。施錠ユニット700は、本体枠ベース600の後方延出部608の右側面に取付けられ上下に延びているユニットベース701と、ユニットベース701から前方へ突出しており扉枠3と係止可能な複数の扉枠用鉤702と、ユニットベース701から後方へ突出しており外枠2と係止可能な複数の外枠用鉤703と、ユニットベース701の下部にから前方に円柱状に突出しており前側から挿入した開錠鍵の回動方向に応じて扉枠用鉤702又は外枠用鉤703の何れかの係止を開錠させる鍵シリンダ710と、を備えている。

30

【0298】

[4-6. 払出ユニット]

本実施形態における本体枠4の払出ユニット800について、図62乃至図73を参照して説明する。図62は払出ユニットを前から見た斜視図であり、図63は払出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図64は払出ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図65は払出ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図66(a)は払出ユニットの球誘導ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は球誘導ユニットを後ろから見た斜視図である。更に、図67は、球誘導ユニットの分解斜視図である。また、図68(a)は払出ユニットの払出装置を前から見た斜視図であり、(b)は払出装置を後ろから見た斜視図である。また、図69は払出装置を分解して前から見た分解斜視図であり、図70は払出装置を分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図71(a)は払出装置の正面図であり、(b)は(a)におけるE-E線で切断した断面図である。また、図72(a)は払出装置において球抜き可

40

50

動片により球抜き通路を閉鎖した状態を示す説明図であり、(b)は球抜き可動片により球抜き通路を開放した状態を示す説明図である。図73は、払出装置における払出羽根の部位を拡大して示す説明図である。

【0299】

また、図74(a)は払出ユニットにおける上部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は上部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図75(a)は上部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、(b)は上部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図76(a)は払出ユニットにおける下部満タン球経路ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は下部満タン球経路ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図77は下部満タン球経路ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図78は下部満タン球経路ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図79(a)は下部満タン球経路ユニットにおいて誘導路開閉扉が閉じている状態を示す説明図であり、(b)は誘導路開閉扉が開いている状態を示す説明図である。また、図80は、扉枠のファールカバーユニットと下部満タン球経路ユニットとの関係を示す説明図である。図81は、図76乃至図80とは異なる実施形態の誘導路開閉扉を示す説明図である。また、図82は、払出ユニットにおける遊技球の流れを示す説明図である。

【0300】

本実施形態の払出ユニット800は、図62及び図63等に応示するように、本体枠ベース600の後側に取付けられる逆L字状の払出ユニットベース801と、払出ユニットベース801の上部に取付けられており上方へ開放された左右に延びた箱状で図示しない遊技ホールの島設備から供給される遊技球を貯留する球タンク802と、球タンク802の下側で払出ユニットベース801に取付けられており球タンク802内の遊技球を正面視左方向へ誘導する左右に延びたタンクレール803と、を備えている。タンクレール803内では、遊技球を左方へ誘導させながら、上方から揺動可能に垂下している球均し部材804(図82を参照)によって、前後二列に整列させる。

【0301】

また、払出ユニット800は、払出ユニットベース801における正面視左側上部の後面に取付けられタンクレール803からの遊技球を蛇行状に下方へ誘導する球誘導ユニット820と、球誘導ユニット820の下側で払出ユニットベース801から着脱可能に取付けられており球誘導ユニット820により誘導された遊技球を払出制御基板ボックス950に収容された払出制御基板からの指示に基づいて一つずつ払出す払出装置830と、を備えている。タンクレール803から払出装置830までは、遊技球が二列で流通し、払出装置830からは、遊技球が一つずつ払出される。

【0302】

更に、払出ユニット800は、払出ユニットベース801の後面に取付けられ払出装置830によって払出された遊技球を下方へ誘導すると共に皿ユニット200における上皿201での遊技球の貯留状態に応じて遊技球を通常放出口850d又は満タン放出口850eの何れかから放出させる上部満タン球経路ユニット850と、払出ユニットベース801の下端に取付けられ上部満タン球経路ユニット850の通常放出口850dから放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の貫通球通路526へ誘導する通常誘導路861、満タン放出口850eから放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠3の満タン球受口530へ誘導する満タン誘導路862、及び通常誘導路861及び満タン誘導路862の前端開口を本体枠4に対する扉枠3の開閉に応じて開閉する誘導路開閉扉863、を有した下部満タン球経路ユニット860と、を備えている。

【0303】

[4-6a. 球誘導ユニット]

本実施形態における払出ユニット800の球誘導ユニット820について、図66及び図67を参照して説明する。球誘導ユニット820は、上下に延びており後側が開放された箱状の前ケース821と、前ケース821の後側に取付けられており前側が開放された

箱状の後ケース 8 2 2 と、前ケース 8 2 1 と後ケース 8 2 2 との間に取付けられており前ケース 8 2 1 と後ケース 8 2 2 と間を仕切る平板状の仕切板 8 2 3 と、仕切板 8 2 3 を貫通して前後両端が前ケース 8 2 1 及び後ケース 8 2 2 に取付けられている棒状の軸部材 8 2 4 と、軸部材 8 2 4 によって回動可能に取付けられており前ケース内及び後ケース内に夫々配置されている一对の可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 と、前ケース 8 2 1 内に取付けられており一对の可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の回動位置を検知可能な球切れ検知センサ 8 2 7 と、を備えている。

【0304】

前ケース 8 2 1 は、右側面の上部において遊技球が通過可能に開口している球誘導入口 8 2 1 a と、底面の左右方向中央よりも右寄りの位置で遊技球が通過可能に開口している球誘導出口 8 2 1 b と、球誘導入口 8 2 1 a と球誘導出口 8 2 1 b とを連通しており遊技球が流通可能な誘導通路 8 2 1 c と、を備えている。誘導通路 8 2 1 c は、球誘導入口 8 2 1 a から左端付近まで水平に対して小さい角度で低くなるように斜めに延びている導入部 8 2 1 d と、導入部 8 2 1 d から前ケース 8 2 1 の左辺に沿って高さの中央付近まで下方へ真っ直ぐ延びている検知部 8 2 1 e と、検知部 8 2 1 d から前ケース 8 2 1 の左右の幅で蛇行状に延びている蛇行部 8 2 1 f と、で構成されている。また、前ケース 8 2 1 は、誘導通路 8 2 1 c における検知部 8 2 1 e の正面視右側の壁に切欠部 8 2 1 g を備えている。

10

【0305】

後ケース 8 2 2 は、右側面の上部において遊技球が通過可能に開口している球誘導入口 8 2 2 a と、底面の左右方向中央よりも右寄りの位置で遊技球が通過可能に開口している球誘導出口 8 2 2 b と、球誘導入口 8 2 2 a と球誘導出口 8 2 2 b とを連通しており遊技球が流通可能な誘導通路 8 2 2 c と、を備えている。誘導通路 8 2 2 c は、球誘導入口 8 2 2 a から左端付近まで水平に対して小さい角度で低くなるように斜めに延びている導入部 8 2 2 d と、導入部 8 2 2 d から後ケース 8 2 2 の左辺に沿って高さの中央付近まで下方へ真っ直ぐ延びている検知部 8 2 2 e と、検知部 8 2 2 d から後ケース 8 2 2 の左右の幅で蛇行状に延びている蛇行部 8 2 2 f と、で構成されている。また、後ケース 8 2 2 は、誘導通路 8 2 2 c における検知部 8 2 2 e の正面視右側の壁に切欠部 8 2 2 g を備えている。

20

【0306】

この後ケース 8 2 2 は、前ケース 8 2 1 に対して左右に略対称に形成されており、球誘導ユニット 8 2 0 を組立てた状態で、誘導通路 8 2 1 c と誘導通路 8 2 2 c とが前後に一致するように形成されている。

30

【0307】

軸部材 8 2 4 は、前ケース 8 2 1 及び後ケース 8 2 2 における切欠部 8 2 1 g, 8 2 2 g の上端の下側且つ誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の外側の位置に前後の端部が取付けられている。

【0308】

可動片部材前 8 2 5 は、上下に延びた平板状の可動片 8 2 5 a と、可動片 8 2 5 a の右側の面の上端で前後に貫通しており軸部材 8 2 4 が挿通される軸孔 8 2 5 b と、可動片 8 2 5 a の上端から可動片 8 2 5 a の右面に対して直角に右方向へ延びている延出部 8 2 5 c と、延出部 8 2 5 c と可動片 8 2 5 a とを連結しており軸孔 8 2 5 b を中心に扇状に延びている連結部 8 2 5 d と、延出部 8 2 5 c の上部及び連結部 8 2 5 d の外周の中央付近から外方へ夫々突出しており前後に貫通している貫通孔を有した錘取付部 8 2 5 e と、延出部 8 2 5 c の右側先端から外方へ平板状に延出しており球切れ検知センサ 8 2 7 により検知可能な検知片 8 2 5 f と、連結部 8 2 5 d の外周における可動片 8 2 5 a に近い位置から外方へ平板状に延出しているストッパ片 8 2 5 g と、を備えている。

40

【0309】

この可動片部材前 8 2 5 は、軸孔 8 2 5 b に軸部材 8 2 4 を通すと、その自重によって、連結部 8 2 5 d の外周から突出している錘取付部 8 2 5 e が、軸孔 8 2 5 b の直下に位

50

置するように回転し、可動片 825a が軸孔 825b の部位から斜め下方へ延出した状態となる。従って、球誘導ユニット 820 を組立てた状態では、連結部 825d が前ケース 821 の切欠部 821g に挿通されて、可動片 825a の下端が誘導通路 821c 内に突出した状態となると共に、ストッパ片 825g が誘導通路 821c（検知部 821e）の外壁に当接した状態となる。このストッパ片 825g が誘導通路 821c の外壁に当接することで、可動片 825a の下端が、誘導通路 821c 内へ突出する方向（正面視左方向）へこれ以上回転するのが規制される。また、可動片部材前 825 は、可動片 825a の下端を、誘導通路 821c の壁に接近させる方向（正面視右方向）へ回転させると、可動片 825a の左側の面が、誘導通路 821c の内面と一致する。この状態では、可動片部材前 825 の検知片 825f は、球切れ検知センサ 827 に対して非検知の状態となる。つまり、誘導通路 821c 内に遊技球がある時は、球切れ検知センサ 827 が非検知となる。

10

【0310】

可動片部材後 826 は、上下に延びた平板状の可動片 826a と、可動片 826a の右側の面の上端で前後に貫通しており軸部材 824 が挿通される軸孔 826b と、可動片 826a の上端から可動片 826a の右面に対して直角に右方向へ延びている延出部 826c と、延出部 826c と可動片 826a とを連結しており軸孔 826b を中心に扇状に延びている連結部 826d と、延出部 826c の上部及び連結部 826d の外周の中央付近から外方へ夫々突出しており前後に貫通している貫通孔を有した錘取付部 826e と、延出部 826c の右側先端から外方へ平板状に延出しており球切れ検知センサ 827 により

20

【0311】

この可動片部材後 826 は、軸孔 826b に軸部材 824 を通すと、その自重によって、連結部 826d の外周から突出している錘取付部 826e が、軸孔 826b の直下に位置するように回転し、可動片 826a が軸孔 826b の部位から斜め下方へ延出した状態となる。従って、球誘導ユニット 820 を組立てた状態では、連結部 826d が後ケース 822 の切欠部 822g に挿通されて、可動片 826a の下端が誘導通路 822c 内に突出した状態となると共に、ストッパ片 826g が誘導通路 822c（検知部 822e）の外壁に当接した状態となる。このストッパ片 826g が誘導通路 822c の外壁に当接することで、可動片 826a の下端が、誘導通路 822c 内へ突出する方向（正面視左方向）へこれ以上回転するのが規制される。また、可動片部材前 826 は、可動片 826a の下端を、誘導通路 822c の壁に接近させる方向（正面視右方向）へ回転させると、可動片 826a の左側の面が、誘導通路 822c の内面と一致する。この状態では、可動片部材前 826 の検知片 826f は、球切れ検知センサ 827 に対して非検知の状態となる。つまり、誘導通路 822c 内に遊技球がある時は、球切れ検知センサ 827 が非検知となる。

30

【0312】

本実施形態の球誘導ユニット 820 は、タンクレール 803 によって複数の遊技球が前後に夫々一列で並ばされた状態で供給され、複数の遊技球が一列に並んだ状態で、前ケース 821 及び後ケース 822 によって、前後に二列の状態下方の払出装装置 830 へ誘導することができる（図 82 を参照）。この際に、前ケース 821 と後ケース 822 とは仕切板 823 によって仕切られているため、夫々の誘導通路 821c、822c を流通する遊技球が、互いに干渉し合うことはなく、良好に流通することができる。

40

【0313】

また、球誘導ユニット 820 の誘導通路 821c、822c 内を遊技球が流通すると、遊技球が可動片部材前 825 及び可動片部材後 826 の可動片 825a、826a に当接し、可動片 825a、826a が誘導通路 821c、822c の壁面と一致する方向へ可動片部材前 825 及び可動片部材後 826 が回転する。これにより、可動片部材前 825 及び可動片部材後 826 の検知片 825f、826f が球切れ検知センサ 827 に対して

50

非検知の状態となり、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に遊技球があることが判る。

【0 3 1 4】

そして、球誘導ユニット 8 2 0 の下流側の払出装 8 3 0 により遊技球の払出し等が行われると、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の遊技球が下流へ流れることとなる。誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内を遊技球が流れると、導入部 8 2 1 d, 8 2 2 d を流れる遊技球の勢いが強くなり、導入部 8 2 1 d, 8 2 2 d を流れた遊技球が、検知部 8 2 1 e, 8 2 2 e の上部で可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a 側へ跳ね返り、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a に当接することとなる。この遊技球の当接により、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が振動することとなるため、その振動により可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a と誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の切欠部 8 2 1 g, 8 2 2 g との間に挟まれたり侵入したりした埃やゴミ等を除去することができ、自重等によって可動片 8 2 5, 8 2 6 a が良好に回動できるようになる。

10

【0 3 1 5】

また、球誘導ユニット 8 2 0 は、各誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内を流通する遊技球を夫々別々の可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材 8 2 6 によって検知するようにしていると共に、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の夫々の検知片 8 2 5 f, 8 2 6 f を一つの球切れ検知センサ 8 2 7 で検知するようにしているため、何れかの誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の遊技球がなくなると、可動片部材前 8 2 5 又は可動片部材後 8 2 6 の可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内へ突出するように回動し、遊技球のなくなった側の検知片 8 2 5 f, 8 2 6 f が球切れ検知センサ 8 2 7 で検知される。従って、遊技球の球切れを早期に検知することができるため、速やかに遊技球を補充させることができ、遊技が中断する時間を可及的に短くすることで、遊技者の興趣の低下を抑制することができる。

20

【0 3 1 6】

更に、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に、錘として金属ビスを振じ込んで取付けることで、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 と錘の重量とによって、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端側を、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に突出する方向へ回動させ易くすることができる。また、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端を誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の外側で回動可能に取付けて、下端側が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に突出するようにしているため、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の埃やゴミ等が、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端や下端に付着することがない。従って、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の壁側に回動しても、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端と壁との間に埃やゴミ等が噛み込むことはないため、自重等によって良好に回動することができ、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が回動しなくなるような不具合の発生を抑制することができる。

30

【0 3 1 7】

このように、本実施形態の球誘導ユニット 8 2 0 は、自重によって下端側が遊技球の流通する誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内へ突出する可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 の可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a において、遊技球と当接する面の反対側の錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に金属ビスからなる錘を取付けることで、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材 8 2 6 の自重と錘の重量とによって、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端側を誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に回動（突出）させ易くすることができる。また、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端を誘導通路 8 2 2 c の外側で回動可能に取付けて、下端側が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内に突出するようにしているため、誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c 内の埃やゴミ等が、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の上端や下端に付着することがない。従って、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a が誘導通路 8 2 1 c, 8 2 2 c の壁側に回動しても、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 a の下端と壁との間に埃やゴミ等が噛み込むことはないため、自重等によって良好に回動することができ、可動片 8 2 5 a, 8 2 6 （可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 ）が回動しなくなるような不具合の発生を抑制することができる。

40

【0 3 1 8】

また、錘としての金属ビスを、貫通孔とされた錘取付部 8 2 5 e, 8 2 6 e に振じ込ん

50

で取付けるため、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 が頻繁に回転しても、錘が可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6（錘取付部 8 2 5 e，8 2 6 e）から外れることがなく、長期に亘って可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 を良好な状態に維持することができる。また、錘取付部 8 2 5 e，8 2 6 e に金属ビスを握り込むだけで、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 に錘を容易に取付けることができるため、錘の取付けの手間を簡略化することができ、パチンコ機 1 の組立てに係るコストを低減させることができる。

【0319】

更に、誘導通路 8 2 1 c，8 2 2 c 内において可動片 8 2 5 a，8 2 5 c が内部に突出する部位よりも上流側に、可動片 8 2 5 a，8 2 5 c へ向かって遊技球を誘導させる導入部 8 2 2 d を備えていることから、誘導通路 8 2 1 c，8 2 2 c 内を遊技球が流れることで、遊技球が可動片 8 2 5 a，8 2 6 a に当接するため、遊技球の当接によって可動片 8 2 5 a，8 2 6 a を振動させることができる。従って、可動片 8 2 5 a，8 2 6 a の振動により、可動片 8 2 5 a，8 2 6 a と誘導通路 8 2 1 c，8 2 2 c の壁との間に挟まれたり侵入したりした埃やゴミ等を除去することができ、自重等によって可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 が良好に回転するようにできる。

【0320】

従って、可動片部材前 8 2 5 及び可動片部材後 8 2 6 を良好に回転させることができるため、誘導通路 8 2 1 c，8 2 2 c 内の遊技球の状態（有無）を確実に検知させることができ、遊技球の誤検知等による不具合の発生を抑制させることができる。また、払出装置 8 3 0 へ供給される遊技球が誘導通路 8 2 1 c，8 2 2 c 内からなくなっても、可動片 8 2 5 a，8 2 6 a を介して確実に誘導通路 8 2 1 c，8 2 2 c 内の有無を検知することができるため、速やかに遊技球を補充させることができ、遊技が中断する時間を可及的に短くすることで、遊技者の興趣の低下を抑制することができる。

【0321】

[4-6b. 払出装置]

本実施形態における払出ユニット 8 0 0 の払出装置 8 3 0 について、図 6 8 乃至図 7 3 を参照して説明する。払出装置 8 3 0 は、後側が開放されている箱状で、上面における左右方向中央に遊技球が通過可能に開口している払出入口 8 3 1 a、底面における正面視左端付近で遊技球が通過可能に開口している払出出口 8 3 1 b、底面における正面視右端付近で遊技球が通過可能に開口している球抜き出口 8 3 1 c、払出入口 8 3 1 a と払出出口 8 3 1 b とを連通しており遊技球が流通可能な払出通路 8 3 1 d、及び払出通路 8 3 1 d の途中から分岐して球抜き出口 8 3 1 c と連通しており遊技球が流通可能な球抜き通路 8 3 1 e、を有している前箱 8 3 1 と、前箱 8 3 1 の後側に取付けられており前側が開放されている箱状で、上面における左右方向中央に遊技球が通過可能に開口している払出入口 8 3 2 a、底面における正面視左端付近で遊技球が通過可能に開口している払出出口 8 3 2 b、底面における正面視右端付近で遊技球が通過可能に開口している球抜き出口 8 3 2 c、払出入口 8 3 2 a と払出出口 8 3 2 b とを連通しており遊技球が流通可能な払出通路 8 3 2 d、及び払出通路 8 3 2 d の途中から分岐して球抜き出口 8 3 2 c と連通しており遊技球が流通可能な球抜き通路 8 3 2 e、を有している後箱 8 3 2、を備えている。

【0322】

また、払出装置 8 3 0 は、前箱 8 3 1 の前側に取付けられており後側が開放されている浅い箱状の前カバー 8 3 3 と、前箱 8 3 1 内に取付けられており回転軸が前箱 8 3 1 を貫通して前カバー 8 3 3 内に延出している払出モータ 8 3 4 と、払出モータ 8 3 4 の回転軸に取付けられている駆動ギア 8 3 5 と、駆動ギア 8 3 5 と噛合しており前箱 8 3 1 と前カバー 8 3 3 とで回転可能に取付けられている平歯車状の中間ギア 8 3 6 と、中間ギア 8 3 6 と噛合している従動ギア 8 3 7 と、従動ギア 8 3 7 が回転可能に貫通しており前端が前カバー 8 3 3 に取付けられておりと共には後端が前箱 8 3 1 を貫通して後箱 8 3 2 に取付けられている軸部材 8 3 8 と、軸部材 8 3 7 を貫通して回転可能に取付けられておりと共には前箱 8 3 1 及び後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 1 d，8 3 2 d 内に配置されており従動ギア 8

37と一体回転する払出羽根839と、前箱831と後箱832との間に取付けられており払出羽根839の回転を検知する羽根回転検知センサ840と、を備えている。

【0323】

更に、払出装置830は、前箱831と後箱832の間に取付けられており前箱831の払出通路831dと後箱832の払出通路832dとを仕切る平板状の仕切板841と、前箱831と後箱832との間に取付けられており払出羽根839の回転により払出されて払出出口831b、832bから放出される遊技球を検知する払出検知センサ842と、払出通路831d、832dと球抜き通路831e、832eとが分岐している部位で前箱831と後箱832とによって回動可能に取付けられており球抜き通路831e、832eを閉鎖可能な球抜き可動片843と、前箱831及び後箱832の正面視右側面上部で上下にスライド可能に取付けられており球抜き可動片843を回動可能又は回動不能とする球抜きレバー844と、を備えている。

10

【0324】

前箱831の払出通路831dは、払出入口831aから球抜き出口831cへ向かうように正面視右下へ斜めに延び、前箱831の全高に対して上面から約1/3の高さのところ下方へ垂直に延びるように折れ曲がり、全高の中央付近で左方へ略水平に延びるように曲がった後に、前箱831の左右の幅に対して左端から約1/3のところ再び下方へ垂直に延びるように折れ曲がっており、前箱831の全高に対して底面から約1/4の高さのところ払出出口831bの直上へ位置するようにクランク状に折れ曲がって払出出口831bへ垂直に延びている。払出通路831d内のクランク状に折れ曲がっている部位に払出羽根839が配置される。

20

【0325】

一方、球抜き通路831eは、払出通路831dにおいて払出入口831aから右下へ斜めに延びている部位を更に延長する形態で、前箱831の全高に対して上面から約1/3の高さから中央付近の高さまでの間で分岐している。

【0326】

また、前箱831は、払出通路831d内の払出出口831bへ向かって垂直に延びている部位において下方へ向かうに従って後方へ突出している誘導柵831fと、正面視右側面の上部に形成されており球抜きレバー844を上下にスライド可能に取付けるためのレバー取付部831gと、を備えている。

30

【0327】

後箱832の払出通路832dは、払出入口832aから球抜き出口832cへ向かうように正面視右下へ斜めに延び、後箱832の全高に対して上面から約1/3の高さのところ下方へ垂直に延びるように折れ曲がり、全高の中央付近で左方へ略水平に延びるように曲がった後に、後箱832の左右の幅に対して左端から約1/3のところ再び下方へ垂直に延びるように折れ曲がっており、後箱832の全高に対して底面から約1/4の高さのところ払出出口832bの直上へ位置するようにクランク状に折れ曲がって払出出口832bへ垂直に延びている。払出通路832d内のクランク状に折れ曲がっている部位に払出羽根839が配置される。

【0328】

40

一方、球抜き通路832eは、払出通路832dにおいて払出入口832aから右下へ斜めに延びている部位を更に延長する形態で、後箱832の全高に対して上面から約1/3の高さから中央付近の高さまでの間で分岐している。

【0329】

また、後箱832は、払出通路832d内の払出出口832bへ向かって垂直に延びている部位において下方へ向かうに従って前方へ突出している誘導柵832fと、正面視右側面の上部に形成されており球抜きレバー844を上下にスライド可能に取付けるためのレバー取付部832gと、を備えている。

【0330】

前箱831及び裏箱832の払出通路831d、832dと球抜き通路831e、83

50

2 e は、同じ形状に形成されている。払出通路 8 3 1 d, 8 3 2 d は、払出羽根 8 3 9 が配置されている部位の上流までが仕切板 8 4 1 によって仕切られている。また、誘導柵 8 3 1 f, 8 3 2 f と払出出口 8 3 1 b, 8 3 2 b との間に、払出検知センサ 8 4 2 が取付けられている。つまり、前箱 8 3 1 の払出通路 8 3 1 d を流通した遊技球と、後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 2 d を流通した遊技球とは、夫々の誘導柵 8 3 1 f, 8 3 2 f によって前箱 8 3 1 と後箱 8 3 2 との前後の境界付近に寄せられて、一つの払出検知センサ 8 4 2 により検知される。

【0 3 3 1】

従動ギア 8 3 7 は、中間ギア 8 3 6 と噛合する平歯車状のギア部 8 3 7 a と、ギア部 8 3 7 a の後面から周方向へ 6 0 度の角度の間隔で放射状に突出しており羽根回転検知センサ 8 4 0 によって検知可能な複数の検知片 8 3 7 b と、ギア部 8 3 7 a の中心から後方へ円筒状に突出していると共に後端の周面に凹凸が形成されており払出羽根 8 3 9 と連結可能な連結部 8 3 7 c と、を備えている。

10

【0 3 3 2】

払出羽根 8 3 9 は、前後に円筒状に延びており軸部材 8 3 8 が挿通されるベース筒部 8 3 9 a と、ベース筒部 8 3 9 a の前端から周方向に一定間隔でベース筒部 8 3 9 a の軸直角方向へ突出している複数（三つ）の前羽根 8 3 9 b と、ベース筒部 8 3 9 a の後端から前羽根 8 3 9 b とは互い違いとなるように周方向に一定間隔でベース筒部 8 3 9 a の軸直角方向へ突出している複数（三つ）の後羽根 8 3 9 c と、ベース筒部 8 3 9 a の前端から前方へ筒状に突出していると共に前端的周面に従動ギア 8 3 7 の連結部 8 3 7 c と連結可能な凹凸が形成されている被連結部 8 3 9 d と、を備えている。

20

【0 3 3 3】

払出羽根 8 3 9 の前羽根 8 3 9 b 及び後羽根 8 3 9 c は、周方向へ 1 2 0 度の角度の間隔で夫々三つずつ備えられており、互い違いとなるように、前羽根 8 3 9 b に対して後羽根 8 3 9 c が、周方向へ 6 0 度の角度でオフセットして外方へ延出している。本実施形態の払出羽根 8 3 9 は、三つの前羽根 8 3 9 b（後羽根 8 3 9 c）同士の間が中心側へ窪んだ円弧によって結ばれており、その円弧の直径が遊技球の直径と同じか若干大きい。これにより、前羽根 8 3 9 b（後羽根 8 3 9 c）同士の間には、遊技球が一つのみ収容することが可能な球収容部 8 3 9 e が形成されている。

【0 3 3 4】

30

また、三つの前羽根 8 3 9 b 及び後羽根 8 3 9 c は、ベース筒部 8 3 9 a の軸を中心としたそれらの外周の直径 D 1 が、遊技球の外径の 1 ～ 1.4 倍に形成されている。また、前羽根 8 3 9 b（後羽根 8 3 9 c）同士の間円弧の部位（球収容部 8 3 9 e）におけるベース筒部 8 3 9 a の軸に最も接近した部位までの、ベース筒部 8 3 9 a の軸を中心とした直径 D 2 は、遊技球の外径の約 0.3 ～ 0.4 倍に形成されている（図 7 3 を参照）。つまり、前羽根 8 3 9 b 及び後羽根 8 3 9 c の外周から球収容部 8 3 9 e の最も凹んだ部位までの深さ $[(\text{直径 } D 1 - \text{直径 } D 2) / 2]$ が、遊技球の外径の 0.1 ～ 0.4 倍とされている。

【0 3 3 5】

従って、前羽根 8 3 9 b（後羽根 8 3 9 c）同士の間円弧の部位（球収容部 8 3 9 e）により、遊技球の外周の約 $3 / 10$ （ $1 / 4 \sim 1 / 3$ の間）を保持することができる。換言すると、遊技球の外径の約 $1 / 5$ （ $1 / 7 \sim 1 / 4$ ）の深さを収容することができる。これにより、払出通路 8 3 1 d, 8 3 2 d 内の遊技球を、速やかに前羽根 8 3 9 b（後羽根 8 3 9 c）同士の間（球収容部 8 3 9 e）に収容することができる。

40

【0 3 3 6】

本実施形態の払出羽根 8 3 9 は、払出装置 8 3 0 を組立てた状態で、前羽根 8 3 9 b が前箱 8 3 1 の払出通路 8 3 1 d 内に、後羽根 8 3 9 c が後箱 8 3 2 の払出通路 8 3 2 d 内に位置し、夫々の払出通路 8 3 1 d, 8 3 2 d 内の遊技球を、夫々払出することができる。また、払出羽根 8 3 9 は、払出通路 8 3 1 d, 8 3 2 d において、前箱 8 2 1 及び後箱 8 3 2 の全高の中央よりも下側でクランク状に折れ曲がっている部位に配置されている。詳

50

しくは、払出通路831d、832dにおいて、前箱821及び後箱832の全高の中央付近から下方へ垂直に延びている部位の直下に、払出羽根839の回転中心が位置している。そして、払出通路831d、832dのクランク状に折れ曲がっている部位では、払出羽根839から遠い側の壁（内壁）が、払出羽根839の回転中心を中心とし、前羽根839b及び後羽根839cの外周から遊技球の外径よりも小さい距離Sだけ離れた円弧状に形成されている（図62を参照）。なお、本実施形態では、距離Sが、遊技球の外径の0.7～0.9倍とされている。換言すると、球収容部839eの最も凹んだ部位から払出通路831d、832dの円弧状に形成されている部位までの距離が、遊技球の外径の1.03～1.1倍とされている。

【0337】

10

これにより、払出装置830は、払出羽根839上に流下してきた遊技球が、前羽根839b、839cの外周に当接すると、払出通路831d、832dのクランク状に折れ曲がっている部位を通ることができず、払出出口831b、832bから下方へ放出されることはない。一方、遊技球が、球収容部839eに収容されると、払出羽根839の回転と共に移動し、払出通路831d、832dのクランク状に折れ曲がっている部位を通ることができ、払出出口831b、832bから下方へ放出される。

【0338】

また、払出装置830では、前羽根839b及び後羽根839cの直径D1を、遊技球の外径の約1.2～1.4倍とすると共に、球収容部839eにより遊技球の外径の1/7～1/4の深さを収容するようにしているため、払出羽根839の外径を可及的に小さくしつつ、遊技球の収容にかかる時間を短くすることができる。これにより、払出羽根839を速く回転させても、球収容部839eに遊技球を収容させて、払出出口831b、832b側へ送ることができる。従って、従来よりも単位時間当りの遊技球の払出数を多くすることができ、遊技球の払出しにかかる時間を短縮することができる。

20

【0339】

球抜き可動片843は、上下及び前後に板状に延びており下部が折れ曲がって正面視く字状に形成されている本体部843aと、本体部843aの上端で前後に筒状に延びており両端が夫々前箱831及び後箱832に回動可能に取付けられる軸筒部843bと、本体部843aのく字状に折れ曲がっている外側面の上部から突出している突出部843cと、本体部843cのく字状に折れ曲がっている下部において前後に貫通している貫通孔からなる錘取付部843d（図72を参照）と、を備えている。

30

【0340】

球抜き可動片843は、払出装置830を組立てた状態では、本体部843aの下部が正面視斜め左下へ延びるような向きで、上端の軸筒部843bが、前箱831及び後箱832の払出通路831d、832dにおいて、払出入口831a、832aから正面視右下へ斜めに延びている部位で、且つ、下方へ折れ曲がる部位よりもやや上側の正面視右側の壁の外側の位置で、回動可能に取付けられている。

【0341】

本実施形態の払出装置830は、通常の状態では、球抜きレバー844を下方へスライドさせた状態としており、球抜きレバー844の下部が球抜き可動片843の突出部843cに正面視右側から当接している。これにより、球抜き可動片843は、正面視反時計回りへの回動が規制されている（図72（a）を参照）。

40

【0342】

この通常の状態では、球抜き可動片843のく字状に折れ曲がっている本体部843aにおいて、曲がっている部位よりも上側が垂直に延びていると共に、曲がっている部位の下側が正面視斜め左下へ延びている。そして、本体部843aの下端は、払出通路831d、832dと球抜き通路831e、832eとが分岐している部位の近傍に位置している。従って、球抜き可動片843（本体部843a）によって、球抜き通路831e、832eを閉鎖していると共に、本体部843aの左側を向いた面が、払出通路831d、832dの一部の壁を形成している。

50

【0343】

本実施形態の球抜き可動片843は、通常の状態において、球抜き可動片843の重心が、軸筒部843bの中心を通る垂直線の正面視左側に位置するように形成されており、自重によって正面視反時計回りに回転させようとする力が作用しているが、球抜きレバー844によって反時計回りへの回転が規制されているため、通常の状態が維持される。

【0344】

通常の状態から、球抜きレバー844を上方へスライドさせると、球抜きレバー844の下部が、球抜き可動片843の突出部843cから離れ、球抜き可動片843の正面視反時計回りへの回転の規制が解除される。従って、球抜き可動片843は、重心が軸筒部843bの直下へ位置するように、自重によって反時計回りへ回転することとなる。なお、球抜き可動片843は、本体部843aの下部の右側側面が、前箱831及び後箱832の右側面を形成している部材の左面に当接するまで、反時計回りに回転することができる（図61（b）を参照）。これにより、球抜き通路831e、832eが開放された状態となり、払出入口831a、832aから進入した遊技球が、払出通路831d、832dの途中で、球抜き可動片843の本体部843aに当接して球抜き可動片843を正面視反時計回りへ回転させて球抜き通路831e、832eを開放し、開放された球抜き通路831e、832eを流通して球抜き出口831c、832cから下方へ放出されることとなる。

10

【0345】

本実施形態では、球抜き可動片843に錘取付部843dを備えているため、この錘取付部843dに金属ビスからなる錘を掘り込んで取付けることで、球抜きレバー844を上方へスライドさせて、正面視反時計回りへの回転の規制を解除した時に、球抜き可動片843の自重と錘の重量とによって、球抜き可動片843の下端を球抜き通路831e、832e内へ突出する方向へ（正面視反時計回りに）回転させ易くすることができる。

20

【0346】

また、球抜きレバー844を下方へスライドさせて球抜き通路831e、832eを閉鎖している通常の状態において、払出入口831a、832aから進入した遊技球が、球抜き可動片843の本体部843aに当接するようにしているため、遊技球の当接によって球抜き可動片843を振動させることができる。従って、球抜き可動片843の下端と球抜き通路831e、832eの内面との間に挟まれたり侵入したりした埃やゴミ等を、球抜き可動片843の振動によって除去することができ、埃やゴミ等を噛み込んで球抜き可動片843が回転できなくなるのを防止することができる。

30

【0347】

また、錘としての金属ビスを、貫通孔とされた錘取付部843dに掘り込んで取付けることができるため、球抜き可動片843が頻繁に回転しても、錘が球抜き可動片843（錘取付部843d）から外れることがなく、長期に亘って球抜き可動片843を良好な状態に維持することができる。また、錘取付部843dに金属ビスを掘り込むだけで、球抜き可動片843に錘を容易に取付けることができるため、錘の取付けの手間を簡略化することができる。また、パチンコ機1の組立てに係るコストを低減させることができる。

【0348】

ところで、球抜き可動片843によって球抜き通路831e、832eを長期に亘って閉鎖していると、球抜き可動片843の回転軸に微細な埃が付着したり回転軸が錆びたりして、球抜き可動片843が回転し辛くなることがある。これに対して、本実施形態では、払出入口831a、832aから進入した遊技球が、球抜き可動片843の本体部843aに当接するようにしているため、球抜き可動片843により球抜き通路831e、832eを閉鎖している状態から、閉鎖を解除する球抜きレバー844を上方へスライドさせてロックを外した時に、遊技球が球抜き可動片843に当接することで、その当接の衝撃によって球抜き可動片843を回転させることができ、球抜き通路831e、832eを確実に開放させることができる。

40

【0349】

50

従って、球抜きレバー 844 を操作して球抜き通路 831e, 832e を開放させる際に、球抜き可動片 843 が良好に回転することができるため、遊技球の抜き取り作業を確実に行うことができ、メンテナンス等の際の作業性を良くすることができる。

【0350】

[4-6c. 上部満タン球経路ユニット]

本実施形態における払出ユニット 800 の上部満タン球経路ユニット 850 について、図 74 及び図 75 を参照して詳細に説明する。上部満タン球経路ユニット 850 は、払出ユニットベース 801 において、払出装置 830 の下側の位置に取付けられるものである。この上部満タン球経路ユニット 850 は、払出ユニットベース 801 に取付けられ後側が開放された箱状の上部満タンベース 851 と、上部満タンベース 851 の後側に取付けられており前側が開放された箱状の上部満タンカバー 852 と、上部満タンカバー 852 の後側に回転可能に取付けられており払出装置 830 を上方へ押圧可能な払出装置押圧部材 853 と、を備えている。

10

【0351】

また、上部満タン球経路ユニット 850 は、上面における正面視左右中央から左側の部位で遊技球が通過可能に上方へ開口している上部払出球受口 850a と、上面における正面視左右中央から右側の部位で遊技球が通過可能に上方へ開口している上部球抜き入口 850b と、上部満タンベース 851 と上部満タンカバー 852 との間に形成されており上部払出球受口 850a に受けられた遊技球が流通する所定広さの上部球貯留通路 850c と、上部球貯留通路 850c の下端における上部払出球受口 850a の直下の部位で下方へ開口している通常放出口 850d と、上部球貯留通路 850c の下端における通常放出口 850d を除いた部位で下方へ開口している満タン放出口 850e と、通常放出口 850d と満タン放出口 850e との間から上方へ突出しており上部球貯留通路 850c 内の下部を左右に仕切っている仕切片 850f と、を備えている。

20

【0352】

また、上部満タン球経路ユニット 850 は、上部球抜き入口 850b から進入した遊技球を下方へ誘導する上部球抜き通路 850g と、上部球抜き通路 850g の下端で下方へ向かって開口している上部球抜き出口 850h と、を備えている。この上部満タン球経路ユニット 850 は、正面視で左側から、通常放出口 850d、満タン放出口 850e、上部球抜き出口 850h が順に並んで下方へ開口している。また、上部満タン球経路ユニット 850 は、上部満タンベース 851 の右端に裏カバー 980 を取付けるための裏カバー取付部 854 を備えている。

30

【0353】

この上部満タン球経路ユニット 850 は、払出ユニット 800 に組立てた状態で、上部払出球受口 850a が、払出装置 830 の払出出口 831b の直下に位置していると共に、上部球抜き入口 850b が、払出装置 830 の球抜き出口 831c の直下に位置している。また、上部満タン球経路ユニット 850 は、払出ユニット 800 に組立てた状態で、通常放出口 850d、満タン放出口 850e、及び上部球抜き出口 850h は、下部満タン球経路ユニット 860 の通常誘導路 861、満タン誘導路 862、及び下部球抜き誘導路 865 の夫々後端開口の直上に夫々開口している（図 82 を参照）。

40

【0354】

上部満タン球経路ユニット 850 は、払出装置 830 によって払出されて払出出口 831b から下方へ放出された遊技球が、上部払出球受口 850a から上部球貯留通路 850c 内へ進入する。上部球貯留通路 850c の下端の通常放出口 850d が閉鎖されていない状態では、上部払出球受口 850a から上部球貯留通路 850c 内へ進入した遊技球が、上部払出球受口 850a の直下に開口している通常放出口 850d から放出される。

【0355】

扉枠 3 の上皿 201 内が遊技球で満たされて遊技球を貯留させることができなくなり、更に、下部満タン球経路ユニット 860 の通常誘導路 861 内が遊技球で満たされると、通常放出口 850d が閉鎖された状態となる。この状態で上部球貯留通路 850c 内に遊

50

技球が進入すると、通常放出口 850d の上側に貯留される。そして、通常放出口 850d の上側に貯留されている遊技球の量が、仕切片 850f よりも高くなると、新たに上部球貯留通路 850c 内に進入してきた遊技球は、仕切片 850f を乗り越えて満タン放出口 850e から下方へ放出されることとなり、下部満タン球経路ユニット 860 の満タン誘導路 862 を通って下皿 202 に送られることとなる。

【0356】

このように、上部満タン球経路ユニット 850 は、払出装置 830 から払出された遊技球を、扉枠 3 における上皿 201 での遊技球の貯留量に応じて、自動的に上皿 201 から下皿 202 へ振分けることができる。

【0357】

[4-6d. 下部満タン球経路ユニット]

本実施形態における払出ユニット 800 の下部満タン球経路ユニット 860 について、図 76 乃至図 81 を参照して詳細に説明する。下部満タン球経路ユニット 860 は、払出ユニットベース 801 における上部満タン球経路ユニット 850 の下側に取付けられるものである。下部満タン球経路ユニット 860 は、上部満タン球経路ユニット 850 の通常放出口 850d から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠 3 の貫通球通路 526 へ誘導する通常誘導路 861 と、上部満タン球経路ユニット 850 の満タン放出口 850e から放出された遊技球を前方へ誘導して前端から扉枠 3 の満タン球受口 530 へ誘導する満タン誘導路 862 と、通常誘導路 861 及び満タン誘導路 862 の前端開口を本体枠 4 に対する扉枠 3 の開閉に応じて開閉する誘導路開閉扉 863 と、誘導路開閉扉 863 を通常誘導路 861 及び満タン誘導路 862 の前端開口を閉鎖する方向へ付勢している閉鎖バネ 864 と、を備えている。

【0358】

また、下部満タン球経路ユニット 860 は、上部満タン球経路ユニット 850 の上部球抜き出口 850h から放出された遊技球を前方へ誘導し前後方向の中央右端から基板ユニット 900 の基板ユニットベース 910 上へ放出する下部球抜き誘導路 865 を、備えている。

【0359】

下部満タン球経路ユニット 860 は、通常誘導路 861、満タン誘導路 862、及び下部球抜き誘導路 865 が、正面視において、左側から順に右側へ並んでいる。これら通常誘導路 861、満タン誘導路 862、及び下部球抜き誘導路 865 は、後端が上方へ向かって開口している。また、通常誘導路 861、及び満タン誘導路 862 は、左右に遊技球が複数並ぶ幅で、前端側が低くなるように本体枠 4 の前端付近まで前方へ延びている。更に、満タン誘導路 862 は、通常誘導路 861 よりも低い位置で前方へ延びている。これら通常誘導路 861、満タン誘導路 862、及び下部球抜き誘導路 865 は、図示するように、上下に分割可能な上ケース 866 及び下ケース 867 によって形成されている。

【0360】

誘導路開閉扉 863 は、下ケース 867 の前端における通常誘導路 861 と満タン誘導路 862 との間の部位に、回動可能に取付けられており、閉鎖バネ 864 によって正面視時計回りの方向へ付勢されている。更に詳述すると、下部満タン球経路ユニット 860 の前端において、正面視で通常誘導路 861 の前端開口の右側に開口している満タン誘導路 862 は、通常誘導路 861 に対して一つの遊技球の高さ分低い位置に配置されている。そして、誘導路開閉扉 863 は、通常誘導路 861 の下側で、且つ、満タン誘導路 862 の左側の位置で、前後に延びた軸周りに対して回動可能に取付けられている。

【0361】

誘導路開閉扉 863 は、回転可能に取付けられる円盤状の基部 863a と、基部 863a から斜め左上側に平板状に延びており通常誘導路 861 の前端開口を閉鎖可能な第一扉板部 863b と、基部 863a から右側に平板状に延びており満タン誘導路 862 の前端開口を閉鎖可能な第二扉板部 863c と、基部 863a から斜め左下側に平板状に延びている延出部 863d と、延出部 863d の先端部前面から前方へ突出しており扉枠 3 にお

10

20

30

40

50

けるファールカバーユニット 5 2 0 の扉開閉当接部 5 3 7 と当接可能な作動突部 8 6 3 e と、を備えている。

【0 3 6 2】

ここで、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を閉鎖するとは、開口を密閉する必要はなく、遊技球が通過不能となれば良いことである。作動突部 8 6 3 e は、正面視の形状が、基部 8 6 3 a を中心とした短い円弧状に形成されており、前端面が、反時計回りの方向の端部側へ近付くに従って前方へ突出するように傾斜している。

【0 3 6 3】

誘導路開閉扉 8 6 3 は、閉鎖バネ 8 6 4 によって正面視時計回りの方向へ付勢されており、第二扉板部 8 6 3 c が、下カバー 8 6 7 の前端における満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の下側から前方へ突出しているボス部 8 6 7 a に当接することで、時計回りの方向への回動が規制される。

10

【0 3 6 4】

本実施形態の下部満タン球経路ユニット 8 6 0 は、パチンコ機 1 を組立てた状態で、前端が、扉枠 3 のファールカバーユニット 5 2 0 における貫通球通路 5 2 6、満タン球受口 5 3 0、及び扉開閉当接部 5 3 7 と対向する位置に取付けられている（図 8 0 を参照）。そして、誘導路開閉扉 8 6 3 は、本体枠 4 に対して扉枠 3 が開いている状態では、作動突部 8 6 3 e に何も当接していないため、誘導路開閉扉 8 6 3 は閉鎖バネ 8 6 4 の付勢力によって、正面視時計回りの方向へ回動させられ、第二扉板部 8 6 3 c が下ケース 8 6 7 のボス部 8 6 7 a に当接した状態で停止する。この状態では、第一扉板部 8 6 3 b と第二扉板部 8 6 3 c が、通常誘導路 8 6 1 と満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の前面に位置しており、前端開口を閉鎖している（図 7 9（a）を参照）。従って、この状態では、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 内の遊技球が、前端開口から前方へ移動することができず、扉枠 3 を開けても、通常誘導路 8 6 1 や満タン誘導路 8 6 2 から遊技球がこぼれることはない。

20

【0 3 6 5】

そして、本体枠 4 に対して扉枠 3 を閉じると、誘導路開閉扉 8 6 3 の作動突部 8 6 3 e の前端面に、扉枠 3 におけるファールカバーユニット 5 2 0 の扉開閉当接部 5 3 7 が当接し、作動突部 8 6 3 e の前端面の傾斜によって、閉鎖バネ 8 6 4 の付勢力に抗して誘導路開閉扉 8 6 3 を正面視反時計回りの方向へ回動させようとする力が作用する。これにより、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を閉鎖していた第一扉板部 8 6 3 b と第二扉板部 8 6 3 c が、前端開口から離れる方向へ回動し、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口が開放された状態となる（図 7 9（b）を参照）。この状態では、図示するように、第一扉板部 8 6 3 b が通常誘導路 8 6 1 の前端開口の下側に、第二扉板部 8 6 3 c が満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の上側に位置している。

30

【0 3 6 6】

この通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を開放させた状態では、本体枠 4 に対して扉枠 3 が完全に閉じられた状態となっており、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口の前側に、扉枠 3 におけるファールカバーユニット 5 2 0 の貫通球通路 5 2 6 及び満タン球受口 5 2 8 が位置しており、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 側から、貫通球通路 5 2 6 及び満タン球受口 5 2 8 側へ遊技球を受渡すことができる。

40

【0 3 6 7】

このように、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を上下方向に異ならせると共に、誘導路開閉扉 8 6 3 を回動させることで通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の前端開口を開閉させるようにしているため、誘導路開閉扉 8 6 3 の動作範囲を可及的に狭くすることができ、通常誘導路 8 6 1 及び満タン誘導路 8 6 2 の開閉機構を小型化することができる。従って、相対的に他の部材のためのスペースを広くすることができ、パチンコ機 1 の内部空間をより有効活用することができる。

【0 3 6 8】

50

本実施形態の払出ユニット800は、扉枠3の上皿201が遊技球で一杯になり、上皿201へ遊技球を放出することができなくなった状態で、払出装置830から更に多くの遊技球が払出されると、下部満タン球経路ユニット860の通常誘導路861内が遊技球で一杯になるまで遊技球を貯留することができる。そして、通常誘導路861が遊技球で一杯になった状態で払出装置830から更に遊技球が払出されると、上部満タン球経路ユニット850の上部球貯留通路850c内において、遊技球が通常放出口850dよりも上側に留って仕切片850fを超えると、満タン放出口850e側へ流通するようになり、満タン放出口850eから、下部満タン球経路ユニット860の満タン誘導路862、ファールカバーユニット520を通して下皿202へ遊技球の払出しが自動的に切換えられる。その後、払出装置830から更に遊技球が払出されて、上皿201に加えて下皿202も遊技球で一杯になって下皿202へ遊技球を供給することができなくなると、ファールカバーユニット520の貯留通路533内に遊技球が貯留される。そして、貯留通路533内に遊技球が貯留されることで可動片534が回動して満タン検知センサ535により検知されると、上皿201及び下皿202が遊技球で満タンであることが報知されると共に、満タン検知センサ535による可動片534の検知が解除されるまで払出装置830による遊技球の払出しが一時的に停止される。

10

【0369】

なお、満タン検知センサ535による可動片534の検知に対する払出装置830による遊技球の払出しの停止を、例えば、ファールカバーユニット520の貯留通路533内に可動片534が検知されるまで遊技球が貯留されている状態で、その上流側の貯留通路533、下部満タン球経路ユニット860の満タン誘導路862、及び上部満タン球経路ユニット850の上部球貯留通路850c内を満たすことが可能な数の遊技球が払出されると、払出装置830による遊技球の払出しを停止させるようにしても良い。これにより、従来のパチンコ機よりも多くの遊技球を貯留することができるため、大当り遊技中等の多くの遊技球が払出される遊技状態において、遊技球の払出しによって上皿201や下皿202が遊技球で一杯になることに対して気に掛ける必要を低減させることができ、遊技者を大当り遊技に専念させて楽しませることができる。

20

【0370】

このように、本実施形態の払出ユニット800では、上部満タン球経路ユニット850及び下部満タン球経路ユニット860内において、従来のパチンコ機よりも多くの遊技球を貯留することができるため、本体枠4に対して扉枠3を開いた時に、上部満タン球経路ユニット850及び下部満タン球経路ユニット860内に多くの遊技球が貯留されていると、それら遊技球の荷重が、通常誘導路861及び満タン誘導路862の前端開口を閉鎖している誘導路開閉扉863に大きく作用することとなり、誘導路開閉扉863が破損し易くなる虞がある。そこで、図81に示すような実施形態の誘導路開閉扉870としても良い。

30

【0371】

図81に示す誘導路開閉扉870は、回転可能に取付けられる円盤状の基部870aと、基部870aから斜め左上側に平板状に延びており通常誘導路861の前端開口を閉鎖可能な第一扉板部870bと、基部870aから右側に平板状に延びており満タン誘導路862の前端開口を閉鎖可能な第二扉板部870cと、基部870aから斜め左下側に平板状に延びている延出部（図示は省略）と、延出部の先端部前面から前方へ突出しており扉枠3におけるファールカバーユニット520の扉開閉当接部537と当接可能な作動突部870eと、を備えている。また、誘導路開閉扉870は、第一扉板部870b及び第二扉板部870cの後面に、遊技球の一部が嵌る複数の凹部870を備えている。

40

【0372】

誘導路開閉扉870の第一扉板部870b及び第二扉板部870cの後面は、図示するように、基部870aから遠ざかるに従って後方へ移動するように斜めに傾斜している。従って、通常誘導路861や満タン誘導路862内を前方へ向かって転動してきた遊技球が、第一扉板部870bや第二扉板部870cの後面に当接すると、後面の傾斜によって

50

基部 870a 側へ転動することとなり、通常誘導路 861 や満タン誘導路 862 内に貯留された遊技球を基部 870a 側へ寄せることができる。これにより、通常誘導路 861 や満タン誘導路 862 内に貯留された遊技球の荷重が、第一扉板部 870b や第二扉板部 870c において、下ケース 867 に取付けられている基部 870a に近い位置に作用するため、第一扉板部 870b や第二扉板部 870c を変形し難くさせることができ、誘導路開閉扉 870 を破損し難くして耐久性を高めることができる。

【0373】

また、誘導路開閉扉 870 の複数の凹部 870d は、図示するように、第一扉板部 870b 及び第二扉板部 870c の後面において、遊技球が基部 870a 側へ寄った位置で保持されるように配置されている。これにより、通常誘導路 861 や満タン誘導路 862 内を流通してきた遊技球が凹部 870d に嵌ることで、確実に遊技球を基部 870a 側へ寄った位置とすることができ、上述と同様の作用効果を奏することができる。

10

【0374】

なお、図示は省略するが、凹部 870d は、遊技球が嵌った状態でも誘導路開閉扉 870 が回動できるように、基部 870a を中心として円弧状に延びている。

【0375】

この場合、通常誘導路 861 及び満タン誘導路 862 の左右の幅 W を、遊技球の直径の整数倍と異ならせることが望ましい。これにより、第一扉板部 870b 及び第二扉板部 870c の後面によって基部 870a 側へ寄せられた遊技球に対して、その後側に当接する遊技球が、通常誘導路 861 及び満タン誘導路 862 の左右外側の内壁に当接していると、後側の遊技球から作用する荷重の方向が基部 870a 側へ寄った斜め前方へ向くこととなり、ケース 867 に取付けられている基部 870a 側へ荷重を多く作用させることができ、上述した作用効果を確実に発揮させることができる。

20

【0376】

[4-7. 基板ユニット]

本実施形態における本体枠 4 の基板ユニット 900 について、図 58 乃至図 61 を参照して説明する。本体枠 4 の基板ユニット 900 は、本体枠ベース 600 の後側に取付けられる基板ユニットベース 910 と、基板ユニットベース 910 の正面視左側で本体枠ベース 600 の後側に取付けられ内部に低音スピーカを有したスピーカユニット 920 と、基板ユニットベース 910 の後側で正面視右側に取付けられ内部に電源基板が収容されている電源基板ボックス 930 と、スピーカユニット 920 の後側に取付けられており内部にインターフェイス制御基板が収容されているインターフェイス制御基板ボックス 940 と、電源基板ボックス 930 及びインターフェイス制御基板ボックス 940 に跨って取付けられており内部に遊技球の払出しを制御する払出制御基板が収容された払出制御基板ボックス 950 と、を備えている。

30

【0377】

払出制御基板ボックス 950 内に収容された払出制御基板によって、払出装置 830 が制御されている。

【0378】

[5. 遊技盤の全体構成]

40

次に、パチンコ機 1 の遊技盤 5 の全体構成について、図 83 乃至図 90 を参照して詳細に説明する。図 83 は、遊技盤の正面図である。図 84 は遊技盤を右前から見た斜視図であり、図 85 は遊技盤を左前から見た斜視図である。また、図 86 は、遊技盤を後ろから見た斜視図である。更に、図 87 は遊技盤を主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 88 は遊技盤を主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図 89 は遊技盤における前構成部材と遊技パネルのみを示す前から見た斜視図であり、図 90 は遊技盤における前構成部材と遊技パネルのみを示す後ろから見た斜視図である。

【0379】

本実施形態の遊技盤 5 は、図示するように、遊技者がハンドルユニット 500 のハンドルレバー 504 を操作することで遊技球が打込まれる遊技領域 5a を有している。また、

50

遊技盤5は、遊技領域5aの外周を区画し外形が正面視略四角形状とされた前構成部材1000と、前構成部材1000の後側に取付けられており遊技領域5aの後端を区画する板状の遊技パネル1100と、遊技パネル1100の後側下部に取付けられている基板ホルダ1200と、基板ホルダ1200の後面に取付けられており遊技球を遊技領域5a内へ打込むことで行われる遊技内容を制御する主制御基板を有している主制御ユニット1300と、を備えている。遊技パネル1100の前面において遊技領域5a内となる部位には、遊技球と当接する複数の障害釘が所定のゲージ配列で植設されている（図示は省略）。

【0380】

また、遊技盤5は、主制御基板からの制御信号に基づいて遊技状況を表示し前構成部材1000の左下隅に遊技者側へ視認可能に取付けられている機能表示ユニット1400と、遊技パネル1100の後側に前側から視認可能に取付けられている中央液晶表示装置1500と、中央液晶表示装置1500の後側に取付けられている周辺制御ユニット1600と、遊技パネル1100の前面に取付けられる表ユニット2000と、遊技パネル1100の後面に取付けられる裏ユニット3000と、を更に備えている。

10

【0381】

遊技パネル1100は、外周が枠状の前構成部材1000の内周よりもやや大きく形成されていると共に透明な平板状のパネル板1110と、パネル板1110の外周を保持しており前構成部材1000の後側に取付けられると共に後面に裏ユニット3000が取付けられる枠状のパネルホルダ1120と、を備えている。

20

【0382】

表ユニット2000は、遊技領域5a内に打込まれた遊技球を受入可能としており常時開口している複数の一般入賞口2001と、複数の一般入賞口2001とは遊技領域5a内の異なる位置で遊技球を受入可能に常時開口している第一始動口2002と、遊技領域5a内の所定位置に取付けられており遊技球の通過を検知するゲート部2003と、遊技球がゲート部2003を通過することにより抽選される普通抽選結果に応じて遊技球の受入れが可能となる第二始動口2004と、第一始動口2002又は第二始動口2004への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果に応じて何れかにおいて遊技球の受入れが可能となる下大入賞口2005及び上大入賞口2006と、を備えている。

30

【0383】

また、技領域5a内の左右方向中央でアウト口1111の直上に取付けられており第一始動口2002を有している始動口ユニット2100と、始動口ユニット2100の正面視左方で内レール1002に沿って取付けられており複数の一般入賞口2001を有しているサイドユニット2200と、始動口ユニット2100の右方に取付けられており一つの一般入賞口2001、ゲート部2003、第二始動口2004、及び下大入賞口2005を有しているアタッカユニット2300と、始動口ユニット2100、サイドユニット2200、及びアタッカユニット2300の上方に取付けられており上大入賞口2006を有している枠状のセンター役物2500と、を備えている。

40

【0384】

裏ユニット3000は、パネルホルダ1120の後面に取付けられ前方が開放されている箱状の裏箱3010と、裏箱3010の後面に取付けられており中央液晶表示装置1500を着脱可能に取付けるためのロック機構3020と、裏箱3010の下部左側前端付近に取付けられている左下球通路ユニット3030と、裏箱3010の下部右側前端付近に取付けられている右下球通路ユニット3040と、を備えている。

【0385】

また、裏ユニット3000は、裏箱3010の後面で開口部3010aの背面視左方に取付けられているランプ駆動基板3060と、ランプ駆動基板3060の後方を覆うランプ駆動基板カバー3061と、裏箱3010の後面で開口部3010aの背面視下方に取付けられているモータ駆動基板3062と、モータ駆動基板3062の後方を覆うモータ

50

駆動基板カバー 3063 と、裏箱 3010 の後面で背面視左下隅に取付けられているパネル中継基板 3064 と、を備えている。

【0386】

更に、裏ユニット 3000 は、裏箱 3010 の前端で上辺及び左辺に沿って取付けられている裏周縁装飾ユニット 3080 と、裏箱 3010 内で開口部 3010a の上方に取付けられている裏上可動演出ユニット 3100 と、裏箱 3010 内の前端付近で開口部 3010a の下方に取付けられている裏下前可動演出ユニット 3200 と、裏箱 3010 内で開口部 3010a の右方に取付けられている裏右可動演出ユニット 3300 と、裏箱 3010 内で開口部 3010a の左方に取付けられている裏左可動演出ユニット 3400 と、裏箱 3010 内で開口部 3010a の下方且つ裏下前可動演出ユニット 3200 の後方に取付けられている裏下後可動演出ユニット 3500 と、裏箱 3010 内で裏上可動演出ユニット 3100 及び裏下後可動演出ユニット 3500 の夫々左右両側に取付けられている裏四隅可動演出ユニット 3600 と、を備えている。

10

【0387】

[5-1. 前構成部材]

次に、前構成部材 1000 について、図 83 乃至図 90 を参照して説明する。前構成部材 1000 は、正面視の外形が略正方形とされ、内形が略円形状に前後方向へ貫通しており、内形の内周によって遊技領域 5a の外周を区画している。この前構成部材 1000 は、正面視で左右方向中央から左寄りの下端から時計回りの周方向へ沿って円弧状に延び正面視左右方向中央上端を通り過ぎて右斜め上部まで延びた外レール 1001 と、外レール 1001 に略沿って前構成部材 1000 の内側に配置され正面視左右方向中央下部から正面視左斜め上部まで円弧状に延びた内レール 1002 と、内レール 1002 の下端の正面視右側で遊技領域 5a の最も低くなった位置に形成されており後方へ向かって低くなるように傾斜しているアウト誘導部 1003 と、を備えている。

20

【0388】

また、前構成部材 1000 は、アウト誘導部 1003 の正面視右端から前構成部材 1000 の右辺付近まで右端側が僅かに高くなるように直線状に傾斜している右下レール 1004 と、右下レール 1004 の右端から前構成部材 1000 の右辺に沿って外レール 1001 の上端の下側まで延びており上部が前構成部材 1000 の内側へ湾曲している右レール 1005 と、右レール 1005 の上端と外レール 1001 の上端とを繋いでおり外レール 1001 に沿って転動して来た遊技球が当接する衝止部 1006 と、を備えている。

30

【0389】

また、前構成部材 1000 は、内レール 1002 の上端に回動可能に軸支され、外レール 1001 との間を閉鎖するように内レール 1002 の上端から上方へ延出した閉鎖位置と正面視時計回りの方向へ回動して外レール 1001 との間を開放した開放位置との間でのみ回動可能とされると共に閉鎖位置側へ復帰するように図示しないバネによって付勢された逆流防止部材 1007 を、備えている。

【0390】

[5-2. 遊技パネル]

次に、遊技パネル 1100 について、図 83 乃至図 90 を参照して説明する。遊技パネル 1100 は、外周が枠状の前構成部材 1000 の内周よりもやや大きく形成されていると共に透明な合成樹脂で形成されている平板状のパネル板 1110 と、パネル板 1110 の外周を保持しており前構成部材 1000 の後側に取付けられると共に後面に裏ユニット 3000 が取付けられる枠状のパネルホルダ 1120 と、を備えている。遊技パネル 1100 のパネル板 1110 は、遊技領域 5a 内において最も低い位置となる部位に前後に貫通しているアウト口 1111 が形成されている。また、パネル板 1110 には、前後に貫通しており表ユニット 2000 を取付けるための取付口 1112 (図 89 及び図 90 等を参照) が複数形成されている。

40

【0391】

パネルホルダ 1120 は、パネル板 1110 を後側から着脱可能に保持している。また

50

、パネルホルダ１１２０は、裏ユニット３０００を取付けるための取付孔と、位置決め孔とが後面に複数形成されている。

【０３９２】

遊技パネル１１００を前構成部材１０００の後側に取付けた状態では、前構成部材１０００のアウト誘導部１００３の後側にパネル板１１１０のアウト口１１１１が開口した状態となる。これにより、遊技領域５aの下端へ流下した遊技球が、アウト誘導部１００３によって後側のアウト口１１１１へ誘導され、アウト口１１１１を通過して遊技パネル１１００の後側へ排出させることができる。

【０３９３】

[５－３．基板ホルダ]

次に、基板ホルダ１２００について、図８３乃至図９０を参照して説明する。基板ホルダ１２００は、上方及び前方が開放された横長の箱状に形成されており、底面が左右方向中央へ向かって低くなるように傾斜している。この基板ホルダ１２００は、遊技盤５に組立てた状態では、遊技パネル１１００の後側に取付けられている裏ユニット３０００の下部を下側から覆うことができる。これにより、アウト口１１１１を通過して遊技パネル１１００の後側へ排出された遊技球、及び、表ユニット２０００及び裏ユニット３０００から下方へ排出された遊技球、を全て受け取ることができ、底面に形成された排出部１２０１（図８７を参照）から下方へ排出させることができる。

【０３９４】

[５－４．主制御基板ユニット]

次に、主制御ユニット１３００について、図８３乃至図９０を参照して説明する。主制御ユニット１３００は、基板ホルダ１２００の後面に着脱可能に取付けられている。この主制御ユニット１３００は、遊技内容及び遊技球の払出し等を制御する主制御基板（図示は省略）と、主制御基板を収容しており基板ホルダ１２００に取付けられる主制御基板ボックス１３２０と、を備えている。

【０３９５】

主制御基板ボックス１３２０は、複数の封印機構を備えており、一つの封印機構を用いて主制御基板ボックス１３２０を閉じると、次に、主制御基板ボックス１３２０を開けるためにはその封印機構を破壊する必要がある、主制御基板ボックス１３２０の開閉の痕跡を残すことができる。従って、開閉の痕跡を見ることで、主制御基板ボックス１３２０の不正な開閉を発見することができ、主制御基板への不正行為に対する抑止力が高められている。

【０３９６】

[５－５．機能表示ユニット]

次に、機能表示ユニット１４００について、図８３乃至図９０を参照して説明する。機能表示ユニット１４００は、図８３等に応示するように、遊技領域５aの外側で前構成部材１０００の左下隅に取付けられている。この機能表示ユニット１４００は、遊技盤５をパチンコ機１に組立てた状態で、扉枠３の貫通口１１１を通して前方（遊技者側）から視認することができる（図１を参照）。この機能表示ユニット１４００は、複数のＬＥＤを用いて、遊技状態（遊技状況）や、普通抽選結果や特別抽選結果等を表示するものである。

【０３９７】

機能表示ユニット１４００は、詳細な図示は省略するが、遊技状態を表示する一つのＬＥＤからなる状態表示器と、後述するゲート部に対する遊技球の通過により抽選される普通抽選結果を表示する二つのＬＥＤからなる普通図柄表示器と、ゲート部に対する遊技球の通過に係る保留数を表示する二つのＬＥＤからなる普通保留表示器と、後述する第一始動口への遊技球の受入れにより抽選された第一特別抽選結果を表示する八つのＬＥＤからなる第一特別図柄表示器と、第一始動口への遊技球の受入れに係る保留数を表示する二つのＬＥＤからなる第一特別保留数表示器と、後述する第二始動口への遊技球の受入れにより抽選された第二特別抽選結果を表示する八つのＬＥＤからなる第二特別図柄表示器と、第二始動口への遊技球の受入れに係る保留数を表示する二つのＬＥＤからなる第二特別保留数

10

20

30

40

50

表示器と、第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果が「大当たり」等の時に、後述する上大入賞口や下大入賞口の開閉パターンの繰返し回数（ラウンド数）を表示する二つのLEDからなるラウンド表示器と、を主に備えている。

【0398】

この機能表示ユニット1400では、備えられているLEDを、適宜、点灯、消灯、及び、点滅、等させることにより、保留数や図柄等を表示することができる。

【0399】

[5-6. 中央液晶表示装置]

次に、中央液晶表示装置1500について、図83乃至図90を参照して説明する。中央液晶表示装置1500は、正面視において遊技領域5aの中央に配置されており、遊技パネル1100の後側に裏ユニット3000の裏箱3010を介して取付けられている。10
詳述すると、中央液晶表示装置1500は、裏箱3010の後壁の略中央の後面に対して、着脱可能に取付けられている。この中央液晶表示装置1500は、遊技盤5を組立てた状態で、枠状のセンター役物2500の枠内を通して、前側（遊技者側）から視認することができる。この中央液晶表示装置1500は、白色LEDをバックライトとしたフルカラーの表示装置であり、静止画像や動画を表示することができる。

【0400】

中央液晶表示装置1500は、図87及び図88に示すように、正面視左側面から外方へ突出している二つの左固定片1501と、正面視右側面から外方へ突出している右固定片1502と、を備えている。この中央液晶表示装置1500は、液晶画面を前方へ向けた状態で、後述する裏箱3010の枠状の液晶取付部内の正面視左内周面に開口している二つの固定溝に、裏箱3010の斜め後方から二つの左固定片1501を挿入した上で、右固定片1502側を前方へ移動させて、右固定片1502をロック機構の開口部内に挿入し、ロック機構を下方へスライドさせることにより、裏箱3010に取付けられる。20

【0401】

[5-7. 周辺制御ユニット]

次に、周辺制御ユニット1600について、図83乃至図90を参照して説明する。周辺制御ユニット1600は、中央液晶表示装置1500の後面に取付けられている。周辺制御ユニット1600は、図示は省略するが、主制御基板からの制御信号に基いて遊技者に提示する演出を制御する周辺制御基板と、中央液晶表示装置1500に表示される演出画像の表示を制御する画像表示制御基板と、演出画像、演出サウンド、演出制御プログラム、等が記憶されたROMを備えているROM基板と、周辺制御基板、画像表示制御基板、及びROM基板を収容している周辺制御基板ボックス1620と、を備えている。30

【0402】

[5-8. 表ユニットの全体構成]

次に、表ユニット2000について、図91乃至図97を参照して説明する。図91は遊技盤の表ユニットを前から見た斜視図であり、図92は遊技盤の表ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図93(a)は表ユニットの始動口ユニットを前上から見た斜視図であり、(b)は始動口ユニットを後ろ下から見た斜視図である。また、図94(a)は表ユニットのサイドユニットを前から見た斜視図であり、(b)はサイドユニットを後ろから見た斜視図である。更に、図95(a)は表ユニットのアタッカユニットを前上から見た斜視図であり、(b)はアタッカユニットを後ろ上から見た斜視図であり、(c)はアタッカユニットを後ろ下から見た斜視図である。また、図96は表ユニットのセンター役物を前から見た斜視図であり、図97は表ユニットのセンター役物を後ろから見た斜視図である。40

【0403】

遊技盤5の表ユニット2000は、遊技パネル1100のパネル板1110に、前方から取付けられており、前端がパネル板1110の前面よりも前方へ突出していると共に、後端が取付口1112を貫通してパネル板1110の後面よりも後方へ突出している。本実施形態の表ユニット2000は、遊技領域5a内に打込まれた遊技球を受入可能として50

おり常時開口している複数の一般入賞口2001と、複数の一般入賞口2001とは遊技領域5a内の異なる位置で遊技球を受入可能に常時開口している第一始動口2002と、遊技領域5a内の所定位置に取付けられており遊技球の通過を検知するゲート部2003と、遊技球がゲート部2003を通過することにより抽選される普通抽選結果に応じて遊技球の受入れが可能となる第二始動口2004と、第一始動口2002又は第二始動口2004への遊技球の受入れにより抽選される第一特別抽選結果又は第二特別抽選結果に応じて何れかにおいて遊技球の受入れが可能となる下大入賞口2005及び上大入賞口2006と、を備えている。

【0404】

複数（ここでは四つ）の一般入賞口2001は、遊技領域5a内の下部に配置されている。第一始動口2002は、遊技領域5a内の左右方向中央でアウト口1111の直上に配置されている。ゲート部2003は、遊技領域5a内における右部で上下方向中央から下寄りに配置されている。第二始動口2004は、ゲート部2003の直下に配置されている。下大入賞口2005は、第二始動口2004の下方で遊技領域5a内の下端部付近に配置されている。上大入賞口2006は、第二始動口2004の上方で遊技領域5a内の上端部付近に配置されている。

10

【0405】

また、表ユニット2000は、遊技領域5a内の左右方向中央でアウト口1111の直上に取付けられており第一始動口2002を有している始動口ユニット2100と、始動口ユニット2100の正面視左方で内レール1002に沿って取付けられており複数（こ
こでは三つ）の一般入賞口2001を有しているサイドユニット2200と、始動口ユニ
ット2100の右方に取付けられており一つの一般入賞口2001、ゲート部2003、
第二始動口2004、及び下大入賞口2005を有しているアタッカユニット2300と
、始動口ユニット2100、サイドユニット2200、及びアタッカユニット2300の
上方に取付けられており上大入賞口2006を有している枠状のセンター役物2500と
、を備えている。

20

【0406】

[5-8a. 始動口ユニット]

次に、表ユニット2000の始動口ユニット2100について、図93等を参照して説明する。始動口ユニット2100は、遊技領域5a内において、左右方向中央の下端部
付近でアウト口1111の直上に配置されており、パネル板1110に前方から取付けられ
ている。この始動口ユニット2100は、第一始動口2002を有している。

30

【0407】

始動口ユニット2100は、パネル板1110に取付けられるユニットベース2101
と、ユニットベース2101の前面上部に取付けられていると共に前方へ突出しており第
一始動口2002を形成している球受部材2102と、球受部材2102の下側でユニ
ットベース2101の前面に取付けられており前方へ突出していると共に左右に延びて
いる箱枠状の前飾りベース2103と、前飾りベース2103内においてユニットベース2
101の前面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている表中央装飾基板2
104と、を備えている。

40

【0408】

また、始動口ユニット2100は、前飾りベース2103の前面に取付けられており所
定の装飾が施されていると共に表中央装飾基板2104によって発光装飾される前面飾
り部材2105と、ユニットベース2101の後側に取付けられており第一始動口2002
に受入れられた遊技球を下方へ誘導する誘導通路部材2106と、誘導通路部材2106
に取付けられており第一始動口2002に受入れられた遊技球を検知する第一始動口セン
サ2107と、を備えている。

【0409】

球受部材2102は、上方及び後方が開放された容器状に形成されており、第一始動口
2002として上方からの遊技球を受けて後方へ誘導させることができる。前飾りベース

50

2103は、球受部材2102（第一始動口2002）を中心に左右へ均等に延びており、上面が左右両端へ向かうに従って低くなるように傾斜している。前面飾り部材2105は、左右に延びており、後述する下大入賞口2005を開閉する下大入賞口扉部材2352と略同じ大きさ及び形状で板状に形成されているフェイク部2105aを有している。このフェイク部2105aによって、第一始動口2002の下側に大入賞口があるように遊技者を錯覚させることができる。

【0410】

[5-8b. サイドユニット]

次に、表ユニット2000のサイドユニット2200について、図94等を参照して説明する。サイドユニット2200は、遊技領域5a内において、始動口ユニット2100の左方で内レール1002に沿って延びており、パネル板1110に前方から取付けられている。サイドユニット2200は、三つの一般入賞口2001を有している。

10

【0411】

このサイドユニット2200は、パネル板1110の前面に取付けられ内レール1002に沿うように円弧状に延びている平板状のユニットベース2201と、ユニットベース2201の前面下部の上縁付近に取付けられていると共に前方へ突出しており一般入賞口2001を形成している二つの第一球受部材2202と、ユニットベース2201の前面で左右方向中央から左寄りに取付けられていると共に前方へ突出しており一般入賞口2001を形成している第二球受部材2203と、ユニットベース2201の後方に配置されており前面に複数のLEDが実装されているサイド装飾基板2204と、サイド装飾基板2204を後方から覆うようにユニットベース2201の後面に取付けられている基板カバー2205と、を備えている。

20

【0412】

ユニットベース2201は、正面視左方へ向かうに従って高くなるように円弧状に延びている。また、ユニットベース2201は、第二球受部材2203が取付けられる部位よりも左方且つ上方の部位に、右方へ向かって低くなるように傾斜している第一柵部2201aを有し、前方へ突出している突出部2201bを備えている。このユニットベース2201は、透光性を有しており、サイド装飾基板2204により発光装飾される。

【0413】

第一球受部材2202は、上方及び後方が開放された容器状に形成されており、一般入賞口2001として上方からの遊技球を受けて後方へ誘導させることができる。

30

第二球受部材2203は、後方が開放された箱状に形成されており、上面に右方へ向かって低くなるように傾斜している第二柵部2203aと、第二柵部2203aの下側で左上方へ開口しており一般入賞口2001を形成している球受部2203bと、を有している。

【0414】

基板カバー2205は、前方が開放されている浅い箱状に形成されており、二つの第一球受部材2202及び第二球受部材2203の球受部2203bの後方となる部位に上方へ開放されていると共に前後に延びており一般入賞口2001に受入れられた遊技球を後方へ誘導する樋状の誘導部2205aを有している。

40

【0415】

サイドユニット2200は、遊技パネル1100（パネル板1110）に取付けた状態で、基板カバー2205が取付口1112内に挿入されており、一般入賞口2001に受入れられた遊技球を、誘導部2205aによってパネル板1112の後方へ誘導することができる。

【0416】

[5-8c. アタッカユニット]

次に、表ユニット2000のアタッカユニット2300について、図95等を参照して説明する。アタッカユニット2300は、遊技領域5a内において、正面視右下隅に配置されており、パネル板1110に前方から取付けられている。このアタッカユニット23

50

00は、一つの一般入賞口2001、ゲート部2003、第二始動口2004、及び下大入賞口2005を、有している。具体的には、一般入賞口2001の右方に第二始動口2004が配置されていると共に、第二始動口2004の直上にゲート部2003が配置されており、更に、一般入賞口2001及び第二始動口2004の下方に下大入賞口2005が配置されている。下大入賞口2005は、第二始動口2004の直下から一般入賞口2001の直下を超えて左方へ長く左右に延びている。

【0417】

アタッカユニット2300は、一般入賞口2001及びゲート部2003を有しておりパネル板1110に前方から取付けられるユニットベース2301と、ユニットベース2301の前面上部に取付けられており第二始動口2004の前方を装飾する始動口前部材2302と、ユニットベース2301の前面で始動口前部材2302と下大入賞口2005との間の部位に取付けられており前方へ突出している柵部材2303と、ユニットベース2301の後側に取付けられており第二始動口2004に受入れられた遊技球を誘導する球誘導部材2304と、ユニットベース2301に取付けられており遊技球のゲート部2003の通過を検知するゲートセンサ2305と、を備えている。

10

【0418】

また、アタッカユニット2300は、ユニットベース2301の後側において始動口前部材2302と柵部材2303との間に相当する部位に配置されており前面に複数のLEDが実装されている下アタッカ装飾基板2306と、下アタッカ装飾基板2306の後方を覆うようにユニットベース2301の後面に取付けられている基板カバー2307と、下アタッカ装飾基板2306とユニットベース2301との間に取付けられている格子枠状の遮光部材（図示は省略）と、を備えている。

20

【0419】

また、アタッカユニット2300は、ユニットベース2301の後側に取付けられており第二始動口2004を開閉させる第二始動口ユニット2320と、ユニットベース2301の後側に取付けられており下大入賞口2005を開閉させる下大入賞口ユニット2350と、を備えている。

【0420】

ユニットベース2301は、ゲート部2003が上端部から前方へ突出していると共に、一つの一般入賞口2001がゲート部2003の正面視左下の部位から前方へ突出している。また、ユニットベース2301は、一般入賞口2001に受入れられた遊技球を後方へ案内する樋状の樋部2301aを備えている。このユニットベース2301は、透光性を有している。

30

【0421】

始動口前部材2302は、第二始動口2004の左右両側辺に沿って前方へ延びている一对の側壁部2302a（図156（a）を参照）と、正面視左側の側壁部2302aの上端から左方へ向かって高くなるように延びている誘導部2302bと、正面視右側の側壁部2302aから右方へ遊技球が通過可能な距離を開けて前方へ延びている平板状の外壁部2302cと、一对の側壁部2302a、誘導部2302b、及び外壁部2302cの前端を連結している平板状の前板部2302dと、を備えている。誘導部2302bは、左端がゲート部2003よりも左方へ延び出している。

40

【0422】

柵部材2303は、図156（a）等に示すように、始動口前部材2302の右側の側壁部2302aの直下から一般入賞口2001の左右中央の直下まで、左端が低くなるように上面が延びている。これにより、下大入賞口2005が開状態の時に、遊技球が柵部材2303の上面を転動して左端から放出されると、極めて高い確率で下大入賞口2005に受入れられる。球誘導部材2304は、基板カバー2307の後面に取付けられている。また、球誘導部材2304は、第二始動口2004に受入れられた遊技球を、ユニットベース2301の後方において、第二始動口ユニット2320と下大入賞口ユニット2350との間を通して、下大入賞口ユニット2350よりも後方へ誘導した後に、下方へ

50

放出するように形成されている。

【0423】

第二始動口ユニット2320は、前端に第二始動口2004が開口しておりユニットベース2301の後面に取付けられている前ケース2321と、前ケース2321の後側に取付けられている後ケース2322と、前ケース2321内に第二始動口2004よりも前方に突出可能に前後ヘスライド可能に支持されている第二始動口扉部材2323と、第二始動口扉部材2323を前後ヘスライド駆動させ後ケース2322内に取付けられている始動口ソレノイド2324と、前ケース2321及び後ケース2322に挟まれるように取付けられており第二始動口2004に受入れられた遊技球を検知する第二始動口センサ2325と、を備えている。

10

【0424】

第二始動口ユニット2320は、アタッカユニット2300に組立てた状態では、前ケース2321の前端がユニットベース2301の後方から貫通してユニットケース2301の前面と略同一面上に位置している。これにより、第二始動口2004は、前方へ向かって開口している。そして、始動口ソレノイド2324が非通電の通常の状態では、第二始動口扉部材2323が前ケース2321内に没入しており、第二始動口2004の前方を流下する遊技球は第二始動口2004に進入することなく、第二始動口2001を通過して下方へ流下する。一方、始動口ソレノイド2324に通電されると、第二始動口扉部材2323が、第二始動口2004よりも前方へ突出した状態となる。この状態で、第二始動口2004の前方を遊技球が流下すると、その遊技球が第二始動口扉部材2323に当接して流通方向が下方から後方へと変化し、第二始動口2004に受入れられる。第二始動口2004に受入れられた遊技球は、第二始動口センサ2325により検知された後に、球誘導部材2304に誘導されて下方へ排出される。

20

【0425】

下大入賞口ユニット2350は、ユニットベース2301の後面に取付けられ前面に左右に延びた長方形の下大入賞口2005が開口しているユニットケース2351と、下大入賞口2005を開閉可能としユニットケース2351に回動可能に取付けられている横長長方形で平板状の下大入賞口扉部材2352と、ユニットケース2351内に取付けられており遊技状態に応じて下大入賞口扉部材2352を開閉駆動させる下大入賞口ソレノイド2353と、ユニットケース2351に取付けられており下大入賞口2005に受入れられた遊技球を検知する下大入賞口センサ2354と、ユニットケース2351の下面に取付けられており上面に複数のLEDが実装されている下大入賞口装飾基板2355と、下大入賞口ソレノイド2353、下大入賞口センサ2354、始動口ソレノイド2324、及び第二始動口センサ2325等と、主制御基板との接続を中継しているアタッカユニット中継基板2356と、を備えている。

30

【0426】

下大入賞口2005は、前方へ向かって開口している。この下大入賞口2005を開閉可能な下大入賞口扉部材2352は、下辺の左右両端部がユニットケース2351によって回動可能に取付けられており、上辺が前方且つ下方へ移動するように回動させることで下大入賞口2005を閉状態から開状態とすることができる。

40

【0427】

下大入賞口ユニット2350は、下大入賞口ソレノイド2353が非通電の通常の状態では、下大入賞口扉部材2352が直立して下大入賞口2005を閉鎖している。そして、下大入賞口ソレノイド2353が遊技状態に応じて通電されると、上辺が前方且つ下方へ移動するように下大入賞口扉部材2352が回動して、上辺が下辺よりもやや上方へ位置した状態となる。つまり、下大入賞口扉部材2352が、下大入賞口2005の下辺から前方へ向かって高くなるように傾斜した状態となる。

【0428】

この状態で下大入賞口2005の前方を遊技球が流下して下大入賞口扉部材2352に当接すると、下大入賞口扉部材2352の傾斜により流通方向が下方から後方へと変化し

50

、下大入賞口2005に受入れられることとなる。そして、下大入賞口2005に受入れられた遊技球は、下大入賞口センサ2354により検知された後に、ユニットケース2351の下面から下方へ排出される。

【0429】

[5-8d. センター役物]

次に、表ユニット2000のセンター役物2500について、主に図96及び図97を参照して説明する。センター役物2500は、遊技領域5a内において、始動口ユニット2100やアタッカユニット2300よりも上方で正面視略中央でやや上寄りに配置されており、遊技パネル1100のパネル板1110の前面に取付けられている。センター役物2500は、枠状に形成されており、枠内を通して遊技パネル1100の後方に配置されている中央液晶表示装置1500を前方から視認することができる。センター役物2500は、遊技状態に応じて遊技球の受入れが可能となる上大入賞口2006を有している。センター役物2500は、図83等に応示するように、下辺の一部が始動口ユニット2100とアタッカユニット2300との間を通して右下レール1004付近まで下方へ延びている。つまり、このセンター役物2500は、遊技領域5aを左右に分断している。

10

【0430】

センター役物2500は、パネル板1112の中央で大きく開口している取付口1112の周縁に沿ってパネル板1110の前面に当接する平板枠状のフランジ部2511と、フランジ部2511から前方へ突出しており枠内への遊技球の浸入を阻止する前周壁部2512と、フランジ部2511から後方へ突出して取付口1112内に挿入される後周壁部2513と、を有している枠状のセンターベース2510を備えている。

20

【0431】

センターベース2510の前周壁部2512は、下辺の一部を除いてフランジ部2511の略全周に亘って形成されている。前周壁部2512は、上辺における左右方向中央からやや左寄りの位置が最も高くなっている。

【0432】

また、センター役物2500は、センターベース2510の前周壁部2512において正面視左辺下部の外周面で遊技領域5a内の遊技球が進入可能に開口しているワープ入口2520と、ワープ入口2520に進入した遊技球をセンターベース2510の枠内で下辺の正面視左端付近へ誘導するワープ通路2521と、ワープ通路2521の下流端で遊技球が通過可能に開口しているワープ出口2523と、ワープ出口2523から放出された遊技球が転動可能とされておりセンターベース2510の枠内で下辺に沿って左右に延びていると共に供給された遊技球を遊技領域5a内へ放出するステージ2530と、を備えている。

30

【0433】

ステージ2530は、左右両端が高く遊技領域5aの左右方向中央に対応する部位の左右両側が最も低くなるように湾曲しており、最も低くなっている部位の間が若干高くなるように膨出している。このステージ2530は、遊技領域5aの左右方向中央に対応する部位に形成されており前端から後方へ切欠かれている中央誘導溝2531と、最も低くなっている二つの部位に夫々形成されており前方へ向かって低くなると共に左右へ広がる扇状のサイド誘導溝2532と、を備えている。遊技盤5を組立てた状態では、中央誘導溝2531の直下に第一始動口2002が位置しており、中央誘導溝2531から遊技領域5a内へ放出された遊技球が、極めて高い確率で第一始動口2002に受入れられる。

40

【0434】

また、センター役物2500は、前周壁部2512において上辺の正面視右端部の外周面で遊技領域5a内の遊技球が進入可能に開口している右上入口2540と、右上入口2540の下方でセンターベース2510の上辺の右部に形成されており正面視左辺に上大入賞口2006が開口している所定広さの上遊技空間2541と、上遊技空間2541の底部における正面視右端からセンターベース2510の右辺に沿って下方へ延びていると共に下端が左方へ折れ曲がっており遊技球が流通可能な右通路2542と、右通路254

50

2 の下端で下方へ向かって開口している右下出口 2 5 4 3 と、を備えている。

【0 4 3 5】

右上入口 2 5 4 0 は、遊技球の外径よりも若干大きい幅で鉛直に延びており、上部が上方へ向かって広がっている。上遊技空間 2 5 4 1 は、遊技球が上下方向及び左右方向へ十分に移動できる広さに形成されている。この上遊技空間 2 5 4 1 は、右上入口 2 5 4 0 よりも正面視左方に上大入賞口 2 0 0 6 が開口している。また、上遊技空間 2 5 4 1 は、右上入口 2 5 4 0 の直下に正面視右方へ向かって低くなるように傾斜している案内部 2 5 4 1 a を有している。この案内部 2 5 4 1 a により、右上入口 2 5 4 0 を通って落下してきた遊技球を、上遊技空間 2 5 4 1 内で跳ね上がらせることなく、上遊技空間 2 5 4 1 の底面に沿って転動させて、右通路 2 5 4 2 へスムーズに案内させることができる。

10

【0 4 3 6】

右通路 2 5 4 2 は、前側と後側の壁面に左右に延びた突条 2 5 4 2 a が、上下方向へ交互に複数備えられており、各突条 2 5 4 2 a に遊技球が当接することにより、遊技球の流下速度を減衰させることができる。右下出口 2 5 4 3 は、遊技盤 5 を組立てた状態で、アタッカユニット 2 3 0 0 におけるゲート部 2 0 0 3 の直上に開口している。なお、図示は省略するが、遊技パネル 1 1 0 0 (パネル板 1 1 1 0) には、右下出口 2 5 4 3 とゲート部 2 0 0 3 との間にも、複数の障害釘が植設されている。

【0 4 3 7】

更に、センター役物 2 5 0 0 は、上大入賞口 2 0 0 6 を閉鎖している上大入賞口扉部材 2 5 5 0 と、上大入賞口扉部材 2 5 5 0 を遊技状態に応じて開閉駆動する上大入賞口ソレノイド 2 5 5 1 と、上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられた遊技球を検知する上大入賞口センサ 2 5 5 2 と、上大入賞口センサ 2 5 5 2 により検知された遊技球をフランジ部 2 5 1 1 よりも後方へ誘導する後方誘導路 2 5 5 3 (図 1 5 6 を参照) と、後方誘導路 2 5 5 3 の後端に開口しており遊技球が通過可能な後方放出口 2 5 5 4 と、後方誘導路 2 5 5 3 の途中から分岐しておりセンターベース 2 5 1 0 の正面視右辺に沿って遊技球を下方へ誘導する逃し通路 2 5 5 5 と、逃し通路の下端に開口している排出口 2 5 5 6 と、を備えている。

20

【0 4 3 8】

上大入賞口扉部材 2 5 5 0 は、上遊技空間 2 5 4 1 内における右上入口 2 5 4 0 よりも正面視左方に開口している上大入賞口 2 0 0 6 を開閉するものである。この上大入賞口扉部材 2 5 5 0 は、下端が右上入口 2 5 4 0 よりも左方で上遊技空間 2 5 4 1 の底面付近で前後に延びた軸周りに対して回転可能に取付けられており、直立した状態で上端が上遊技空間の天井付近まで延びている。この上大入賞口扉部材 2 5 5 0 は、通常の状態では直立しており、上大入賞口 2 0 0 6 を閉鎖している。そして、遊技状態に応じて上大入賞口ソレノイド 2 5 5 1 に通電されると、上端が正面視右方へ移動するように回動して、遊技球が受入可能となるように上大入賞口 2 0 0 6 を開放する。この状態では、上大入賞口扉部材 2 5 5 0 の上端が、下端よりも高くなっていると共に右上入口 2 5 4 0 よりも正面視右方へ位置している。従って、右上入口 2 5 4 0 を通って上大入賞口扉部材 2 5 5 0 に落下した遊技球は、上大入賞口扉部材 2 5 5 0 により誘導されて上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられる。

30

40

【0 4 3 9】

上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられた遊技球は、上大入賞口扉部材 2 5 5 0 の左下に配置されている上大入賞口センサ 2 5 5 2 に検知された後に、後方誘導路 2 5 5 3 によりフランジ部 2 5 5 1 の後方へ誘導される。この後方誘導路 2 5 5 3 の後端に開口している後方放出口 2 5 5 4 は、通常は後述する裏ユニット 3 0 0 0 の裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 における裏右回転装飾体 3 3 1 0 の第一装飾面 3 3 1 0 a の外周面によって閉鎖されている。従って、後方放出口 2 5 5 4 から遊技球が放出されない時には、後方放出口 2 5 5 4 の直前で分岐している逃し通路 2 5 5 5 へ遊技球が進入し、逃し通路 2 5 5 5 を通って排出口 2 5 5 6 から下方へ排出される。

【0 4 4 0】

50

また、センター役物 2 5 0 0 は、センターベース 2 5 1 0 の上辺に取付けられている表上可動演出ユニット 2 5 6 0 と、センターベース 2 5 1 0 の下辺に取付けられている表下可動演出ユニット 2 5 7 0 と、を備えている。センター役物 2 5 0 0 の表上可動演出ユニット 2 5 6 0 は、センターベース 2 5 1 0 の枠内において昇降可能に取付けられておりパチンコ機 1 のコンセプトに沿った装飾が施されている表上可動装飾体 2 5 6 1 と、表上可動装飾体 2 5 6 1 の後側に取付けられており前面に複数の LED が実装されている表上可動装飾体装飾基板（図示は省略）と、センターベース 2 5 1 0 の後側に取付けられており遊技状態に応じて表上可動装飾体 2 5 6 1 を昇降させる表上駆動モータ 2 5 6 3 と、を備えている。

【0 4 4 1】

10

表下可動演出ユニット 2 5 7 0 は、センターベース 2 5 1 0 の下辺におけるステージ 2 5 3 0 よりも下方へ延出している部位に取付けられており前面に装飾が施されている平板状で透光性を有している表下装飾体 2 5 7 1 と、表下装飾体 2 5 7 1 よりも前方で回転可能に取付けられている第一回転装飾体 2 5 7 2、第二回転装飾体 2 5 7 3、及び第三回転装飾体 2 5 7 4 と、センターベース 2 5 1 0 の後側に取付けられており遊技状態に応じて第一回転装飾体 2 5 7 2、第二回転装飾体 2 5 7 3、及び第三回転装飾体 2 5 7 4 を回転させる表下駆動モータ 2 5 7 5 と、表下装飾体 2 5 7 1 の後側に取付けられており前面に複数の LED が実装されている表下可動装飾体装飾基板 2 5 7 6 と、を備えている。

【0 4 4 2】

表下可動演出ユニット 2 5 7 0 は、第一回転装飾体 2 5 7 2、第二回転装飾体 2 5 7 3、及び第三回転装飾体 2 5 7 4 が、手裏剣を模した形状に形成されており、表下駆動モータ 2 5 7 5 の駆動により、夫々同一方向へ回転する。

20

【0 4 4 3】

[5 - 9 . 裏ユニットの全体構成]

次に、遊技盤 5 における裏ユニット 3 0 0 0 の全体構成について、主に図 9 8 乃至図 1 0 1 を参照して詳細に説明する。図 9 8 は裏ユニットを前から見た斜視図であり、図 9 9 は裏ユニットを後ろから見た斜視図である。図 1 0 0 は裏ユニットを主な構成毎に分解して前から見た分解斜視図であり、図 1 0 1 は裏ユニットを主な構成毎に分解して後ろから見た分解斜視図である。裏ユニット 3 0 0 0 は、遊技パネル 1 1 0 0 におけるパネルホルダ 1 1 2 0 の後面に取付けられている。また、裏ユニット 3 0 0 0 の後面には中央液晶表示装置 1 5 0 0 が着脱可能に取付けられている。

30

【0 4 4 4】

裏ユニット 3 0 0 0 は、パネルホルダ 1 1 2 0 の後面に取付けられ前方が開放されている箱状で後壁に四角い開口部 3 0 1 0 a を有している裏箱 3 0 1 0 と、裏箱 3 0 1 0 の後面に取付けられており中央液晶表示装置 1 5 0 0 を着脱可能に取付けるためのロック機構 3 0 2 0 と、裏箱 3 0 1 0 の下部左側前端付近に取付けられておりサイドユニット 2 2 0 0 の一般入賞口 2 0 0 1 に受入れられた遊技球を下方へ誘導して基板ホルダ 1 2 0 0 上へ放出する左下球通路ユニット 3 0 3 0 と、裏箱 3 0 1 0 の下部右側前端付近に取付けられておりアタッカユニット 2 3 0 0 の一般入賞口 2 0 0 1 に受入れられた遊技球と上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられて後述する裏右左可動演出ユニット 3 3 0 0 における裏右下ベース 3 3 0 3 の排出口 3 3 0 3 a から排出された遊技球とセンター役物 2 5 0 0 の逃し通路 2 5 5 5 の排出口 2 5 5 6 から排出された遊技球とを下方へ誘導して基板ホルダ 1 2 0 0 上へ放出する右下球通路ユニット 3 0 4 0 と、左下球通路ユニット 3 0 3 0 及び右下球通路ユニット 3 0 4 0 に夫々取付けられており一般入賞口 2 0 0 1 に受入れられた遊技球を検知する一般入賞口センサ 3 0 5 0 と、を備えている。

40

【0 4 4 5】

また、裏ユニット 3 0 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 の後面で開口部 3 0 1 0 a の背面視左方に取付けられており周辺制御基板からの制御コマンドに基づいて各装飾基板を駆動するランプ駆動基板 3 0 6 0 と、ランプ駆動基板 3 0 6 0 の後方を覆うように裏箱 3 0 1 0 の後面に取付けられているランプ駆動基板カバー 3 0 6 1 と、裏箱 3 0 1 0 の後面で開口部 3 0

50

10 aの背面視下方に取付けられており周辺制御基板からの制御コマンドに基づいて各駆動モータを駆動するモータ駆動基板3062と、モータ駆動基板3062の後方を覆うように裏箱3010の後面に取付けられているモータ駆動基板カバー3063と、裏箱3010の後面で背面視左下隅に取付けられており主制御基板と各入賞口センサや各入賞口ソレノイド等との接続を中継しているパネル中継基板3064と、を備えている。

【0446】

更に、裏ユニット3000は、裏箱3010の前端で上辺及び左辺に沿って取付けられている裏周縁装飾ユニット3080と、裏箱3010内で開口部3010aの上方に取付けられている裏上可動演出ユニット3100と、裏箱3010内の前端付近で開口部3010aの下方に取付けられている裏下前可動演出ユニット3200と、裏箱3010内で開口部3010aの右方に取付けられている裏右可動演出ユニット3300と、裏箱3010内で開口部3010aの左方に取付けられている裏左可動演出ユニット3400と、裏箱3010内で開口部3010aの下方且つ裏下前可動演出ユニット3200の後方に取付けられている裏下後可動演出ユニット3500と、裏箱3010内で裏上可動演出ユニット3100及び裏下後可動演出ユニット3500の夫々左右両側に取付けられている裏四隅可動演出ユニット3600と、を備えている。

【0447】

[5-9 a. 裏箱]

次に、裏ユニット3000の裏箱3010について、図98乃至図101等を参照して詳細に説明する。裏箱3010は、前方が開放されている箱状で後壁に四角く貫通している開口部3010aと、開口部3010aの周縁から間隔を開けて後方へ平板状に突出している枠状の液晶取付部3010bと、液晶取付部3010bにおける背面視右辺において内側から外側へ向かって窪んでおり中央液晶表示装置1500の左固定片1501が挿入される二つの固定溝3010cと、液晶取付部3010bの背面視左辺の上下方向中央において後端から裏箱3010の後壁まで切欠かれている切欠部3010dと、を備えている。

【0448】

開口部3010aは、中央液晶表示装置1500の表示画面と略同じ大きさに形成されている。また、液晶取付部3010bは、枠内に中央液晶表示装置1500を嵌め込むことが可能な大きさに形成されている。裏箱3010は、後面における切欠部3010dの背面視左側にロック機構3020が上下にスライド可能に取付けられる。

【0449】

また、裏箱3010は、前端から外方へ延出している平板状の固定片部3010eを備えている。この固定片部3010eは、前面が遊技パネル1100のパネルホルダ1120の後面に当接した状態で、パネルホルダ1120に取付けられる。

【0450】

また、裏箱3010は、詳細な説明は省略するが、各可動演出ユニット等を取付けるためのボスや取付孔等が適宜位置に形成されている。

【0451】

[5-9 b. 左下球通路ユニット]

次に、裏ユニット3000の左下球通路ユニット3030について、図98乃至図101等を参照して詳細に説明する。この左下球通路ユニット3030は、裏箱3010において、サイドユニット2200の後方に相当する部位に取付けられている。この左下球通路ユニット3030は、正面視形状が上下に延びる辺が左右に延びる辺よりも短いL字形状に形成されており、内部が中空に形成されている。左下球通路ユニット3030は、前面に前方へ向かって開口しており遊技球が通過可能な三つの進入口3031を備えている。これら三つの進入口3031は、サイドユニット2200における三つの誘導部2205aと対応した位置に形成されている。

【0452】

この左下球通路ユニット3030は、中空の内部が、正面視右方へ向かって低くなるよ

10

20

30

40

50

うに傾斜しており、三つの進入口3031から進入した遊技球が、下面の右端付近で下方へ放出される。この左下球通路ユニット3030には、一般入賞口センサ3050が取付けられており、進入口3031から内部に進入した遊技球が一般入賞口センサ3050によって検知される。つまり、サイドユニット2200の一般入賞口2001に受入れられた遊技球は、左下球通路ユニット3030に取付けられている一般入賞口センサ3050によって検知される。

【0453】

[5-9c. 右下球通路ユニット]

次に、裏ユニット3000の右下球通路ユニット3040について、図98乃至図101等を参照して詳細に説明する。この右下球通路ユニット3040は、裏箱3010において、アタッカユニット2300の後方に相当する部位に取付けられている。この右下球通路ユニット3040は、前方へ向かって開口しておりアタッカユニット2300の一般入賞口2001に受入れられた遊技球が進入可能な第一進入口3041と、後述する裏右可動演出ユニット3300の下面に開口している排出口3303aの直下で上方へ向かって開口している第二進入口3042と、第二進入口3042の正面視右方且つ上方で上方へ向かって開口しておりセンター役物2500の逃し通路2555を流通して排出口2556から排出された遊技球が進入可能な第三進入口3043と、を備えている。

【0454】

この右下球通路ユニット3040は、第一進入口3041、第二進入口3042、及び第三進入口3043に進入した遊技球を、夫々独立した通路を通して下方へ排出している。右下球通路ユニット3040には、第一進入口3041に進入した遊技球を検知する一般入賞口センサ3050が取付けられている。つまり、アタッカユニット2300の一般入賞口2001に受入れられた遊技球は、右下球通路ユニット3040に取付けられている一般入賞口センサ3050により検知される。

【0455】

[5-9d. 裏周縁装飾ユニット]

次に、裏ユニット3000の裏周縁装飾ユニット3080について、図98乃至図101等を参照して詳細に説明する。この裏周縁装飾ユニット3080は、遊技領域5a内においてセンター役物2500の上方、左方、及び左下方に相当する部位で、裏箱3010の前端の上辺及び左辺に沿って取付けられている。この裏周縁装飾ユニット3080は、C字状に延びている透光性を有した裏周縁装飾部材3081と、裏周縁装飾部材3081の後側に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏周縁装飾基板3082と、裏周縁装飾基板3082の後方を覆っており裏周縁装飾部材3081の後側に取付けられている基板カバー3083と、を備えている。

【0456】

この裏周縁装飾ユニット3080は、裏周縁装飾基板3082のLEDを適宜発光させることにより、裏周縁装飾部材3081を発光装飾させることができる。また、遊技盤5を組立てた状態では、透明なパネル板1110を通して裏周縁装飾部材3081の前面が遊技者側から視認可能となり、遊技領域5a内におけるセンター役物2500の外側を装飾している。

【0457】

[5-9e. 裏上可動演出ユニット]

次に、裏ユニット3000の裏上可動演出ユニット3100について、主に図102乃至図116を参照して詳細に説明する。図102(a)は裏ユニットにおける裏上可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b)は裏上可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図103は裏上可動演出ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図104は裏上可動演出ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図105は裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図106は裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。更に、図107は、裏上可動装飾体ユニットにおける裏上副装飾体

の動きを示す説明図である。また、図108は裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットが退避位置の時の内部機構の状態を示す正面図であり、図109は裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットが第一出現位置の時の内部機構の状態を示す正面図であり、図110は裏上可動演出ユニットの裏上装飾体ユニットが第二出現位置の時の内部機構の状態を示す正面図である。

【0458】

また、図111(a)は裏上可動演出ユニットの内部機構の一部を示す正面図であり、(b)は内部機構における(a)とは異なる一部を前から見た斜視図であり、(c)は(b)を後ろから見た斜視図である。更に、図112は、裏上可動演出ユニットの内部機構の一部の動きを示す説明図である。また、図113(a)は退避位置における内部機構を構成している主な部材の状態を示す説明図であり、(b)は(a)の状態から第一伝達部材が回転して第一被伝達部材への回転の伝達が始動された状態を示す説明図であり、図114(c)は図113(b)の状態から第一伝達部材と共に第一被伝達部材が更に回転して裏上装飾体ユニットが退避位置から第一出現位置へ向かって下降している状態を示す説明図であり、(d)は(c)の状態から第一伝達部材と共に第一被伝達部材が更に回転して第一被伝達部材への回転の伝達が終了し裏上装飾体ユニットが第一出現位置に到達した状態を示す説明図である。

【0459】

更に、図115(e)は図114(d)の状態から第一伝達部材と一緒に回転していた伝達機構の第二伝達部材が更に回転して第二被伝達部材への回転の伝達が始動された状態を示す説明図であり、(f)は(e)の状態から第二伝達部材と共に第二被伝達部材が回転して裏上装飾体ユニットが第一出現位置から第二出現位置へ向かって下降しながら回転している状態を示す説明図であり、図116(g)は図115(f)の状態から第二伝達部材と共に第二被伝達部材が回転して裏上装飾体ユニットが第二出現位置へ向かって更に下降しながら回転している状態を示す説明図であり、(h)は(g)の状態から第二伝達部材と共に第二被伝達部材が更に回転して第二被伝達部材への回転の伝達が終了し裏上装飾体ユニットが第一出現位置の状態から下降しながら半回転して第二出現位置に到達した状態を示す説明図である。

【0460】

裏上可動演出ユニット3100は、裏箱3010内において、開口部3010aの上方に取付けられている。この裏上可動演出ユニット3100は、裏箱3010内に取付けられ左右に延びているユニットベース3101と、ユニットベース3101の後側に取付けられておりユニットベース3101との間に空間を形成している後カバー3102と、ユニットベース3101の正面視右端付近の前面に取付けられており回転軸がユニットベース3101を貫通してユニットベース3101と後カバー3102との間へ突出している裏上駆動モータ3103と、を備えている。

【0461】

また、裏上可動演出ユニット3100は、裏上駆動モータ3103の回転軸に固定されている平歯車状の駆動ギア3104と、駆動ギア3104と噛合している平歯車状の第一大径ギア3105a、及び第一大径ギア3105aよりも小径で第一大径ギア3105aの後側で第一大径ギア3105aと一体回転する第一小径ギア3105bを有しており、駆動ギア3104の正面視左方に配置されている第一従動ギア3105と、第一従動ギア3105の第一小径ギア3105bと噛合している平歯車状の第二大径ギア3106a、及び第二大径ギア3106aよりも小径で第二大径ギア3106aの前側で第二大径ギア3106aと一体回転する第二小径ギア3106bを有しており、第一従動ギア3105の正面視左方に配置されている第二従動ギア3106と、第二従動ギア3106の第二小径ギア3106bと噛合している平歯車状の第一伝達ギア3107aを有しており第二従動ギア3106の正面視左方に配置されている第一伝達部材3107と、第一伝達部材3107の第一伝達ギア3107aと噛合している平歯車状の第二伝達ギア3108aを有しており第一伝達部材3107の正面視左方に配置されている第二伝達部材3108と、

を備えている（図111（a）等を参照）。

【0462】

第一従動ギア3105、第二従動ギア3106、第一伝達部材3107、及び第二伝達部材3108は、ユニットベース3101と後カバー3102との間で、ユニットベース3101と後カバー3102とにより回転可能に取付けられている。

【0463】

第一伝達部材3107は、平歯車状の第一伝達ギア3107aの前面で外周縁付近から回転軸と平行に前方へ突出している円柱状の第一伝達ピン3107bと、第一伝達ピン3107bの公転半径よりも小さい半径で第一伝達ギア3107aの前面から同心円上に前方へ突出している円盤状の第一ロック突部3107cと、第一ロック突部3107cと第一伝達ピン3107bとの間で、第一ロック突部3107cの外周面における第一伝達ギア3107aの中心と第一伝達ピン3107bの中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲から第一ロック突部3107cの中心へ向かって扇状に切欠かれている第一切欠部3107dと、を有している。

10

【0464】

第二伝達部材3108は、平歯車状の第二伝達ギア3108aの前面で外周縁付近から回転軸と平行に前方へ突出している円柱状の第二伝達ピン3108bと、第二伝達ピン3108bの公転半径よりも小さい半径で第二伝達ギア3108aの前面から同心円上に前方へ突出している円盤状の第二ロック突部3108cと、第二ロック突部3108cと第二伝達ピン3108bとの間で、第二ロック突部3108cの外周面における第二伝達ギア3108aの中心と第二伝達ピン3108bの中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲から第二ロック突部3108cの中心へ向かって扇状に切欠かれている第二切欠部3108dと、を有している。

20

【0465】

第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108の第一伝達ギア3107a及び第二伝達ギア3108aは、同一の直径に形成されている。また、第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108の第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108bは、円柱状の直径が同一に形成されていると共に、公転半径が同一に形成されている。第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108の第一ロック突部3107c及び第二ロック突部3108cは、同一の直径に形成されている。更に、第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108の第一切欠部3107d及び第二切欠部3108dは、第一ロック突部3107c及び第二ロック突部3108cの円周に対して72度の角度範囲で扇状に形成されている。

30

【0466】

更に、裏上可動演出ユニット3100は、ユニットベース3101の正面視左端付近の前面において下端がユニットベース3101に取付けられており上下に延びている円柱状のスライドシャフト3109と、スライドシャフト3109の上端をユニットベース3101の前面に取付けているシャフト取付部材3110と、スライドシャフト3109により上下にスライド可能に取付けられており後方へ延出している平板状検知片3111aを有している左スライダ3111と、左スライダ3111の検知片3111aを検知しユニットベース3101に取付けられている裏上昇降検知センサ3112と、ユニットベース3101の前面で裏上駆動モータ3103よりも正面視左方で上部が取付けられており、下端がユニットベース3101の下面より下方へ突出するように上下に延びているレールブラケット3113と、レールブラケット3113の正面視左側面に取り付けられており上下にスライドする右スライダ3114aを有しているスライドレール3114と、スライドレール3114の右スライダ3114aに取り付けられており上下に延びたラックギア3115aを有しているラック部材3115と、左右両端が左スライダ3111とラック部材3115とに夫々取付けられている平板状の第一可動ベース3116と、を備えている。

40

【0467】

50

また、裏上可動演出ユニット3100は、流滴状に形成されている平板状の第一基板部3117a、及び第一基板部3117aにおける流滴状の先端から前方へ突出している円柱状の第一作用ピン3117bを有しており、ユニットベース3101の前面における第一伝達部材3107の正面視右方の位置で第一作用ピン3117bが公転するようにユニットベース3101に回転可能に取付けられていると共に第一伝達部材3107の回転が伝達可能とされている第一被伝達部材3117と、第一被伝達部材3117の第一作用ピン3117bが左右方向へ摺動可能に挿入される第一軸受スリット3118aを有しており第一可動ベース3116の後面に取付けられている軸受部材3118と、を備えている。

【0468】

10

第一可動ベース3116は、前後に貫通していると共に下端から上下方向中央付近まで延びている開口部3116aを有している。第一可動ベース3116の後面において、開口部3116aの正面視右方にラック部材3115が取付けられている。ラック部材3115のラックギア3115aは、歯先が正面視左方を向いた状態で開口部3116aに沿って延びている。

【0469】

この第一可動ベース3116は、左スライダ3111及び右スライダ3114aを介して、スライドシャフト3109及びスライドレール3114により上下へスライド可能（昇降可能）に取付けられている。また、第一可動ベース3116は、軸受部材3118の第一軸受スリット3118aに挿入されている第一被伝達部材3117の第一作用ピン3117bにより、上下方向の位置が規制されている。従って、第一被伝達部材3117を回転させて第一作用ピン3117bを公転させて、第一作用ピン3117bの上下方向の位置を変化させると、第一作用ピン3117bが第一軸受スリット3118a内を左右方向へ摺動すると共に、第一可動ベース3116が上下方向へスライドする。つまり、第一被伝達部材3117を回転させると、第一可動ベース3116が上下にスライドする。

20

【0470】

第一被伝達部材3117の第一基板部3117aは、正面視の形状が、第二従動ギア3106の第二大径ギア3106aのギア歯の谷径と略同じ直径の基円と、その基円の外方から接するように延びた二辺と、で主に構成された形状（所謂、流滴状）に形成されている。第一被伝達部材3117は、第一ベース部3117aにおける基円の中心を、回転中心としており、この回転中心は、第二従動ギア3106の中心と同軸上に配置されている。第一作用ピン3117bは、第一基板部3117aにおける基円と接している二辺が交わっている（流滴状の先端）付近から突出している。

30

【0471】

この第一被伝達部材3117は、第一基板部3117aの基円と同じ直径で第一基板部3117aの後面から後方へ突出している円筒状の第一被伝達本体部3117cと、第一被伝達本体部3117cの外周面から中心へ向かって凹んでおり第一伝達ピン3107bが摺動可能に挿入される第一伝達スリット3117dと、第一被伝達本体部3117cの外周面における第一伝達スリット3117dの両側において、外周面から中心へ向かって円弧状に凹んでいる一対の第一ロック凹部3117eと、を有している。

40

【0472】

第一ロック凹部3117eは、第一伝達部材3107の第一ロック突部3107cの直径に対して、若干大きい直径の円弧で凹んでいる。また、一対の第一ロック凹部3117eは、夫々の凹んでいる円弧の中心と、第一被伝達部材3117の回転中心とを結ぶ線同士が、90度の角度で交わるように形成されている。

【0473】

この第一被伝達部材3117は、裏上可動演出ユニット3100を組立てた状態では、第一被伝達本体部3117cが、第一伝達部材3107の第一伝達ピン3107b及び第一ロック突部3107cと、前後方向の位置が同じとなっている。これにより、第一伝達スリット3117d内に第一伝達ピン3107bを挿入させることができ、第一伝達ピン

50

3170b及び第一伝達スリット3117dを介して回転を伝達させることができる。また、第一ロック凹部3117e内に第一ロック突部3107cの一部を挿入させることができ、第一ロック凹部3117e内に第一ロック突部3107cの一部が挿入されることにより、第一被伝達部材3117の回転を規制（ロック）することができる。

【0474】

また、裏上可動演出ユニット3100は、上端部に前後に貫通していると共に左右に延びている第二軸受スリット3119a、及び上下方向の略中央で前後に貫通している軸受孔3119bを有しており、軸受孔3119bが開口部3116aから前方へ臨むように第一可動ベース3116の後面において上下にスライド可能に取付けられている第二可動ベース3119と、第一可動ベース3116の前方に配置されており、第二可動ベース3119の軸受孔3119aへ回転可能に挿入される軸部3151aを有し、パチンコ機1のコンセプトに沿った所定のキャラクタの顔を含む頭部を模した裏上装飾体ユニット3150と、第二可動ベース3119を貫通している裏上装飾体ユニット3150の軸部3151aの後端に取付けられておりラック部材3115のラックギア3115aと噛合している平歯車状の装飾体回転ギア3120と、装飾体回転ギア3120の後方を被覆するように第二可動ベース3119の後面に取付けられている平板状のギアカバー3121と、を備えている。

10

【0475】

第二可動ベース3119を、第一可動ベース3116に対して相対的にスライドさせると、第二可動ベース3119の軸受孔3119bに取付けられている裏上装飾体ユニット3150も第二可動ベース3119と一緒にスライドする。この際に、第一可動ベース3116に取付けられているラック部材3115のラックギア3115aに、裏上装飾体ユニット3150の軸部3151aに取付けられている装飾体回転ギア3120が噛合しているため、第二可動ベース3119がスライドすると、装飾体回転ギア3120が裏上装飾体ユニット3150と共に回転する。

20

【0476】

更に、裏上可動演出ユニット3100は、正面視第二伝達部材3108の下方且つユニットベース3101の前方でユニットベース3101に回転可能に取付けられており第二伝達部材3108の回転が伝達可能とされている第二被伝達部材3122と、第二被伝達部材3122の前面で回転面に沿った方向へスライド可能に取付けられている回転リンク部材3123と、回転リンク部材3123の前面で第二被伝達部材3122に対するスライド方向と交差している方向へスライド可能に取付けられていると共に、第一可動ベース3116の後方で回転可能に取付けられており、回転中心に対して偏芯した位置から後方へ突出し第二可動ベース3119の第二軸受スリット3119a内へ摺動可能に挿入される円柱状の第二作用ピン3124aを有している第二可動ベース駆動部材3124と、第二可動ベース駆動部材3124を第一可動ベース3116に対して回転可能に取付けている軸部材3125と、を備えている。

30

【0477】

第二被伝達部材3122は、ユニットベース3101に回転可能に取付けられる円盤状の第二基板部3122aと、第二基板部3122aの周縁から後方へ突出している円筒状の第二被伝達本体部3122bと、第二被伝達本体部3122bの外周面から中心へ向かって凹んでおり第二伝達ピン3108bが摺動可能に挿入される第二伝達スリット3122cと、第二被伝達本体部3122bの外周面における第二伝達スリット3122cの両側において、外周面から中心へ向かって円弧状に凹んでいる一対の第二ロック凹部3122dと、第二基板部3122aの前面から後方へ凹んでいると共に回転軸に対して直角に延びており一方の端部が第二基板部3122aの外周面に開口している溝状の第一伝達案内部3122eと、を有している（図111（b）及び（c）等を参照）。

40

【0478】

第二被伝達部材3122は、第二基板部3122a（第二被伝達本体部3122b）の半径が、回転中心から第二伝達部材3108の回転中心まで距離よりも短く、且つ、第二

50

ロック突部 3108c の外周面までの距離よりも長く形成されている。第二ロック凹部 3122d は、第二伝達部材 3108 の第二ロック突部 3108c の直径に対して、若干大きい直径の円弧で凹んでいる。また、一对の第二ロック凹部 3122d は、夫々の凹んでいる円弧の中心と、第二被伝達部材 3122 の回転中心とを結ぶ線同士が、90度の角度で交わるように形成されている。

【0479】

第一案内伝達部 3122e は、第二伝達スリット 3122c の延びている方向に対して、54度の角度で傾いて延びている。また、第一案内伝達部 3122e は、第二伝達スリット 3122c が周面に開口している方向とは、反対方向へ周面に開口している。

【0480】

回転リンク部材 3123 は、平板状のリンク本体部 3123a と、リンク本体部 3123a の後面から突出しており第二被伝達部材 3122 の第一伝達案内部 3122e 内へ摺動可能に挿入される平板状の一对の第一被伝達案内部 3123b と、リンク本体部 3123a の前面から突出している前方突部 3123c と、前方突部 3123c の前面から後方へ凹んでいると共に第一被伝達案内部 3123b が延びている方向に対して交差する方向に延びており両端が前方突部 3123c の外周面に開口している溝状の第二伝達案内部 3123d と、を有している（図111（b）及び（c）等を参照）。

【0481】

回転リンク部材 3123 の一对の第一被伝達案内部 3123b は、リンク本体部 3123a の中心を通る軸線に対して対称に備えられていると共に、中心から偏芯して備えられている。第二伝達案内部 3123c は、リンク本体部 3123a の中心を通る軸線上に備えられている。第一被伝達案内部 3123b と第二伝達案内部 3123c は、95度の角度で交差する方向へ夫々が延びている。

【0482】

第二可動ベース駆動部材 3124 は、第二作用ピン 3124a が回転中心に対して偏芯した位置から後方へ突出しており、第一可動ベース 3116 に回転可能に取付けられる駆動本体部 3124b と、駆動本体部 3124b の後面から後方へ突出し回転中心を通ると共に回転軸に対して直角に延びており、回転リンク部材 3123 の第二伝達案内部 3123d 内に摺動可能に挿入される第二被伝達案内部 3124c と、を有している（図111（b）及び（c）等を参照）。

【0483】

裏上装飾体ユニット 3150 は、図105及び図106等に応示するように、平板状で後面の中央から円柱状に突出している軸部 3151a を有している装飾体ベース 3151 と、装飾体ベース 3151 の前面に取付けられており所定のキャラクタの頭部を立体的に模しており二つの楕円状の開口部 3152a を有している裏上装飾体 3152 と、装飾体ベース 3151 の前面に取付けられており前面に複数の LED が実装されている C 字状の裏上装飾体基板 3153 と、を備えている。

【0484】

また、裏上装飾体ユニット 3150 は、裏上装飾体 3152 の後方で装飾体ベース 3151 の前面の略中央に配置されており左右に延びている円柱状の案内シャフト 3154 と、案内シャフト 3154 の両端を装飾体ベース 3151 の前面に取付けている一对のシャフトブラケット 3155 と、案内シャフト 3154 によって左右へ案内可能に取付けられており、左右方向中央下部に上下に延びている案内スリット 3156a を有している平板状の副装飾体用スライダ 3156 と、副装飾体用スライダ 3156 の前面に取付けられており裏上装飾体 3152 の一对の開口部 3152a を閉鎖していると共に開口部 3152a から臨む部位に楕円形の副装飾 3157a が施されている裏上副装飾体 3157 と、裏上副装飾体 3157 の後方で副装飾体用スライダ 3156 の前面に取付けられており前面に複数の LED が実装されている裏上副装飾基板 3158 と、を備えている。

【0485】

更に、裏上装飾体ユニット 3150 は、装飾体ベース 3151 の前面下端付近に回転軸

10

20

30

40

50

が左右に延びるように取付けられている裏上副駆動モータ3159と、裏上副駆動モータ3159の回転軸に取付けられているウォームギア3160と、ウォームギア3156よりも上方で装飾体ベース3151に回転可能に取付けられている円盤状の本体部3161a、本体部3161aの外周面に沿って延びておりウォームギア3160と噛合しているギア部3161b、本体部3161aにおけるギア部3161bと反対側の外周面から副装飾体用スライダ3156の後方へ延出している延出片3161c、及び延出片3161cの先端から前方へ突出しており副装飾体用スライダ3156の案内スリット3156a内へ摺動可能に挿入されている円柱状の摺動ピン3161d、を有しているギア部材3161と、を備えている。

【0486】

10

裏上装飾体ユニット3150は、裏上装飾体3152の二つの開口部3152aが所定のキャラクタの目の外周を形成しており、二つの開口部3152aから前方へ臨む裏上副装飾体3157の副装飾3157aが瞳を形成している。裏上装飾体3152及び裏上副装飾体3157は、透光性を有しており、夫々の後方に配置されている裏上装飾基板3153及び裏上副装飾基板3158のLEDにより発光装飾される。

【0487】

この裏上装飾体ユニット3150は、図示するように、通常の状態では、裏上装飾体3152によって摸されている所定のキャラクタの頭部が、天地が逆転した状態となっている。また、裏上装飾体ユニット3150は、裏上副駆動モータ3159の回転駆動により、裏上装飾体3152に対して裏上副装飾体3157を左右にスライドさせることができる。これにより、裏上装飾体3152によって摸されている所定のキャラクタの瞳（副装飾3157a）が左右にキョロキョロする可動演出を行うことができる。

20

【0488】

続いて、裏上可動演出ユニット3100の動作について、詳細に説明する。まず、裏上装飾体ユニット3150における裏上副装飾体3157の動作について説明する。図107(a)に示すように、通常の状態では、ギア部材3161の延出片3161cが、上方へ鉛直に延びた状態で取付けられている。この状態では、副装飾体用スライダ3156が左右に延びているスライド範囲の略中央に位置しており、副装飾体用スライダ3156の前面に取付けられている裏上副装飾体3157の二つの副装飾3157aが、裏上装飾体3152の二つの開口部3152a内の略中央に夫々位置している。つまり、通常の状態では、裏上装飾体3152により摸されている所定のキャラクタが正面を見ている。

30

【0489】

この通常の状態で、例えば、裏上副駆動モータ3159によりウォームギア3160を、右側面視において時計回りの方向へ回転させると、ウォームギア3160に噛合しているギア部3161bによりギア部材3161が正面視反時計回りの方向へ回転し、回転中心よりも上方に位置している摺動ピン3161dが左方へ移動するように公転する。この摺動ピン3161dの左方への公転移動により、摺動ピン3161dが案内スリット3156a内を下方へ摺動すると共に、摺動ピン3161dが案内スリット3156aの内面を左方へ押圧し、副装飾体用スライダ3156が左方へスライドする。これにより、副装飾3157aが左方へ移動するため、裏上装飾体3152により摸されている所定のキャラクタが左方を見ている状態となる（図107(b)を参照）。

40

【0490】

一方、裏上副駆動モータ3159によりウォームギア3160を、右側面視において反時計回りの方向へ回転させると、ウォームギア3160に噛合しているギア部3161bによりギア部材3161が正面視時計回りの方向へ回転し、回転中心よりも上方に位置している摺動ピン3161dが右方へ移動するように公転する。この摺動ピン3161dの右方への公転移動により、摺動ピン3161dが案内スリット3156a内を下方へ摺動すると共に、摺動ピン3161dが案内スリット3156aの内面を右方へ押圧し、副装飾体用スライダ3156が右方へスライドする。これにより、副装飾3157aが右方へ移動するため、裏上装飾体3152により摸されている所定のキャラクタが右方を見てい

50

る状態となる（図107（c）を参照）。

【0491】

このように、裏上副駆動モータ3159の回転駆動により、副装飾3157aを左右へ移動させることができるため、遊技状態に応じて、裏上装飾体3152により摸されている所定のキャラクタが見ている方向が変化する可動演出を行うことができる。また、副装飾3157aを左右へ往復移動させることで、裏上装飾体3152により摸されている所定のキャラクタの目を、キョロキョロさせる可動演出も行うことができ、多彩な可動演出を遊技者に提示することができる。

【0492】

続いて、裏上可動演出ユニット3100における裏上装飾体ユニット3150の昇降動作について詳細に説明する。本実施形態の裏上可動演出ユニット3100は、裏上装飾体ユニット3150を昇降させることができると共に、裏上装飾体ユニット3150を180度回転させることができる。

【0493】

まず、裏上装飾体ユニット3150を昇降させるための裏上可動演出ユニット3100の内部機構について説明する。図108及び図111等 to 示すように、正面視右端に回転軸を前後方向へ向けた裏上駆動モータ3103が配置されている。この裏上駆動モータ3103の回転軸に取付けられている駆動ギア3104と噛合する第一従動ギア3105の回転中心は、駆動ギア3104の回転中心に対して正面視左下に配置されている。この第一従動ギア3105と噛合する第二従動ギア3106の回転中心は、第一従動ギア3105の回転中心に対して正面視左上で、駆動ギア3104の回転中心と略同じ高さに配置されている。また、第二従動ギア3106と噛合する第一伝達ギア3107aを有する第一伝達部材3107の回転中心は、第二従動ギア3106の回転中心に対して正面視左下で、第一従動ギア3105の回転中心と略同じ高さに配置されている。更に、第一伝達部材3107の第一伝達ギア3107aと噛合する第二伝達ギア3108aを有する第二伝達部材3108の回転中心は、第一伝達部材3107の回転中心に対して正面視左上で、第二従動ギア3106の回転中心よりも高い位置に配置されている。

【0494】

また、第一伝達部材3106からの回転が伝達される第一被伝達部材3117の回転中心は、第一伝達部材3106の回転中心に対して正面視右上で、第二従動ギア3106と同軸上の位置に配置されている。一方、第二伝達部材3108からの回転が伝達される第二被伝達部材3122の回転中心は、第二伝達部材3108の回転中心に対して正面視直下からやや左寄り、第二伝達部材3107の回転中心よりも低い位置に配置されている。この第二被伝達部材3122の回転が伝達される第二可動ベース駆動部材3124の回転中心は、第二被伝達部材3122の回転中心を通る上下に鉛直に延びた軸線上に配置されている。

【0495】

裏上装飾体ユニット3150は、通常の状態では、上下の昇降範囲内における上昇端に位置していると共に、裏上装飾体3152により摸されている所定のキャラクタの天地が逆転している。この裏上装飾体ユニット3150は、通常の状態では、図83等 to 示すように、その大部分がセンター役物2500の後方に位置しており、僅かな一部のみがセンター役物2500の枠内を通して遊技者側から視認することができる。つまり、裏上装飾体ユニット3150は、通常の状態では、遊技者側からほとんど視認することができない退避位置に位置している。

【0496】

裏上装飾体ユニット3150が退避位置の時には、図108及び図113（a）等 to 示すように、第一伝達部材3107の第一伝達ピン3107bが第一伝達部材3107の回転中心に対して正面視左上（鉛直線から左方へ約27度傾いた位置）に位置していると共に、第二伝達部材3108の第二伝達ピン3108bが第二伝達部材3108の回転中心に対して正面視右上（鉛直線から右方へ約13度傾いた位置）に位置している。また、こ

の退避位置の時には、第一被伝達部材 3 1 1 7 の第一作用ピン 3 1 1 7 b が、第一被伝達部材 3 1 1 7 の回転中心に対して正面視左上（鉛直線から左方へ約 4 5 度傾いた位置）に位置していると共に、第一被伝達部材 3 1 1 7 の第一伝達スリット 3 1 1 7 d が、回転中心から第一作用ピン 3 1 1 7 b を結んだ軸線よりも水平に対して小さい角度（鉛直線に対して約 7 2 度の角度）で正面視左上へ向かって延びている。

【0 4 9 7】

また、退避位置の時には、第二被伝達部材 3 1 2 2 の第二伝達スリット 3 1 2 2 c が、回転中心から正面視左上（鉛直線から左方へ約 3 6 度の角度）へ向かって延びている。また、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 は、回転中心が第二被伝達部材 3 1 2 2 の回転中心よりも上方で、第二伝達部材 3 1 0 8 の回転中心よりもやや下方に位置していると共に、

10

【0 4 9 8】

更に、退避位置の時には、第一伝達部材 3 1 0 7 の第一ロック突部 3 1 0 7 c が第一被伝達部材 3 1 1 7 の一方（第一伝達部材 3 1 0 7 の回転中心に近い方）の第一ロック凹部 3 1 1 7 e に挿入されている。これにより、第一被伝達部材 3 1 1 7 の回転が規制（ロック）されていたため、第一可動ベース 3 1 1 6 が上下にスライドすることはない。また、第二伝達部材 3 1 0 8 の第二ロック突部 3 1 0 8 c が第二被伝達部材 3 1 2 2 の一方（第二伝達部材 3 1 0 8 の回転中心に近い方）の第二ロック凹部 3 1 2 2 d に挿入されている。これにより、第二被伝達部材 3 1 2 2 の回転が規制（ロック）されているため、第二可動

20

【0 4 9 9】

また、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が退避位置の時には、第一可動ベース 3 1 1 6 を上下へスライド可能に取付けている左スライダ 3 1 1 1 の検知片 3 1 1 1 a が、裏上昇降検知センサ 3 1 1 2 により検知されている。

【0 5 0 0】

裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 は、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が退避位置の状態、裏上駆動モータ 3 1 0 3 により駆動ギア 3 1 0 4 を正面視反時計回りの方向へ回転させると、第一従動ギア 3 1 0 5 及び第二従動ギア 3 1 0 6 を介して第一伝達部材 3 1 0 7 が時

30

【0 5 0 1】

そして、駆動ギア 3 1 0 4 を更に反時計回りの方向へ回転させて第一伝達部材 3 1 0 7 が更に時計回りの方向へ回転すると、第一切欠部 3 1 0 7 d が第一ロック凹部 3 1 1 7 e の位置へ回動してきて第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内から第一ロック突部 3 1 0 7 c が外れると共に、第一伝達ピン 3 1 0 7 b が第一伝達スリット 3 1 1 7 d の内面に当接して、第一伝達スリット 3 1 1 7 d を下方へ押圧する。これにより、第一伝達部材 3 1 0 7 の回転が第一被伝達部材 3 1 1 7 に伝達されて第一被伝達部材 3 1 1 7 が正面視反時計回りの方向へ回転する。この際に、第一ロック凹部 3 1 1 7 e の部位には第一切欠部 3 1 0 7 d が位置し、第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内から第一ロック突部 3 1 0 7 c が外れた（ロックが解除された）状態となっているため、第一ロック突部 3 1 0 7 c により回転が阻止されることなく第一被伝達部材 3 1 1 7 が回転する（図 1 1 4 （c））を参照。

40

【0 5 0 2】

この第一被伝達部材 3 1 1 7 が正面視反時計回りの方向へ回転することで、第一作用ピン 3 1 1 7 b が下方へ向かうように公転し、第一作用ピン 3 1 1 7 b が摺動可能に挿入されている第一軸受スリット 3 1 1 8 a を介して第一可動ベース 3 1 1 6 が下方へスライドすることとなる。この第一可動ベース 3 1 1 6 には、第二可動ベース 3 1 1 9 を介して裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が取付けられていることから、第一可動ベース 3 1 1 6 と共に

50

裏上装飾体ユニット 3 1 0 5 も下方へスライドする。

【0503】

第一可動ベース 3 1 1 6 が下方へスライドする際に、回転リンク部材 3 1 2 3 の第二伝達案内部 3 1 2 3 d が上下に延びていることから、第一可動ベース 3 1 1 6 に取付けられていると共に第二伝達案内部 3 1 2 3 d に案内されている第二被伝達案内部 3 1 2 4 c を有する第二可動ベース駆動部材 3 2 1 4 が、第一可動ベース 3 1 1 6 と一緒に下方へ移動することができ、第一可動ベース 3 1 1 6 がスムーズにスライドする。

【0504】

そして、駆動ギア 3 1 0 4 を更に反時計回りの方向へ回転させて第一伝達部材 3 1 0 7 が更に正面視時計回りの方向へ回転すると、第一伝達ピン 3 1 0 7 b が第一伝達スリット 3 1 1 7 d から外れると共に、第一ロック突部 3 1 0 7 c が、当初第一ロック突部 3 1 0 7 c が挿入されていた第一ロック凹部 3 1 1 7 e とは異なるもう一方の第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内に進入する。これにより、第一被伝達部材 3 1 1 7 の回転が停止し、第一可動ベース 3 1 1 6 の下方へのスライドが停止する（図 1 0 9 及び図 1 1 4（d）を参照）。この状態は、第一可動ベース 3 1 1 6 が、昇降範囲の下降端に位置した状態であり、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第一出現位置に位置している状態である。また、第一伝達部材 3 1 0 7 において、第一伝達ピン 3 1 0 7 b が第一被伝達部材 3 1 1 7 の第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内に挿入されている回転範囲が、第一特定回転範囲である。

10

【0505】

裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第一出現位置の状態では、退避位置の状態と同様に天地が逆転している状態で、図 1 4 7 に示すように、裏上装飾体 3 1 5 2 の上下方向のおよそ半分が、センター役物 2 5 0 0 の枠内から遊技者側へ臨んでいる。この第一出現位置の状態では、裏上装飾体 3 1 5 2 の一对の開口部 3 1 5 2 a と、開口部 3 1 5 2 a 内に臨んでいる副装飾 3 1 5 7 a とが、部分的に遊技者側から視認することができるため、これにより、裏上装飾体 3 1 5 2 により摸されている所定のキャラクタが、上から逆さまになって覗いているような可動演出を提示することができる。

20

【0506】

裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第一出現位置の状態では、第一伝達部材 3 1 0 7 と一緒に回転している第二伝達部材 3 1 0 8 の第二伝達ピン 3 1 0 8 b が、第二被伝達部材 3 1 2 2 の第二伝達スリット 3 1 2 2 c に到達していない。また、第一可動ベース 3 1 1 6 に取付けられている第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の回転中心が、第二被伝達部材 3 1 2 2 の回転中心よりも下方に位置していると共に、回転リンク部材 3 1 2 3 の第二伝達案内部 3 1 2 3 d に対して第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の第二被伝達案内部 3 1 2 4 c の上部のみが案内された状態となっている。

30

【0507】

裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第一出現位置の状態から、駆動ギア 3 1 0 4 を更に反時計回りの方向へ回転させて、第一伝達部材 3 1 0 7 を更に時計回りの方向へ回転させると共に第二伝達部材 3 1 0 8 を更に正面視反時計回りの方向へ回転させると、第一伝達ピン 3 1 0 7 b が第一伝達スリット 3 1 1 7 d から遠ざかると共に、第二伝達ピン 3 1 0 8 b が第二被伝達部材 3 1 2 2 の第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内へ進入を開始する（図 1 1 5（e）を参照）。

40

【0508】

そして、駆動ギア 3 1 0 4 を更に反時計回りの方向へ回転させて第二伝達部材 3 1 0 8 が更に反時計回りの方向へ回転すると、第二切欠部 3 1 0 8 d が第二ロック凹部 3 1 2 2 d の位置へ回動してきて第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内から第二ロック突部 3 1 0 8 c が外れると共に、第二伝達ピン 3 1 0 8 b が第二伝達スリット 3 1 2 2 c の内面に当接して、第二伝達スリット 3 1 2 2 c を正面視右方へ押圧する。これにより、第二伝達部材 3 1 0 8 の回転が第二被伝達部材 3 1 2 2 に伝達されて第二被伝達部材 3 1 2 2 が正面視時計回りの方向へ回転する。この際に、第二ロック凹部 3 1 2 2 d の部位には第二切欠部 3 1 0 8 d が位置し、第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内から第二ロック突部 3 1 0 8 c が外れた（ロ

50

ックが解除された) 状態となっているため、第二ロック突部 3 1 0 8 c により回転が阻止されることなく第二被伝達部材 3 1 2 2 が回転する (図 1 1 5 (f)) を参照。

【0509】

この第二被伝達部材 3 1 2 2 が正面視時計回りの方向へ回転すると、第二被伝達部材 3 1 2 2 の前面に形成されている第一伝達案内部 3 1 2 2 e も回転するため、この第一伝達案内部 3 1 2 2 e にスライド可能に案内されている第一被伝達案内部 3 1 2 3 b を有する回転リンク部材 3 1 2 3 も、同じ時計回りの方向へ回転しようとする。一方、回転リンク部材 3 1 2 3 の前面の第二伝達案内部 3 1 2 3 d には、第一可動ベース 3 1 1 6 に回転可能に取付けられている第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の第二被伝達案内部 3 1 2 4 c の上部がスライド可能に案内されている。これにより、第一被伝達部材 3 1 2 2 によって回転リンク部材 3 1 2 3 を、時計回りの方向へ回転させようとする、第二伝達案内部 3 1 2 3 d も回転しようとして、第二伝達案内部 3 1 2 3 d 及び第二被伝達案内部 3 1 2 4 c を介して、回転リンク部材 3 1 2 3 を中心として第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 を公転させようとする。

10

【0510】

しかしながら、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 は、第一可動ベース 3 1 1 6 に回転可能に取付けられており、回転リンク部材 3 1 2 3 を中心として公転することができないため、第二被伝達案内部 3 1 2 4 c に作用する力の反力によって、逆に回転リンク部材 3 1 2 3 を、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 を中心として公転させようとする。この際に、回転リンク部材 3 1 2 3 が、第一伝達案内部 3 1 2 2 e の延びている方向 (第一方向) と、第二伝達案内部 3 1 2 3 d の延びている方向 (第一方向に対して交差している方向へ延びている第二方向) へ、スライドすることができるため、回転リンク部材 3 1 2 3 に作用する力が小さくなるように、回転リンク部材 3 1 2 3 が第一方向と第二方向へ沿ってスライドすることとなる。これにより、回転リンク部材 3 1 2 3 の回転と、第一方向及び第二方向へのスライドとによって、第一被伝達部材 3 1 2 2 の回転が第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 に伝達され、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が正面視時計回りの方向へ回転することとなる (図 1 1 5 (f) ~ 図 1 1 6 (h) を参照)。

20

【0511】

換言すると、回転リンク部材 3 1 2 3 は、第一伝達案内部 3 1 2 2 e 及び第一被伝達案内部 3 1 2 3 b により、第二被伝達部材 3 1 2 2 により強制的に回転させられる。この回転リンク部材 3 1 2 3 が正面視時計回りの方向へ回転すると、図 1 1 5 (e) において上下に延びていた第二伝達案内部 3 1 2 3 d が、その上端が右方へ移動するように斜めに回転傾斜する (図 1 1 5 (f) を参照)。この第二伝達案内部 3 1 2 3 d が回転傾斜すると、第二伝達案内部 3 1 2 3 d に案内されている第二被伝達案内部 3 1 2 4 c を介して第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が公転しようとするが、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が第一可動ベース 3 1 1 6 に取付けられて公転することができないため、回転リンク部材 3 1 2 3 から第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 へ作用する力の反力により、回転リンク部材 3 1 2 3 が第一伝達案内部 3 1 2 2 e に沿って開放されている側 (正面視右方) へ大きくスライドすると共に、第二伝達案内部 3 1 2 3 d に沿って第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の回転中心側 (下方) へ僅かにスライドし、第二伝達案内部 3 1 2 3 d が傾斜した角度と同じ角度で第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が回転する。

30

40

【0512】

この第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が正面視時計回りの方向へ回転すると、その第二作用ピン 3 1 2 4 a が下方へ移動するように公転するため、第二作用ピン 3 1 2 4 a が摺動可能に挿入されている第二軸受スリット 3 1 1 9 a を介して第二可動ベース 3 1 1 9 が下方へスライドすることとなる。この第二可動ベース 3 1 1 9 には、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が取付けられていることから、第二可動ベース 3 1 1 9 と共に裏上装飾体ユニット 3 1 0 5 も第一出現位置から更に下方へスライドする。この際に、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 は、軸部 3 1 5 1 a と第二可動ベース 3 1 1 9 の軸受孔 3 1 1 9 b とにより回転可能に取付けられていると共に、軸部 3 1 5 1 a の後端に取付けられている装飾体回転ギ

50

ア 3 1 2 0 が、第一可動ベース 3 1 1 6 に取付けられているラック部材 3 1 1 5 のラックギア 3 1 1 5 a と噛合しているため、第二可動ベース 3 1 1 9 が下方へスライドすると、装飾体回転ギア 3 1 2 0 と一緒に裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が正面視反時計回りの方向へ回転する（図 1 1 5（f）等を参照）。

【0513】

駆動ギア 3 1 0 4 を更に反時計回りの方向へ回転させて第二伝達部材 3 1 0 8 を介して第二被伝達部材 3 1 2 2 が更に時計回りの方向へ回転すると、回転リンク部材 3 1 2 3 が第二被伝達部材 3 1 2 2 と同じ角度で時計回りの方向へ回転し、第一伝達案内 3 1 2 2 e に沿って開放されている側へ更にスライドすると共に、第二伝達案内 3 1 2 3 d に沿って回転リンク部材 3 1 2 3 の中心が第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の回転中心に接近するようにスライドして、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が更に時計回り周りの方向へ回転する。これにより、第二可動ベース 3 1 1 9 と共に裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が更に下方へスライドすると共に、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が反時計回りの方向へ更に回転する（図 1 1 6（g）を参照）。

10

【0514】

そして、駆動ギア 3 1 0 4 を更に反時計回りの方向へ回転させて第二伝達部材 3 1 0 8 が更に反時計回りの方向へ回転すると、第二伝達ピン 3 1 0 8 b が第二伝達スリット 3 1 2 2 c から外れると共に、第二ロック突部 3 1 0 8 c が、当初第二ロック突部 3 1 0 8 c が挿入されていた第二ロック凹部 3 1 2 2 d とは異なるもう一つの第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内に進入する。これにより、第二被伝達部材 3 1 2 2 の回転が停止し、第二可動ベース 3 1 1 9 の下方へのスライドが停止すると共に、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第一出現位置の状態に対して天地が 1 8 0 度回転した状態で停止する（図 1 1 0 及び図 1 1 6（h）を参照）。この状態は、第一可動ベース 3 1 1 6 及び第二可動ベース 3 1 1 9 が、共に昇降範囲の下降端に位置した状態であり、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第二出現位置に位置している状態である。また、第二伝達部材 3 1 0 8 において、第二伝達ピン 3 1 0 8 b が第二被伝達部材 3 1 2 2 の第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内に挿入されている回転範囲が、第二特定回転範囲である。

20

【0515】

裏上装飾体ユニット 3 1 5 0（裏上装飾体 3 1 5 2）が第二出現位置の状態では、第二被伝達部材 3 1 2 2 の第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内に、第二伝達部材 3 1 0 8 の第二ロック突部 3 1 0 8 c が挿入されているため、第二被伝達部材 3 1 2 2 の回転が阻止されており、第二可動ベース 3 1 1 9 がこれ以上下方へスライドすることはない。また、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第二出現位置の状態では、図 1 4 8 に示すように、裏上装飾体 3 1 5 2 により摸されている所定のキャラクタの天地が正常な状態になっていると共に、裏上装飾体 3 1 5 2 がセンター役物 2 5 0 0 の枠内の略中央に位置して裏上装飾体 3 1 5 2 の略全体が遊技者側から視認することができる。

30

【0516】

この裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 は、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第一出現位置から第二出現位置へ下降すると、天地が逆転していた裏上装飾体 3 1 5 2 が下降しながら 1 8 0 度回転しながら下降して、天地が正常な状態でセンター役物 2 5 0 0 の枠内（中央液晶表示装置 1 5 0 0 の前面）の略中央に位置する可動演出を遊技者に提示することができ、遊技者を大いに驚かせることができる。

40

【0517】

裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が第二出現位置の状態、裏上駆動モータ 3 1 0 3 により駆動ギア 3 1 0 4 を、上記とは範囲方向（正面視時計回りの方向）へ回転させると、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が逆の動作をしながら第一出現位置を通して退避位置へ向かって上昇し、左スライダ 3 1 1 1 の検知片 3 1 1 1 a が裏上昇検知センサ 3 1 1 2 により検知されると、裏上駆動モータ 3 1 0 3 による駆動ギア 3 1 0 4 の回転が停止して、裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 が退避位置に復帰する。

【0518】

50

この裏上可動演出ユニット3100は、裏上装飾体ユニット3150を、退避位置から第一出現位置へ、更に、第一出現位置から第二出現位置へ、二段階に昇降させることができると共に、昇降とは別に裏上副装飾体3157（副装飾3157a）を裏上装飾体3152に対して左右（裏上装飾体3152の天地方向に対して直角方向）にスライドさせることができるため、それらの動きを適宜組合せることで、多彩な可動演出を提示することができる。

【0519】

[5-9f. 裏下前可動演出ユニット]

次に、裏ユニット3000の裏下前可動演出ユニット3200について、主に図117及び図118を参照して詳細に説明する。図117（a）は裏ユニットの裏下前可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、（b）は裏ユニットの裏下前可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図118（a）は裏下前可動演出ユニットの裏下前第一装飾体と裏下前第二装飾体とを通常の退避位置の状態から正面から示す説明図であり、（b）は裏下前可動演出ユニットの裏下前第一装飾体と裏下前第二装飾体とを出現位置の状態から正面から示す説明図である。

【0520】

裏下前可動演出ユニット3200は、裏箱3010内の前端付近で開口部3101aよりも下方に配置されている。この裏下前可動演出ユニット3200は、裏下後可動演出ユニット3500の前面に取付けられる平板状のユニットベース3201と、ユニットベース3201の後面における正面視左上隅に取付けられており回転軸がユニットベース3201を貫通して前方へ突出している裏下前駆動モータ3202と、裏下前駆動モータ3202の回転軸に取付けられている駆動ギア3203と、駆動ギア3203に正面視右下から噛合しておりユニットベース3201に回転可能に取付けられている伝達ギア3204と、伝達ギア3204に正面視右下から噛合しておりユニットベース3201に回転可能に取付けられているピニオンギア3205と、を備えている。

【0521】

また、裏下前可動演出ユニット3200は、ピニオンギア3205に正面視右方から噛合していると共に上下に延びているラックギア3206a、及び正面視右方へ突出している平板状の検知片3206bを有しており、ユニットベース3201に上下へスライド可能に取付けられているラック部材3206と、ユニットベース3201の前面に取付けられており、駆動ギア3203、伝達ギア3204、ピニオンギア3205、及びラック部材3206を前方から覆うユニットカバー3207と、ユニットカバー3207に取付けられておりラック部材3206の検知片3206bを検知可能な裏下前可動検知センサ3208と、を備えている。

【0522】

更に、裏下前可動演出ユニット3200は、正面視左右方向中央と左端との間の位置から後方へ円柱状に突出しているリンクピン3209aを有しており、正面視左端がラック部材3206の上端に取付けられていると共に正面視右端がユニットベース3201に上下へスライド可能に取付けられている立体的な装飾が施された透光性を有する裏下前第一装飾体3209と、裏下前第一装飾体3209の後面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏下前第一装飾基板3210と、帯板状で基端部が裏下前第一装飾体3209とユニットベース3201との間におけるユニットベース3201の左右方向中央付近で回転可能にユニットベース3201及びユニットカバー3207に取付けられていると共に、リンクピン3209aが摺動可能に挿入されている円弧状に延びたリンクスリット3211aを有しているリンク部材3211と、リンク部材3211の先端部に取付けられており所定のキャラクタの手を模した裏下前第二装飾体3212と、裏下前第二装飾体3212の後面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏下前第二装飾基板3213と、を備えている。

【0523】

続いて、裏下前可動演出ユニット3200における裏下前第一装飾体3209及び裏下

10

20

30

40

50

前第二装飾体 3 2 1 2 の動作について説明する。この裏下前可動演出ユニット 3 2 0 0 は、図 1 1 8 (a) に示すように、通常の状態では、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 が取付けられているラック部材 3 2 0 6、上下のスライド方向に対して下降端に位置していると共に、裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が取付けられているリンク部材 3 2 1 1 が、先端が水平に対して若干上方へ位置するように斜めに延びている。

【0 5 2 4】

この状態では、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が、センター役物 2 5 0 0 の枠内よりも下方に位置しており、遊技者側から視認することができない（図 8 3 等を参照）。つまり、通常の状態では、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が、遊技者から視認できない退避位置の状態にある。裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が退避位置の状態では、ラック部材 3 2 0 6 の検知片 3 2 0 6 b が、裏下前可動検知センサ 3 2 0 8 により検知されている。

10

【0 5 2 5】

裏下前可動演出ユニット 3 2 0 0 は、通常の状態では、裏下前駆動モータ 3 2 0 2 により駆動ギア 3 2 0 3 を正面視反時計回りの方向へ回転させると、ピニオンギア 3 2 0 5 が反時計回りの方向へ回転し、ピニオンギア 3 2 0 5 と噛合しているラックギア 3 2 0 6 a によりラック部材 3 2 0 6 が上昇する。このラック部材 3 2 0 6 の上端には裏下前第一装飾体 3 2 0 9 が取付けられているため、ラック部材 3 2 0 6 と一緒に裏下前第一装飾体 3 2 0 9 も上昇する。

【0 5 2 6】

20

この裏下前装飾体 3 2 0 9 が上昇すると、リンク部材 3 2 1 1 のリンクスリット 3 2 1 1 a 内に挿入されているリンクピン 3 2 0 9 a も上昇するため、リンクピン 3 2 0 9 a がリンクスリット 3 2 1 1 a の内面を上方へ押圧しながらリンクスリット 3 2 1 1 a 内を摺動することとなり、リンク部材 3 2 1 1 が基端を中心に正面視時計回りの方向へ回転することとなる。そして、リンク部材 3 2 1 1 の先端には裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が取付けられていることから、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 の上昇に伴って、裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が上方へ移動するように回転する。

【0 5 2 7】

その後、ラック部材 3 2 0 6 が上昇端に到達すると、裏下前駆動モータ 3 2 0 2 の回転が停止し、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 の上昇が停止すると共に、裏下前第二装飾体 3 2 1 2 の回転が停止する。この状態では、図 1 1 8 (b) に示すように、リンク部材 3 2 1 1 が略鉛直に直立した状態となり、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 の上方に裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が位置している。

30

【0 5 2 8】

また、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が上昇した状態では、図 1 4 8 に示すように、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が、センター役物 2 5 0 0 の正面視枠内に位置しており、遊技者側（前方）から十分に視認することができる。つまり、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が、遊技者側から視認できる出現位置の状態にある。この裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 は、図 1 4 8 に示すように、出現位置の状態では、裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上装飾体 3 1 5 2 よりも前方に位置しており、裏上装飾体 3 1 5 2 と接触することはない。また、裏下前第二装飾体 3 2 1 2 は、出現位置へ移動させることで、第二出現位置の裏上装飾体 3 1 5 2 に対して、一部が前後に重なるように形成されている。

40

【0 5 2 9】

なお、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が出現位置の状態では、裏下前駆動モータ 3 1 0 2 により駆動ギア 3 1 0 3 を、上記とは逆方向（正面視時計回りの方向）へ回転させると、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 が下降すると共に、裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が正面視左方へ移動するように回転する。そして、ラック部材 3 2 0 6 の検知片 3 2 0 6 b が裏下前可動検知センサ 3 2 0 8 により検知されると、裏下前駆動モータ 3 1 0 2 の回転駆動が停止し、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 の下降が停止すると共に、裏下前

50

第二装飾体 3 2 1 2 の回動が停止して、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が退避位置に復帰した状態となる。

【0 5 3 0】

このように、裏下前可動演出ユニット 3 2 0 0 は、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 及び裏下前第二装飾体 3 2 1 2 を、センター役物 2 5 0 0 の枠外（退避位置）と枠内（出現位置）との間で移動させることができるため、センター役物 2 5 0 0 の枠内に出現させることで遊技者を驚かせることができる。また、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 が上昇し、裏下前第二装飾体 3 2 1 2 が回動して出現するようにしており、裏下前第一装飾体 3 2 0 9 と裏下前第二装飾体 3 2 1 2 とが互いに異なる動きをして出現するため、可動演出の動きが複雑な動きをしているように錯覚させることができ、遊技者を楽しませることができる。

10

【0 5 3 1】

[5 - 9 g. 裏右可動演出ユニット]

次に、裏ユニット 3 0 0 0 の裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 について、主に図 1 1 9 及び図 1 2 0 を参照して詳細に説明する。図 1 1 9 (a) は裏ユニットの裏右可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏ユニットの裏右可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図 1 2 0 (a) は裏右回転装飾体の第一装飾面を正面へ向けた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図であり、(b) は (a) において裏右回転装飾体のシャッターを開いた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図であり、(c) は裏右回転装飾体の第二装飾面を正面へ向けた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図であり、(d) は裏右回転装飾体の第三装飾面を正面へ向けた状態で示す裏右可動演出ユニットの正面図である。

20

【0 5 3 2】

裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 内で開口部 3 0 1 0 a の正面視右方に取付けられている。この裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 内に取付けられ正面視コ字状で上下に延びている裏右板金ベース 3 3 0 1 と、裏右板金ベース 3 3 0 1 の前面上部に取付けられている裏右上ベース 3 3 0 2 と、裏右板金ベース 3 3 0 1 の前面下部に取付けられている裏右下ベース 3 3 0 3 と、裏右下ベース 3 3 0 3 の下面に取付けられている裏右駆動モータ 3 3 0 4 と、裏右駆動モータ 3 3 0 4 により回転駆動され、裏右上ベース 3 3 0 2 及び裏右下ベース 3 3 0 3 により回転可能に取付けられている円柱状の裏右回転装飾体 3 3 1 0 と、を備えている。

30

【0 5 3 3】

裏右板金ベース 3 3 0 1 は、金属板により形成されている。裏右上ベース 3 3 0 2 は、裏右回転装飾体 3 3 1 0 の上部を覆う高さの低い円筒状のカバー部 3 3 0 2 a と、カバー部 3 3 0 2 a の周方向の所定範囲を切欠いた切欠部 3 3 0 2 b と、を有している。裏右下ベース 3 3 0 3 は、上下に貫通している排出口 3 3 0 3 a を有している。裏右上ベース 3 3 0 2 の切欠部 3 3 0 2 b は、遊技盤 5 を組立てた状態で、センター役物 2 5 0 0 における後方放出口 2 5 5 4 の直後に位置している。また、裏右下ベース 3 3 0 3 の排出口 3 3 0 3 a は、右下球通路ユニット 3 0 4 0 の第二進入口 3 0 4 2 の直上に位置している。

【0 5 3 4】

裏右回転装飾体 3 3 1 0 は、外周面を周方向へ三つに分割している第一装飾面 3 3 1 0 a、第二装飾面 3 3 1 0 b、及び第三装飾面 3 3 1 0 c を有している。裏右回転装飾体 3 3 1 0 は、第一装飾面 3 3 1 0 a において上下に延びて開口している開口部 3 3 1 1 と、開口部 3 3 1 1 を回転中心側から閉鎖しており夫々上下にスライド可能に取付けられている一対のシャッター 3 3 1 2 と、一対のシャッター 3 3 1 2 よりも回転中心側で開口部 3 3 1 1 における上下方向中央に取付けられている内側装飾体 3 3 1 3 と、内側装飾体 3 3 1 3 よりも回転中心側に取付けられており外側を向いている面に複数の LED が実装されている裏右第一装飾基板（図示は省略）と、裏右第一装飾基板よりも回転中心側に取付けられており一対のシャッター 3 3 1 2 を接近又は離反するようにスライドさせる裏右シャッターソレノイド（図示は省略）と、を備えている。

40

【0 5 3 5】

50

裏右回転装飾体 3310 の第一装飾面 3310a では、通常は一对のシャッター 3312 が互いに接近して当接している（図 120（a）を参照）。そして、遊技状態に応じて裏右シャッターソレノイドの駆動により一对のシャッター 3312 を離反させると、一对のシャッター 3312 の間から内側装飾体 3313 が外側へ臨んだ状態となり、この状態で裏右第一装飾基板の LED を発光させることで発光装飾された内側装飾体 3313 を遊技者に見せることができる。

【0536】

また、裏右回転装飾体 3310 における第二装飾面 3310b には、詳細な図示は省略するが、所定の文字をレリーフ状に形成しており透光性を有している裏右文字装飾 3318 を有している。この第二装飾面 3310b よりも回転中心側には、外側を向いている面に複数の LED が実装されている裏右第二装飾基板（図示は省略）が取付けられており、裏右第二装飾基板により第二装飾面 3310b（裏右文字装飾 3318）を発光装飾させることができる。

10

【0537】

更に、裏右回転装飾体 3310 における第三装飾面 3310c には、図 120（d）に示すように、裏右上ベース 3302 のカバー部 3302a と同じ高さの部位に遊技球が進入可能に開口している裏右球入口 3320 と、裏右球入口 3320 と連通していると共に裏右下ベース 3303 の排出口 3303a と連通可能とされており外周面よりも回転中心側に配置されている遊技球が流通可能な裏右演出空間 3321 と、裏右演出空間 3321 内に取付けられており裏右球入口 3320 に進入した遊技球を下方へ向かって螺旋状に回転させる球誘導部材 3322 と、裏右演出空間 3321 に隣接して上下に延びており前面に複数の LED が実装されている裏右第三装飾基板 3323 と、を備えている。

20

【0538】

続いて、裏右可動演出ユニット 3300 における裏右回転装飾体 3310 の動作について説明する。この裏右可動演出ユニット 3300 は、裏右駆動モータ 3304 の回転駆動により、裏右回転装飾体 3310 を、上下方向に延びている軸線を中心として何れの方角へも回転させることができる。裏右可動演出ユニット 3300 は、通常の状態（第一装飾状態）では、図 120（a）に示すように、第一装飾面 3310a が前方を向いている。この第一装飾面 3310a では、開口部 3311 よりも回転中心側に配置されている一对のシャッター 3312 が、通常は互いに当接して開口部 3311 を閉鎖している。

30

【0539】

また、第一装飾状態では、裏右上ベース 3302 におけるカバー部 3302a の切欠部 3302b が、第一装飾面 3310a の外周面により閉鎖されている。従って、裏右可動演出ユニット 3300 が第一装飾状態では、切欠部 3302b と一致しているセンター役物 2500 の後方放出口 2554 も、第一装飾面 3310a の外周面により閉鎖されている。これにより、第一装飾状態で、センター役物 2500 の上大入賞口 2006 に遊技球が受入れられた場合、後方誘導路 2553 の後方放出口 2554 が第一装飾面 3310a の外周面により閉鎖されているため、上大入賞口 2006 に受入れられた遊技球は、後方誘導路 2553 の後端付近で分岐している逃し通路 2555 へ進入し、逃し通路 2555 を通って排出口 2556 から裏右球通路ユニット 3040 の第三進入口 3043 へ受け渡され、裏右球通路ユニット 3040 内を通過して下方へ排出される。

40

【0540】

この裏右可動演出ユニット 3300 は、第一装飾状態で、図示しない裏右シャッターソレノイドに通電させると、一对のシャッター 3312 が上下方向へ離反して、一对のシャッター 3312 の間から内側装飾体 3313 が外側へ臨む状態となる（図 120（b）を参照）。そして、内側装飾体 3313 よりも回転中心側に配置されている図示しない裏右第一装飾基板の LED（高輝度 LED）を発光させて、一对のシャッター 3312 の間から臨む内側装飾体 3313 を発光装飾させる。これにより、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができる。

【0541】

50

また、裏右可動演出ユニット3300は、裏右駆動モータ3304の回転駆動により裏右回転装飾体3310の第二装飾面3310bを前方へ向けて停止させた状態（第二装飾状態）とすることができる（図120（c）を参照）。この第二装飾状態で、図示しない裏右第二装飾基板のLEDを発光させることにより、第二装飾面3310bに形成されている所定の文字からなる裏右文字装飾3318を発光装飾させることができ、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができる。また、第二装飾状態では、第一装飾状態と同様に、カバー部3302aの切欠部3302bが第二装飾面3310bの外周面により閉鎖されている。

【0542】

更に、裏右可動演出ユニット3300は、裏右駆動モータ3304の回転駆動により裏右回転装飾体3310の第三装飾面3310cを前方へ向けて停止させた状態（第三装飾状態）とすることができる（図120（d）を参照）。この第三装飾状態では、図示するように、遊技球を流通させることが可能な裏右演出空間3321が遊技者側から視認することができる。また、第三装飾状態では、裏右球入口3320がカバー部3302aの切欠部3302bの部位に位置している。従って、第三装飾状態では、センター役物2500の後方放出口2554と裏右球入口3320とが一致して、遊技球が流通可能に連通している。

【0543】

そして、第三装飾状態で、センター役物2500の上大入賞口2006に受入れられた遊技球は、後方誘導路2553の後方放出口2554から裏右球入口3320へ進入し、裏右演出空間3321に配置されている球誘導部材3322により、裏右演出空間3321内を上下に延びた軸線周りを螺旋状に複数回（ここでは8回）回転しながら流下する（図156（a）を参照）。これにより、上大入賞口2006に受入れられた遊技球を、裏右演出空間3321で螺旋状に流下させることができるため、上大入賞口2006に受入れられた遊技球を遊技者に確実に視認させることができ、上大入賞口2006への遊技球の受入れによる遊技球の払出しに対する期待感を高めさせることができると共に、螺旋状に流下する遊技球により遊技者を楽しませることができ、興趣の低下を抑制することができる。

【0544】

その後、裏右演出空間3321内を流下した遊技球は、裏下右ベース3303の排出口3303aから排出されて、直下に開口している右下球誘導ユニット3040の第二進入口3042に進入し、右下球通路ユニット3040内を通過して下方の基板ホルダ1200内に排出される。

【0545】

このように、裏右可動演出ユニット3300によれば、多彩な可動演出を遊技者に提示することができる、遊技者を楽しませることができる。

【0546】

〔5-9h. 裏左可動演出ユニット〕

次に、裏ユニット3000の裏左可動演出ユニット3400について、主に図121乃至図123を参照して詳細に説明する。図121（a）は裏ユニットの裏左可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、（b）は裏ユニットの裏左可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図122（a）は裏左回転装飾体の第一装飾面を正面へ向けた状態で示す裏左可動演出ユニットの正面図であり、（b）は裏左回転装飾体の第二装飾面を正面に向けた状態で示す裏左可動演出ユニットの正面図であり、（c）は裏左回転装飾体の第三装飾面を正面に向けた状態で示す裏左可動演出ユニットの正面図であり、（d）は（a）の状態で裏左回転装飾体の裏左突出装飾体を出現位置とした状態を示す裏左可動演出ユニットの正面図である。更に、図123は、図122（a）におけるF-F線で切断した断面図である。

【0547】

裏左可動演出ユニット3400は、裏箱3010内で開口部3010aの正面視左方に

取付けられている。この裏左可動演出ユニット 3400 は、裏箱 3010 内に取付けられ正面視コ字状で上下に延びている裏左板金ベース 3401 と、裏左板金ベース 3401 の前面上部に取付けられている裏左上ベース 3402 と、裏左板金ベース 3401 の前面下部に取付けられている裏左下ベース 3403 と、裏左下ベース 3403 の下面に取付けられている裏左駆動モータ 3404 と、裏左駆動モータ 3404 により回転駆動され、裏左上ベース 3402 及び裏左下ベース 3403 により回転可能に取付けられている円柱状の裏左回転装飾体 3410 と、を備えている。裏左板金ベース 3401 は、金属板により形成されている。

【0548】

裏左回転装飾体 3410 は、外周面を周方向へ三つに分割している第一装飾面 3410a、第二装飾面 3410b、及び第三装飾面 3410c を有している。この裏左回転装飾体 3410 は、図 122 (a) に示すように、第一装飾面 3410a に、ドアを模したドア装飾 3411 を有している。裏左回転装飾体 3410 は、第一装飾面よりも回転中心側に配置されており、外側を向いている面に複数の LED が実装されている裏左第一装飾基板 3412 を有している。この裏左第一装飾基板 3412 の LED を適宜発光させることで、第一装飾面 3410a を発光装飾させることができる。

10

【0549】

また、裏左回転装飾体 3410 の第二装飾面 3410b には、詳細な図示は省略するが、裏右回転装飾体 3310 の裏右文字装飾 3318 とは異なる文字を、レリーフ状に形成している透光性を有する裏左文字装飾 3413 を有している。この第二装飾面 3410b よりも回転中心側には、外側を向いている面に複数の LED が実装されている裏左第二装飾基板 3414 が取付けられており、裏左第二装飾基板 3414 により第二装飾面 3410b (裏左文字装飾 3413) を発光装飾させることができる。

20

【0550】

更に、裏左回転装飾体 3410 の第三装飾面 3410c には、外周面を形成している裏左投影部 3415 と、裏左投影部 3415 よりも回転中心側に配置されており透光性を有する投影フィルム 3416 と、投影フィルム 3416 よりも回転中心側に配置されており外側を向いている面に複数のカラー LED が実装されている裏左第三装飾基板 3417 と、を備えている。投影フィルム 3416 は、図示は省略するが、単色で表されると共に互いに異なる図柄とされている、赤色で投影される赤図柄と、青色で投影される青図柄と、を有しており、赤図柄と青図柄とが重なっている部位が乳白色又は透明とされ、且つ、赤図柄及び青図柄以外の部位が黒色又は不透光性とされている。この第三装飾部 3410c では、裏左第三装飾基板 3417 において、赤色の光を発光させると赤図柄を裏左投影部 3415 に投影させることができ、青色の光を発光させると青図柄を裏左投影部 3415 に投影させることができる。

30

【0551】

また、第三装飾面 3410c には、裏左投影部 3415 における第一装飾面 3410a に近い側の端部で上下に配置されており開閉可能な一対の扉部材 3420 と、各扉部材 3420 よりも回転中心側に配置されており裏左回転装飾体 3410 の外周面よりも内側の退避位置と外周面よりも外側へ突出する出現位置との間でスライド可能に取付けられている一対の裏左突出装飾体 3421 と、裏左回転装飾体 3410 内に取付けられており各裏左突出装飾体 3421 をスライド駆動させる一対の裏左装飾体ソレノイド 3422 と、を備えている。

40

【0552】

扉部材 3420 は、図示するように、上下に延びた略長方形に形成されている。この扉部材 3420 は、図示は省略するが、第一装飾面 3410a から遠い側の上下に延びている辺の両端が回転可能に取付けられており、反対側の上下に延びている辺側が第三装飾面 3410c よりも外側へ移動するように開閉する。また、扉部材 3420 は、回転可能に取付けられている上下に延びている辺付近の内側面から突出している鉤状の閉止爪 3420a を有している。

50

【0553】

裏左突出装飾体3421は、第一装飾面3410aを前方（正面）へ向けた時に、スライド方向が左右方向となるように取付けられている。この裏左突出装飾体3421は、図122（d）等に示すように、手裏剣を模した形状に形成されている。裏左突出装飾体3421は、先端付近から第一装飾面3410aから遠ざかる方向へ突出しており、扉部材3420の閉止爪3420aと係合可能な閉止片3421aを有している。

【0554】

続いて、裏左可動演出ユニット3400における裏左回転装飾体3410の動作について説明する。この裏左可動演出ユニット3400は、裏左駆動モータ3404の回転駆動により、裏左回転装飾体3410を、上下方向に延びている軸線を中心として何れの方
10
向へも回転させることができる。裏左可動演出ユニット3400は、通常の状態（第一装飾状態）では、図122（a）に示すように、第一装飾面3410aを前方へ向けて停止している。この第一装飾状態で、裏左第一装飾基板3412のLEDを適宜発光させることで、第一装飾面3410aを発光装飾させることができる。第一装飾面3410aには、ドアを模したドア装飾3411が備えられているため、第一装飾面3410aを発光装飾させることで、遊技者に対してドア装飾3411が開くのではないかと思わせることができ、遊技者の期待感を高めさせることができる。

【0555】

また、裏左可動演出ユニット3400は、通常の状態では、裏左回転装飾体3410の裏左突出装飾体3421が、図示しないバネの付勢力により、裏左回転装飾体3410の
20
内部に収容された退避位置に位置している。この退避位置の状態では、扉部材3420の外面が第三装飾面3410cと同一面状となる閉状態となっており、裏左突出装飾体3421の閉止片3421aが、扉部材3420の閉止爪3420aに係止されている。これにより、裏左回転装飾体3410をグルグル回転させて裏左突出装飾体3421や扉部材3420に遠心力が作用しても、図示しないバネの付勢力により裏左突出装飾体3421の出現位置へのスライドを阻止することができると共に、閉止片3421aに係止爪3420aに係止されることで扉部材3420が開くのを阻止することができる。

【0556】

そして、第一装飾状態の時に、裏左装飾体ソレノイド3422を駆動（通電）させると、図示しないバネの付勢力に抗して裏左突出装飾体3421が、外側へスライドすると共
30
に、裏左突出装飾体3421の先端に押されて扉部材3420が開き、裏左突出装飾体3421が第三装飾面3410cよりも外側へ突出した出現位置の状態となる。これにより、円筒状で回転する裏左回転装飾体3410から、裏左突出装飾体3421が突出することで、遊技者を驚かせることができる。また、一對の裏左突出装飾体3421は、夫々独立して突出させることができるため、多彩な可動演出を遊技者に提示することができる。

【0557】

この裏左突出装飾体3421は、出現位置の状態では、裏左装飾体ソレノイド3422の駆動を停止させると、図示しないバネにより退避位置へスライドする。この際に、閉止片3421aが、係止爪3420aに係止され、扉部材3420を開状態から閉状態へ回動
40
させることができ、自動的に通常の状態に復帰する。

【0558】

また、裏左可動演出ユニット3400は、裏左駆動モータ3404の回転駆動により裏左回転装飾体3410の第二装飾面3410bを前方へ向けて停止させた状態（第二装飾状態）とすることができる（図122（b）を参照）。この第二装飾状態の時に、裏左第二装飾基板3414のLEDを適宜発光させることにより、裏左文字装飾3413を発光装飾させることができ、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができる。

【0559】

更に、裏左可動演出ユニット3400は、裏左駆動モータ3404の回転駆動により裏左回転装飾体3410の第三装飾面3410cを前方へ向けて停止させた状態（第三装飾状態）とすることができる（図122（c）を参照）。この第三装飾状態で、裏左第三装
50

飾基板 3 4 1 7 の L E D により、赤色の光を発光させると赤図柄を裏左投影部 3 4 1 5 に投影させることができ、青色の光を発光させると青図柄を裏左投影部 3 4 1 5 に投影させることができる。これにより、裏左投影部 3 4 1 5 に投影される図柄によって、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができ、遊技者を楽しませたり期待感を高めさせたりすることができる。

【0 5 6 0】

このように、裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 によれば、多彩な可動演出を遊技者に提示することができる、遊技者を楽しませることができる。

【0 5 6 1】

〔5－9 i. 裏下後可動演出ユニット〕

10

次に、裏ユニット 3 0 0 0 の裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 について、主に図 1 2 4 乃至図 1 3 6 を参照して詳細に説明する。図 1 2 4 (a) は裏ユニットの裏下後可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、(b) は裏ユニットの裏下後可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図 1 2 5 は裏下後可動演出ユニットの昇降ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 1 2 6 は裏下後可動演出ユニットの昇降ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図 1 2 7 は裏下後回転装飾ユニットが下降端位置の時の昇降ユニットの状態を正面から示す説明図であり、図 1 2 8 は裏下後回転装飾ユニットが上昇端位置の時の昇降ユニットの状態を正面から示す説明図である。

【0 5 6 2】

また、図 1 2 9 (a) は裏下後可動演出ユニットの正面図であり、(b) は裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体ユニットを前から見た斜視図であり、(c) は裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体ユニットを後ろから見た斜視図である。更に、図 1 3 0 は裏下後回転装飾体ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図 1 3 1 は裏下後回転装飾体ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図 1 3 2 は、図 1 2 9 (a) における G－G 線で切断した断面図である。

20

【0 5 6 3】

更に、図 1 3 3 (a) は裏下後回転装飾ユニットの裏下後回転装飾体が回転停止している状態を示す正面図であり、(b) は裏下後回転装飾体が正面視反時計回りの方向へ回転している状態を示す正面図であり、(c) は裏下後回転装飾体が開いて正面視時計回りの方向へ回転する直前の状態を示す正面図であり、(d) は裏下後回転装飾体が正面視時計回りの方向へ回転している状態を示す正面図である。また、図 1 3 4 (a) は裏下後回転装飾体ユニットにおいて裏下後回転駆動モータに係る駆動機構の構成を示す説明図であり、(b) は裏下後回転装飾体ユニットにおいて回転ダンパに係る差動機構の構成を示す説明図であり、(c) は裏下後回転装飾体ユニットにおいて裏下後回転駆動モータに係る駆動機構と回転ダンパに係る差動機構とを連結している連結機構の構成を示す説明図である。

30

【0 5 6 4】

また、図 1 3 5 (a) は裏下後回転装飾体が閉じて回転停止している時の連結機構の状態を示す説明図であり、(b) は裏下後回転装飾体が反時計回りの方向へ回転している時の連結機構の状態を示す説明図である。また、図 1 3 6 (a) は裏下後回転装飾体が閉じて回転停止している時の連結機構の状態を示す説明図であり、(b) は駆動機構の連結リングが時計回りの方向へ回転して裏下後回転装飾体が開きつつある時の連結機構の状態を示す説明図であり、(c) は駆動機構の連結リングが更に時計回りの方向へ回転して裏下後回転装飾体が完全に開いた時の連結機構の状態を示す説明図であり、(d) は開いた状態の裏下後回転装飾体が駆動機構の連結機構と共に時計回りの方向へ回転している時の連結機構の状態を示す説明図である。

40

【0 5 6 5】

裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 内の後端付近で開口部 3 0 1 0 a よりも下方に取付けられている。この裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 は、裏箱 3 0 1 0 内に取付けられると共に前面に裏下前可動演出ユニット 3 2 0 0 が取付けられる昇降ユニッ

50

ト 3 5 1 0 と、昇降ユニット 3 5 1 0 により上下に昇降させられる裏下後回転装飾体ユニット 3 5 5 0 と、を備えている。

【0 5 6 6】

裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 の昇降ユニット 3 5 1 0 は、裏箱 3 0 1 0 内における開口部 3 0 1 0 a よりも下方で後壁の前面に取付けられるユニットベース 3 5 1 1 と、ユニットベース 3 5 1 1 の正面視左下隅の後面に取付けられておりユニットベース 3 5 1 1 を貫通して回転軸が前方へ突出している裏下後昇降駆動モータ 3 5 1 2 と、裏下後昇降駆動モータ 3 5 1 2 の回転軸に取付けられている平歯車状の昇降駆動ギア 3 5 1 3 と、昇降駆動ギア 3 5 1 3 と噛合している平歯車状の第一伝達ギア 3 5 1 4 a、及び第一伝達ギア 3 5 1 4 a の前面で一体回転すると共に第一伝達ギア 3 5 1 4 a よりも直径が小さい第二伝達ギア 3 5 1 4 b を有しておりユニットベース 3 5 1 1 に回転可能に取付けられている伝達ギア部材 3 5 1 4 と、伝達ギア部材 3 5 1 4 の第二伝達ギア 3 5 1 4 b と噛合しておりユニットベース 3 5 1 1 に回転可能に取付けられている平歯車状の昇降駆動ピニオンギア 3 5 1 5 と、を備えている。

10

【0 5 6 7】

また、昇降ユニット 3 5 1 0 は、左右方向略中央で上下に延びており前後方向に貫通している案内スリット 3 5 1 6 a、及び正面視左端下部から左方へ突出している平板状の検知片 3 5 1 6 b、を有しており、ユニットベース 3 5 1 0 の前面に上下へスライド可能に取付けられていると共に後面において案内スリット 3 5 1 6 a により裏下後回転装飾体ユニット 3 5 5 0 を上下にスライド可能に取付けている昇降ベース 3 5 1 6 と、昇降ベース 3 5 1 6 の正面視左端付近の後面に取付けられており上下に延びていると共に昇降駆動ピニオンギア 3 5 1 5 と噛合している昇降駆動ラックギア 3 5 1 7 と、上下に延びており上端がユニットベース 3 5 1 1 の上端と同じ高さでユニットベース 3 5 1 1 の前面に取付けられている固定側ラックギア 3 5 1 8 と、固定側ラックギア 3 5 1 8 と噛合していると共に裏下後回転装飾体ユニット 3 5 5 0 の後面に取付けられている上下に延びた可動側ラックギア 3 5 5 1 b と噛合しており、昇降ベース 3 5 1 6 に回転可能に取付けられている平歯車状の加速ギア 3 5 1 9 と、を備えている。

20

【0 5 6 8】

更に、昇降ユニット 3 5 1 0 は、昇降ベース 3 5 1 6 の正面視左方で昇降駆動ギア 3 5 1 3、伝達ギア部材 3 5 1 4、昇降駆動ピニオンギア 3 5 1 5、及び固定側ラックギア 3 5 1 8 の前方を覆うようにユニットベース 3 5 1 1 の前面に取付けられているギアカバー左 3 5 2 0 と、ギアカバー左 3 5 2 0 の前面に取付けられており昇降ベース 3 5 1 6 の検知片 3 5 1 6 b を検知可能な裏下後昇降検知センサ 3 5 2 1 と、昇降ベース 3 5 1 6 の正面視右方でユニットベース 3 5 1 1 の前面に回転可能に取付けられている平歯車状の案内ピニオンギア 3 5 2 2 と、案内ピニオンギア 3 5 2 2 と噛合していると共に上下に延びており昇降ベース 3 5 1 6 の正面視右端側後面に取付けられている案内ラックギア 3 5 2 3 と、案内ラックギア 3 5 2 3 の前方を覆いユニットベース 3 5 1 1 の前面に取付けられているギアカバー右 3 5 2 4 と、下端側が昇降ベース 3 5 1 6 に取付けられていると共に上端側がギアカバー左 3 5 2 0 及びギアカバー右 3 5 2 4 に夫々取付けられており昇降ベース 3 5 1 6 を上方へ付勢している一対のアシストバネ 3 5 2 5 と、を備えている。

30

40

【0 5 6 9】

また、昇降ユニット 3 5 1 0 は、ユニットベース 3 5 1 1 の正面視右端側の後面に取付けられている基板ベース 3 5 2 6 と、基板ベース 3 5 2 6 の後面に取付けられており、裏下後昇降駆動モータ 3 5 1 2、裏下後昇降検知センサ 3 5 2 1、裏下後回転駆動モータ 3 5 5 3、裏下後回転検知センサ 3 5 7 0、及び裏下後装飾基板 3 5 7 2 とモータ駆動基板 3 0 6 2 及びランプ駆動基板 3 0 6 0 との接続を中継している裏下後中継基板 3 5 2 7 と、を備えている。

【0 5 7 0】

続いて、裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 における昇降ユニット 3 5 1 0 の動作について説明する。この裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 は、通常の状態では裏下後回転装飾体

50

3550が最も下降している下降端位置に位置している。この下降端位置の状態では、図127に示すように、昇降ベース3516に取付けられている昇降駆動ラックギア3517及び案内ラックギア3523の上端において、ユニットベース3511に取付けられている昇降駆動ピニオンギア3515及び案内ピニオンギア3522が、夫々噛合している。また、昇降ベース3516に取付けられている加速ギア3519は、ユニットベース3511に取付けられている固定側ラックギア3518の下端で噛合していると共に、裏下後回転装飾体ユニット3550に取付けられている可動側ラックギア3551bの上端で噛合している。

【0571】

また、下降端位置の状態では、案内ブッシュ3528を介して昇降ベース3516の案内スリット3516a内に挿入されている裏下後回転装飾体ユニット3550の案内ピン3552bが、案内スリット3516aの下端に位置している。更に、下降端位置の状態では、昇降ベース3516の検知片3516bが、裏下後昇降検知センサ3521により検知されていると共に、一對のアシストバネ3525が、伸長して昇降ベース3516を上方へ付勢している。

10

【0572】

裏下後可動演出ユニット3500は、裏下後回転装飾体ユニット3550が、下降端位置の時には、図83等に示すように、裏下後回転装飾体3568が中央液晶表示装置1500の下端よりも下方でセンター役物2500の枠内のステージ2530の上方において一部が遊技者側から視認可能となっている。

20

【0573】

裏下後回転装飾体ユニット3550が下降端位置の時に、裏下後昇降駆動モータ3512により昇降駆動ギア3513を正面視反時計回りの方向へ回転させると、昇降駆動ピニオンギア3515が反時計回りの方向へ回転し、昇降駆動ピニオンギア3515と噛合している昇降駆動ラックギア3517により昇降ベース3516が上昇する。この昇降ベース3516が上昇すると、昇降ベース3516に回転可能に取付けられている加速ギア3519も、昇降ベース3516と一緒に上昇する。この加速ギア3519は、ユニットベース3511に取付けられている固定側ラックギア3518と噛合しているため、ユニットベース3511に対して昇降ベース3516（加速ギア3519）が上昇すると、加速ギア3519が正面視反時計回りの方向へ回転することとなる。

30

【0574】

この加速ギア3519は、固定側ラックギア3518とは反対側で、裏下後回転装飾体ユニット3550に取付けられている可動側ラックギア3551bが噛合しているため、加速ギア3519が反時計回りの方向へ回転すると、可動側ラックギア3551bを介して裏下後回転装飾体ユニット3550が昇降ベース3516に対して相対的に上昇する。この際に、裏下後回転装飾体ユニット3550は、ユニットベース3511の固定側ラックギア3518と噛合している加速ギア3519により、昇降ベース3516の二倍の速度で上昇する。

【0575】

また、昇降ユニット3510では、昇降ベース3516において、昇降駆動ラックギア3517とは反対側の案内ラックギア3523が、ユニットベース3511に回転可能に取付けられている案内ピニオンギア3522と噛合していることから、昇降ベース3516の右端側がこじられることなく、昇降ベース3516が真っ直ぐに上昇することができる。更に、昇降ユニット3510では、一對のアシストバネ3525により昇降ベース3516を上方へ付勢しているため、裏下後昇降駆動モータ3512に係る負荷を低減させている。なお、一對のアシストバネ3525において、昇降駆動ラックギア3517から遠い正面視右側のアシストバネ3525は、左側のアシストバネ3525よりも長く伸長されて付勢力が強められており、昇降ベース3516を傾き難くアシストしている。

40

【0576】

そして、裏下後回転装飾体ユニット3550が最も上昇した上昇端位置に位置すると、

50

裏下後昇降駆動モータ 3512 が停止する。この上昇端位置の状態では、図 128 に示すように、裏下後回転装飾体ユニット 3550 の案内ピン 3552b が、昇降ベース 3516 の案内スリット 3516a の上端に位置している。また、上昇端位置の状態では、昇降ベース 3516 に取付けられている昇降駆動ラックギア 3517 及び案内ラックギア 3523 の下端において、ユニットベース 3511 に取付けられている昇降駆動ピニオンギア 3515 及び案内ピニオンギア 3522 が、夫々噛合している。また、昇降ベース 3516 に取付けられている加速ギア 3519 は、ユニットベース 3511 に取付けられている固定側ラックギア 3518 の上端で噛合していると共に、裏下後回転装飾体ユニット 3550 に取付けられている可動側ラックギア 3551b の下端で噛合している。

【0577】

10

裏下後回転装飾体ユニット 3550 が上昇端位置の時には、図 152 に示すように、裏下後回転装飾体 3568 が、正面視において、センター役物 2500 の枠内（中央液晶表示装置 1500 の前面）の略中央に位置している。なお、裏下後回転装飾体ユニット 3550 が上昇端位置の状態では、裏下後昇降駆動モータ 3512 により昇降駆動ギア 3513 を正面視時計回りの方向へ回転させると、上記とは逆の動作をして裏下後回転装飾体ユニット 3550 が下降し、下降端位置に復帰する。

【0578】

続いて、裏下後可動演出ユニット 3500 の裏下後回転装飾体ユニット 3550 について説明する。裏下後回転装飾体ユニット 3550 は、上部から前方へ延びている円筒状の軸筒部 3551a、及び下部の後面で上下に延びており加速ギア 3159 と噛合する可動側ラックギア 3551b、を有しており、上下に延びていると共に前方が開放されている浅い容器状の装飾体ベース 3551 と、上部に装飾体ベース 3551 の軸筒部 3551a よりも大径で前後に貫通しており軸筒部 3551a が同心円上に挿通される貫通孔 3552a、及び下部から前方へ円柱状に突出しており昇降ユニット 3510 の案内スリット 3516a 内に挿入される案内ピン 3552b、を有しており、後方が開放されている浅い箱状で装飾体ベース 3551 の前面に取付けられているベースカバー 3552 と、を備えている。

20

【0579】

また、裏下後回転装飾体ユニット 3550 は、ベースカバー 3552 の下部後面に取付けられている裏下後回転駆動モータ 3553 と、裏下後回転駆動モータ 3553 の回転軸に取付けられている平歯車状の回転駆動ギア 3554 と、回転駆動ギア 3554 と噛合しており装飾体ベース 3551 とベースカバー 3552 との間で回転可能に取付けられている平歯車状の第一従動ギア 3555 と、第一従動ギア 3555 と噛合しており装飾体ベース 3551 とベースカバー 3552 との間で回転可能に取付けられている平歯車状の第二従動ギア 3556 と、第二従動ギア 3556 と噛合しており装飾体ベース 3551 とベースカバー 3552 との間で回転可能に取付けられている平歯車状の第三従動ギア 3557 と、第三従動ギア 3557 と噛合しており装飾体ベース 3551 とベースカバー 3552 との間で回転可能に取付けられている平歯車状の第四従動ギア 3558 と、第四従動ギア 3558 と噛合している円環状の駆動リングギア 3559a、駆動リングギア 3559a の前端から周方向へ離間して前方へ突出している複数（ここでは三つ）の係合凸部 3559b、及び駆動リングギア 3559a の後端から外方へフランジ状に突出しており周方向の一部が切欠かれている駆動検知片 3559c を有している駆動ギア部材 3559 と、周方向へ等間隔に形成されている四つの取付孔 3560a、及び後端から前方へ向かって凹んでおり駆動ギア部材 3559 の複数の係合凸部 3559b が挿入係合されている複数の係合凹部 3560b、を有しており、駆動ギア部材 3559 と略同じ大きさの外径及び内径に形成されているリング状の連結リング 3560 と、を備えている。

30

40

【0580】

駆動リングギア 3559 及び連結リング 3560 の外径と内径は、ベースカバー 3552 の貫通孔 3552a の内径よりも小さく、装飾体ベース 3551 の軸筒部 3551a の外径よりも大きく形成されている。また、駆動リングギア 3559 及び連結リング 3560

50

0は、内形が同一である。裏下後回転装飾体ユニット3550では、裏下後回転駆動モータ3553、回転駆動ギア3554、第一従動ギア3555、第二従動ギア3556、第三従動ギア3557、第四従動ギア3558、駆動ギア部材3559、及び連結リング3560が、裏下後回転駆動モータ3553により直接的に回転駆動される駆動機構3550Aを構成している（図134（a）等を参照）。

【0581】

更に、裏下後回転装飾体ユニット3550は、前方からベースカバー3552の貫通孔3552a、連結リング3560、及び駆動リング部材3559を貫通していると共に装飾体ベース3551の軸筒部3551aが挿入される筒状の外筒部3561a、外筒部3561aの後端から前方へ向かって凹んでおり周方向に間隔を開けて形成されている複数の接続凹部3561b、ベースカバー3552の前方で外筒部3561aの前端から外方へ延出している平板状のベース部3561c、ベース部3561cを前後に貫通しており外筒部の軸芯を中心として放射状に延びている四つのガイドスリット3561d、を有している回転装飾体ベース3561と、回転装飾体ベース3561の外筒部3561a内に挿入されていると共に装飾体ベース3551の軸筒部3551aが挿通される円筒状の内筒部3562a、駆動ギア部材3559の後方で内筒部3562aの後端外周に形成されているリング状の差動リングギア3562b、差動リングギア3562bの前面から周方向へ間隔を開けて突出しており回転装飾体ベース3561の接続凹部3561b内に挿入接続される複数の接続凸部3562c、差動リングギア3562bの後端から外方へフランジ状に突出しており周方向の一部が切欠かれている差動検知片3562d、を有している差動ギア部材3562と、差動ギア部材3562の差動リングギア3562bと噛合しており装飾体ベース3551とベースカバー3552との間で第四従動ギア3558と同軸上に回転可能に取付けられている平歯車状の差動伝達ギア3563と、差動伝達ギア3563と噛合している平歯車状のダンパギア3564と、ダンパギア3564に回転抵抗を付与する状態でダンパギア3564を回転可能に取付けており、装飾体ベース3551の後面に取付けられている回転ダンパ部材3565と、を備えている。

【0582】

回転装飾体ベース3561における外筒部3561aの外径は、駆動ギア部材3559及び連結リング3560の内径よりも若干小さく、外筒部3561aの外周面により駆動ギア部材3559及び連結リング3560を回転可能に取付けている。また、外筒部3561aの内径は、差動ギア部材3562における内筒部3562aの外径よりも若干大きい。ベース部3561cは、ベースカバー3552の貫通孔3552aよりも大きく形成されている。ガイドスリット3561dは、外筒部3561aの周方向に対して90度の角度の間隔で形成されている。

【0583】

差動ギア部材3562の内筒部3562aは、内径が装飾体ベース3551の軸筒部3551aの外径よりも若干大きく、軸筒部3551aにより回転可能に取付けられる。回転ダンパ部材3565は、詳細な図示は省略するが、内部に封入されている粘性流体の粘性抵抗により、ダンパギア3564が取付けられる回転軸に対して回転抵抗を付与しているものである。裏下後回転装飾体ユニット3550では、回転装飾体ベース3561、差動ギア部材3562、差動伝達ギア3563、ダンパギア3564、及び回転ダンパ部材3565が、回転ダンパ部材3565により直接的に回転抵抗が付与される差動機構3550Bを構成している（図134（b）等を参照）。

【0584】

また、裏下後回転装飾体ユニット3550は、ガイドスリット3561dを貫通して後方へ突出している円柱状のスライドピン3566aを有しており、回転装飾体ベース3561におけるベース部3561cの前面で各ガイドスリット3561dによりスライド可能に夫々取付けられている四つの装飾体スライダ3566と、前後に貫通しており装飾体スライダ3566のスライドピン3566aが回転可能に挿入される先端孔3567aを先端側に有していると共に、後方へ円柱状に突出しており連結リング3560の取付孔3

560aに回転可能に挿入される基端ピン3567bを基端側に有しており、帯板状の四つの連結アーム3567と、各装飾体スライダ3566の前面に取付けられており前面に装飾が施されている四つの裏下後回転装飾体3568と、各裏下後回転装飾体3568の後面に取付けられており連結アーム3567の回動範囲を規制している四つの回動規制部材3569と、を備えている。

【0585】

裏下後回転装飾体3568は、正面視の形状が略四角形に形成されており、四つの頂点の内の一つが直角に形成されていると共に、直角の頂点を通る対角線上の反対側の頂点が鋭角に形成されている。裏下回転装飾体3568は、直角の頂点を、回転装飾体ベース3561の回転中心軸側へ向けると共に、直角の頂点を通る対角線が、装飾体スライダ3566のスライド方向（回転装飾体ベース3561のガイドスリット3561dが延びている方向）へ延びるように、装飾体スライダ3566に取付けられている。四つの裏下後回転装飾体3568は、回転装飾体ベース3561のガイドスリット3561dにより、互いに接近・離反するようにスライドすることができる。

10

【0586】

裏下後回転装飾体ユニット3550では、装飾体スライダ3566、連結アーム3567、裏下後回転装飾体3568、及び回動規制部材3569が、駆動機構3550Aと差動機構3550Bとを連結して回転を伝達させている連結機構3550Cを構成している（図134（c）等を参照）。

【0587】

20

更に、裏下後回転装飾体ユニット3550は、装飾体ベース3551とベースカバー3552との間に取付けられており、駆動ギア部材3559の駆動検知片3559cと差動リングギア3562の差動検知片3562dの回転位置を検知する裏下後回転検知センサ3570と、回転装飾体ベース3561の中心を前方から貫通して後端が装飾体ベース3551における軸筒部3551aに取付けられている固定装飾体ベース3571と、回転装飾体ベース3561の前方且つ裏下後回転装飾体3568の後方で固定装飾体ベース3571の前面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏下後装飾基板3572と、裏下後装飾基板3572と裏下後回転装飾体3568との間で固定装飾体ベース3571の前面に取付けられており前面に装飾が施されていると共に透光性を有している円盤状の裏下後固定装飾体3573と、を備えている。

30

【0588】

続いて、裏下後可動演出ユニット3500における裏下後回転装飾体ユニット3550の裏下後回転装飾体3568の動作について説明する。裏下後回転装飾体ユニット3550は、通常の状態では、四つの裏下後回転装飾体3568が回転装飾体ベース3561の回転中心側へスライドして互いに当接している。通常の状態では、駆動ギア部材3559は、駆動検知片3559cの切欠かれている部位を正面視左方へ向けて停止している（図134（a）を参照）。また、差動ギア部材3562は、差動検知片3562dの切欠かれている部位を正面視右方へ向けて停止している（図134（b）を参照）。また、四つの連結アーム3567は、連結リング3560の取付孔3560aに回転可能に取付けられている基端ピン3567bの中心と、先端の先端孔3567aの中心とを結んだ軸線が、連結リング3560の回転中心を中心とした円に接するように延びており、先端孔3567aに回転可能に取付けられている装飾体スライダ3566のスライドピン3566aが、回転装飾体ベース3561におけるガイドスリット3561dの回転中心側の端部に位置している。また、四つの連結アーム3567は、通常の状態では、基端ピン3567bに対して、先端孔3567aが、正面視時計回りの方向へ離れている（図134（c）等を参照）。

40

【0589】

この通常の状態（図135（a）等を参照）で、裏下後回転駆動モータ3553により回転駆動ギア3554を正面視時計回りの方向へ回転させると、駆動ギア部材3559と一緒に連結リング3560が正面視反時計回りの方向へ回転することとなる。この連結リ

50

ング3560が正面視反時計回りの方向へ回転しようとする、取付孔3560aに取付けられている基端ピン3567bを介して連結アーム3567が、その連結アーム3567の先端孔3567aが装飾体スライダ3566のスライドピン3566aを介して取付けられている回転装飾体ベース3561のガイドスリット3561dから、遠ざかる方向へ移動しようとすることから、先端孔3560aに取付けられているスライドピン3566aが、ガイドスリット3561d内において回転中心側へスライドしようとする。

【0590】

しかしながら、この通常の状態では、スライドピン3566aがガイドスリット3561dの回転中心側の端部に位置しており、これ以上回転中心側へスライドすることができない。これにより、連結アーム3567がガイドスリット3561dを介して回転装飾体ベース3561を正面視反時計回りの方向へ回転するように引っ張ることとなる。この回転装飾体ベース3561には、差動ギア部材3562、差動伝達ギア3563、及びダンパギア3564を介して回転ダンパ部材3565の回転抵抗が作用しているため、回転ダンパ部材3565の回転抵抗に抗して回転装飾体ベース3561が反時計回りの方向へ回転することとなる。

10

【0591】

この回転装飾体ベース3561が正面反時計回りの方向へ回転する際には、装飾体スライダ3566のスライドピン3566aが、ガイドスリット3561dの回転中心側の端部に位置しており、各装飾体スライダ3566に取付けられている裏下後回転装飾体3568が回転中心側へ位置して互いに当接している状態で回転する（図135（b）を参照）。また、四つの裏下後回転装飾体3568の正面視反時計回りの方向への回転中は、裏下後回転装飾体3568が取付けられている装飾体スライダ3566に、連結アーム3567により回転中心側へスライドするような力が作用しているため、裏下後回転装飾体3568が遠心力により外側へスライドすることはない。

20

【0592】

一方、通常の状態（図136（a）等を参照）で、裏下後回転駆動モータ3553により回転駆動ギア3554を正面視反時計回りの方向へ回転させると、駆動ギア部材3559と一緒に連結リング3560が時計回りの方向へ回転することとなる。この連結リング3560が時計回りの方向へ回転しようとする、取付孔3560aに取付けられている基端ピン3567bを介して連結アーム3567が、その連結アーム3567の先端孔3567aが装飾体スライダ3566のスライドピン3566aを介して取付けられている回転装飾体ベース3561のガイドスリット3561dへ、接近する方向へ移動しようとすることから、先端孔3560aに取付けられているスライドピン3566aが、ガイドスリット3561dを介して回転装飾体ベース3561を時計回りの方向へ回転させようとする。

30

【0593】

しかしながら、回転装飾体ベース3561には、差動ギア部材3562、差動伝達ギア3563、及びダンパギア3564を介して回転ダンパ部材3565の回転抵抗が作用しているため、回転装飾体ベース3561が時計回りの方向へ回転する前に、スライドピン3566aがガイドスリット3561dに沿って回転中心から外側の方向へ移動することとなる（図136（b）を参照）。これにより、各スライドピン3566a（装飾体スライダ3566）が外側へ向かってスライドすることで、各裏下後回転装飾体3568が、互いに離反するように外側へスライドすることとなる。

40

【0594】

そして、連結リング3560が更に正面視時計回りの方向へ回転して、取付孔3560aが回転装飾体ベース3561におけるガイドスリット3561dの軸線上に到達すると、連結アーム3567がガイドスリット3561dに沿って延びた状態となると共に連結アーム3567の側面が回動規制部材3569に当接して、連結アーム3567のこれ以上の回動が阻止される。この状態では、連結アーム3567を介して装飾体スライダ3566が最も外側へスライドした状態となり、各裏下後回転装飾体3568同士が最も離反

50

して開いた状態となる（図136（c）を参照）。また、裏下後回転装飾体3568が開いた状態では、裏下後回転装飾体3568の後方に配置されている裏下後固定装飾体3573が、裏下後回転装飾体3568同士の間から視認できるようになる（図133（c）及び（d）等を参照）。

【0595】

裏下後回転装飾体3568が開いた状態で、連結リング3560が更に正面視時計回りの方向へ回転すると、回動規制部材3569により連結アーム3567の回動が規制されているため、回転装飾体ベース3561が回転ダンパ部材3565の回転抵抗に抗して時計回りの方向へ回転することとなり、裏下後回転装飾体3568が開いた状態で時計回りの方向へ回転することとなる（図136（d）を参照）。裏下後回転装飾体3568が開くことで大きくなって目立つようになり、遊技者を驚かせることができる。

10

【0596】

なお、開いている状態の裏下後回転装飾体3568を閉じる場合は、裏下後回転駆動モータ3553により連結リング3567を上記とは逆の正面視反時計回りの方向へ回転させることで、各裏下後回転装飾体3568が、回転中心側へスライドして、閉じた状態となる。

【0597】

このように、裏下後可動演出ユニット3500は、裏下後回転装飾体ユニット3550を上昇端位置へ移動させることで、裏下後回転装飾体3568をセンター役物2500の枠内（遊技領域5a）の中央へ移動させることができ、裏下後回転装飾体3568を目立たせることができる。この状態で、裏下後回転装飾体3568を、正面視反時計回りの方向へ回転させると、遊技領域5aの中央で回転することで、遊技者を驚かせることができる。また、裏下後回転装飾体3568を、正面視時計回りの方向へ回転させると、裏下後回転装飾体3568が開いて大きくなった状態で回転するため、遊技者を更に驚かせることができ、多彩な可動演出を遊技者に提示することができる。

20

【0598】

[5-9j. 裏四隅可動演出ユニット]

次に、裏ユニット3000の裏四隅可動演出ユニット3600について、主に図137乃至図145を参照して詳細に説明する。図137は裏ユニットの裏四隅可動演出ユニットを前から見た斜視図であり、図138は裏ユニットの裏四隅可動演出ユニットを後ろから見た斜視図である。また、図139は裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第一ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図140は裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第一ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。また、図141は裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第二ユニットを分解して前から見た分解斜視図であり、図142は裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第二ユニットを分解して後ろから見た分解斜視図である。

30

【0599】

また、図143（a）は通常の退避位置の状態での裏四隅可動演出ユニットにおける裏四隅第一ユニットの正面図であり、（b）は裏四隅第一装飾体が出現位置の状態での裏四隅第一ユニットの正面図であり、（c）は裏四隅第二装飾体が出現位置の状態での裏四隅第一ユニットの正面図である。更に、図144（a）は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第一装飾体が退避位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、（b）は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第一装飾体が退避位置から出現位置へ向かう途中の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、（c）は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第一装飾体が出現位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図である。また、図145（a）は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第二装飾体が退避位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、（b）は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第二装飾体が退避位置から出現位置へ向かう途中の駆動機構の状態を左側面から示す説明図であり、（c）は裏四隅第一ユニットにおいて裏四隅第二装飾体が出現位置の時の駆動機構の状態を左側面から示す説明図である。

40

50

【0600】

裏四隅可動演出ユニット3600は、裏箱3010内における開口部3010aよりも外方の四隅に取付けられている。裏四隅可動演出ユニット3600は、裏箱3010内の四隅における右上隅と左下隅に取付けられる裏四隅第一ユニット3610、裏箱3010内の四隅における左上隅と右下隅に取付けられる裏四隅第二ユニット3650と、を備えている。右上隅に取付けられる裏四隅第一ユニット3610Aに対して、左下隅に取付けられる裏四隅第一ユニット3610Bは、前後に延びた軸線周りに180度回転させた状態で取付けられる。また、左上隅に取付けられる裏四隅第二ユニット3650Aに対して、右下隅に取付けられる裏四隅第二ユニット3650Bは、前後に延びた軸線まわりに180度回転させた状態で取付けられる。

10

【0601】

以下では、右上隅に取付けられる裏四隅第一ユニット3610（3610A）と、左上隅に取付けられる裏四隅第二ユニット3650（3650A）について説明し、左下隅に取付けられる裏四隅第一ユニット3610（3610B）と右下隅に取付けられる裏四隅第二ユニット3650（3650B）については、右上隅と左上隅に取付けられているものに対して180度回転しているだけであるため、説明は省略する。

【0602】

まず、裏四隅第一ユニット3610は、図139及び図140等に応示するように、裏箱3010内に取付けられ後方及び下方が開放されている浅い箱状のユニットベース3611と、ユニットベース3611の前面における左右方向の略中央に取付けられており左方（裏箱3010の左右方向中央を向いている方）が開放されている浅い箱状のモータベース3612と、モータベース3612の左側面に取付けられておりモータベース3612の開放されている左側面の前後方向略中央よりも前側を覆っているモータベースカバー前3613と、モータベースカバー前3613よりも後方でモータベース3612の左面に取付けられており右方及び前方が開放されている箱状のモータベースカバー後3614と、モータベース3612の右側面の前部に取付けられており回転軸がモータベース3612内に突出している裏四隅駆動モータ3615と、裏四隅駆動モータ3615の回転軸に取付けられておりモータベースカバー前3613により左方が覆われるようにモータベース3612内に収容されている伝達部材3616と、を備えている。

20

【0603】

伝達部材3616は、裏四隅駆動モータ3615の回転軸に取付けられている円柱状の取付軸部3616aと、取付軸部3616aの先端から軸直角方向へ延びている円盤状のベース部3616bと、ベース部3616bにおける右方を向いている面から右方へ板状に突出している検知片3616cと、ベース部3616bの左方を向いている面に備えられている第一伝達部3617と、ベース部3616bの右方を向いている面に備えられている第二伝達部3618と、を備えている。

30

【0604】

伝達部材3616の第一伝達部3617は、ベース部3616bの周縁付近からベース部3616bの回転軸と平行に左方へ突出している円柱状の第一伝達ピン3617aと、第一伝達ピン3617aの公転半径よりも小さい半径でベース部3616bの左面から同心円上に左方へ突出している円筒状の第一ロック突部3617bと、第一ロック突部3617bと第一伝達ピン3617aとの間で、第一ロック突部3617bの外周面におけるベース部3616bの中心と第一伝達ピン3617aの中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲から第一ロック突部3617bの中心へ向かって扇状に切欠かれている第一切欠部3617cと、を有している。

40

【0605】

伝達部材3616の第二伝達部3618は、ベース部3616bの周縁付近からベース部3616bの回転軸と平行に右方へ突出している円柱状の第二伝達ピン3618aと、第二伝達ピン3618aの公転半径よりも小さい半径でベース部3616bの右面から同心円上に右方へ突出している円筒状の第二ロック突部3618bと、第二ロック突部36

50

18bと第二伝達ピン3618aとの間で、第二ロック突部3618bの外周面におけるベース部3616bの中心と第二伝達ピン3618aの中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲から第二ロック突部3618bの中心へ向かって扇状に切欠かれている第二切欠部3618cと、を有している。

【0606】

伝達部材3616は、第一伝達ピン3617aと第二伝達ピン3618aの公転半径は、同じである。また、第一伝達ピン3617aに対して、第二伝達ピン3618aが、ベース部3616bの回転軸を中心に180度回転した位置から突出している。更に、第一ロック突部3617bと第二ロック突部3618bの直径は、同じである。更に、伝達部材3616は、第一伝達部3617の第一切欠部3617cと第二伝達部3618の第二切欠部3618cが、第一ロック突部3617bと第二ロック突部3618bの円周に対して72度の角度範囲で扇状に形成されている。

【0607】

また、裏四隅第一ユニット3610は、伝達部材3616よりも後方の位置で両端がモータベース3612及びモータベースカバー後3614に両端が取付けられている円柱状の被伝達軸部材3619と、被伝達軸部材3619が貫通することにより回転可能に取付けられていると共に伝達部材3616における第一伝達部3617からの回転が伝達されて回転し、回転軸に対して直角方向へ延びている作用アーム3620aを有している第一被伝達部材3620と、被伝達軸部材3619の直下における第一被伝達部材3620よりも下方でモータベース3612及びモータベースカバー後3614に両端が取付けられているリンク軸部材3621と、リンク軸部材3621が基端側を貫通することにより回転可能に取付けられており回転軸に対して直角方向へ第一被伝達部材3620の作用アーム3620aと同じ長さで延びているリンクアーム3622と、上端が第一被伝達部材3620における作用アーム3620aの先端に回転可能に取付けられていると共に上端よりも下側でリンクアーム3622が作用アーム3620aと平行に延びるようにリンクアーム3622の先端が回転可能に取付けられており、下方へ延びているリンク部材3623と、リンク部材3623の下端前面に取付けられており手裏剣を模した裏四隅第一装飾体3624と、裏四隅第一装飾体3624の後面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏四隅第一装飾基板3625と、を備えている。

【0608】

第一被伝達部材3620は、左端から作用アーム3620aが延出しており被伝達軸部材3619が貫通している軸部3620bと、軸部3620bの右端から回転軸に対して直角方向へ延びている円盤状の第一被伝達本体部3620cと、第一被伝達本体部3620cの外周面から中心へ向かって凹んでおり第一伝達ピン3617aが摺動可能に挿入される第一伝達スリット3620dと、第一被伝達本体部3620cの外周面における第一伝達スリット3620dの両側において、外周面から中心へ向かって円弧状に凹んでいる一対の第一ロック凹部3620eと、を有している。

【0609】

第一伝達スリット3620dは、第一被伝達本体部3620cの外周面に開口している向きが、作用アーム3620aが延びている向きと略同じである。第一ロック凹部3620eは、第一伝達部3617の第一ロック突部3617bの直径に対して、若干大きい直径の円弧で凹んでいる。また、一対の第一ロック凹部3620eは、夫々の凹んでいる円弧の中心と、第一被伝達部材3620の回転中心とを結ぶ線同士が、90度の角度で交わるように形成されている。

【0610】

この第一被伝達部材3620は、裏四隅第一ユニット3610（裏四隅可動演出ユニット3600）を組立てた状態では、第一被伝達本体部3620cが、第一伝達部3617の第一伝達ピン3617a及び第一ロック突部3617bと、左右方向の位置が同じとなっている。これにより、第一伝達スリット3620d内に第一伝達ピン3617aを挿入させることができ、第一伝達ピン3617a及び第一伝達スリット3620dを介して回

転を伝達させることができる。また、第一ロック凹部 3620e 内に第一ロック突部 3617b の一部を挿入させることができ、第一ロック凹部 3620e 内に第一ロック突部 3617b の一部が挿入されることにより、第一被伝達部材 3620 の回転を規制（ロック）することができる。

【0611】

リンク部材 3623 には、第一被伝達部材 3620 の作用アーム 3620a の先端と、リンクアーム 3622 の先端とが、夫々リンクピン 3626 により回転可能に取付けられている。また、リンク部材 3623 の前面上部にはリンクカバー 3627 が取付けられている。裏四隅第一ユニット 3610 は、モータベース 3612 と、第一被伝達部材 3620 の作用アーム 3620a と、リンクアーム 3622 と、リンク部材 3623 とで、平行リンクを形成しており、第一被伝達部材 3620 を回転させることで、リンク部材 3623 を介して裏四隅第一装飾体 3624 を上下に昇降させることができる。

10

【0612】

更に、裏四隅第一ユニット 3610 は、ユニットベース 3611 の後端開口を閉鎖しておりユニットベース 3611 に取付けられている平板状のベースカバー 3628 と、左右に延びている円柱状で被伝達軸部材 3619 を中心にして公転する第二作用ピン 3629a を有しており、モータベース 3612 と第一被伝達部材 3620 との間で被伝達軸部材 3619 が貫通することにより回転可能に取付けられていると共に伝達部材 3616 における第二伝達部 3618 からの回転が伝達されて回転する第二被伝達部材 3629 と、第二被伝達部材 3629 の第二作用ピン 3629a の公転により前後方向へ延びた軸周りに公転し後方へ円柱状に延びている第一連結ピン 3630a を有しており、被伝達軸部材 3619 よりも後方でユニットベース 3611 とベースカバー 3628 とにより回転可能に取付けられている回転連結部材 3630 と、回転連結部材 3630 よりも下方でユニットベース 3611 とベースカバー 3628 とにより前後方向へ延びた軸周りに回転可能に取付けられており、回転中心から偏芯した位置に後方へ円柱状に突出している第二連結ピン 3631a を有している裏四隅第二装飾体ベース 3631 と、を備えている。

20

【0613】

また、裏四隅第一ユニット 3610 は、一方の端部側が回転連結部材 3630 の第一連結ピン 3630a に回転可能に取付けられていると共に、反対側の端部側が裏四隅第二装飾体ベース 3631 の第二連結ピン 3631a に回転可能に取付けられている帯板状の連結アーム 3632 と、裏四隅第二装飾体ベース 3631 の前面に取付けられており円弧状に延びている裏四隅第二装飾体 3633 と、裏四隅第二装飾体 3633 の後面に取付けられており前面に複数の LED が実装されている裏四隅第二装飾基板 3634 と、裏四隅第二装飾体 3633 における先端付近の後面に取付けられており裏四隅第二装飾基板 3634 の後側の一部を覆う基板カバー 3635 と、モータベース 3612 に取付けられており伝達部材 3616 の検知片 3616c を検知可能な裏四隅昇降検知センサ 3636 と、を備えている。

30

【0614】

第二被伝達部材 3629 は、周縁から右方へ第二作用ピン 3629a が突出しており被伝達軸部材 3619 を中心とした円盤状の第二被伝達本体部 3629b と、第二被伝達本体部 3629b の外周面から中心へ向かって凹んでおり第二伝達ピン 3618a が摺動可能に挿入される第二伝達スリット 3629c と、第二被伝達本体部 3629b の外周面における第二伝達スリット 3629c の両側において、外周面から中心へ向かって円弧状に凹んでいる一対の第二ロック凹部 3629d と、を有している。

40

【0615】

第二被伝達部材 3629 の第二伝達スリット 3629c は、第二被伝達本体部 3629b の外周面に開口している向きが、被伝達軸部材 3619 を挟んで第二作用ピン 3629a とは反対方向を向いている。第二ロック凹部 3629d は、第二伝達部 3618 の第二ロック突部 3618b の直径に対して、若干大きい直径の円弧で凹んでいる。また、一対の第二ロック凹部 3629d は、夫々の凹んでいる円弧の中心と、第二被伝達部材 362

50

9の回転中心とを結ぶ線同士が、90度の角度で交わるように形成されている。

【0616】

この第二被伝達部材3629は、裏四隅第一ユニット3610（裏四隅可動演出ユニット3600）を組立てた状態では、第二被伝達本体部3629bが、第二伝達部3618の第二伝達ピン3618a及び第二ロック突部3618bと、左右方向の位置が同じとなっている。これにより、第二伝達スリット3629c内に第二伝達ピン3618aを挿入させることができ、第二伝達ピン3618a及び第二伝達スリット3629cを介して回転を伝達させることができる。また、第二ロック凹部3629d内に第二ロック突部3618bの一部を挿入させることができ、第二ロック凹部3629d内に第二ロック突部3618bの一部が挿入されることにより、第二被伝達部材3629の回転を規制（ロック）することができる。

10

【0617】

回転連結部材3630は、回転中心から軸直角方向へ扇状に延びており後面の周縁から第一連結ピン3630aが後方へ突出している平板状の本体部3630bと、本体部3630bの周辺から前方へ板状に突出している突出片3630cと、突出片3630cの一部が前端から後方へ向かって第二被伝達部材3629の第二作用ピン3629aが摺動可能に挿通されるように切欠かれている第二被作用部3630dと、を備えている。

【0618】

回転連結部材3630は、回転中心が、第二被伝達部材3629の回転中心と同じ高さに取り付けられている。この回転連結部材3630は、第二被伝達部材3629が回転して第二作用ピン3629aが公転することで、第二被作用部3630dが第二作用ピン3629aにより押圧されて回転する。

20

【0619】

裏四隅第二装飾体3633は、手裏剣や刀等の刃物の刃先を模した形状に形成されており、刃先の細くなった側が裏四隅第二装飾体ベース3631に取り付けられている。

【0620】

裏四隅第一ユニット3610は、ベースカバー3628と、回転連結部材3630と、裏四隅第二装飾体ベース3631と、連結アーム3632とで、回転リンクを形成しており、回転連結部材3630が回転すると、連結アーム3632を介して裏四隅第二装飾体ベース3631が同じ方向へ回転する。これにより、裏四隅第二装飾体ベース3631に取り付けられている裏四隅第二装飾体3633を、その先端側が下方へ向かうように回転（回動）させることができる。

30

【0621】

続いて、裏四隅第二ユニット3650は、図141及び図142等に応示するように、裏箱3010内に取付けられ後方及び下方が開放されている浅い箱状のユニットベース3651と、ユニットベース3651の前面における左右方向の略中央に取り付けられており右方（裏箱3010の左右方向中央を向いている方）が開放されている浅い箱状のモータベース3652と、モータベース3652の右側面に取付けられておりモータベース3652の開放されている右側面の前後方向略中央よりも前側を覆っているモータベースカバー前3653と、モータベースカバー前3653よりも後方でモータベース3652の右面に取付けられており左方及び前方が開放されている箱状のモータベースカバー後3654と、モータベース3652の左側面の前部に取り付けられており回転軸がモータベース3652内に突出している裏四隅駆動モータ3655と、裏四隅駆動モータ3655の回転軸に取り付けられておりモータベースカバー前3653により右方が覆われるようにモータベース3652内に収容されている伝達部材3656と、を備えている。

40

【0622】

伝達部材3656は、裏四隅駆動モータ3655の回転軸に取り付けられている円柱状の取付軸部3656aと、取付軸部3656aの先端から軸直角方向へ延びている円盤状のベース部3656bと、ベース部3656bにおける右方を向いている面から右方へ板状に突出している検知片3656cと、ベース部3656bの右方を向いている面に備えら

50

れている第一伝達部 3 6 5 7 と、ベース部 3 6 5 6 b の左方を向いている面に備えられている第二伝達部 3 6 5 8 と、を備えている。

【0 6 2 3】

伝達部材 3 6 5 6 の第一伝達部 3 6 5 7 は、ベース部 3 6 5 6 b の周縁付近からベース部 3 6 5 6 b の回転軸と平行に右方へ突出している円柱状の第一伝達ピン 3 6 5 7 a と、第一伝達ピン 3 6 5 7 a の公転半径よりも小さい半径でベース部 3 6 5 6 b の右面から同心円上に右方へ突出している円筒状の第一ロック突部 3 6 5 7 b と、第一ロック突部 3 6 5 7 b と第一伝達ピン 3 6 5 7 a との間で、第一ロック突部 3 6 5 7 b の外周面におけるベース部 3 6 5 6 b の中心と第一伝達ピン 3 6 5 7 a の中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲から第一ロック突部 3 6 5 7 b の中心へ向かって扇状に切欠かれている第一切欠部 3 6 5 7 c と、を有している。

10

【0 6 2 4】

伝達部材 3 6 5 6 の第二伝達部 3 6 5 8 は、ベース部 3 6 5 6 b の周縁付近からベース部 3 6 5 6 b の回転軸と平行に左方へ突出している円柱状の第二伝達ピン 3 6 5 8 a と、第二伝達ピン 3 6 5 8 a の公転半径よりも小さい半径でベース部 3 6 5 6 b の左面から同心円上に左方へ突出している円筒状の第二ロック突部 3 6 5 8 b と、第二ロック突部 3 6 5 8 b と第二伝達ピン 3 6 5 8 a との間で、第二ロック突部 3 6 5 8 b の外周面におけるベース部 3 6 5 6 b の中心と第二伝達ピン 3 6 5 8 a の中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲から第二ロック突部 3 6 5 8 b の中心へ向かって扇状に切欠かれている第二切欠部 3 6 5 8 c と、を有している。

20

【0 6 2 5】

伝達部材 3 6 5 6 は、第一伝達ピン 3 6 5 7 a と第二伝達ピン 3 6 5 8 a の公転半径は、同じである。また、第一伝達ピン 3 6 5 7 a に対して、第二伝達ピン 3 6 5 8 a が、ベース部 3 6 5 6 b の回転軸を中心に 1 8 0 度回転した位置から突出している。更に、第一ロック突部 3 6 5 7 b と第二ロック突部 3 6 5 8 b の直径は、同じである。更に、伝達部材 3 6 5 6 は、第一伝達部 3 6 5 7 の第一切欠部 3 6 5 7 c と第二伝達部 3 6 5 8 の第二切欠部 3 6 5 8 c が、第一ロック突部 3 6 5 7 b と第二ロック突部 3 6 5 8 b の円周に対して 7 2 度の角度範囲で扇状に形成されている。

【0 6 2 6】

また、裏四隅第二ユニット 3 6 5 0 は、伝達部材 3 6 5 6 よりも後方の位置で両端がモータベース 3 6 5 2 及びモータベースカバー後 3 6 5 4 に両端が取付けられている円柱状の被伝達軸部材 3 6 5 9 と、被伝達軸部材 3 6 5 9 が貫通することにより回転可能に取付けられていると共に伝達部材 3 6 5 6 における第一伝達部 3 6 5 7 からの回転が伝達されて回転し、回転軸に対して直角方向へ延びている作用アーム 3 6 6 0 a を有している第一被伝達部材 3 6 6 0 と、被伝達軸部材 3 6 5 9 の直下における第一被伝達部材 3 6 6 0 よりも下方でモータベース 3 6 5 2 及びモータベースカバー後 3 6 5 4 に両端が取付けられているリンク軸部材 3 6 6 1 と、リンク軸部材 3 6 6 1 が基端側を貫通することにより回転可能に取付けられており回転軸に対して直角方向へ第一被伝達部材 3 6 6 0 の作用アーム 3 6 6 0 a と同じ長さで延びているリンクアーム 3 6 6 2 と、上端が第一被伝達部材 3 6 6 0 における作用アーム 3 6 6 0 a の先端に回転可能に取付けられていると共に上端よりも下側でリンクアーム 3 6 6 2 が作用アーム 3 6 6 0 a と平行に延びるようにリンクアーム 3 6 6 2 の先端が回転可能に取付けられており、下方へ延びているリンク部材 3 6 6 3 と、リンク部材 3 6 6 3 の下端前面に取付けられており手裏剣を摸した裏四隅第一装飾体 3 6 6 4 と、裏四隅第一装飾体 3 6 6 4 の後面に取付けられており前面に複数の LED が実装されている裏四隅第一装飾基板 3 6 6 5 と、を備えている。

30

40

【0 6 2 7】

第一被伝達部材 3 6 6 0 は、左端から作用アーム 3 6 6 0 a が延出しており被伝達軸部材 3 6 5 9 が貫通している軸部 3 6 6 0 b と、軸部 3 6 6 0 b の右端から回転軸に対して直角方向へ延びている円盤状の第一被伝達本体部 3 6 6 0 c と、第一被伝達本体部 3 6 6 0 c の外周面から中心へ向かって凹んでおり第一伝達ピン 3 6 5 7 a が摺動可能に挿入さ

50

れる第一伝達スリット3660dと、第一被伝達本体部3660cの外周面における第一伝達スリット3660dの両側において、外周面から中心へ向かって円弧状に凹んでいる一対の第一ロック凹部3660eと、を有している。

【0628】

第一伝達スリット3660dは、第一被伝達本体部3660cの外周面に開口している向きが、作用アーム3660aが延びている向きと略同じである。第一ロック凹部3660eは、第一伝達部3657の第一ロック突部3657bの直径に対して、若干大きい直径の円弧で凹んでいる。また、一対の第一ロック凹部3660eは、夫々の凹んでいる円弧の中心と、第一被伝達部材3660の回転中心とを結ぶ線同士が、90度の角度で交わるように形成されている。

10

【0629】

この第一被伝達部材3660は、裏四隅第二ユニット3650（裏四隅可動演出ユニット3600）を組立てた状態では、第一被伝達本体部3660cが、第一伝達部3657の第一伝達ピン3657a及び第一ロック突部3657bと、左右方向の位置が同じとなっている。これにより、第一伝達スリット3660d内に第一伝達ピン3657aを挿入させることができ、第一伝達ピン3657a及び第一伝達スリット3660dを介して回転を伝達させることができる。また、第一ロック凹部3660e内に第一ロック突部3657bの一部を挿入させることができ、第一ロック凹部3660e内に第一ロック突部3657bの一部が挿入されることにより、第一被伝達部材3660の回転を規制（ロック）することができる。

20

【0630】

リンク部材3663には、第一被伝達部材3660の作用アーム3660aの先端と、リンクアーム3662の先端とが、夫々リンクピン3666により回転可能に取付けられている。また、リンク部材3663の前面上部にはリンクカバー3667が取付けられている。裏四隅第二ユニット3650は、モータベース3652と、第一被伝達部材3660の作用アーム3660aと、リンクアーム3662と、リンク部材3663とで、平行リンクを形成しており、第一被伝達部材3660を回転させることで、リンク部材3663を介して裏四隅第一装飾体3664を上下に昇降させることができる。

【0631】

更に、裏四隅第二ユニット3650は、ユニットベース3651の後端開口を閉鎖しておりユニットベース3651に取付けられている平板状のベースカバー3668と、左右に延びている円柱状で被伝達軸部材3659を中心にして公転する第二作用ピン3669aを有しており、モータベース3652と第一被伝達部材3660との間で被伝達軸部材3659が貫通することにより回転可能に取付けられていると共に伝達部材3656における第二伝達部3658からの回転が伝達されて回転する第二被伝達部材3669と、第二被伝達部材3669の第二作用ピン3669aの公転により前後方向へ延びた軸周りに公転し後方へ円柱状に延びている第一連結ピン3670aを有しており、被伝達軸部材3659よりも後方でユニットベース3651とベースカバー3668とにより回転可能に取付けられている回転連結部材3670と、回転連結部材3670よりも下方でユニットベース3651とベースカバー3668とにより前後方向へ延びた軸周りに回転可能に取付けられており、回転中心から偏芯した位置に後方へ円柱状に突出している第二連結ピン3671aを有している裏四隅第二装飾体ベース3671と、を備えている。

30

40

【0632】

また、裏四隅第二ユニット3650は、一方の端部側が回転連結部材3670の第一連結ピン3670aに回転可能に取付けられていると共に、反対側の端部側が裏四隅第二装飾体ベース3671の第二連結ピン3671aに回転可能に取付けられている帯板状の連結アーム3672と、裏四隅第二装飾体ベース3671の前面に取付けられており円弧状に延びている裏四隅第二装飾体3673と、裏四隅第二装飾体3673の後面に取付けられており前面に複数のLEDが実装されている裏四隅第二装飾基板3674と、裏四隅第二装飾体3673における先端付近の後面に取付けられており裏四隅第二装飾基板367

50

4の後側の一部を覆う基板カバー3675と、モータベース3652に取付けられており伝達部材3656の検知片3656cを検知可能な裏四隅昇降検知センサ3676と、を備えている。

【0633】

第二被伝達部材3669は、周縁から左方へ第二作用ピン3669aが突出しており被伝達軸部材3659を中心とした円盤状の第二被伝達本体部3669bと、第二被伝達本体部3669bの外周面から中心へ向かって凹んでおり第二伝達ピン3658aが摺動可能に挿入される第二伝達スリット3669cと、第二被伝達本体部3669bの外周面における第二伝達スリット3669cの両側において、外周面から中心へ向かって円弧状に凹んでいる一対の第二ロック凹部3669dと、を有している。

10

【0634】

第二被伝達部材3669の第二伝達スリット3669cは、第二被伝達本体部3669bの外周面に開口している向きが、被伝達軸部材3659を挟んで第二作用ピン3669aとは反対方向を向いている。第二ロック凹部3669dは、第二伝達部3658の第二ロック突部3658bの直径に対して、若干大きい直径の円弧で凹んでいる。また、一対の第二ロック凹部3669dは、夫々の凹んでいる円弧の中心と、第二被伝達部材3669の回転中心とを結ぶ線同士が、90度の角度で交わるように形成されている。

【0635】

この第二被伝達部材3669は、裏四隅第二ユニット3650（裏四隅可動演出ユニット3600）を組立てた状態では、第二被伝達本体部3669bが、第二伝達部3658の第二伝達ピン3658a及び第二ロック突部3658bと、左右方向の位置が同じとなっている。これにより、第二伝達スリット3669c内に第二伝達ピン3658aを挿入させることができ、第二伝達ピン3658a及び第二伝達スリット3669cを介して回転を伝達させることができる。また、第二ロック凹部3669d内に第二ロック突部3658bの一部を挿入させることができ、第二ロック凹部3669d内に第二ロック突部3658bの一部が挿入されることにより、第二被伝達部材3669の回転を規制（ロック）することができる。

20

【0636】

回転連結部材3670は、回転中心から軸直角方向へ扇状に延びており後面の周縁から第一連結ピン3670aが後方へ突出している平板状の本体部3670bと、本体部3670bの周辺から前方へ板状に突出している突出片3670cと、突出片3670cの一部が前端から後方へ向かって第二被伝達部材3669の第二作用ピン3669aが摺動可能に挿通されるように切欠かれている第二被作用部3670dと、を備えている。

30

【0637】

回転連結部材3670は、回転中心が、第二被伝達部材3669の回転中心と同じ高さに取付けられている。この回転連結部材3670は、第二被伝達部材3669が回転して第二作用ピン3669aが公転することで、第二被作用部3670dが第二作用ピン3669aにより押圧されて回転する。

【0638】

裏四隅第二装飾体3673は、手裏剣や刀等の刃物の刃先を摸した形状に形成されており、刃先の細くなった側が裏四隅第二装飾体ベース3671に取付けられている。

40

【0639】

裏四隅第二ユニット3650は、ベースカバー3668と、回転連結部材3670と、裏四隅第二装飾体ベース3671と、連結アーム3672とで、回転リンクを形成しており、回転連結部材3670が回転すると、連結アーム3672を介して裏四隅第二装飾体ベース3671が同じ方向へ回転する。これにより、裏四隅第二装飾体ベース3671に取付けられている裏四隅第二装飾体3673を、その先端側が下方へ向かうように回転（回動）させることができる。

【0640】

続いて、裏四隅可動演出ユニット3600における裏四隅第一装飾体3624、366

50

4と裏四隅第二装飾体3633、3673の動作について、主に図143乃至図145を参照して説明する。裏四隅可動演出ユニット3600は、裏四隅第一ユニット3610と裏四隅第二ユニット3650とが、裏四隅第二装飾体3633、3673、裏四隅第二装飾基板3634、3674、及び基板カバー3635、3675を除いて、略左右対称に形成されており、裏四隅第二装飾体3633、3673、裏四隅第二装飾基板3634、3674、及び基板カバー3635、3675が、点対称に形成されている。従って、ここでは、正面視右上隅の裏四隅第一ユニット3610（3610A）のみを用いて説明し、他の裏四隅第一ユニット3610B及び裏四隅第二ユニット3650については説明を省略する。

【0641】

10

裏四隅可動演出ユニット3600（裏四隅第一ユニット3610）は、図143（a）等に示すように、上下に移動する裏四隅第一装飾体3624がユニットベース3611に接近している状態となっていると共に、回転する裏四隅第二装飾体3633が水平に延びている状態となっている。この通常の状態では、図83等に示すように、裏四隅第一装飾体3624及び裏四隅第二装飾体3633が、遊技者側から殆ど視認することができない退避位置に位置している。

【0642】

この通常の状態では、図144（a）及び図145（a）に示すように、伝達部材3616において、第一伝達部3617の第一伝達ピン3617aが回転中心の直上に位置していると共に、第二伝達部3618の第二伝達ピン3618aが回転中心の直下に位置している。また、通常の状態では、第一被伝達部材3620の作用アーム3620aが斜め上前方へ延出していると共に、第一伝達スリット3620dが斜め上前方へ向かって開口しており、第一伝達スリット3620dの下方の第一ロック凹部3620e内に第一伝達部3617の第一ロック突部3617bが挿入されている。これにより、リンク部材3623を介して裏四隅第一装飾体3624が上昇端に位置していると共に、第一被伝達部材3620が回転不能にロックされている。

20

【0643】

また、通常の状態では、第二被伝達部材3629において、第二作用ピン3629aが回転中心に対して斜め上後方に位置していると共に第二伝達スリット3629cが斜め下前方へ向かって開口しており、第二伝達スリット3629cの上方の第二ロック凹部3629d内に第二伝達部3618の第二ロック突部3618bが挿入されている。これにより、回転連結部材3630、連結アーム3632、及び裏四隅第二装飾体ベース3631を介して裏四隅第二装飾体3633が略水平に延びていると共に、第二被伝達部材3629が回転不能にロックされている。更に、通常の状態では、伝達部材3616の検知片3616cが、裏四隅昇降検知センサ3636により検知されている。

30

【0644】

この通常の状態では、裏四隅駆動モータ3615により第一伝達部3617の第一伝達ピン3617aが後方へ移動するように伝達部材3616を左側面視で反時計回りの方向へ回転させると、第一伝達ピン3617aが後方へ移動するように公転して、第一被伝達部材3620の第一伝達スリット3620d内に進入すると同時に、第一ロック突部3617bが第一ロック凹部3620e内から外れてロックが解除され、第一被伝達部材3620が回転可能な状態となる。また、伝達部材3616の検知片3616cが公転して、裏四隅昇降検知センサ3636が非検知の状態となる。そして、第一伝達ピン3617aが更に反時計回りの方向へ公転すると、第一伝達ピン3617aが第一伝達スリット3620dの内面を下方へ押圧し、第一被伝達部材3620が被伝達軸部材3619を中心に時計回りの方向へ回転することとなる。

40

【0645】

この第一被伝達部材3620が左側面視で時計回りの方向へ回転すると、軸直角方向へ延びている作用アーム3620aの先端が下方へ移動するように回転することとなるため、作用アーム3620aの先端に取付けられているリンク部材3623を介して裏四隅第

50

一装飾体 3 6 2 4 が下方へ移動することとなる（図 1 4 4（b）を参照）。この際に、リンク部材 3 6 2 3 は、作用アーム 3 6 2 0 a とリンクアーム 3 6 2 2 とによる平行リンクによって取付けられているため、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 がそのままの姿勢で下方へ移動する。

【0 6 4 6】

一方、伝達部材 3 6 1 6 における第二伝達部 3 6 1 8 では、第二伝達ピン 3 6 1 8 a が第二被伝達部材 3 6 2 9 から遠ざかる方向へ公転すると共に、第二ロック突部 3 6 1 8 b が第二ロック凹部 3 6 2 9 d 内に挿入されており、第二被伝達部材 3 6 2 9 が回転することではなく裏四隅第二装飾体 3 6 3 3 は退避位置から回転することはない。

【0 6 4 7】

そして、第一伝達ピン 3 6 1 7 a が更に左側面視で反時計回りの方向へ公転して、第一伝達スリット 3 6 2 0 d から外れると、第一被伝達部材 3 6 2 0 の回転が停止して、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 の下方への移動が停止する（図 1 4 3（b）及び図 1 4 4（c）を参照）。この第一伝達ピン 3 6 1 7 a が第一伝達スリット 3 6 2 0 d から外れる際に、第一伝達スリット 3 6 2 0 d の上方の第一ロック凹部 3 6 2 0 e 内に第一ロック突部 3 6 1 7 b が進入し、第一ロック突部 3 6 1 7 b により第一被伝達部材 3 6 2 0 の回転がロックされる。従って、第一被伝達部材 3 6 2 0 がこれ以上時計回りの方向へ回転することではなく、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 が停止したままの状態維持される。この状態では、図 1 5 4 に示すように、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 がセンター役物 2 5 0 0 の枠内に位置しており、遊技者側から視認することができる。つまり、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 が、出現位置の状態である。

【0 6 4 8】

裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 が出現位置の状態、裏四隅駆動モータ 3 6 1 5 により、伝達部材 3 6 1 6 を上記とは逆方向（左側面視で時計回りの方向）へ回転させると、上記とは逆の動作をして第一被伝達部材 3 6 2 0 が反時計回りの方向へ回転し、作用アーム 3 6 2 0 a を介して裏四隅第一装飾体 3 6 2 4 が上昇し、通常の状態（退避位置の状態）に復帰する。そして、伝達部材 3 6 1 6 の検知片 3 6 1 6 c が、裏四隅昇降検知センサ 3 6 3 6 により検知されると、裏四隅駆動モータ 3 6 1 5 の回転（駆動）が停止する。本実施形態では、伝達部材 3 6 1 6（第一伝達部 3 6 1 7）において、第一伝達ピン 3 6 1 7 a が第一伝達スリット 3 6 2 0 d 内に挿入されている回転範囲が、第一特定回転範囲である。

【0 6 4 9】

この裏四隅第一ユニット 3 6 1 0 は、通常の状態（図 1 4 5（a）の状態）で、裏四隅駆動モータ 3 6 1 5 により第二伝達部 3 6 1 8 の第二伝達ピン 3 6 1 8 a が後方へ移動するように伝達部材 3 6 1 6 を左側面視で時計回りの方向へ回転させると、第二伝達ピン 3 6 1 8 a が後方へ移動するように公転して、第二被伝達部材 3 6 2 9 の第二伝達スリット 3 6 2 9 c 内に進入すると同時に、第二ロック突部 3 6 1 8 b が第二ロック凹部 3 6 2 9 d 内から外れてロックが解除され、第二被伝達部材 3 6 2 9 が回転可能な状態となる。また、伝達部材 3 6 1 6 の検知片 3 6 1 6 c が公転して、裏四隅昇降検知センサ 3 6 3 6 が非検知の状態となる。そして、第二伝達ピン 3 6 1 8 a が更に時計回りの方向へ公転すると、第二伝達ピン 3 6 1 8 a が第二伝達スリット 3 6 2 9 c の内面を上方へ押圧し、第二被伝達部材 3 6 2 9 が被伝達軸部材 3 6 1 9 を中心に反時計回りの方向へ回転することとなる。

【0 6 5 0】

この第二被伝達部材 3 6 2 9 が左側面視で反時計回りの方向へ回転すると、第二被伝達部材 3 6 2 9 の第二作用ピン 3 6 2 9 a が下方へ移動するように公転し、第二作用ピン 3 6 2 9 a の下方への移動に伴って、回転連結部材 3 6 3 0 の第二被作用部 3 6 3 0 d が下方へ移動するように回転連結部材 3 6 3 0 が前後に延びた軸周り（正面視で反時計回りの方向）に回転する。そして、回転連結部材 3 6 3 0 が回転すると、連結アーム 3 6 3 2 により連結されている裏四隅第二装飾体ベース 3 6 3 1 が回転連結部材 3 6 3 0 と同じ方向へ回転し、裏四隅第二装飾体ベース 3 6 3 1 に取付けられている裏四隅第二装飾体 3 6 3

3も同じ方向（先端側が下方へ移動する方向、つまり、正面視で反吐血周りの方向）へ回転することとなる（図145（d）を参照）。

【0651】

一方、伝達部材3616における第一伝達部3617では、第一伝達ピン3617aが第一被伝達部材3620から遠ざかる方向へ公転すると共に、第一ロック突部3617bが第一ロック凹部3620e内に挿入されており、第一被伝達部材3620が回転することではなく裏四隅第一装飾体3624は退避位置から移動することはない。

【0652】

そして、第二伝達ピン3618aが更に左側面視で時計回りの方向へ公転して、第二伝達スリット3629cから外れると、第二被伝達部材3629の回転が停止して、裏四隅第二装飾体3633の先端側が下方へ向かう回転が停止する（図143（c）及び図145（c）を参照）。この第二伝達ピン3618aが第二伝達スリット3629cから外れる際に、第二伝達スリット3629cの上方の第二ロック凹部3629d内に第二ロック突部3618bが進入し、第二ロック突部3618bにより第二被伝達部材3629の回転がロックされる。従って、第二被伝達部材3629がこれ以上反時計回りの方向へ回転することではなく、裏四隅第二装飾体3633が回転停止したままの状態維持される。この状態では、図143（c）に示すように、裏四隅第二装飾体3633が、水平に対して約45度傾いており、図153に示すように、裏四隅第二装飾体3633がセンター役物2500の枠内を通して遊技者側から視認することができる。つまり、裏四隅第二装飾体3633が、出現位置の状態である。

【0653】

裏四隅第二装飾体3633が出現位置の状態、裏四隅駆動モータ3615により、伝達部材3616を上記とは逆方向（左側面視で反時計回りの方向）へ回転させると、上記とは逆の動作をして第二被伝達部材3629が時計回りの方向へ回転し、回転連結部材3630や連結アーム3632等を介して裏四隅第二装飾体3633が、その先端側が上昇するように回転し、通常の状態（退避位置の状態）に復帰する。そして、伝達部材3616の検知片3616cが、裏四隅昇降検知センサ3636により検知されると、裏四隅駆動モータ3615の回転（駆動）が停止する。本実施形態では、伝達部材3616（第二伝達部3618）において、第二伝達ピン3618aが第二伝達スリット3629c内に挿入されている回転範囲が、第二特定回転範囲である。

【0654】

このように、裏四隅可動演出ユニット3600は、一つの裏四隅駆動モータ3615、3655の回転により、裏四隅第一装飾体3624、3664を出現させたり、裏四隅第二装飾体3633、3673を出現させたりすることができると共に、右上隅の裏四隅第一ユニット3610A、左下隅の裏四隅第一ユニット3610B、左上隅の裏四隅第二ユニット3650A、及び右下隅の裏四隅第二ユニット3650Bを、夫々独立して別々に動作させることができるため、より多彩な可動演出を遊技者に提示することができ、遊技者を楽しませて興趣の低下を抑制することができる。

【0655】

[5-10. 遊技盤における可動演出]

次に、本実施形態の遊技盤5における主な可動演出について、主に図146乃至図154を参照して詳細に説明する。図146は、センター役物における表上可動演出ユニットの表上可動装飾体の動きを示す遊技盤の正面図である。また、図147は裏ユニットにおける裏上可動演出ユニットの裏上装飾体が第一出現位置の状態を示す遊技盤の正面図であり、図148は裏ユニットにおける裏上可動演出ユニットの裏上装飾体が第二出現位置で、且つ、裏下前可動演出ユニットの裏下前第一装飾体と裏下前第二装飾体とが出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

【0656】

また、図149は、裏ユニットにおける裏右可動演出ユニットの裏右回転装飾体の第一装飾面を前方へ向けた状態で一對のシャッターが開いていると共に、裏左可動演出ユニッ

10

20

30

40

50

トの裏左回転装飾体の第一装飾面を前方へ向けた状態で裏左突出装飾体が出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。更に、図150は、裏ユニットにおける裏右可動演出ユニットの裏右回転装飾体と裏左可動演出ユニットの裏左回転装飾体とを夫々の第二装飾面を前方へ向けた状態で示す遊技盤の正面図である。また、図151は、裏ユニットにおける裏右可動演出ユニットの裏右回転装飾体と裏左可動演出ユニットの裏左回転装飾体とを夫々の第三装飾面を前方へ向けた状態で示す遊技盤の正面図である。

【0657】

更に、図152は、裏ユニットにおける裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体を上昇端位置で正面視反時計回りの方向へ回転させている状態を示す遊技盤の正面図である。また、図153は、裏ユニットにおける裏下後可動演出ユニットの裏下後回転装飾体を上昇端位置で正面視時計回りの方向へ回転させていると共に、裏四隅可動演出ユニットの裏四隅第二装飾体が出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。また、図154は、裏ユニットにおける裏四隅可動演出ユニットの裏四隅第一装飾体を出現位置の状態を示す遊技盤の正面図である。

10

【0658】

この遊技盤5は、図83等に示すように、通常の状態では、センター役物2500の枠内を通して後方に配置されている中央液晶表示装置1500の表示画面が、遊技者側から良好に視認することができる。また、通常の状態では、センター役物2500における表上可動演出ユニット2560の表上可動装飾体2561が上昇していると共に、表下可動演出ユニット2570の第一回転装飾体2572、第二回転装飾体2573、及び第三回転装飾体2574が回転停止している。更に、通常の状態では、裏上可動演出ユニット3100の裏上装飾体3152が、天地が逆転した状態でセンター役物2500の枠内よりも上側後方の退避位置に位置しており、一部がセンター役物2500の枠内の上辺よりも下方に突出して遊技者側から視認することができる状態となっている。

20

【0659】

また、通常の状態では、裏下前可動演出ユニット3200の裏下前第一装飾体3209と裏下前第二装飾体3212が、センター役物2500の下辺の後方となって遊技者側から視認し難い退避位置に位置している。また、通常の状態では、裏右可動演出ユニット3300と裏左可動演出ユニット3400の裏右回転装飾体3310と裏左回転装飾体3410とが、夫々第一装飾面3310a、3410aを前方（正面）へ向けた状態で回転停止しており、更に、裏右回転装飾体3310の一对のシャッター3312が閉じていると共に、裏左回転装飾体3410の二つの裏左突出装飾体3421が裏左回転装飾体3410内へ視認不能に没入している退避位置に位置している。

30

【0660】

更に、通常の状態では、裏下後可動演出ユニット3500の裏下後回転装飾体3568が下降端位置に位置しており、一部が遊技者側から視認できるようにセンター役物2500の下辺から枠内に臨んでいる。また、通常の状態では、裏四隅可動演出ユニット3600の裏四隅第一装飾体3624、3664及び裏四隅第二装飾体3633、3673が、遊技者側から視認し難いセンター役物2500の枠内よりも外方の退避位置に位置している。

40

【0661】

この遊技盤5は、通常の状態から、第一始動口2002や第二始動口2004に遊技球が受入れられることで抽選される第一特別抽選結果や第二特別抽選結果に応じて、表上可動演出ユニット2560、表下可動演出ユニット2570、裏上可動演出ユニット3100、裏下前可動演出ユニット3200、裏右可動演出ユニット3300、裏左可動演出ユニット3400、裏下後可動演出ユニット3500、及び裏四隅可動演出ユニット3600が、所定の可動演出を行う。

【0662】

具体的には、例えば、センター役物2500の表上可動演出ユニット2560では、表上駆動モータ2563の回転駆動により、表上可動装飾体2561を通常的位置から下降

50

させて中央液晶表示装置 1 5 0 0 の前面上部に位置させる（図 1 4 6 を参照）。これにより、中央液晶表示装置 1 5 0 0 の上部が表上可動装飾体 2 5 6 1 により覆われることで、遊技者に対して遊技状態が変化するのではないかと知らせることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。

【0 6 6 3】

また、センター役物 2 5 0 0 の表下可動演出ユニット 2 5 7 0 では、裏下駆動モータ 2 5 7 5 により、第一回転装飾体 2 5 7 2、第二回転装飾体 2 5 7 3、及び第三回転装飾体 2 5 7 4 を、グルグルと回転させる（図 9 6（b）を参照）。これにより、遊技者に対して何か良いことがあるのではないかと知らせることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。

10

【0 6 6 4】

更に、裏ユニット 3 0 0 0 の裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 では、裏上駆動モータ 3 1 0 3 の回転駆動により、裏上装飾体 3 1 5 2 を天地が逆転している状態で、退避位置から第一出現位置へ下降させる（図 1 4 7 を参照）。この状態では、裏上装飾体 3 1 5 2 の一対の開口部 3 1 5 2 a と、開口部 3 1 5 2 a 内に臨んでいる副装飾 3 1 5 7 a とが、センター役物 2 5 0 0 の枠内を通して部分的に遊技者側から視認することができる。これにより、裏上装飾体 3 1 5 2 により摸されている所定のキャラクタが、上から逆さまになって覗いているように見えるため、遊技者を驚かせることができると共に、キャラクタの出現により楽しませることができ、遊技に対する興趣の低下を抑制することができる。また、この状態で、裏上副駆動モータ 3 1 5 9 の回転駆動により、裏上副装飾体 3 1 5 7 を左右に往復移動させると、裏上装飾体 3 1 5 2 によって摸されている所定のキャラクタの瞳（副装飾 3 1 5 7 a）が左右にキョロキョロすることとなり、遊技者を更に驚かせることができると共に可動演出を楽しませることができる。

20

【0 6 6 5】

また、裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 では、裏上装飾体 3 1 5 2 が第一出現位置の状態で、更に裏上駆動モータ 3 1 0 3 の回転駆動により、裏上装飾体 3 1 5 2 を更に下方の第二出現位置へ移動させる（図 1 4 8 を参照）。裏上装飾体 3 1 5 2 が第一出現位置から第二出現位置へ下降する際に、裏上装飾体 3 1 5 2 により摸されている所定のキャラクタの天地が逆転していた状態から、天地が正常な状態へ回転しながら下降するため、裏上装飾体 3 1 5 2 の動きがダイナミックな動きとなり、遊技者の関心を強く引き付けることができると共に、遊技者を大いに驚かせることができ。

30

【0 6 6 6】

裏上装飾体 3 1 5 2 が第二出現位置の状態では、図示するように、裏上装飾体 3 1 5 2 により摸されている所定のキャラクタの天地が正常な状態になっていると共に、裏上装飾体 3 1 5 2 がセンター役物 2 5 0 0 の枠内の略中央に位置している。これにより、裏上装飾体 3 1 5 2 が遊技領域 5 a 内で目立つようになり、遊技者の関心を強く引き付けることができると共に、遊技者に対して有利遊技状態が発生するのを大いに予感させることができる。この第二出現位置の状態でも裏上副駆動モータ 3 1 5 9 の回転駆動により、裏上装飾体 3 1 5 2 によって摸されている所定のキャラクタの瞳を左右にキョロキョロさせることができ、遊技者をより楽しませることができる。

40

【0 6 6 7】

この裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 では、裏上装飾体 3 1 5 2 を、退避位置と第一出現位置との間で昇降させたり、第一出現位置と第二出現位置との間で昇降させたり、退避位置と第二出現位置との間で昇降させたり、することができると共に、第一出現位置や第二出現位置の時に、瞳をキョロキョロさせたりさせなかったりすることができるため、それらの動作を適宜組み合わせることにより多彩な可動演出を行うことができ、遊技者を飽きさせ難くすることができる。

【0 6 6 8】

また、裏ユニット 3 0 0 0 の裏下前可動演出ユニット 3 2 0 0 では、裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上装飾体 3 1 5 2 が第二出現位置の時に、裏下前駆動モータ 3 2 0 2 の

50

回転駆動により、退避位置の裏下前第一装飾体 3 2 0 9 と裏下前第二装飾体 3 2 1 2 とを、センター役物 2 5 0 0 の枠内に位置している出現位置へ移動させる（図 1 4 8 を参照）。これにより、図示するように、手を摸した裏下前第一装飾体 3 2 0 9 が、頭（顔）を摸した裏上装飾体 3 1 5 2 の前方に位置することで、所定のキャラクタがあたかも呪文を唱えているような（印を結んでいるような）状態となるため、遊技者に対して強いインパクトを与えることができ、有利遊技状態の発生に対する期待感をより一層高めさせることができる。

【0 6 6 9】

更に、裏ユニット 3 0 0 0 の裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 では、通常の状態（第一装飾面 3 3 1 0 を前方へ向けて回転停止している状態）で、図示しない裏右シャッターソレノイドにより一対のシャッター 3 3 1 2 を離反させて、シャッター 3 3 1 2 の間から内側装飾体 3 3 1 3 を前方へ臨ませる（図 1 4 9 を参照）と共に、内側装飾体 3 3 1 3 を発光装飾させる。これにより、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができる。

10

【0 6 7 0】

また、裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 では、裏右駆動モータ 3 3 0 4 により、裏右回転装飾体 3 3 1 0 を、グルグル回転させる。これにより、遊技者に対して、遊技状態が変化する兆しを感じさせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

【0 6 7 1】

また、裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 では、裏右駆動モータ 3 3 0 4 により、裏右回転装飾体 3 3 1 0 を回転させて第二装飾面 3 3 1 0 b を前方（正面）へ向けて停止させる（図 1 5 0 を参照）。これにより、第二装飾面 3 3 1 0 b の裏右文字装飾 3 3 1 8 が遊技者側から視認できるようになるため、裏右文字装飾 3 3 1 8 の認識によりチャンスの到来を遊技者に予感させることができる。

20

【0 6 7 2】

更に、裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 では、裏右駆動モータ 3 3 0 4 により、裏右回転装飾体 3 3 1 0 を回転させて第三装飾面 3 3 1 0 c を前方（正面）へ向けて停止させる（図 1 5 1 を参照）。これにより、裏右演出空間 3 3 2 1 内で上下へ螺旋状に延びている球誘導部材 3 3 2 2 が遊技者側から視認できるようになるため、遊技者に対して裏右演出空間 3 3 2 1 内へ遊技球が供給される時期、つまり、上大入賞口 2 0 0 6 が開くのではない

30

【0 6 7 3】

また、裏ユニット 3 0 0 0 の裏左可動演出ユニット 3 4 0 0 では、通常の状態（第一装飾面 3 4 1 0 を前方へ向けて回転停止している状態）で、裏左装飾体ソレノイド 3 4 2 2 の駆動により、裏左回転装飾体 3 4 1 0 の外周面から裏左突出装飾体 3 4 2 1 が外方へ突出する（図 1 4 9 を参照）。これにより、円筒状で回転する裏左回転装飾体 3 4 1 0 から、裏左突出装飾体 3 4 2 1 が突出することで、遊技者を驚かせることができると共に、何か良いことがあるのではないかと遊技者に対して期待感を高めさせることができる。

【0 6 7 4】

また、裏左可動演出ユニット 3 4 0 0 では、裏左駆動モータ 3 4 0 4 の回転駆動により、裏左回転装飾体 3 4 1 0 を、グルグル回転させる。これにより、遊技者に対して、遊技状態が変化する兆しを感じさせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

40

【0 6 7 5】

更に、裏左可動演出ユニット 3 4 0 0 では、裏左駆動モータ 3 4 0 4 により、裏左回転装飾体 3 4 1 0 を回転させて第一装飾面 3 4 1 0 a を前方（正面）へ向けて停止させる（図 8 3 等を参照）。この第一装飾面 3 4 1 0 a には、ドアを模したドア装飾 3 4 1 1 が備えられているため、遊技者に対して裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 における裏右回転装飾体 3 3 1 0 の第一装飾面 3 3 1 0 a のシャッター 3 3 1 2 と同様にドア装飾 3 4 1 1 も開

50

くのではないかと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。

【0676】

また、裏左可動演出ユニット3400では、裏左駆動モータ3404により、裏左回転装飾体3410を回転させて第二装飾面3410bを前方（正面）へ向けて停止させる（図150を参照）。これにより、第二装飾面3410bの裏左文字装飾3413が遊技者側から視認できるようになるため、裏左文字装飾3413の認識によりチャンスの到来を遊技者に予感させることができる。

【0677】

また、裏左可動演出ユニット3400では、裏左駆動モータ3404により、裏左回転装飾体3410を回転させて第三装飾面3410cを前方（正面）へ向けて停止させる（図151を参照）。そして、図示は省略するが、この状態で、裏左第三装飾基板3417のLEDにより、赤色の光を発光させると赤図柄を裏左投影部3415に投影させることができ、青色の光を発光させると青図柄を裏左投影部3415に投影させることができる。これにより、裏左投影部3415に投影される図柄によって、遊技者に対してチャンスの到来等を示唆することができ、遊技者を楽しませたり期待感を高めさせたりすることができる。

【0678】

これら裏右可動演出ユニット3300及び裏左可動演出ユニット3400は、裏右回転装飾体3310及び裏左回転装飾体3410を、同時にグルグルと回転させることで、センター役物2500の枠内の左右両端（中央液晶表示装置1500の左右両外側）で可動演出を行うことができ、回転する裏右回転装飾体3310及び裏左回転装飾体3410により遊技者の期待感を高めさせて興趣の低下を抑制することができる。また、裏右回転装飾体3310及び裏左回転装飾体3410を、回転停止させる装飾面を適宜選択することで、可動演出のパターンを多彩にすることができ、遊技者が飽き難くすることができる。

【0679】

更に、裏ユニット3000の裏下後可動演出ユニット3500では、裏下後昇降駆動モータ3512の回転駆動により、裏下後回転装飾体3568をセンター役物2500の枠内の略中心である上昇端位置へ上昇させる。そして、裏下後回転装飾体3568が上昇端位置の時に、裏下後回転駆動モータ3553により、裏下後回転装飾体3568を正面視反時計回りの方向へグルグルと回転させる（図152を参照）。これにより、センター役物2500のステージ2530の上方で遊技者側へ僅かに望んでいる裏下後回転装飾体3568が上昇してセンター役物2500の枠内の中央に位置することで、遊技者を驚かせて何か良いことがあるのではないかと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。加えて、裏下後回転装飾体3568が反時計周りの方向へグルグル回転することで、遊技者に対して、更に遊技に対する期待感を高めさせることができる。

【0680】

また、裏下後可動演出ユニット3500では、裏下後回転装飾体3568が上昇端位置の時に、裏下後回転駆動モータ3553により、裏下後回転装飾体3568を正面視時計回りの方向へ回転させると、四つの裏下後回転装飾体3568が互いに離反するように開いて大きくなった状態で回転する（図153を参照）。これにより、反時計回りに回転している時と比較して、裏下後回転装飾体3568の直径が大きくなるため、遊技者の遊技に対する期待感をより一層高めさせることができる。

【0681】

また、裏ユニット3000の裏四隅可動演出ユニット3600では、裏四隅駆動モータ3615、3655の回転駆動により、裏四隅第一装飾体3624、3664が、退避位置からセンター役物2500の枠内に位置する出現位置へ昇降する（図154を参照）。これにより、四つの裏四隅第一装飾体3624、3664が出現することで遊技者を驚かせることができると共に、チャンスの到来等を示唆することができる。

【0682】

また、裏四隅可動演出ユニット3600では、裏四隅駆動モータ3615、3655の

10

20

30

40

50

回転駆動により、裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 が、退避位置からセンター役物 2 5 0 0 の枠内に位置する出現位置へ回動する（図 1 5 3 を参照）。これにより、センター役物 2 5 0 0 の枠内の中央を中心に放射状に延びる四つの裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 が出現することで、遊技者を驚かせることができると共に、何か良いことがあるのではないと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせることができる。裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 では、裏下後可動演出ユニット 3 5 0 0 の裏下後回転装飾体 3 5 6 8 が上昇端位置の時に、裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 を出現位置へ回動させることで、センター役物 2 5 0 0 の枠内に大型の手裏剣が出現したように見せることができる（図 1 5 3 を参照）。これにより、遊技者に対して有利遊技状態の発生を確信させることができ、遊技に対する期待感を可及的に高めさせることができると共に、遊技に対する興味を高めさせることができる。

10

【0 6 8 3】

[6. 遊技内容]

次に、本実施形態のパチンコ機 1 による遊技内容について、主に図 1 5 5 乃至図 1 5 7 を参照して説明する。図 1 5 5 は、前構成部材及び表ユニットを遊技領域内における前後方向の略中央で切断した遊技盤の正面図である。また、図 1 5 6 (a) は図 1 5 5 において遊技領域内の右部を拡大して示す正面図であり、(b) は(a)における H-H 線で切断して要部のみを示す断面図である。更に、図 1 5 7 は、図 1 5 5 において上大入賞口付近を拡大して示す説明図である。

【0 6 8 4】

20

本実施形態のパチンコ機 1 は、扉枠 3 の前面右下隅に配置されたハンドルユニット 5 0 0 のハンドルレバー 5 0 4 を遊技者が回転操作することで、皿ユニット 2 0 0 の上皿 2 0 1 に貯留された遊技球が、遊技盤 5 における外レール 1 0 0 1 と内レール 1 0 0 2 との間を通過して遊技領域 5 a 内の上部へと打ち込まれて、遊技球による遊技が開始される。遊技領域 5 a 内の上部へ打ち込まれた遊技球は、その打込強さによって遊技領域 5 a 内を左右に分割しているセンター役物 2 5 0 0 の上側の左側、或いは、右側の何れかを流下する。なお、遊技球の打込み強さは、ハンドルレバー 5 0 4 の回転量によって調整することができる、時計回りの方向へ回転させるほど強く打込むことができる。

【0 6 8 5】

また、遊技領域 5 a 内には、適宜位置に所定のゲージ配列で複数の障害釘（図示は省略）が遊技パネル 1 1 0 0（パネル板 1 1 1 0）の前面に植設されており、遊技球が障害釘に当接することで、遊技球の流下速度が抑制されると共に、遊技球に様々な動きが付与されて、その動きを楽しませられるようになっている。また、遊技領域 5 a 内には、障害釘の他に、遊技球の当接により回転する風車（図示は省略）が適宜位置に備えられている。

30

【0 6 8 6】

センター役物 2 5 0 0 の上部へ打込まれた遊技球が、センター役物 2 5 0 0 の前周壁部 2 5 1 2 の外周面のうち、最も高くなった部位よりも正面視左側へ進入すると、図示しない複数の障害釘に遊技球が当接しながら、センター役物 2 5 0 0 の左側を流下することとなる。そして、センター役物 2 5 0 0 の左側を流下する遊技球が、センター役物 2 5 0 0 の前周壁部 2 5 1 2 の外周面に開口しているワープ入口 2 5 2 0 に進入すると、ワープ通路 2 5 2 1 を通ってセンター役物 2 5 0 0 の枠内に開口しているワープ出口 2 5 2 2 からステージ 2 5 3 0 の左端に供給される。

40

【0 6 8 7】

センター役物 2 5 0 0 のステージ 2 5 3 0 に供給された遊技球は、ステージ 2 5 3 0 上を左右へ転動して行ったり来たりして、遊技領域 5 a における左右方向中央の両側に形成されているサイド誘導溝 2 5 3 2 から前方へ放出されると、遊技領域 5 a 内におけるステージ 2 5 3 0 の下方で始動口ユニット 2 1 0 0 の上方の領域を流下することとなる。これにより、始動口ユニット 2 1 0 0 の第一始動口 2 0 0 2 に遊技球が受入れられる可能性がある。

【0 6 8 8】

50

ステージ 2 5 3 0 を転動している遊技球が、ステージ 2 5 3 0 の遊技領域 5 a における左右方向中央の中央誘導溝 2 5 3 1 から前方へ放出されると、中央誘導溝 2 5 3 1 の直下に開口している始動口ユニット 2 1 0 0 の第一始動口 2 0 0 2 に、高い確率で受入れられる。この第一始動口 2 0 0 2 に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出制御基板を介して払出装置 8 3 0 から所定数（例えば、3 個）の遊技球が、上皿 2 0 1 に払出される。

【0 6 8 9】

ところで、センター役物 2 5 0 0 の左側へ流下した遊技球が、ワープ入口 2 5 2 0 に進入しなかった場合、複数の障害釘やサイドユニット 2 2 0 0 の第一柵部 2 2 0 1 a 等によって、センター役物 2 5 0 0 の下方で遊技領域 5 a 内の左右方向中央へ向かうように誘導され、下流側に配置されている一般入賞口 2 0 0 1 や第一始動口 2 0 0 2 等に受入れられる可能性がある。そして、一般入賞口 2 0 0 1 に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出制御基板を介して払出装置 8 3 0 から所定数（例えば、1 0 個）の遊技球が、上皿 2 0 1 に払出される。

【0 6 9 0】

また、センター役物 2 5 0 0 の左側へ流下した遊技球は、始動口ユニット 2 1 0 0 とアタッカユニット 2 3 0 0 との間に延びているセンター役物 2 5 0 0 の下辺により、アタッカユニット 2 3 0 0 側へは流下することではなく、アタッカユニット 2 3 0 0 の一般入賞口 2 0 0 1、第二始動口 2 0 0 4、及び下大入賞口 2 0 0 5 等に受入れられることはない。なお、始動口ユニット 2 1 0 0 には、第一始動口 2 0 0 2 の下側に、アタッカユニット 2 3 0 0 における下大入賞口 2 0 0 5 を開閉する下大入賞口扉部材 2 3 5 2 と似ている横長四角形のフェイク部 2 1 0 5 a が備えられているため、従来のパチンコ機のように第一始動口の下側に大入賞口があると錯覚させることができる。

【0 6 9 1】

一方、遊技領域 5 a 内においてセンター役物 2 5 0 0 の上部に打込まれた遊技球が、センター役物 2 5 0 0 の前周壁部 2 5 1 2 の外周面の最も高くなった部位よりも右側に進入する（打込まれる）と、右上入口 2 5 4 0 から上遊技空間 2 5 4 1、及び右通路 2 5 4 2 を通って右下出口 2 5 4 3 からアタッカユニット 2 3 0 0 におけるゲート部 2 0 0 3 の直上へ放出される。これにより、センター役物 2 5 0 0 の右側を流下するように打込まれた（右打ちされた）遊技球は、極めて高い確率でゲート部 2 0 0 3 を通過することとなる。そして、ゲート部 2 0 0 3 を通過した遊技球は、第二始動口 2 0 0 4 の前方を通過して柵部材 2 3 0 3 上に流下し、柵部材 2 3 0 3 上を正面視左方へ転動した後に、柵部材 2 3 0 3 の正面視左端から下方へ放出される。柵部材 2 3 0 3 から放出された遊技球は、下大入賞口 2 0 0 5 の前方を通過して右下レール 1 0 0 5 上へ流下し、右下レール 1 0 0 5 上を正面視左方へ転動してアウト口 1 1 1 1 から遊技領域 5 a 外へ排出される。

【0 6 9 2】

右下出口 2 5 4 3 から放出された遊技球が、ゲート部 2 0 0 3 の正面視左側を流下した場合、アタッカユニット 2 3 0 0 の一般入賞口 2 0 0 1、始動口前部材 2 3 0 2 の誘導部 2 3 0 2 b を介して第二始動口 2 0 0 4、又は、下大入賞口 2 0 0 5 に、受入れられる可能性がある。一方、ゲート部 2 0 0 3 の正面視右側を遊技球が流下した場合、一般入賞口 2 0 0 1 や第二始動口 2 0 0 4 等に受入れられることなく、右下レール 1 0 0 5 上へ流下して、アウト口 1 1 1 1 から排出される。

【0 6 9 3】

従って、下大入賞口 2 0 0 5 が開いている時に、ゲート部 2 0 0 3 及びゲート部 2 0 0 3 の左側を遊技球が通過すると、高い確率で下大入賞口 2 0 0 5 に受入れられる。

【0 6 9 4】

ゲート部 2 0 0 3 を遊技球が通過してゲートセンサ 2 3 0 5 により検知されると、主制御基板において普通抽選が行われ、抽選された普通抽選結果が「普通当り」の場合、第二始動口扉部材 2 3 2 3 が所定時間（例えば、0. 3 ～ 3 秒）の間、前進して第二始動口 2 0 0 4 を開状態とする。従って、第二始動口扉部材 2 3 2 3 が前進して開状態となってい

るタイミングで、遊技球が第二始動口 2 0 0 4 の前方に到達すると、第二始動口扉部材 2 3 2 3 により流通方向が後方へ変えられて第二始動口 2 0 0 4 に受入れられることとなる。第二始動口 2 0 0 4 に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出制御基板を介して払出装置 8 3 0 から所定数（例えば、4 個）の遊技球が、上皿 2 0 1 に払出される。

【0 6 9 5】

本実施形態では、ゲート部 2 0 0 3 を遊技球が通過することで行われる普通抽選において、普通抽選を開始してから普通抽選結果を示唆するまでにある程度の時間を設定している（例えば、0. 1 ～ 1 0 秒、普通変動時間とも称す）。この普通抽選結果の示唆は、遊技盤 5 の機能表示ユニット 1 4 0 0 に表示される。

【0 6 9 6】

また、遊技球がゲート部 2 0 0 3 を通過してから普通抽選結果が示唆されるまでの間に、遊技球がゲート部 2 0 0 3 を通過すると、普通抽選結果の示唆を開始することができないため、普通抽選結果の示唆の開始を、先の普通抽選結果の示唆が終了するまで保留するようにしている。また、普通抽選結果の保留数は、4 つまでを上限とし、それ以上については、ゲート部 2 0 0 3 を遊技球が通過しても、保留せずに破棄している。これにより、保留が貯まることで遊技ホール側の負担の増加を抑制している。

【0 6 9 7】

本実施形態のパチンコ機 1 は、第一始動口 2 0 0 2 及び第二始動口 2 0 0 4 に遊技球が受入れられると、主制御基板において、遊技者に有利な有利遊技状態（例えば、「大当り」、「中当り」、「小当り」、「確率変動当り」、「時間短縮当り」、等）を発生させる特別抽選結果の抽選が行われる。そして、抽選された特別抽選結果を、所定時間（例えば、5 ～ 3 6 0 秒）かけて遊技者に示唆する。なお、第一始動口 2 0 0 2 及び第二始動口 2 0 0 4 に遊技球が受入れられることで抽選される特別抽選結果には、「ハズレ」、「小当り」、「2 R 大当り」、「1 5 R 大当り」、「確変（確率変更）当り」、「時短（時間短縮）当り」、「確変時短当り」、「確変時短無し当り」、等がある。

【0 6 9 8】

第一始動口 2 0 0 2 及び第二始動口 2 0 0 4 への遊技球の受入れにより抽選された特別抽選結果（第一特別抽選結果及び第二特別抽選結果）が、有利遊技状態を発生させる特別抽選結果の場合、アタッカユニット 2 3 0 0 の下大入賞口扉部材 2 3 5 2、又は、センター役物 2 5 0 0 の上大入賞口扉部材 2 5 5 0 の何れかが、抽選された特別抽選結果に応じた開閉パターンで開閉動作し、下大入賞口 2 0 0 5 又は上大入賞口 2 0 0 6 へ遊技球を受入れさせることができるようになる。この下大入賞口 2 0 0 5 又は上大入賞口 2 0 0 6 が開状態の時に、下大入賞口 2 0 0 5 又は上大入賞口 2 0 0 6 に遊技球が受入れられると、主制御基板及び払出基板によって払出装置 8 3 0 から所定数（例えば、1 0 個、又は、1 3 個）の遊技球が、上皿 2 0 1 に払出される。従って、下大入賞口扉部材 2 3 5 2 又は上大入賞口扉部材 2 5 5 0 が所定パターンで開閉動作している時に、下大入賞口 2 0 0 5 又は上大入賞口 2 0 0 6 に遊技球を受入れさせることで、多くの遊技球を払出させることができ、遊技者を楽しませることができる。

【0 6 9 9】

特別抽選結果が「小当り」の場合、下大入賞口扉部材 2 3 5 2 又は上大入賞口扉部材 2 5 5 0 が、所定短時間（例えば、0. 2 秒～ 0. 6 秒の間）の間、開状態となって閉鎖する開閉パターンを複数回（例えば、2 回）繰返す。一方、特別抽選結果が「大当り」の場合、下大入賞口扉部材 2 3 5 2 又は上大入賞口扉部材 2 5 5 0 が、開状態となった後に、所定時間（例えば、約 3 0 秒）経過、或いは、下大入賞口 2 0 0 5 又は上大入賞口 2 0 0 6 への所定個数（例えば、1 0 個）の遊技球の受入れ、の何れかの条件が充足すると、下大入賞口扉部材 2 3 5 2 又は上大入賞口扉部材 2 5 5 0 を閉状態とする開閉パターン（一回の開閉パターンを 1 ラウンドと称す）を、所定回数（所定ラウンド数）繰返す。例えば、「2 R 大当り」であれば 2 ラウンド、「1 5 R 大当り」であれば 1 5 ラウンド、夫々繰返して、遊技者に有利な有利遊技状態を発生させる。

【0 7 0 0】

なお、「大当たり」では、大当たり遊技の終了後に、「大当たり」等の特別抽選結果が抽選される確率を変更（「確変当たり」）したり、特別抽選結果を示唆する演出画像の表示時間を変更（「時短当たり」）したりする「当たり」がある。

【0701】

本実施形態では、第一始動口2002及び第二始動口2004への遊技球の受入れにより特別抽選の開始から抽選された特別抽選結果が示唆されるまでの間に、第一始動口2002及び第二始動口2004に遊技球が受入れられると、特別抽選結果の示唆を開始することができないため、先に抽選された特別抽選結果の示唆が完了するまで、特別抽選結果の示唆の開始が保留される。この保留される特別抽選結果の保留数は、第一始動口2002及び第二始動口2004に対して、夫々4つまでを上限とし、それ以上については、第一始動口2002及び第二始動口2004に遊技球が受入れられても特別抽選結果を保留せずに、破棄している。これにより、保留が貯まることで遊技ホール側の負担の増加を抑制している。

10

【0702】

この特別抽選結果の示唆は、機能表示ユニット1400と中央液晶表示装置1500とで行われる。機能表示ユニット1400では、主制御基板によって直接制御されて特別抽選結果の示唆が行われる。機能表示ユニット1400での特別抽選結果の示唆は、複数のLEDを、点灯・消灯を繰返して所定時間点滅させ、その後、点灯しているLEDの組み合わせによって特別抽選結果を示唆する。

20

【0703】

一方、中央液晶表示装置1500では、主制御基板からの制御信号に基いて、周辺制御基板によって間接的に制御され演出画像として特別抽選結果の示唆が行われる。中央液晶表示装置1500での特別抽選結果を示唆する演出画像は、複数の図柄からなる図柄列を、左右方向へ三つ並べて表示した状態で、各図柄列を変動させ、変動表示されている図柄列を順次停止表示させ、停止表示される三つの図柄列の図柄が、特別抽選結果と対応した組み合わせとなるように夫々の図柄列が停止表示される。特別抽選結果が「ハズレ」以外の場合は、三つの図柄列が停止して各図柄が停止表示された後に、特別抽選結果を示唆する確定画像が中央液晶表示装置1500に表示されて、抽選された特別抽選結果に応じた有利遊技状態（例えば、小当たり遊技、大当たり遊技、等）が発生する。

30

【0704】

なお、機能表示ユニット1400での特別抽選結果を示唆する時間（LEDの点滅時間（変動時間））と、中央液晶表示装置1500での特別抽選結果を示唆する時間（図柄列が変動して確定画像が表示されるまでの時間）とは、異なっており、機能表示ユニット1400の方が短い時間に設定されている。

【0705】

また、周辺制御基板では、中央液晶表示装置1500による特別抽選結果を示唆するための演出画像の表示の他に、抽選された特別抽選結果に応じて、表上可動演出ユニット2560、表下可動演出ユニット2570、裏上可動演出ユニット3100、裏下前可動演出ユニット3200、裏右可動演出ユニット3300、裏左可動演出ユニット3400、裏下後可動演出ユニット3500、及び裏四隅可動演出ユニット3600、等を適宜用いて可動演出を行うようにしており、可動演出によっても遊技者を楽しませることができ、遊技者の遊技に対する興味が低下するのを抑制することができる。

40

【0706】

ところで、本実施形態のパチンコ機1では、上大入賞口2006に対して遊技球の受入れが可能となる際に、裏ユニット3000における裏右可動演出ユニット3300の裏右回転装飾体3310を回転させて第三装飾面3310cを前方（正面）へ向けた状態とすると、上大入賞口2006に受入れられた遊技球が流通する後方誘導路2553の後方放出口2554と裏右球入口3320とが一致した状態となる（図156を参照）。この状態で、上大入賞口2006に遊技球が受入れられると、後方誘導路2553の後方放出口2554から裏右球入口3320へと進入し、裏右演出空間3321に配置されている球

50

誘導部材 3 3 2 2 により、裏右演出空間 3 3 2 1 内を上下に延びた軸線周りを螺旋状に複数回（ここでは 8 回）回転しながら流下することとなる（図 1 5 6（a）を参照）。

【0 7 0 7】

これにより、上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられた遊技球を、裏右演出空間 3 3 2 1 で螺旋状に流下させることができるため、上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられた遊技球を遊技者に確実に視認させることができ、上大入賞口 2 0 0 6 への遊技球の受入れによる遊技球の払出しに対する期待感を高めさせることができると共に、螺旋状に流下する遊技球により遊技者を楽しませることができ、興趣の低下を抑制することができる。

【0 7 0 8】

なお、上大入賞口 2 0 0 6 が開状態の時に、裏右回転装飾体 3 3 1 0 において第三装飾面 3 3 1 0 c 以外が前方を向いている場合は、後方誘導路 2 5 5 3 の後方放出口 2 5 5 4 が第一装飾面 3 3 1 0 a や第二装飾面 3 3 1 0 b の外周面により閉鎖されているため、上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられた遊技球は、後方誘導路 2 5 5 3 の後端付近で分岐している逃し通路 2 5 5 5 へ進入し、逃し通路 2 5 5 5 を通って下方へ排出される。これにより、上大入賞口 2 0 0 6 が受入可能となる際に、裏右可動演出ユニット 3 3 0 0 の裏右演出空間 3 3 2 1 を用いた演出を行ったり、裏右演出空間 3 3 2 1 を用いない演出を行ったりすることができ、多彩なバリエーションを遊技者に提示して楽しませることができる。また、何らかの理由により、裏右回転装飾体 3 3 1 0 が第三装飾面 3 3 1 0 c を前方へ向けることができなかった場合でも、上大入賞口 2 0 0 6 に受入れられた遊技球が、後方誘導路 2 5 5 3 において滞ることがなく、遊技を問題なく継続させることができる。

【0 7 0 9】

[7. 本実施形態と本発明の関係]

本実施形態の裏ユニット 3 0 0 0 における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上駆動モータ 3 1 0 3、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の裏四隅駆動モータ 3 6 1 5、3 6 5 5 は本発明の駆動モータに、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一伝達部材 3 1 0 7、第二伝達部材 3 1 0 8、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の伝達部材 3 6 1 5、3 6 5 5 は本発明の伝達部材に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一伝達ギア 3 1 0 7 a、第二伝達ギア 3 1 0 8 a、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 のベース部 3 6 1 6 b、3 6 5 6 b は本発明の伝達本体部に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一伝達ピン 3 1 0 7 b、第二伝達ピン 3 1 0 8 b、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a、第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a は本発明の伝達ピンに、夫々相当している。

【0 7 1 0】

また、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一ロック突部 3 1 0 7 c、第二ロック突部 3 1 0 8 c、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b、第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b は本発明のロック突部に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一切欠部 3 1 0 7 d、第二切欠部 3 1 0 8 d、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一切欠部 3 6 1 7 c、3 6 5 7 c、第二切欠部 3 6 1 8 c、3 6 5 8 c は本発明の切欠部に、夫々相当している。

【0 7 1 1】

更に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一被伝達部材 3 1 1 7、第二被伝達部材 3 1 2 2、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0、第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 は本発明の被伝達部材に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一被伝達本体部 3 1 1 7 c、第二被伝達本体部 3 1 2 2 b、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一被伝達本体部 3 6 2 0 c、3 6 6 0 c、第二被伝達本体部 3 6 2 9 b、3 6 6 9 b は本発明の基板部に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一伝達スリット 3 1 1 7 d、第二伝達スリット 3 1 2 2 c、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d、第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c は本発明の伝達スリットに、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第一ロック凹部 3 1 1 7 e、第二ロック凹部

3 1 2 2 d、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第一ロック凹部 3 6 2 0 e, 3 6 6 0 e、第二ロック凹部 3 6 2 9 d, 3 6 6 9 d は本発明のロック凹部に、夫々相当している。

【0712】

また、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上装飾体ユニット 3 1 5 0 (裏上装飾体 3 1 5 2)、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の裏四隅第一装飾体 3 6 2 4, 3 6 6 4、裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 は本発明の装飾体に、本実施形態における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の第二被伝達本体部 3 1 2 2 b、及び裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の第二被伝達本体部 3 6 2 9 b, 3 6 6 9 b は本発明の第二基板部に、夫々相当している。

10

【0713】

[8. 本実施形態の特徴的な作用効果]

このように、本実施形態のパチンコ機 1 によると、遊技領域 5 a 内に遊技球を打込んで遊技状態を変化させると、変化した遊技状態に応じて裏ユニット 3 0 0 0 における裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上駆動モータ 3 1 0 3、又は、裏四隅可動演出ユニット 3 6 0 0 の裏四隅駆動モータ 3 6 1 5, 3 6 5 5 の何れかが駆動して、第一伝達部材 3 1 0 7 と第二伝達部材 3 1 0 8 とが、又は、伝達部材 3 6 1 6, 3 6 5 6 の第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 と第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 とが、一緒に回転する。そして、初めに第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7、が第一特定回転範囲内に到達すると、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 の回転が、第一被伝達部材 3 1 1 7、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0, 3 6 6 0 に伝達されて、裏上装飾体 3 5 1 2、又は、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4, 3 6 6 4 が可動する。その後、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 が更に回転して、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 が、第一特定回転範囲内から出ると、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 による第一被伝達部材 3 1 1 7、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0, 3 6 6 0 への回転の伝達が停止して、裏上装飾体 3 5 1 2、又は、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4, 3 6 6 4 の可動が停止する。これまでの間では、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 も回転しているが、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 が第二特定回転範囲内に到達していないため、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 の回転が、第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第二被伝達部材 3 6 2 9, 3 6 6 9 に伝達されることはなく、第二被伝達部材 3 1 1 2、又は、第二被伝達部材 3 6 2 9, 3 6 6 9 による裏上装飾体 3 5 1 2、又は裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 の可動は行われない。そして、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 が第一特定回転範囲内から出て、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 と一緒に回転している第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 が第二特定回転範囲内に到達すると、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 の回転が第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第二被伝達部材 3 6 2 9, 3 6 6 9 に伝達されて、裏上装飾体 3 1 5 2 が更に、又は、裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 が可動する。この際に、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 と一緒に回転している第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 は、第一特定回転範囲外であるため、第一伝達部材 3 1 0 7、又は、第一伝達部 3 6 1 7, 3 6 5 7 の回転が第一被伝達部材 3 1 1 7、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0, 3 6 6 0 に伝達されることはなく、第一被伝達部材 3 1 1 7、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0, 3 6 6 0 による裏上装飾体 3 1 5 2、又は、裏四隅第一装飾体 3 6 2 4, 3 6 6 4 の可動は行われない。そして、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 が第二特定回転範囲内からでると、第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第二伝達部 3 6 1 8, 3 6 5 8 による第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第二被伝達部材 3 2 6 9, 3 6 6 9 への回転の伝達が停止して裏上装飾体 3 1 5 2、又は、裏四隅第二装飾体 3 6 3 3, 3 6 7 3 の可動が停止する。

20

30

40

【0714】

50

このように、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617、3657 及び第二伝達部 3618、3658 が、第一特定回転範囲内及び第二特定回転範囲内の時のみ、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620、3660 及び第二被伝達部材 3633、3673 に回転を伝達させて裏上装飾体 3152、又は、裏四隅第一装飾体 3624、3664 又は裏四隅第二装飾体 3633、3673 を可動させることができるため、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617、3657 及び第二伝達部 3618、3658 が、第一特定回転範囲外及び第二特定回転範囲外の時には裏上装飾体 3152 等、又は、裏四隅第一装飾体 3624、3664 及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 等の荷重が、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620、3660 及び第二被伝達部材 3629、3669 を介して、裏上駆動モータ 3103、又は、裏四隅駆動モータ 3615、3655 に作用することではなく、裏上装飾体 3512、又は、裏四隅第一装飾体 3624、3664 及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 の停止中に、裏上駆動モータ 3103、又は、裏四隅駆動モータ 3615、3655 へかかる負荷を軽減させることができる。従って、遊技中に裏上駆動モータ 3103 や、裏四隅駆動モータ 3615、3655 が破損することで遊技が中断してしまうのを抑制することができ、遊技の中断による遊技者の不快感を低減させることができ、興趣の低下を抑制することができる。

【0715】

また、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617、3657 及び第二伝達部 3618、3658 が、第一特定回転範囲外及び第二特定回転範囲外では、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620、3660 及び第二被伝達部材 3629、3669 へ回転を伝達させないため、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617、3657 及び第二伝達部 3618、3658 が、第一特定回転範囲外及び第二特定回転範囲外の時には第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620、3660 及び第二被伝達部材 3629、3669 を介して裏上装飾体 3152、又は、裏四隅第一装飾体 3624、3664 及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 が可動することはない。つまり、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617、3657 及び第二伝達部 3618、3658 が、第一特定回転範囲内及び第二特定回転範囲内から出ること、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620、3660 及び第二被伝達部材 3629、3669 の回転停止と同時に裏上装飾体 3152、又は、裏四隅第一装飾体 3624、3664 及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 の可動が停止して可動がロックされることとなるため、従来の技術のようにロックされる際に装飾体に戻るような不自然な動きをすることではなく、裏上装飾体 3152、裏四隅第一装飾体 3624、3664、及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 に自然な動きをさせることができ、遊技者に裏上装飾体 3152、裏四隅第一装飾体 3624、3664、及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 の動きを楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0716】

更に、裏上駆動モータ 3103、又は、裏四隅駆動モータ 3615、3655 により別々に回転する第一被伝達部材 3117 と第二被伝達部材 3122 と、又は、第一被伝達部材 3620、3660 と第二被伝達部材 3629、3669 と、を備えていることから、裏上装飾体 3152 を二段階に、又は、裏四隅第一装飾体 3624、3664 及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 の二つのうちの何れかを、可動させることができるため、裏上装飾体 3152、裏四隅第一装飾体 3624、3664 及び裏四隅第二装飾体 3633、3673、により多彩な可動演出を遊技者に提示することができ、遊技者が飽き難い遊技機とすることができると共に、裏上装飾体 3152、裏四隅第一装飾体 3624、3664、及び裏四隅第二装飾体 3633、3673 の可動演出を楽しませることができ、遊技者の興趣の低下を抑制させることができる。

【0717】

また、一つの裏上駆動モータ3103、又は、裏四隅駆動モータ3615、3655により、第一被伝達部材3117と第二被伝達部材3122とを、又は、第一被伝達部材3620、3660と第二被伝達部材3629、3669とを、別々に回転させることができ、一つの裏上駆動モータ3103、又は、裏四隅駆動モータ3615、3655だけで裏上装飾体3152、又は、裏四隅第一装飾体3624、3664及び裏四隅第二装飾体3663、3673に、複雑な動きをさせることができるため、例えば、第一被伝達部材3117と第二被伝達部材3122とを、又は、第一被伝達部材3620、3660と第二被伝達部材3629、3669とを、夫々別々の駆動モータで回転させるようにした場合と比較して、裏上駆動モータ3103や、裏四隅駆動モータ3615、3655の数が少なくなり、可動演出の制御に係る負荷を低減させることができ、過負荷による裏上駆動モータ3103や裏四隅駆動モータ3615、3655（裏上装飾体3152や裏四隅第一装飾体3624、3664及び裏四隅第二装飾体3663、3673）の誤動作を防止して確実に所望の可動演出を遊技者に提示することができる。

10

【0718】

更に、第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108、又は、第一伝達部3617、3657及び第二伝達部3618、3658には、回転中心よりも離れた位置から突出している第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a及び第二伝達ピン3618aを有していると共に、第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669には、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a及び第二伝達ピン3618aが摺動可能に挿入可能とされており第一被伝達本体部3117c及び第二被伝達本体部3122b、又は、第一被伝達本体部3620c、3660c及び第二被伝達本体部3629b、3669bの外周面から回転中心へ向かって延びている溝状の第一伝達スリット3117d及び第二伝達スリット3122c、又は、第一伝達スリット3620d、3660d及び第二伝達スリット3629c、3669cを有している。これにより、裏上駆動モータ3103、又は、裏四隅駆動モータ3615、3655により第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108、又は、第一伝達部3617、3657及び第二伝達部3618、3658を回転させることで第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108、又は、第一伝達部3617、3657及び第二伝達部3618、3658の第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが公転し、第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108、又は、第一伝達部3617、3657及び第二伝達部3618、3658が第一特定回転範囲及び第二特定回転範囲内の一方の端部から第一特定回転範囲内及び第二特定回転範囲内に進入すると、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが、第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の第一伝達スリット3117d及び第二伝達スリット3122c、又は、第一伝達スリット3620d、3660d及び第二伝達スリット3629c、3669cにおける外周面で開口している部位から第一伝達スリット3117d及び第二伝達スリット3122c、又は、第一伝達スリット3620d、3660d及び第二伝達スリット3629c、3669c内へ進入することとなる。

20

30

40

【0719】

この第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが第一伝達スリット3117d内及び第二伝達スリット3122c内、又は、第一伝達スリット3620d、3660d内及び第二伝達スリット3629c、3669c内に進入して第一伝達スリット3117d内及び第二伝達スリット3122c内、又は、第一伝達スリット3620d、3660d内及び第二伝達スリット3629c、3669c内に挿入された状態となると、第一

50

伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aの公転に伴って、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが第一伝達スリット3117d内及び第二伝達スリット3122c内、又は、第一伝達スリット3620d、3660d内及び第二伝達スリット3629c、3669c内を第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の回転中心の方向へ摺動すると共に、第一伝達スリット3117d内及び第二伝達スリット3122c内、又は、第一伝達スリット3620d、3660d内及び第二伝達スリット3629c、3669c内を公転する方向へ押圧することとなり、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aの押圧により第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669が回転することとなる。

10

【0720】

その後、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが更に公転して、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の回転中心に最も接近した位置を越えると、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが第一伝達スリット3117d内及び第二伝達スリット3122c内、又は、第一伝達スリット3620d、3660d内及び第二伝達スリット3629c、3669c内を第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の回転中心から遠ざかる方向（開口している外周面の方向）へ摺動し、第一伝達スリット3117d及び第二伝達スリット3122c、又は、第一伝達スリット3620d、3660d及び第二伝達スリット3629c、3669cにおける第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の外周面に開口している部位から第一伝達スリット3117d外及び第二伝達スリット3122c外、又は、第一伝達スリット3620d、3660d外及び第二伝達スリット3629c、3669c外へ出ることとなる。第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aが第一伝達スリット3117d外及び第二伝達スリット3122c外、又は、第一伝達スリット3620d、3660d外及び第二伝達スリット3629c、3669c外へ出ると、第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aによる第一伝達スリット3117d内及び第二伝達スリット3122c内、又は、第一伝達スリット3620d、3660d内及び第二伝達スリット3629c、3669c内の押圧がなくなるため、第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、又は、第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の回転が停止することとなる。

20

30

40

【0721】

なお、この場合、第一伝達部材3107及び第一被伝達部材3117及び第二伝達部材3108と第二被伝達部材3122、又は、伝達部材3616と第一被伝達部材3620、3660及び第二被伝達部材3629、3669の回転軸が延びている方向から見て、第一伝達部材3107及び第二伝達部材3108、又は、第一伝達部材3617、3657及び第二伝達部材3618、3658における公転する第一伝達ピン3107b及び第二伝達ピン3108b、又は、第一伝達ピン3617a、3657a及び第二伝達ピン3618a、3658aの旋回軌跡が、第一被伝達部材3117及び第二被伝達部材3122、

50

又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 における第一伝達スリット 3 1 1 7 d 及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c の旋回軌跡と重なる第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 の回転範囲が、第一特定回転範囲及び第二特定回転範囲となる。従って、第一伝達部材 3 1 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 の回転範囲において、第一伝達ピン 3 1 0 7 b 及び第二伝達ピン 3 1 0 8 b、又は、第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内に挿入されている範囲（第一特定回転範囲及び第二特定回転範囲）内の時のみ第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 の回転を第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 へ伝達させることができ、上述した作用効果を奏するパチンコ機 1 を確実に具現化することができる。

【0722】

また、第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 の第一伝達ピン 3 1 0 7 b 及び第二伝達ピン 3 1 0 8 b、又は、第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a と、第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 の第一伝達スリット 3 1 1 7 d 及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c とによって回転を伝達させるようにしているため、第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8、や、第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 の回転位置が多少ズレていても、外周面に開放されている部位から第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内に第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a を挿入させることができると共に、開放されている部位から第一伝達スリット 3 1 1 7 d 外及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 外、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 外及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 外に第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a を出させることができ、第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 を正転・逆転させても第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 に対して確実に回転を伝達させることができる。

【0723】

また、第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 には、第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a の公転半径よりも小さい半径の円盤状の第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b と、第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b の外周面における第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a を向いている部位を扇状に切欠いた第一切欠部 3 1 0 7 d 及び第二切欠部 3 1 0 8 d、又は、第一切欠部 3 6 1 7 c、3 6 5 7 c 及び第二切欠部 3 6 1 8 c、3 6 5 8 c と、を更に有していると共に、第一被伝達部材 3 1 1 7

及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 には、円板状の第一被伝達本体部 3 1 1 7 c 及び第二被伝達本体部 3 1 2 2 b、又は、第一被伝達本体部 3 6 2 0 c、3 6 6 0 c 及び第二被伝達本体部 3 6 2 9 b、3 6 6 9 b の外周面における第一伝達スリット 3 1 1 7 d 及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c の両側において、外周面から回転中心へ向かって円弧状に切欠かれ、第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b の外周面と当接可能な第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d、を更に有している。

10

【0724】

そして、第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が、第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内に挿入されている時には、第一切欠部 3 1 0 7 d 及び第二切欠部 3 1 0 8 d、又は、第一切欠部 3 6 1 7 c、3 6 5 7 c 及び第二切欠部 3 6 1 8 c、3 6 5 8 c が第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d に対向し、第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内に挿入されていない時には、第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b が第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d と当接しているようにする。

20

【0725】

これにより、第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内に挿入される前の状態では、二つの第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d のうち第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 の回転中心と第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 の回転中心とを結んだ軸線に近い側の第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 内及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d 内に第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b が挿入されて当接している。従って、第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 が回転しようとしても第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b の当接により回転が阻止（ロック）されており、回転することができない。

30

40

【0726】

一方、第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 内及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d 内に挿入されている第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b は、円盤状に形成されているため、第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b の外周面

50

が円弧状の第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d の周面に対して摺動するように第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 が回転できる。

【0727】

そして、この状態で裏上駆動モータ 3 1 0 3、又は、裏四隅駆動モータ 3 6 1 5、3 6 5 5 により第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 を回転させると、公転する第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が、第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内に進入すると同時に、回転している第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b が第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 内及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d 内から外れて第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d の位置に第一切欠部 3 1 0 7 d 及び第二切欠部 3 1 0 8 d、又は、第一切欠部 3 6 1 7 c、3 6 5 7 c 及び第二切欠部 3 6 1 8 c、3 6 5 8 c が位置するようになり、第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 のロックが解除されて回転可能な状態となる。

【0728】

この状態で第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 が更に回転することで公転している第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内を摺動すると共に回転方向へ押圧して第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 が回転することとなる。その後、第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 が更に回転して公転している第一伝達ピン 3 6 1 7 a、3 6 5 7 a 及び第二伝達ピン 3 6 1 8 a、3 6 5 8 a が第一伝達スリット 3 1 1 7 d 内及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c 内、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 内及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c 内から抜けると同時に、最初に第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b が挿入されていた第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d とは第一伝達スリット 3 1 1 7 d 及び第二伝達スリット 3 1 2 2 c、又は、第一伝達スリット 3 6 2 0 d、3 6 6 0 d 及び第二伝達スリット 3 6 2 9 c、3 6 6 9 c を挟んで反対側の第一ロック凹部 3 1 1 7 e 及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d が第一伝達部材 3 1 0 7 及び第二伝達部材 3 1 0 8、又は、第一伝達部 3 6 1 7、3 6 5 7 及び第二伝達部 3 6 1 8、3 6 5 8 の回転中心と第一被伝達部材 3 1 1 7 及び第二被伝達部材 3 1 2 2、又は、第一被伝達部材 3 6 2 0、3 6 6 0 及び第二被伝達部材 3 6 2 9、3 6 6 9 の回転中心とを結んだ軸線に近い側となり、その第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 内及び第二ロック凹部 3 6 2 9 d、3 6 6 9 d 内に第一ロック突部 3 1 0 7 c 及び第二ロック突部 3 1 0 8 c、又は、第一ロック突部 3 6 1 7 b、3 6 5 7 b 及び第二ロック突部 3 6 1 8 b、3 6 5 8 b が進入して、第一ロック凹部 3 1 1 7 e 内及び第二ロック凹部 3 1 2 2 d 内、又は、第一ロック凹部 3 6 2 0 e、3 6 6 0 e 内及

び第二ロック凹部 3629d, 3669d 内に第一ロック突部 3107c 及び第二ロック突部 3108c、又は、第一ロック突部 3617b, 3657b 及び第二ロック突部 3618b, 3658b が当接することとなる。

【0729】

つまり、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617, 3657 及び第二伝達部 3618, 3658 からの回転の伝達が停止されると同時に、反対側の第一ロック凹部 3117e 内及び第二ロック凹部 3122d 内、又は、第一ロック凹部 3620e, 3660e 内及び第二ロック凹部 3629d, 3669d 内への第一ロック突部 3107c 及び第二ロック突部 3108c、又は、第一ロック突部 3617b, 3657b 及び第二ロック突部 3618b, 3658b の当接により第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 の回転が阻止（ロック）された状態となる。

10

【0730】

従って、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617, 3657 及び第二伝達部 3618, 3658 と、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 とで、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 の回転をロックするようにしているため、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 の回転をロックするためのロック機構を別途備えるようにした場合と比較して、パチンコ機 1 の構成を簡略化してコストの増加を抑制することができると共に、ロック機構を別途備える分だけスペースを確保することができるため、その分、裏上装飾体 3152 や、裏四隅第一装飾体 3624, 3664 及び裏四隅第二装飾体 3663, 3673 を大型化することができ、大きな裏上装飾体 3152 等による可動演出によってより遊技者を楽しませることができる。

20

【0731】

また、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617, 3657 及び第二伝達部 3618, 3658 の第一切欠部 3107d 及び第二切欠部 3108d、又は、第一切欠部 3617c, 3657c 及び第二切欠部 3618c, 3658c を、第一ロック突部 3107c 及び第二ロック突部 3108c、又は、第一ロック突部 3617b, 3657b 及び第二ロック突部 3618b, 3658b の中心（回転中心）と第一伝達ピン 3617a, 3657a 及び第二伝達ピン 3618a, 3658a の中心とを結んだ軸線を境に両側へ均等な範囲で第一ロック突部 3107c 及び第二ロック突部 3108c、又は、第一ロック突部 3617b, 3657b 及び第二ロック突部 3618b, 3658b を切欠いていると共に、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 の第一ロック凹部 3117e 及び第二ロック凹部 3122d、又は、第一ロック凹部 3620e, 3660e 及び第二ロック凹部 3629d, 3669d を、第一伝達スリット 3117d 及び第二伝達スリット 3122c、又は、第一伝達スリット 3620d, 3660d 及び第二伝達スリット 3629c, 3669c の両側に形成しているため、第一伝達部材 3107 及び第二伝達部材 3108、又は、第一伝達部 3617, 3657 及び第二伝達部 3618, 3658 の第一特定回転範囲及び第二特定回転範囲における何れの端部の外側でも第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 の回転をロックさせることができ、第一被伝達部材 3117 及び第二被伝達部材 3122、又は、第一被伝達部材 3620, 3660 及び第二被伝達部材 3629, 3669 を介して裏上装飾体 3152、又は、裏上四隅第一装飾体 3624, 3664 及び裏四隅第二装飾体 3663, 3673 等からの裏上駆動モータ 3103、又は、裏四隅駆動モータ 3615, 3655 への荷重の作用を低減させることができる。

30

40

【0732】

50

更に、本実施形態のパチンコ機 1 によると、遊技領域 5 a 内に遊技球を打込んで遊技状態を変化させると、変化した遊技状態に応じて裏上可動演出ユニット 3 1 0 0 の裏上駆動モータ 3 1 0 3 が回転する。この裏上駆動モータ 3 1 0 3 が回転すると、ユニットベース 3 1 0 1 に取付けられている第一伝達部材 3 1 0 7 と第二伝達部材 3 1 0 8 が、裏上駆動モータ 3 1 0 3 と一緒に回転する。そして、第一伝達部材 3 1 0 7 が回転して第一特定回転範囲の一方の範囲端部から第一特定回転範囲内に入ると、第一伝達部材 3 1 0 7 の回転が第一被伝達部材 3 1 1 7 に伝達されて第一被伝達部材 3 1 1 7 が回転する。この第一被伝達部材 3 1 1 7 が回転すると、第一可動ベース 3 1 1 6 が、遊技パネル 1 1 0 0 の面と平行な方向へ延びている第一可動範囲の両端のうち的一方である基端から反対の先端側、つまり、上端の退避位置から下方の第一出現位置へ向かってスライドする。この第一可動ベース 3 1 1 6 には、第二可動ベース 3 1 1 9 を介して裏上装飾体 3 1 5 2 が取付けられているため、第一可動ベース 3 1 1 6 のスライドに伴って裏上装飾体 3 1 5 2 が下方へ移動することとなる。その後、第一伝達部材 3 1 0 7 が回転して第一特定回転範囲の反対側の範囲端部に到達すると同時に、第一可動ベース 3 1 1 6 が第一可動範囲の反対側の先端、つまり、下降端に到達し、更に、第一伝達部材 3 1 0 7 が第一特定回転範囲内から離れると、第一可動ベース 3 1 1 6 が下降端で可動が停止した状態となる。なお、第一伝達部材 3 1 0 7 が回転している間でも、第二伝達部材 3 1 0 8 が回転しているが、第二伝達部材 3 1 0 8 は第二特定回転範囲内に入っていないため、第二伝達部材 3 1 0 8 によって第二可動ベース 3 1 1 9 が第一可動ベース 3 1 1 6 に対して相対的にスライドさせられることはない。

10

20

【0733】

第一可動ベース 3 1 1 6 には、第二伝達部材 3 1 0 8 からの回転が伝達される第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が回転可能に取付けられている。この第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 は、回転リンク部材 3 1 2 3 に第二伝達案内部 3 1 2 3 d の延びている方向（第二方向）へスライド可能に取付けられているため、第一可動ベース 3 1 1 6 がスライドすると、第二方向が第一可動ベース 3 1 1 6 の移動方向と平行になるように回転リンク部材 3 1 2 3 及び第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 とが夫々回転すると共に、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が回転リンク部材 3 1 2 3 に対して第二方向へ相対的にスライドする。この際に、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が回転すると、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 が回転した分だけ第二可動ベース 3 1 1 9 が第一可動ベース 3 1 1 6 に対してスライドし、裏上装飾体 3 1 5 2 が第二可動ベース 3 1 1 9 の移動方向へ少しだけ移動することとなるが、第二方向が第一可動ベース 3 1 1 6 の移動方向と平行になると、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の回転が停止し、第一可動ベース 3 1 1 6 に対する裏上装飾体 3 1 5 2 の移動も停止する。この第二可動ベース 3 1 1 9 の移動方向は、第一可動ベース 3 1 1 6 の移動方向と同じ上下方向であるため、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 の回転により少しだけ第二可動ベース 3 1 1 9 がスライドしても、遊技者に気付かれることはなく、裏上装飾体 3 1 5 2 に違和感のない動きをさせることができる。なお、最初の状態において、第二方向を第一可動ベース 3 1 1 6 の移動方向と平行にしている場合は、回転リンク部材 3 1 2 3 及び第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 は回転することなく、第二可動ベース 3 1 1 9 は相対的にスライドしない。

30

40

【0734】

続いて、裏上駆動モータ 3 1 0 3 の回転により第一伝達部材 3 1 0 7 が第一特定回転範囲内から離れ、第一伝達部材 3 1 0 7 と第二伝達部材 3 1 0 8 とが更に回転して、第二伝達部材 3 1 0 8 が第二特定回転範囲の一方の範囲端部から第二特定回転範囲内に入ると、第二伝達部材 3 1 0 8 の回転が第二被伝達部材 3 1 2 2 に伝達されて第二被伝達部材 3 1 2 2 が回転を開始する。この第二被伝達部材 3 1 2 2 が回転すると、第一伝達案内部 3 1 2 2 e の延びている方向（第一方向）へスライド可能に取付けている部位を介して回転リンク部材 3 1 2 3 が、第二被伝達部材 3 1 2 2 を中心に公転することとなる。この回転リンク部材 3 1 2 3 が公転することにより、第二方向の延びている向きが回転しようとする

50

、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 を第二方向へスライド可能に取付けている部位からの反力が小さくなるように、回転リンク部材 3 1 2 3 が第一方向と第二方向に沿って夫々スライドしながら、第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 を回転させることとなり、第二伝達部材 3 1 0 8 からの回転を、第二被伝達部材 3 1 2 2 及び回転リンク部材 3 1 2 3 を介して第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 に伝達させることができる。

【0735】

この第二可動ベース駆動部材 3 1 2 4 に回転が伝達されることにより、第一可動ベース 3 1 1 6 に対して第二可動ベース 3 1 1 9 が、第二可動範囲の両端のうち的一方である基端（上端）から反対の先端（下端）側へ向かって第一ベース 3 1 1 6 の移動方向と同じ下方方向へスライドすることとなる。これにより、第二可動ベース 3 1 1 9 に取付けられている裏上装飾体 3 1 5 2 も、第二可動ベース 3 1 1 9 と一緒に下方へ移動することとなる。その後、第二伝達部材 3 1 0 8 が回転して第二特定回転範囲の反対側の範囲端部に到達すると同時に、第二可動ベース 3 1 1 9 が第二可動範囲の反対側の先端（第二出現位置）に到達し、更に、第二伝達部材 3 1 0 8 が回転して第二特定回転範囲内から離れると、第二可動ベース 3 1 1 9 が第二可動範囲の先端で可動が停止した状態となる。

10

【0736】

この第二可動ベース 3 1 1 9 が、第一可動ベース 3 1 1 6 に対してスライドすると、第二可動ベース 3 1 1 9 に回転可能に取付けられている装飾体回転ギア 3 1 2 0 が、第一可動ベース 3 1 1 6 に取付けられているラック部材 3 1 1 5 のラックギア 3 1 1 5 a に沿って回転しながら移動することとなる。そして、装飾体回転ギア 3 1 2 0 に裏上装飾体 3 1 5 2 が取付けられているため、第二可動ベース 3 1 1 9 をスライドさせると、裏上装飾体 3 1 5 2 が回転しながら第二可動ベース 3 1 1 9 と共に下方へ移動することとなる。

20

【0737】

なお、この状態で裏上駆動モータ 3 1 0 3 を逆回転させることにより、上記とは逆の動きをして第二可動ベース 3 1 1 9 及び第一可動ベース 3 1 1 6、つまり、裏上装飾体 3 1 5 2 を、最初の状態に戻すことができる。

【0738】

このように、本実施形態によれば、第一可動ベース 3 1 1 6 と第二可動ベース 3 1 1 9 とを別々に可動させることができるため、裏上装飾体 3 1 5 2 に対して二段階に移動する動きを付与することができ、裏上装飾体 3 1 5 2 に複雑な動きをさせることができる。また、裏上装飾体 3 1 5 2 の可動演出として、第一可動ベース 3 1 1 6 のみを可動させたり、第一可動ベース 3 1 1 6 の可動後に第二可動ベース 3 1 1 9 を可動させたりすることにより、可動演出のパターンを多彩化することができるため、裏上装飾体 3 1 5 2 の可動演出を飽き難くさせることができ、遊技者を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

30

【0739】

また、第二可動ベース 3 1 1 9 をスライドさせると、裏上装飾体 3 1 5 2 が回転しながら第二可動ベース 3 1 1 9 と共に下方へ移動するため、裏上装飾体 3 1 5 2 に対して、より多彩な動きを付与することができ、遊技者を飽き難くして遊技に対する興趣の低下を抑制させることができる。

40

【0740】

更に、第一可動ベース 3 1 1 6 と第二可動ベース 3 1 1 9 とを同じ上下方向へスライドさせるようにしており、裏上装飾体 3 1 5 2 を同一方向へより長い距離を移動させることができるため、裏上装飾体 3 1 5 2 による可動演出のインパクトを高めることができ、遊技者を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0741】

また、第一伝達部材 3 1 0 7 からの回転を、一旦、第一被伝達部材 3 1 1 7 に伝達させてから、第一被伝達部材 3 1 1 7 により第一可動ベース 3 1 1 6 を可動させるようにしているため、第一伝達部材 3 1 0 7 における第一特定回転範囲の周長を第一被伝達部材 3 1 1 7 によって増幅させることが可能となり、第一可動ベース 3 1 1 6 の退避位置から第一

50

出現位置までの第一可動範囲をより大きくすることができ、大きく動く裏上装飾体 3 1 5 2 により遊技者を楽しませて興趣の低下を抑制させることができる。

【0 7 4 2】

また、一つの裏上駆動モータ 3 1 0 3 だけで裏上装飾体 3 1 5 2 に複雑な動きをさせることができるため、例えば、第一可動ベース 3 1 1 6 に第二可動ベース 3 1 1 9 を可動させる別の駆動モータを備えるようにした場合と比較して、駆動モータの数を少なくすることができ、可動演出の制御に係る負荷を低減させることができると共に、第一可動ベース 3 1 1 6 に駆動モータを備える必要がないことから第一可動ベース 3 1 1 6 に作用する荷重（重量）を低減させることができる。また、第一可動ベース 3 1 1 6 に第二可動ベース 3 1 1 9 用の駆動モータを備える必要がないことから、その駆動モータの重量の分だけ裏上装飾体 3 1 5 2 を大きく（重く）することが可能となり、大きな裏上装飾体 3 1 5 2 が複雑な動きをすることにより、遊技者に対するインパクトを高くすることができると共に、大きな裏上装飾体 3 1 5 2 が二段階の複雑な動きをすることにより遊技者に対して何か良いことがあるのではないかと思わせることができ、遊技に対する期待感を高めさせて興趣の低下を抑制させることができる。

10

【0 7 4 3】

以上、本発明について好適な実施形態を挙げて説明したが、本発明はこれらの実施形態に限定されるものではなく、以下に示すように、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々の改良及び設計の変更が可能である。

【0 7 4 4】

20

すなわち、上記実施形態では、遊技機としてパチンコ機 1 に適用したものを示したが、これに限定するものではなく、パチスロ機や、パチンコ機とパチスロ機とを融合させてなる遊技機に、適用しても良く、この場合でも、上記と同様の作用効果を奏することができる。

【符号の説明】

【0 7 4 5】

- 1 パチンコ機
- 2 外枠
- 3 扉枠
- 4 本体枠
- 5 遊技盤
- 5 a 遊技領域
- 1 0 0 0 前構成部材
- 1 1 0 0 遊技パネル
- 1 5 0 0 中央液晶表示装置
- 3 0 0 0 裏ユニット
- 3 0 1 0 裏箱
- 3 0 1 0 a 開口部
- 3 1 0 0 裏上可動演出ユニット
- 3 1 0 3 裏上駆動モータ（駆動モータ）
- 3 1 0 7 第一伝達部材（伝達部材）
- 3 1 0 7 a 第一伝達ギア（伝達本体部）
- 3 1 0 7 b 第一伝達ピン（伝達ピン）
- 3 1 0 7 c 第一ロック突部（ロック突部）
- 3 1 0 7 d 第一切欠部（切欠部）
- 3 1 0 8 第二伝達部材（伝達部材、第二伝達部材）
- 3 1 0 8 a 第二伝達ギア（伝達本体部、第二伝達本体部）
- 3 1 0 8 b 第二伝達ピン（伝達ピン、第二伝達ピン）
- 3 1 0 8 c 第二ロック突部（ロック突部、第二ロック突部）
- 3 1 0 8 d 第二切欠部（切欠部、第二切欠部）

30

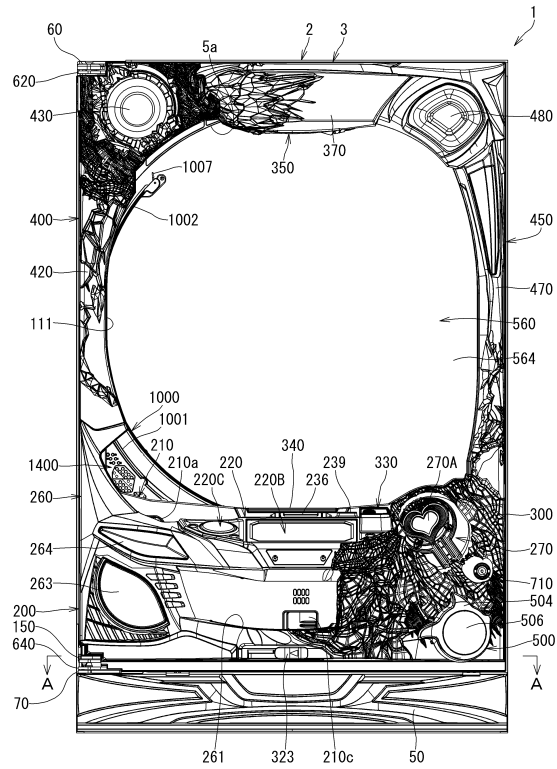
40

50

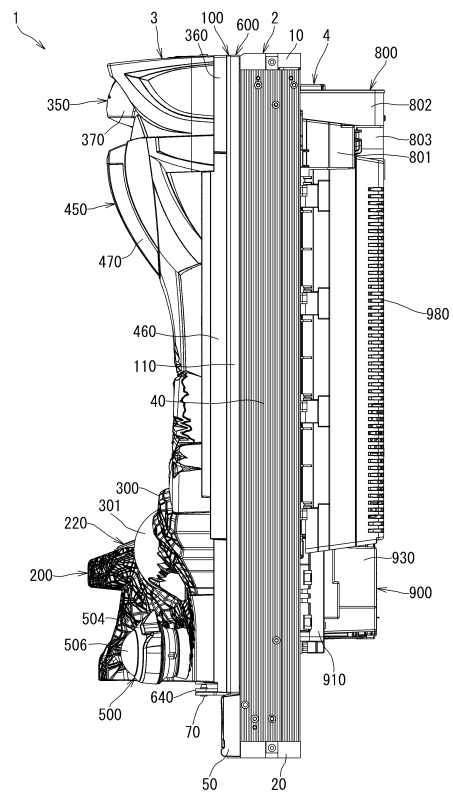
3 1 1 6	第一可動ベース	
3 1 1 7	第一被伝達部材（被伝達部材）	
3 1 1 7 a	第一基板部	
3 1 1 7 b	第一作用ピン	
3 1 1 7 c	第一被伝達本体部（基板部）	
3 1 1 7 d	第一伝達スリット（伝達スリット）	
3 1 1 7 e	第一ロック凹部（ロック凹部）	
3 1 1 9	第二可動ベース	
3 1 2 0	装飾体回転ギア	
3 1 2 2	第二被伝達部材（被伝達部材、第二被伝達部材）	10
3 1 2 2 a	第二基板部	
3 1 2 2 b	第二被伝達本体部（基板部、第二基板部）	
3 1 2 2 c	第二伝達スリット（伝達スリット、第二伝達スリット）	
3 1 2 2 d	第二ロック凹部（ロック突部、第二ロック突部）	
3 1 2 2 e	第一伝達案内部	
3 1 2 3	回転リンク部材	
3 1 2 4	第二可動ベース駆動部材	
3 1 5 0	裏上装飾体ユニット（装飾体）	
3 1 5 1	装飾体ベース	
3 1 5 1 a	軸部	20
3 1 5 2	裏上装飾体（装飾体）	
3 6 0 0	裏四隅可動演出ユニット	
3 6 1 0	裏四隅第一ユニット	
3 6 1 5	裏四隅駆動モータ（駆動モータ）	
3 6 1 6	伝達部材（伝達部材、第二伝達部材）	
3 6 1 6 b	ベース部（伝達本体部、第二伝達本体部）	
3 6 1 7	第一伝達部	
3 6 1 7 a	第一伝達ピン（伝達ピン）	
3 6 1 7 b	第一ロック突部（ロック突部）	
3 6 1 7 c	第一切欠部（切欠部）	30
3 6 1 8	第二伝達部	
3 6 1 8 a	第二伝達ピン（伝達ピン、第二伝達ピン）	
3 6 1 8 b	第二ロック突部（ロック突部、第二ロック突部）	
3 6 1 8 c	第二切欠部（切欠部、第二切欠部）	
3 6 2 0	第一被伝達部材（被伝達部材）	
3 6 2 0 a	作用アーム	
3 6 2 0 b	軸部	
3 6 2 0 c	第一被伝達本体部（基板部）	
3 6 2 0 d	第一伝達スリット（伝達スリット）	
3 6 2 0 e	第一ロック凹部（ロック凹部）	40
3 6 2 2	リンクアーム	
3 6 2 3	リンク部材	
3 6 2 4	裏四隅第一装飾体（装飾体）	
3 6 2 9	第二被伝達部材（被伝達部材、第二被伝達部材）	
3 6 2 9 a	第二作用ピン	
3 6 2 9 b	第二被伝達本体部（基板部、第二基板部）	
3 6 2 9 c	第二伝達スリット（伝達スリット、第二伝達スリット）	
3 6 2 9 d	第二ロック凹部（ロック凹部、第二ロック凹部）	
3 6 3 0	回転連結部材	
3 6 3 2	連結アーム	50

3 6 3 3	裏四隅第二装飾体（装飾体）	
3 6 5 0	裏四隅第二ユニット	
3 6 5 5	裏四隅駆動モータ（駆動モータ）	
3 6 5 6	伝達部材（伝達部材、第二伝達部材）	
3 6 5 6 b	ベース部（伝達本体部、第二伝達本体部）	
3 6 5 7	第一伝達部	
3 6 5 7 a	第一伝達ピン（伝達ピン）	
3 6 5 7 b	第一ロック突部（ロック突部）	
3 6 5 7 c	第一切欠部（切欠部）	
3 6 5 8	第二伝達部	10
3 6 5 8 a	第二伝達ピン（伝達ピン、第二伝達ピン）	
3 6 5 8 b	第二ロック突部（ロック突部、第二ロック突部）	
3 6 5 8 c	第二切欠部（切欠部、第二切欠部）	
3 6 6 0	第一被伝達部材（被伝達部材）	
3 6 6 0 a	作用アーム	
3 6 6 0 b	軸部	
3 6 6 0 c	第一被伝達本体部（基板部）	
3 6 6 0 d	第一伝達スリット（伝達スリット）	
3 6 6 0 e	第一ロック凹部（ロック凹部）	
3 6 6 2	リンクアーム	20
3 6 6 3	リンク部材	
3 6 6 4	裏四隅第一装飾体（装飾体）	
3 6 6 9	第二被伝達部材（被伝達部材、第二被伝達部材）	
3 6 6 9 a	第二作用ピン	
3 6 6 9 b	第二被伝達本体部（基板部、第二基板部）	
3 6 6 9 c	第二伝達スリット（伝達スリット、第二伝達スリット）	
3 6 6 9 d	第二ロック凹部（ロック凹部、第二ロック凹部）	
3 6 7 0	回転連結部材	
3 6 7 2	連結アーム	
3 6 7 3	裏四隅第二装飾体（装飾体）	30

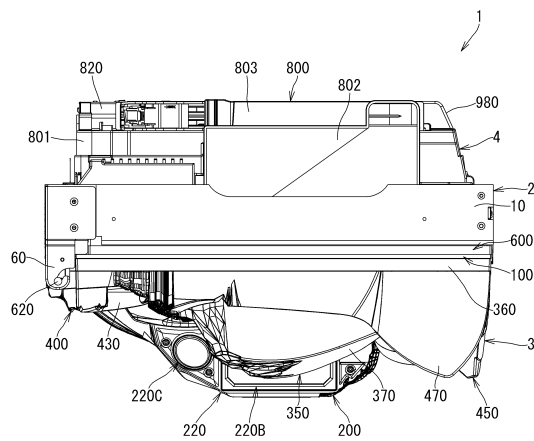
【図 1】



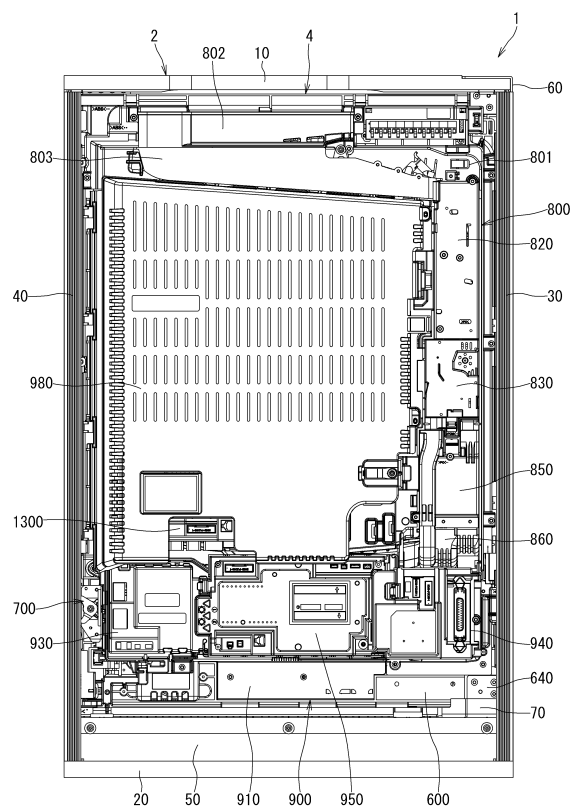
【図 2】



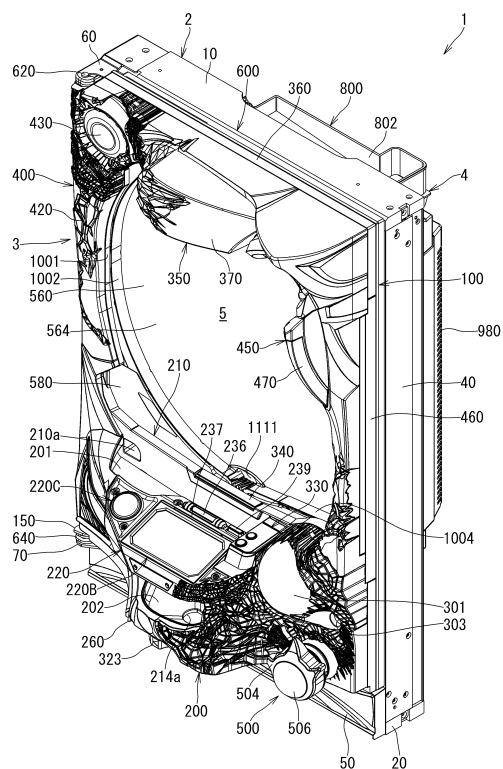
【図 3】



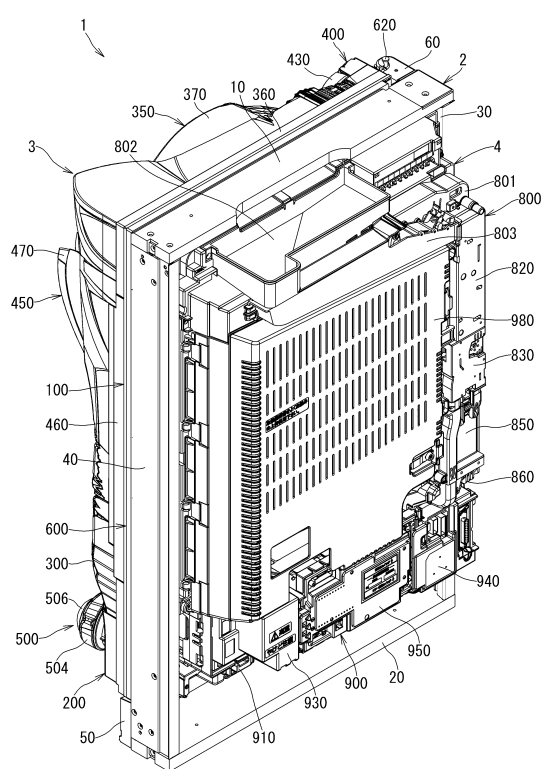
【図 4】



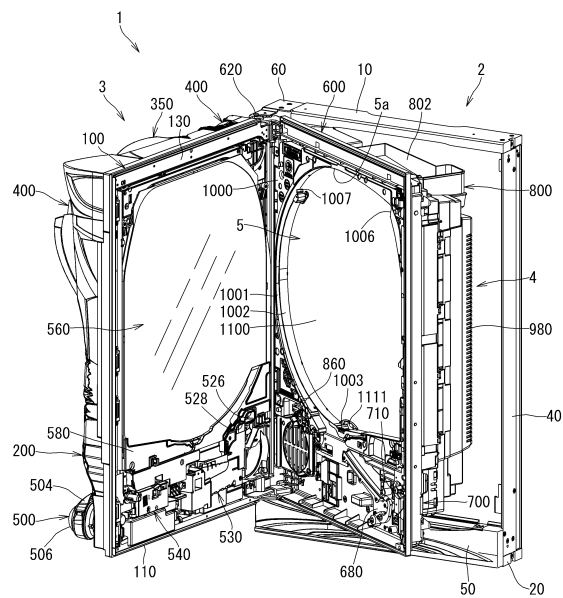
【図 5】



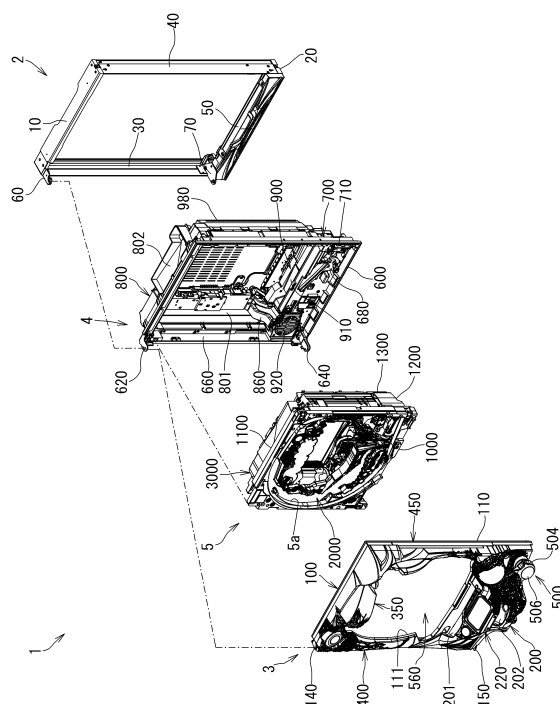
【図 6】



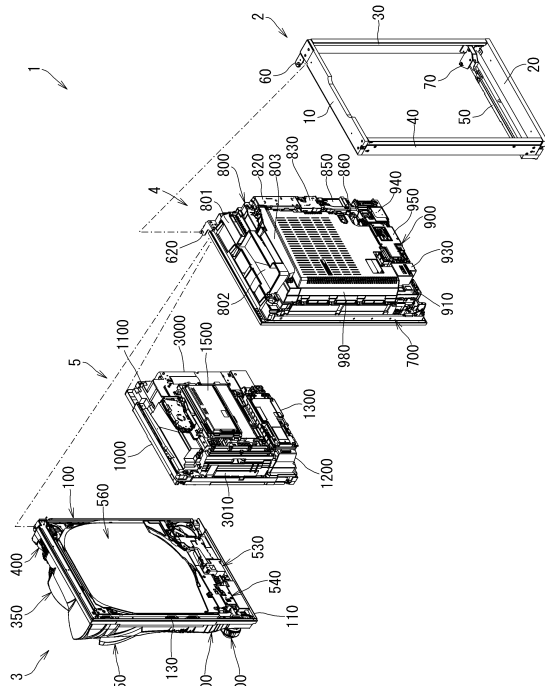
【图 7】



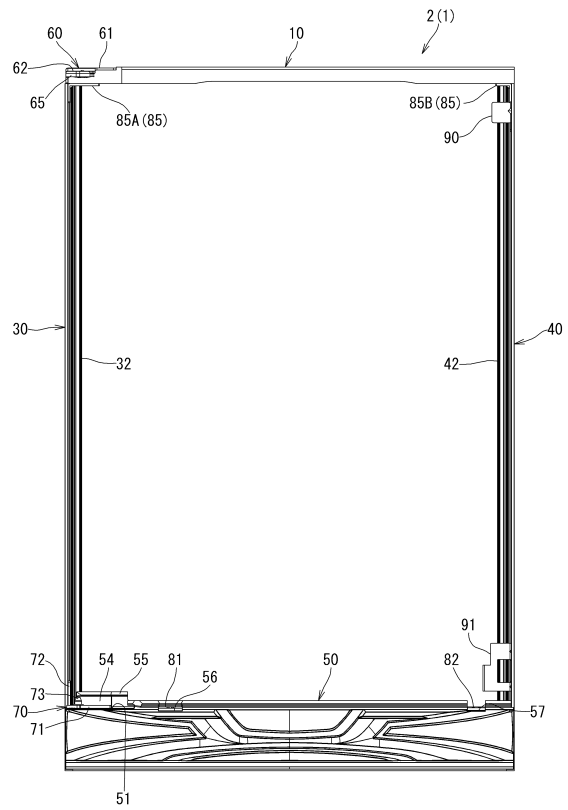
【図 8】



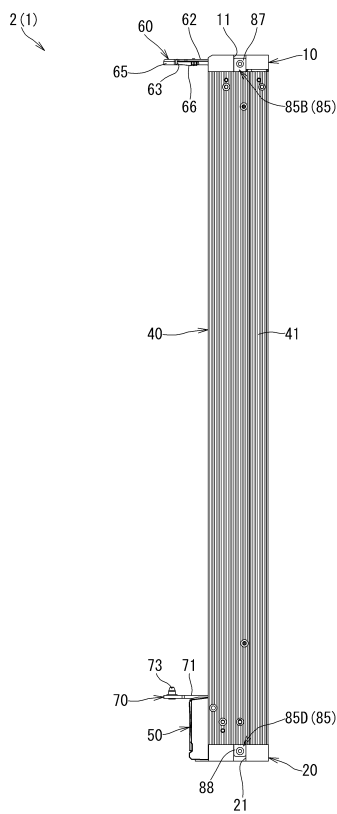
【図 9】



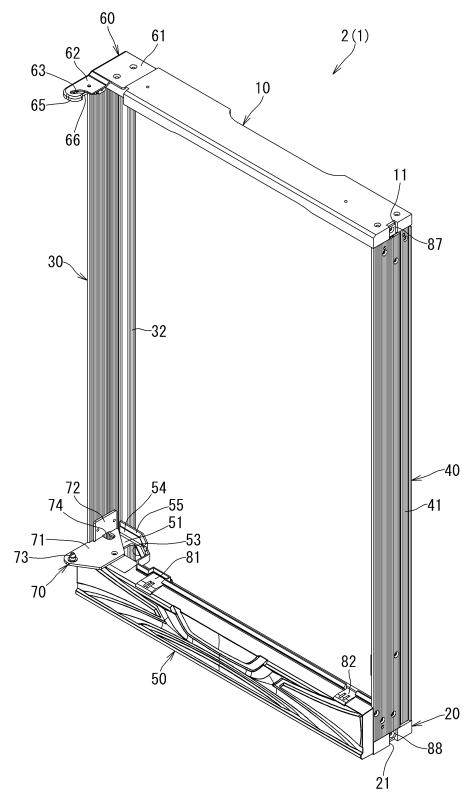
【図 10】



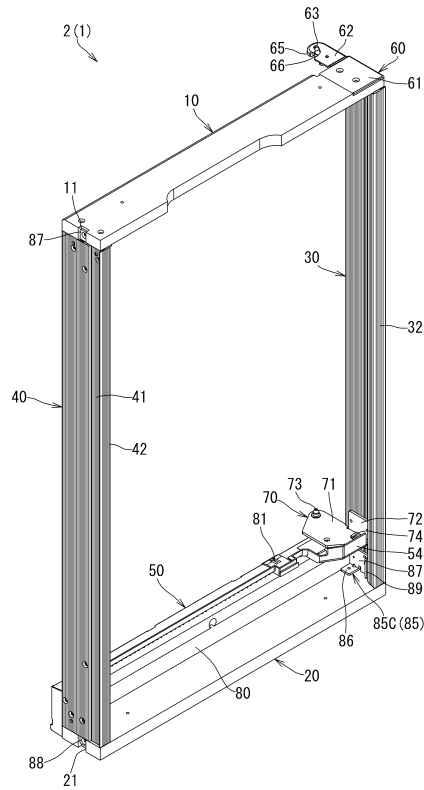
【図 11】



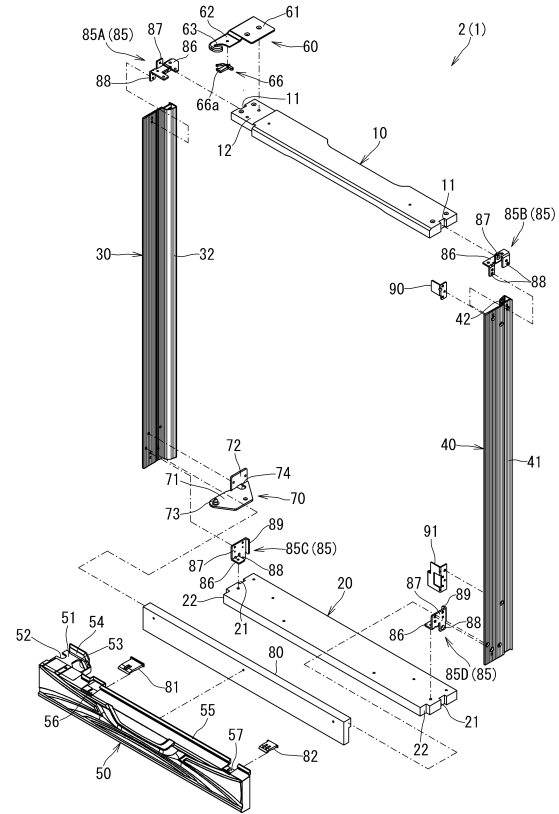
【図 12】



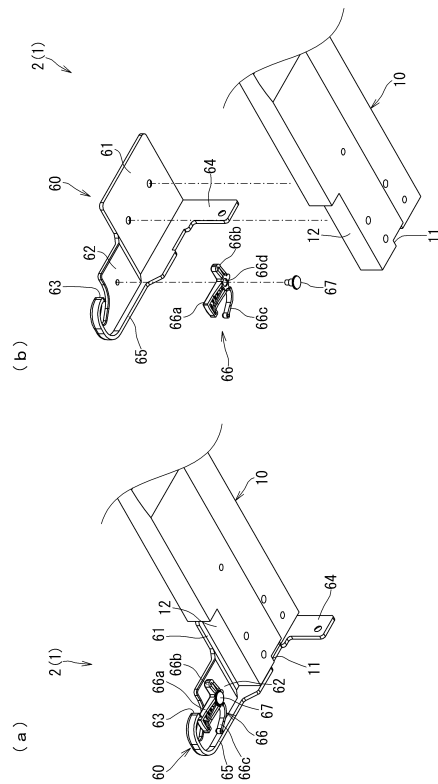
【図 13】



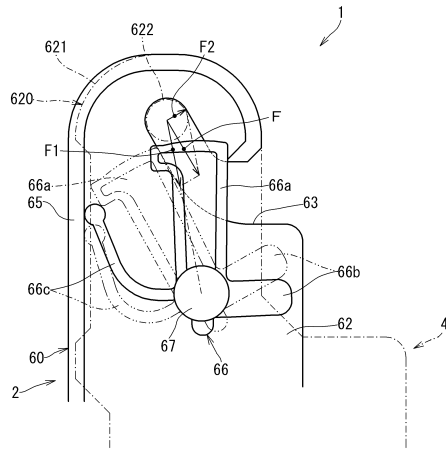
【図 14】



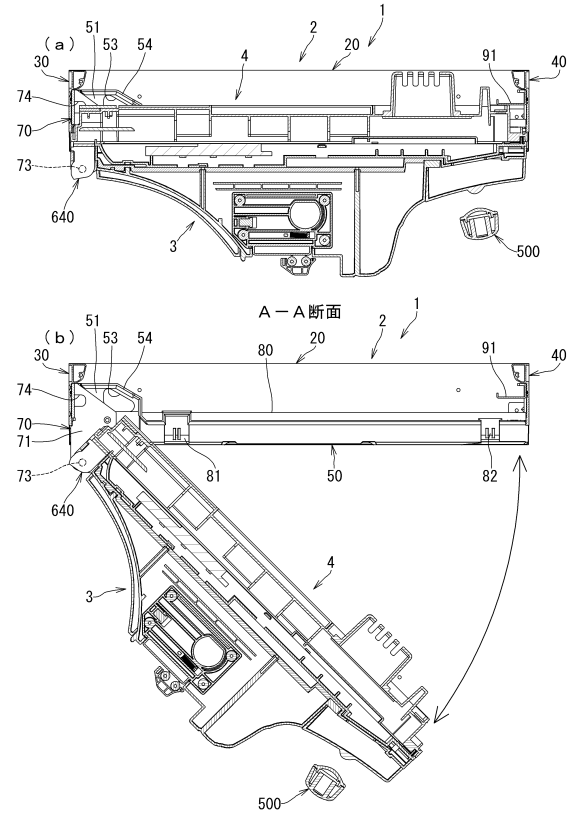
【図 15】



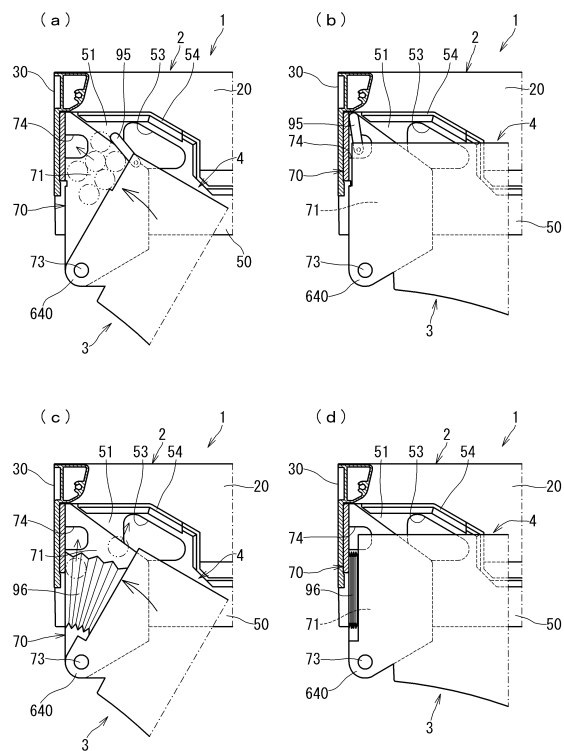
【図 17】



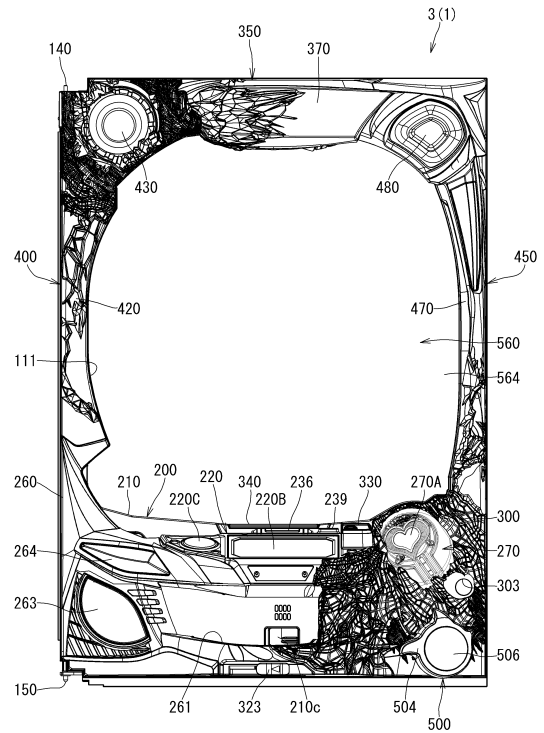
【図 18】



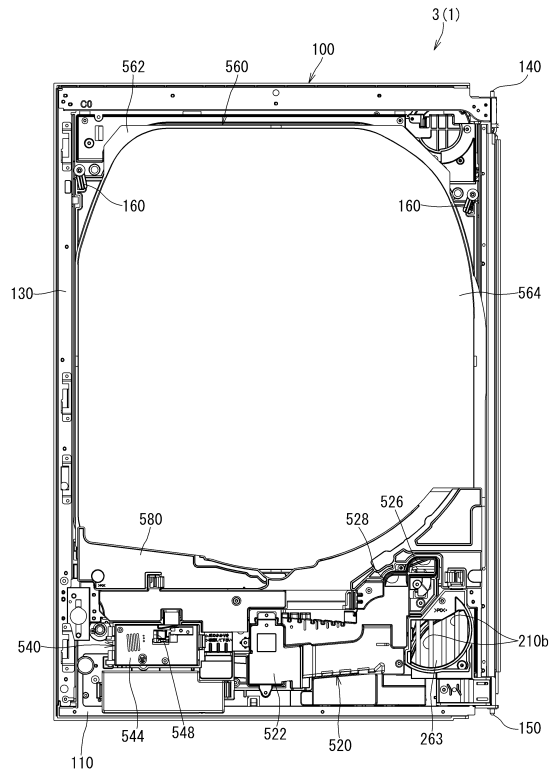
【図 19】



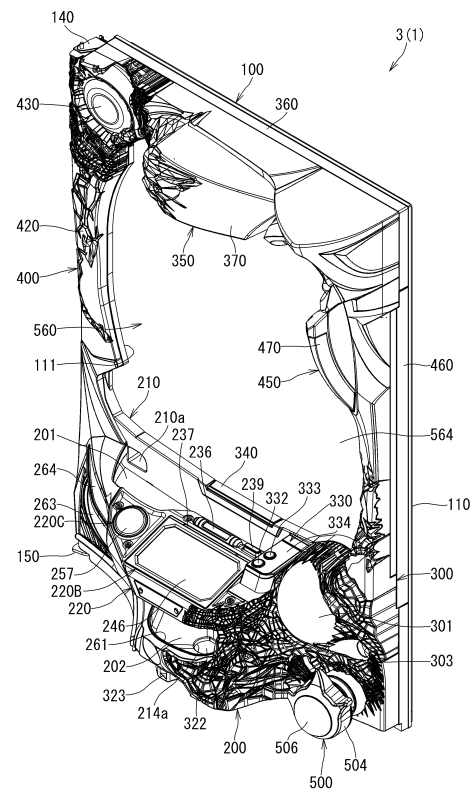
【図 20】



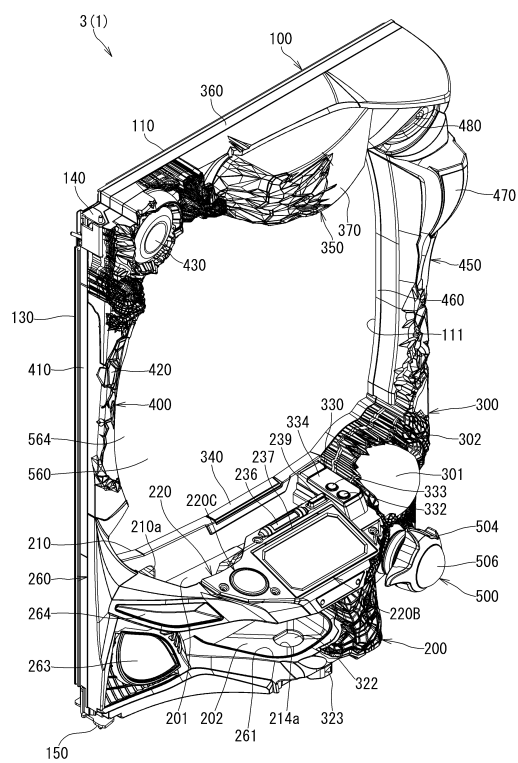
【図 2 1】



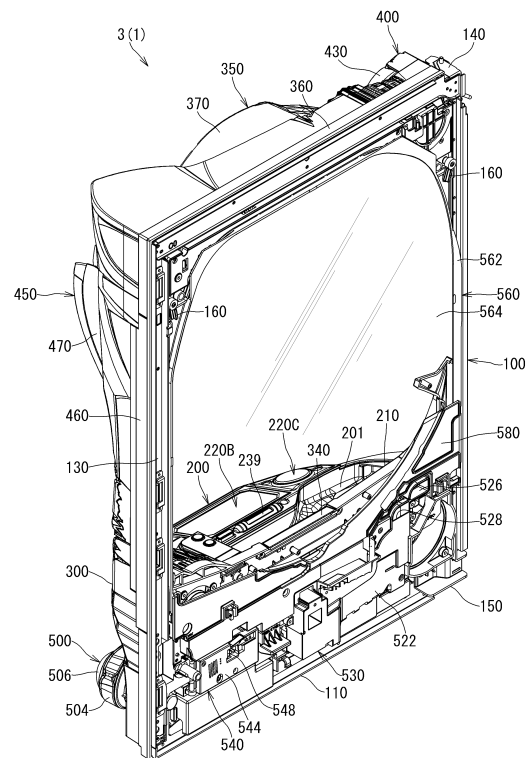
【図 2 2】



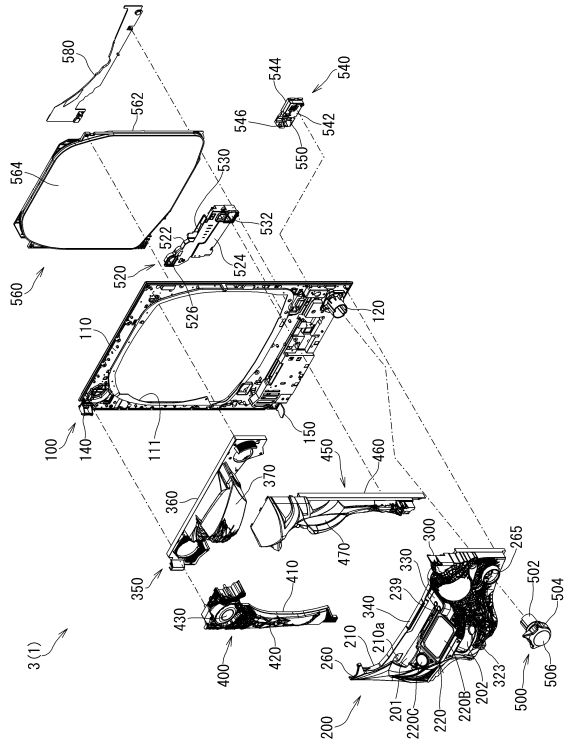
【図 2 3】



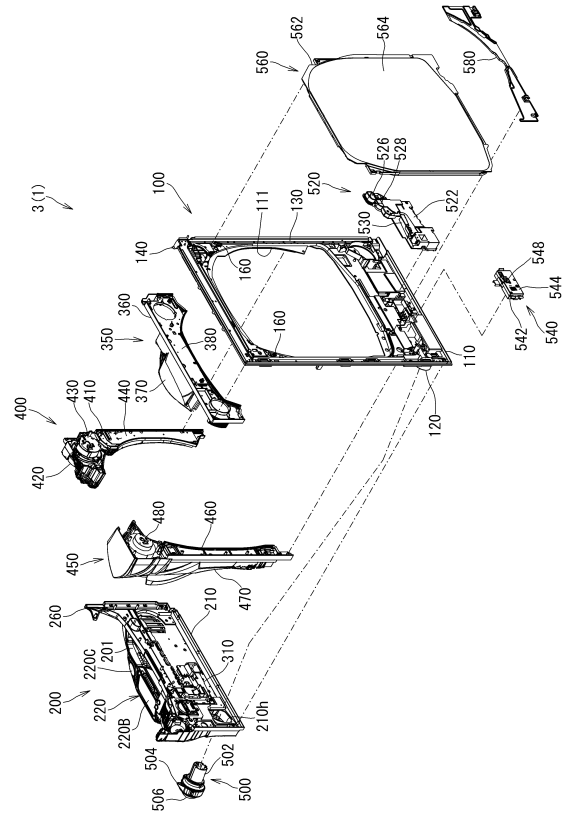
【図 2 4】



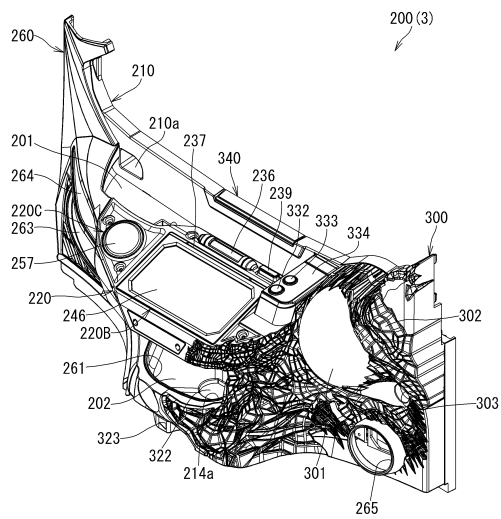
【図 25】



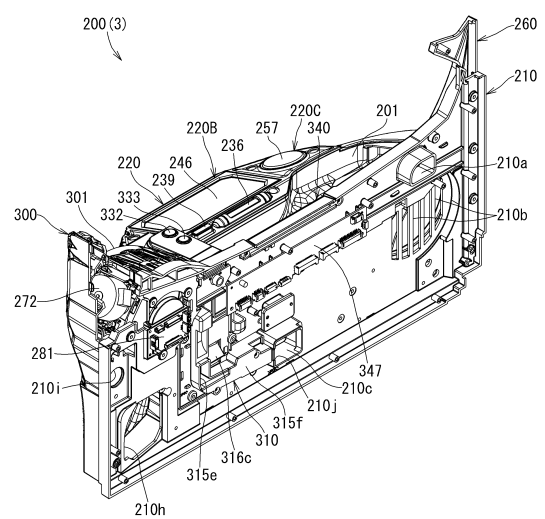
【図 26】



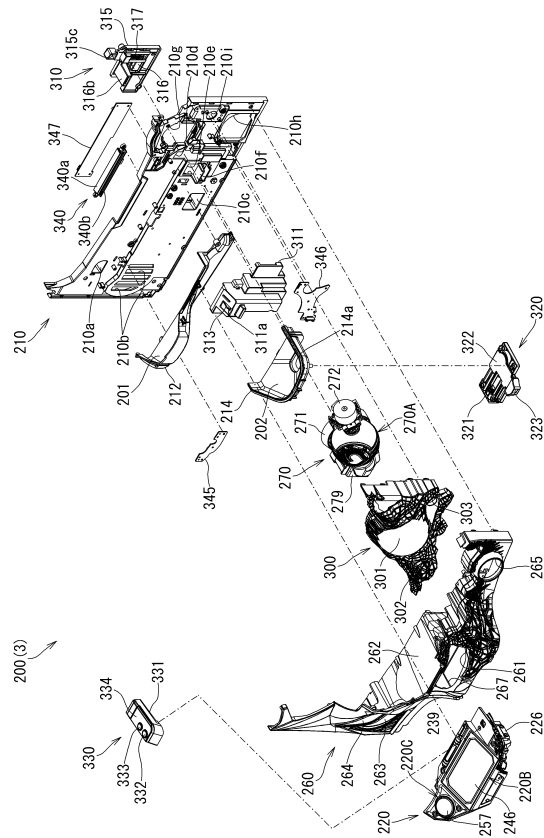
【図 27】



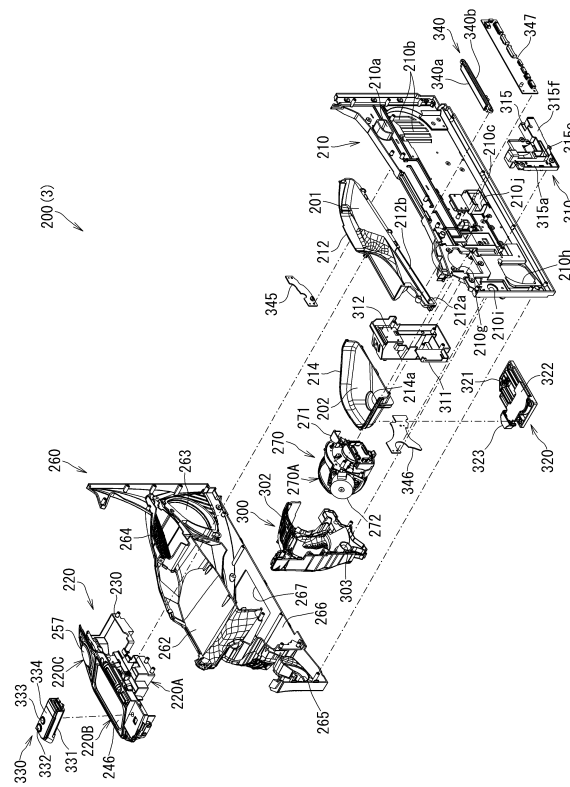
【図 28】



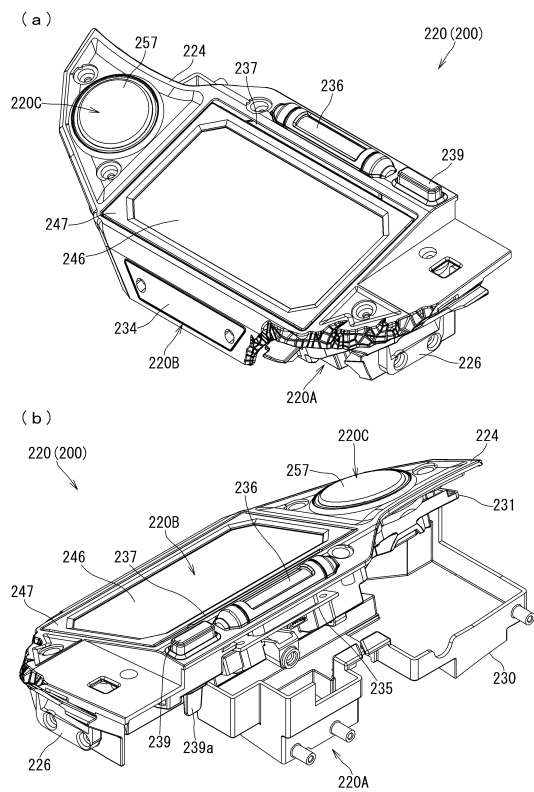
【図 29】



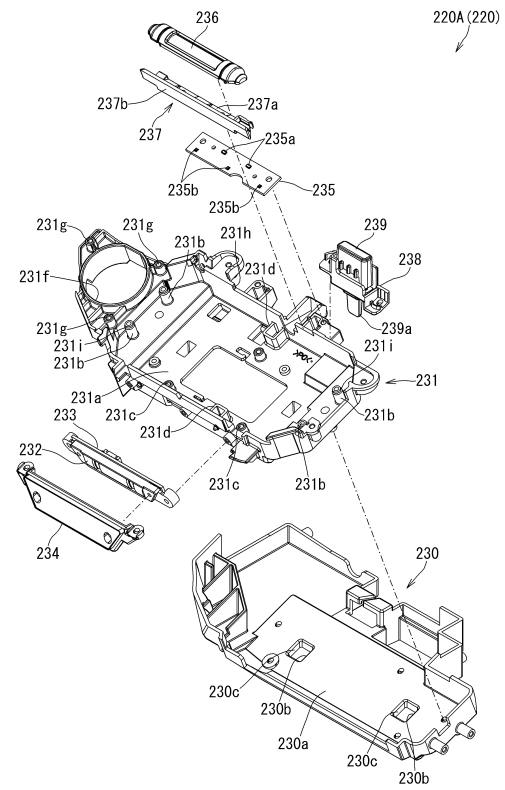
【図 30】



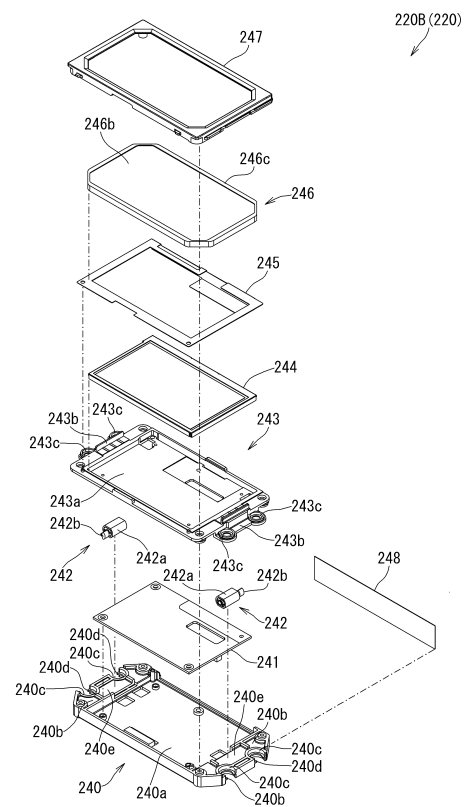
【図 31】



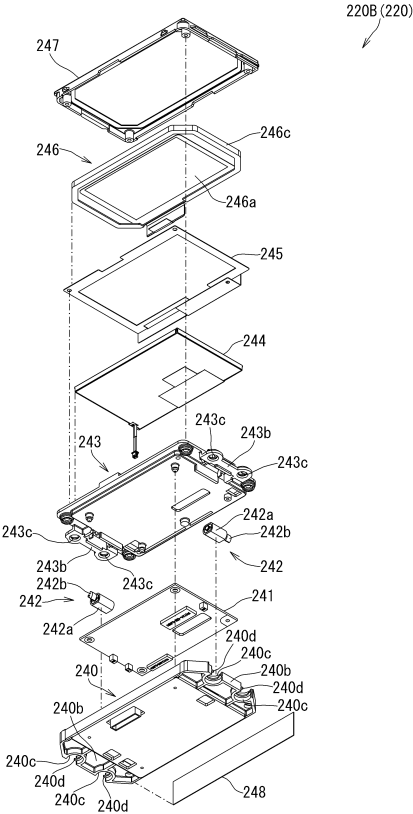
【図 3 4】



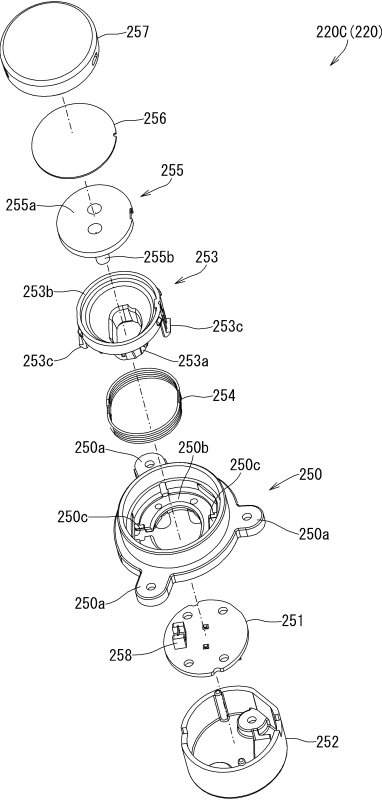
【図 3 6】



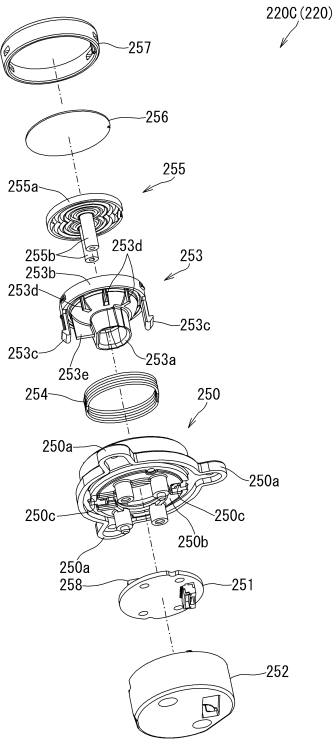
【図 3 7】



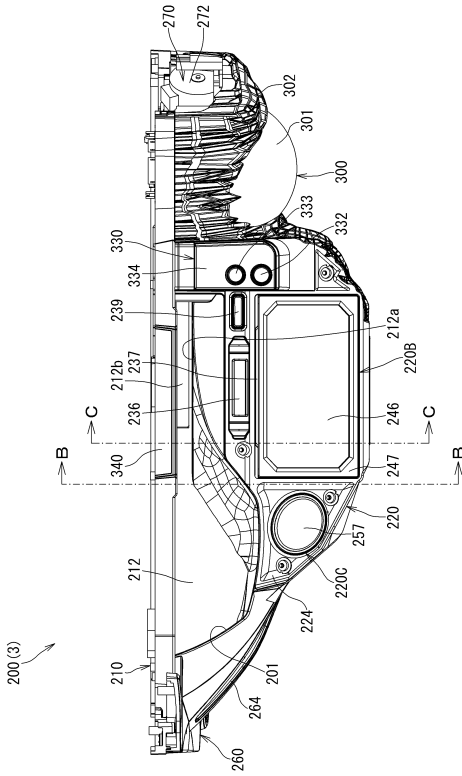
【図 3 8】



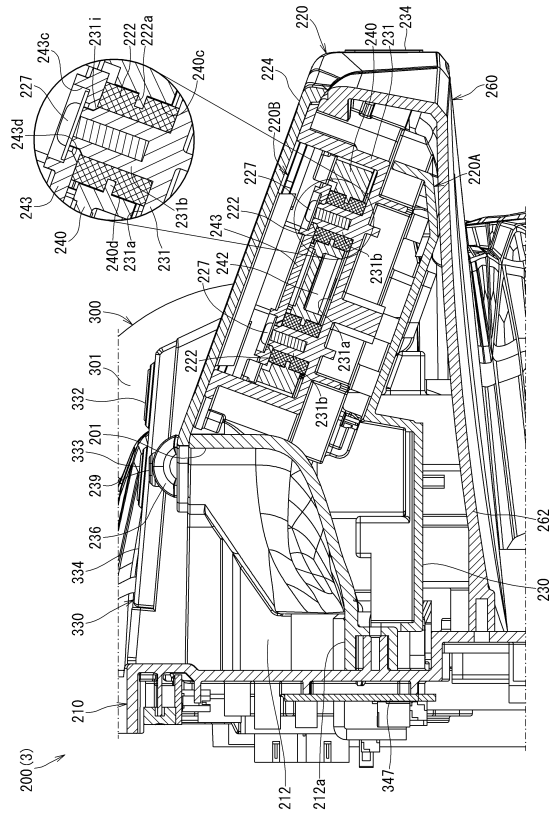
【図 3 9】



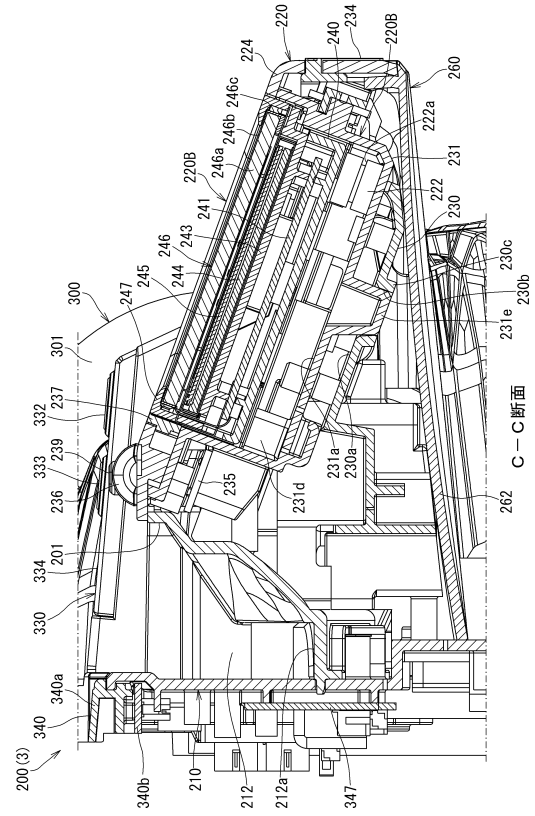
【図 4 0】



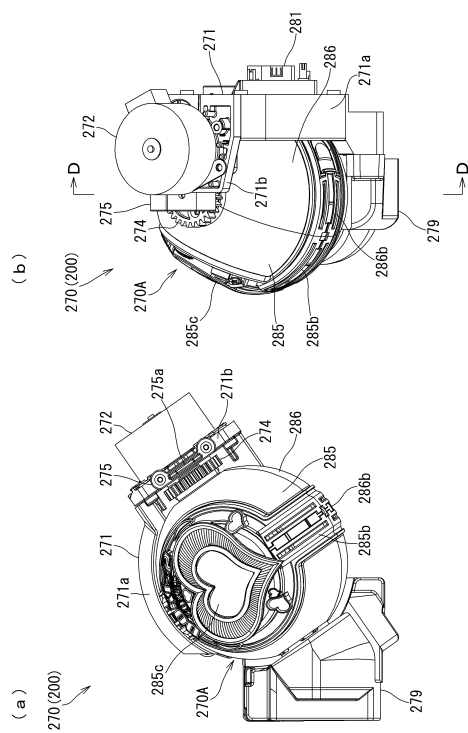
【図 4 1】



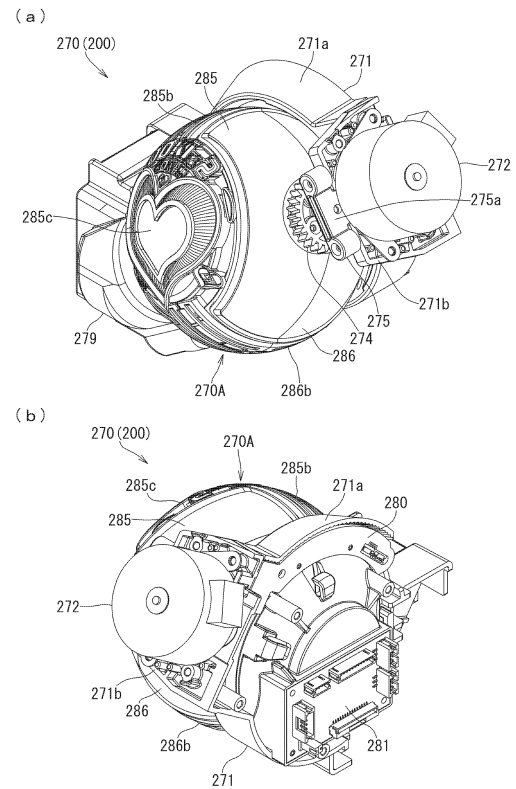
【図 4 2】



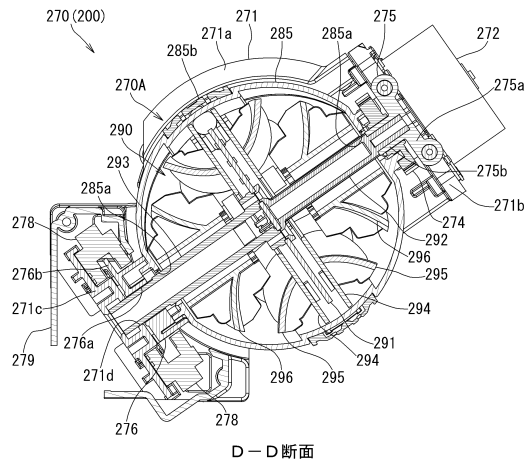
【図 4 3】



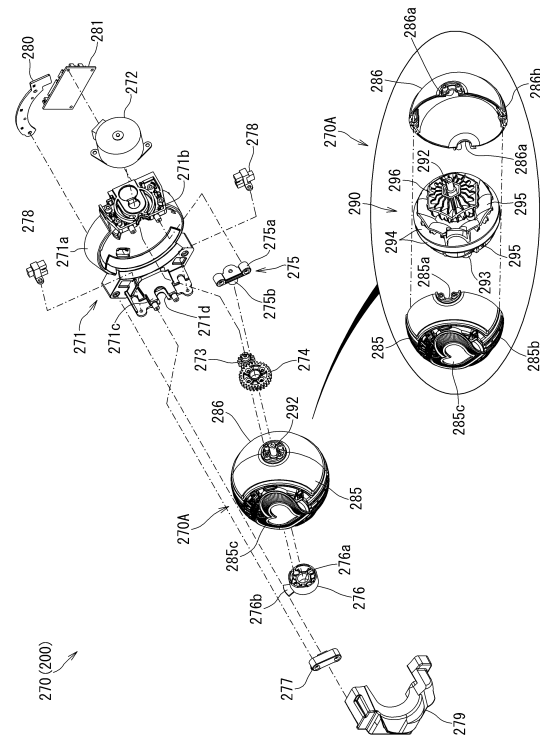
【図 4 4】



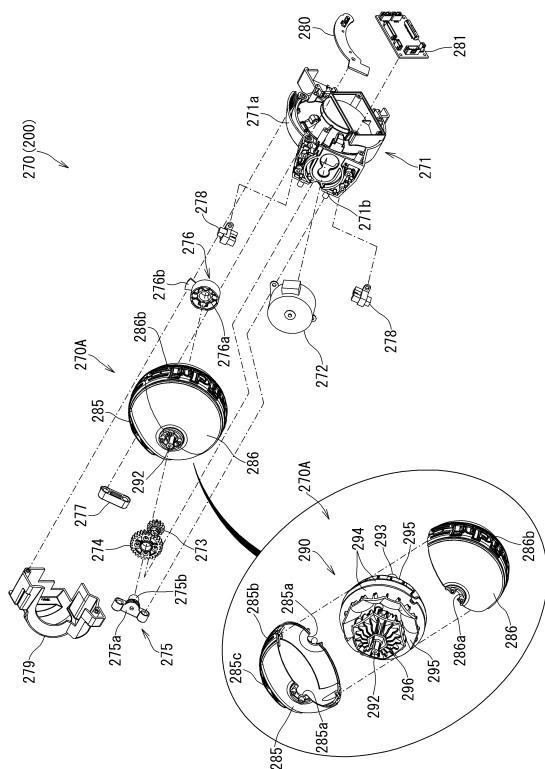
【図 45】



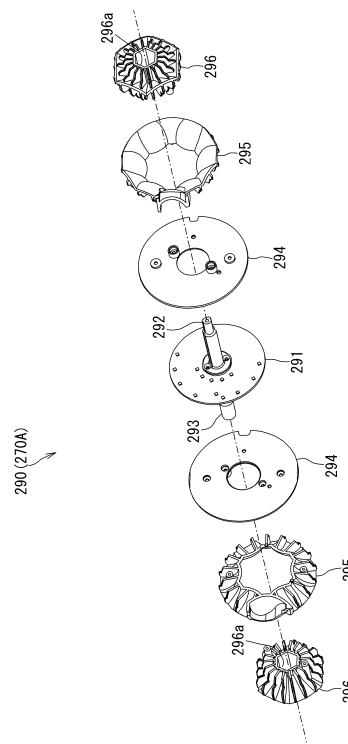
【図 46】



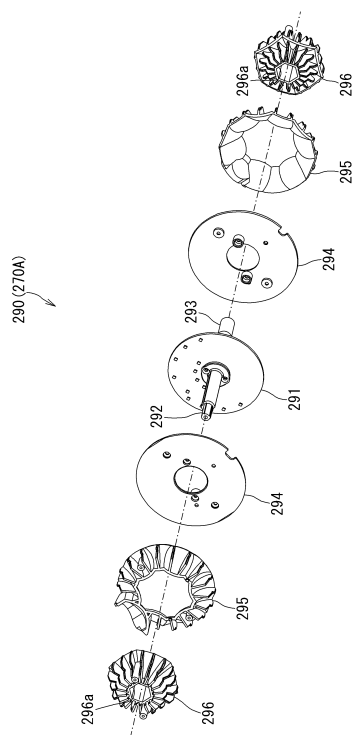
【図 47】



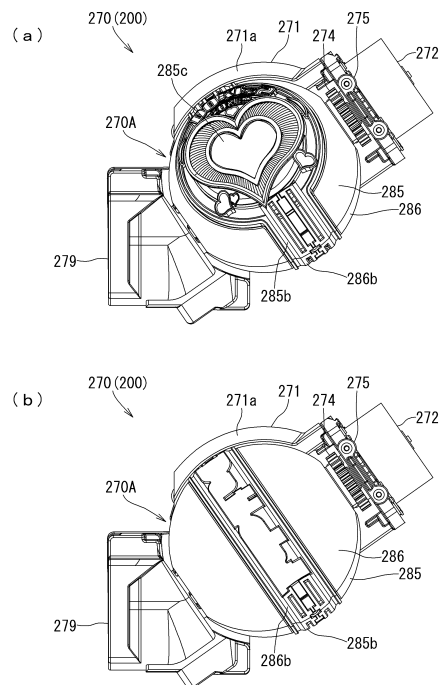
【図 48】



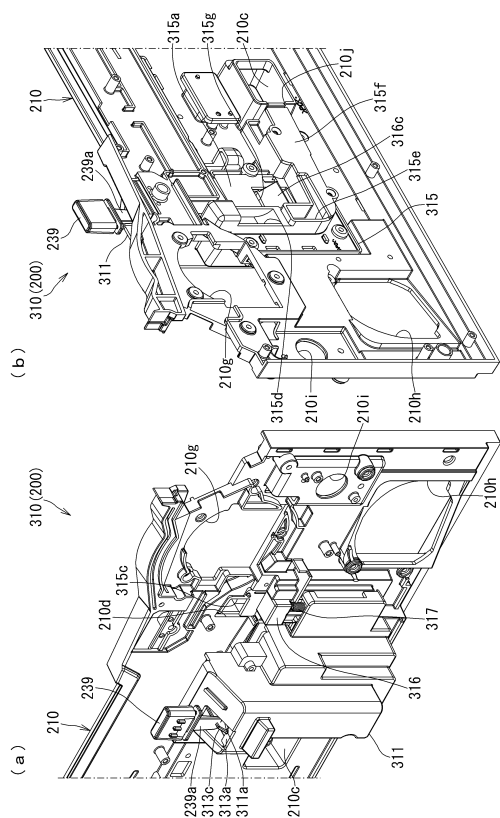
【図 49】



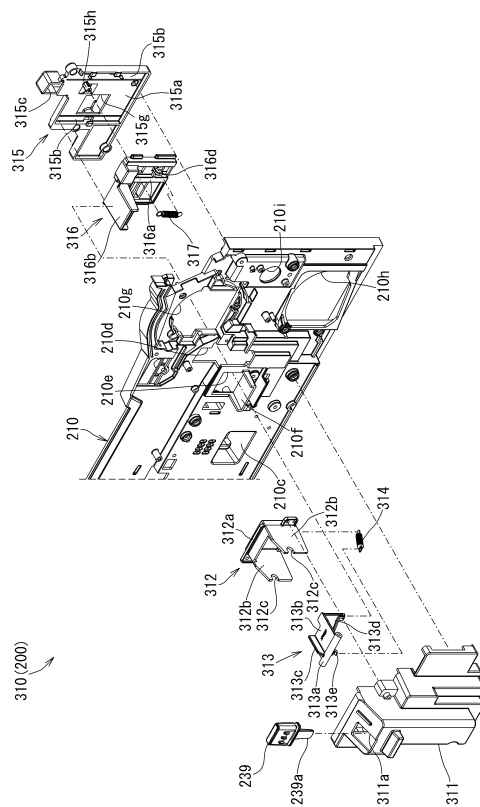
【図 50】



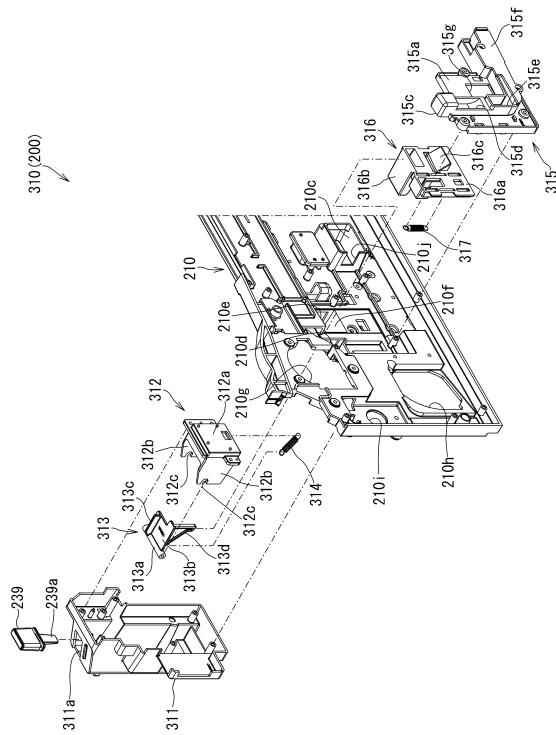
【図 5 1】



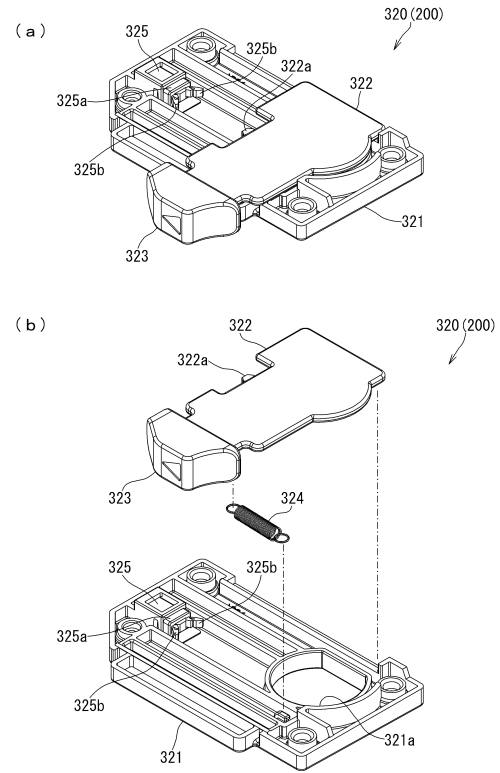
【図 5 2】



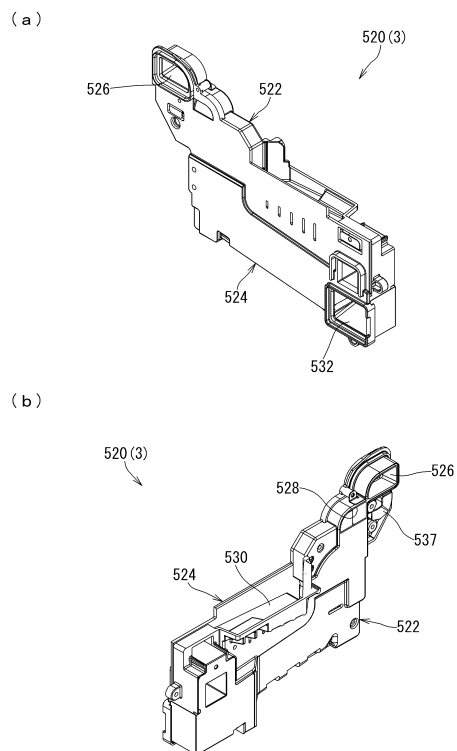
【図 5 3】



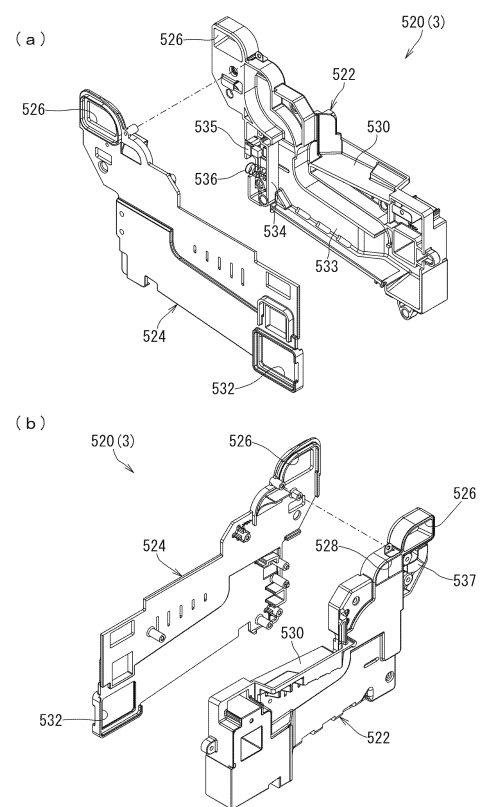
【図 5 4】



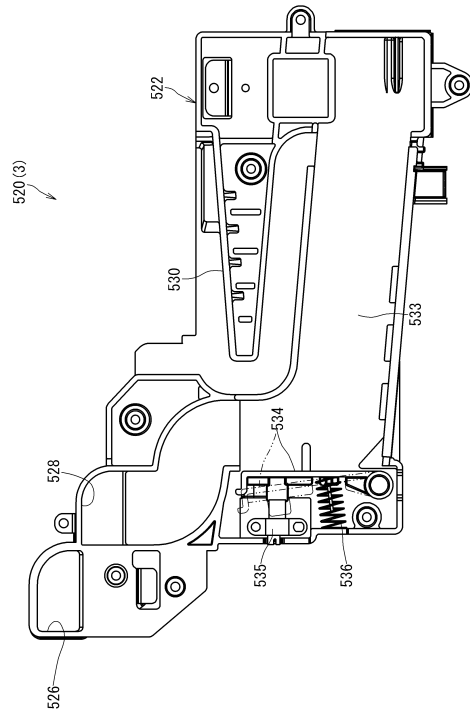
【図 5 5】



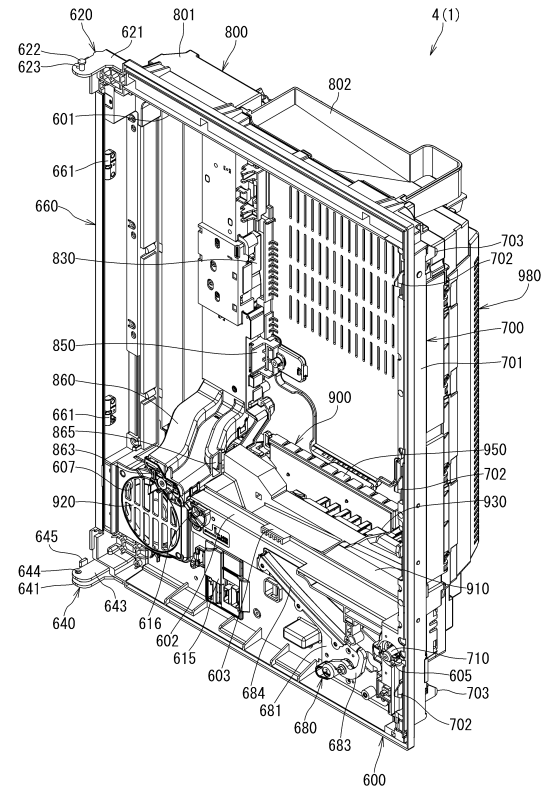
【図 5 6】



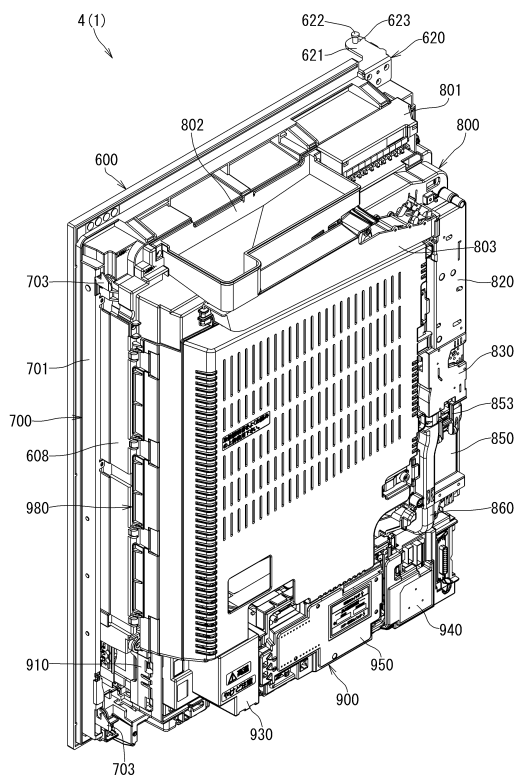
【図 57】



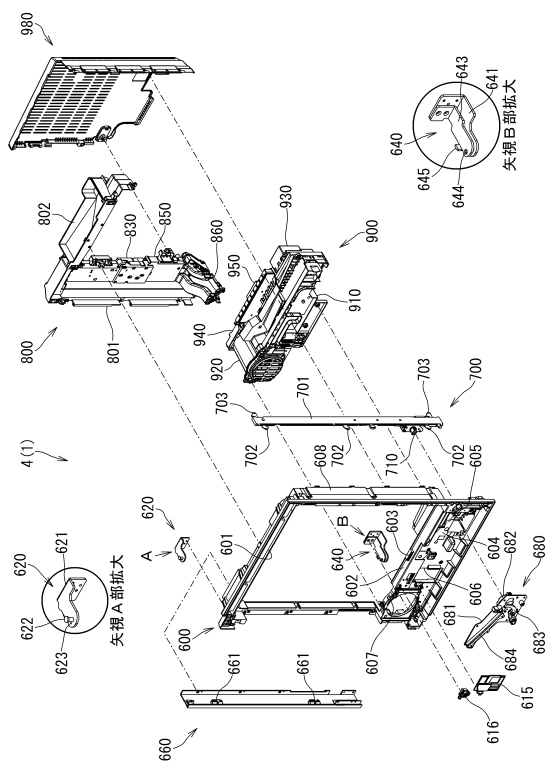
【図 58】



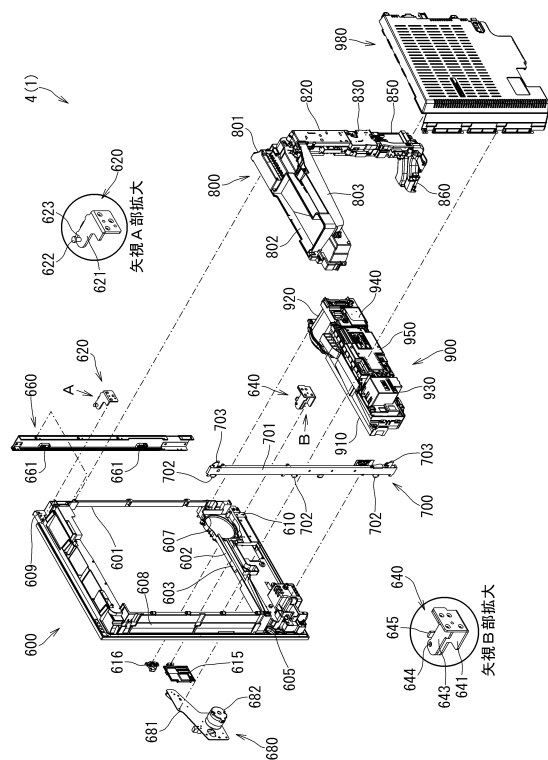
【図 59】



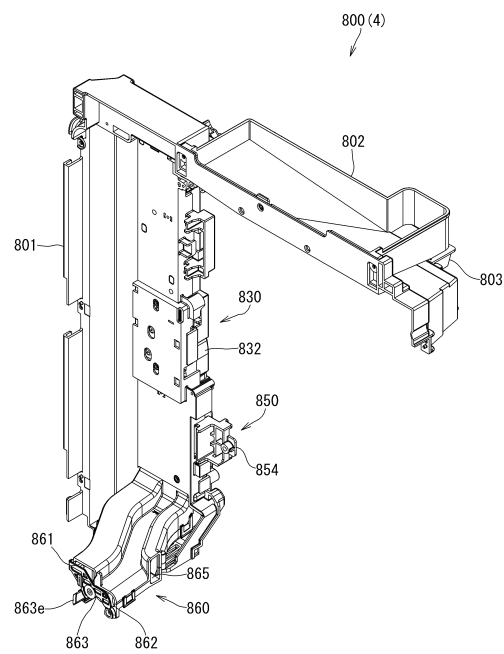
【図 60】



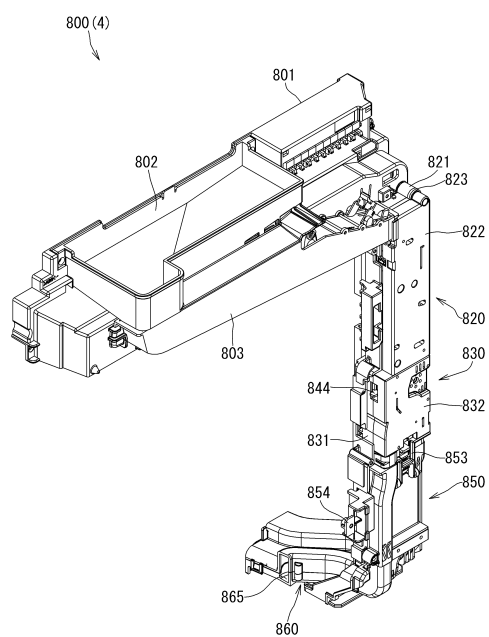
【図 6 1】



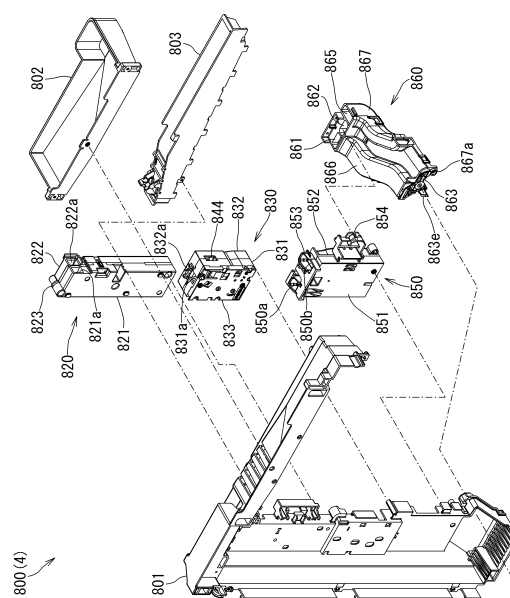
【图 6 2】



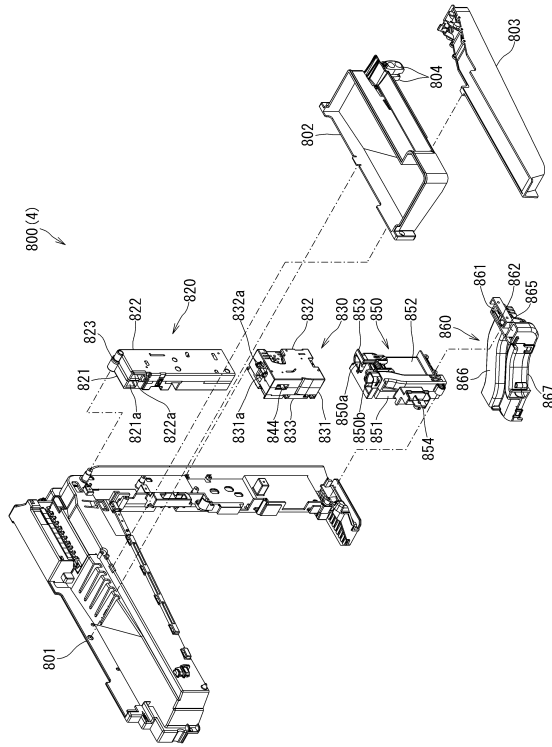
【図 6 3】



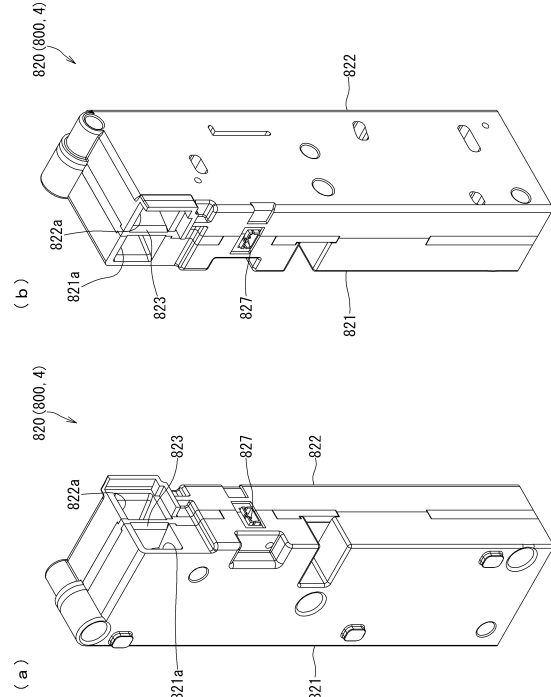
【図 6 4】



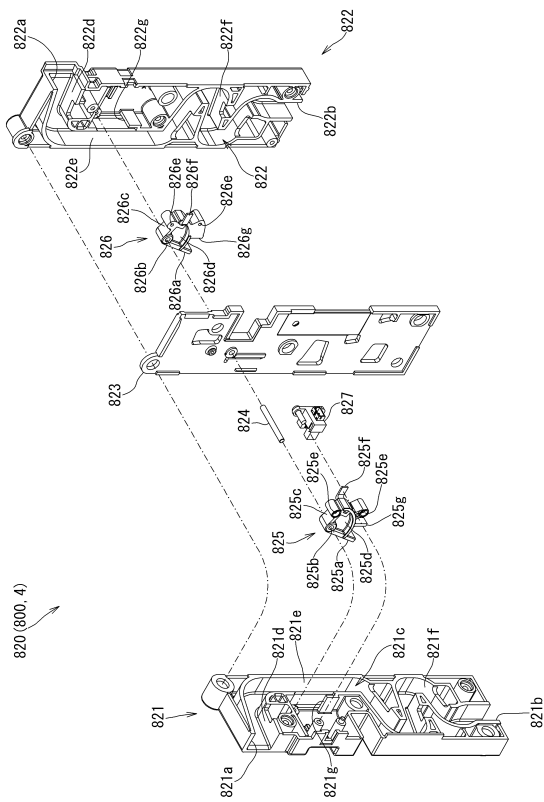
【図 65】



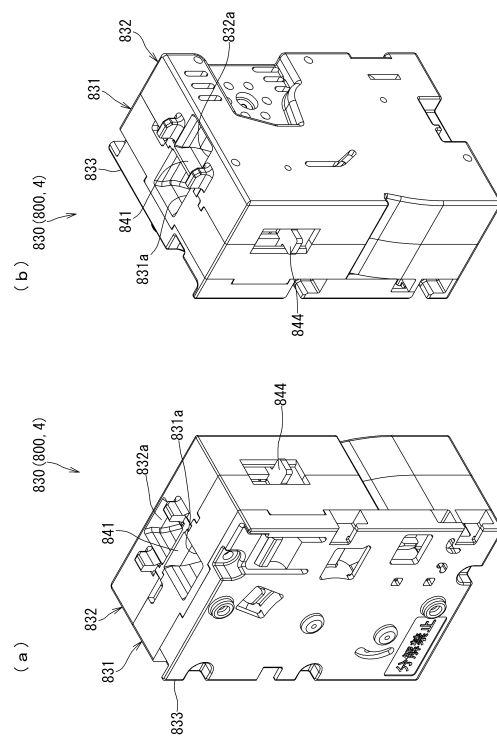
【図 66】



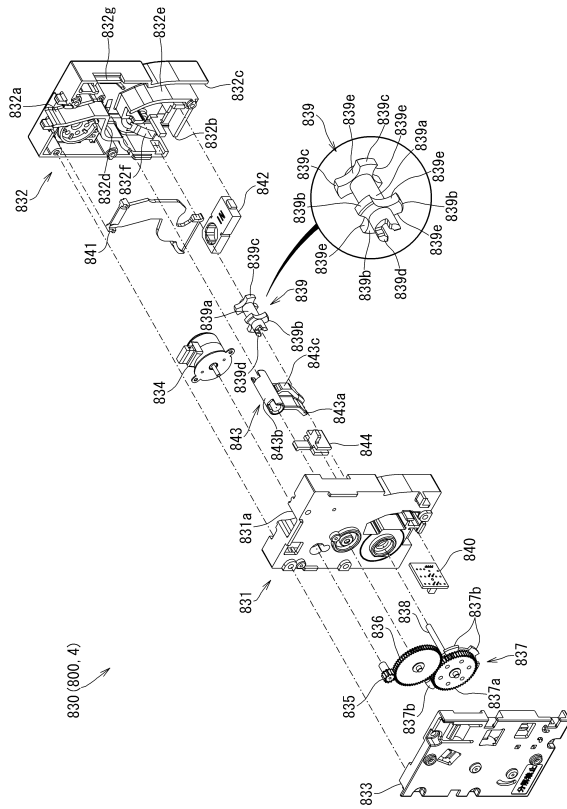
【図 67】



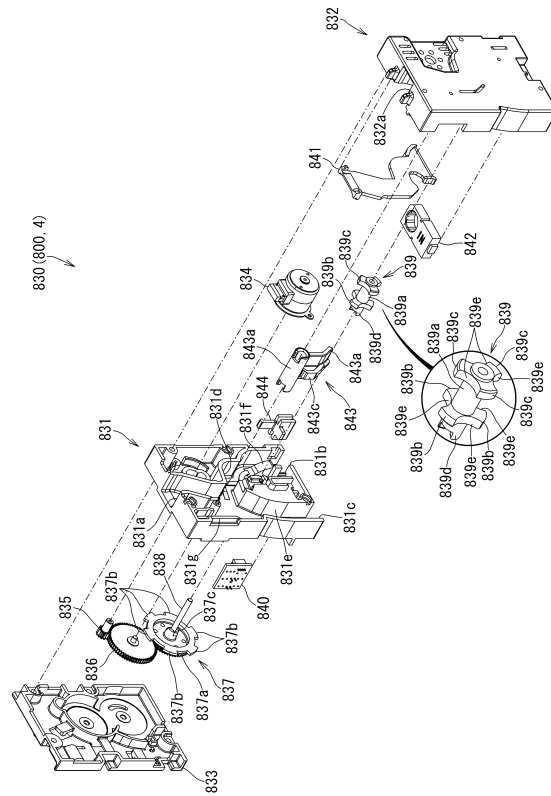
【図 68】



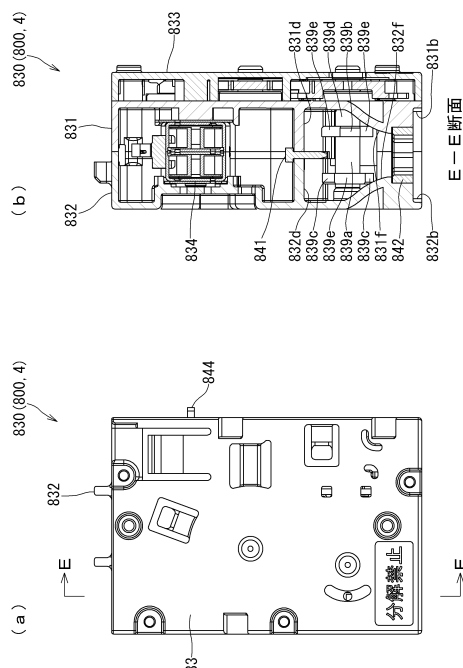
【図 69】



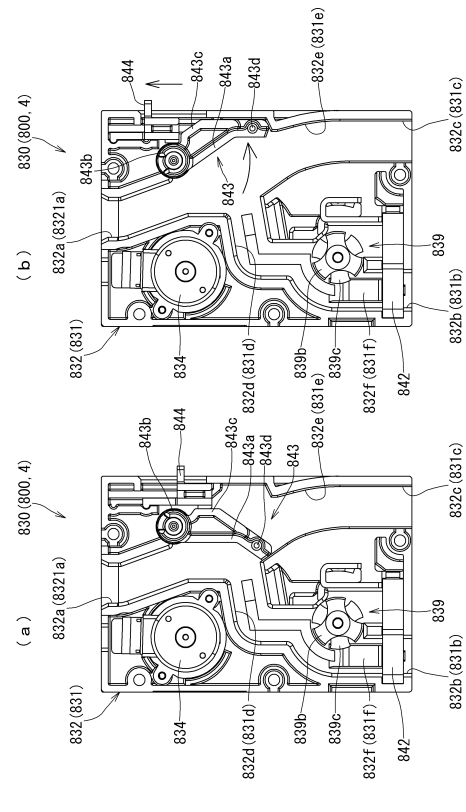
【図 70】



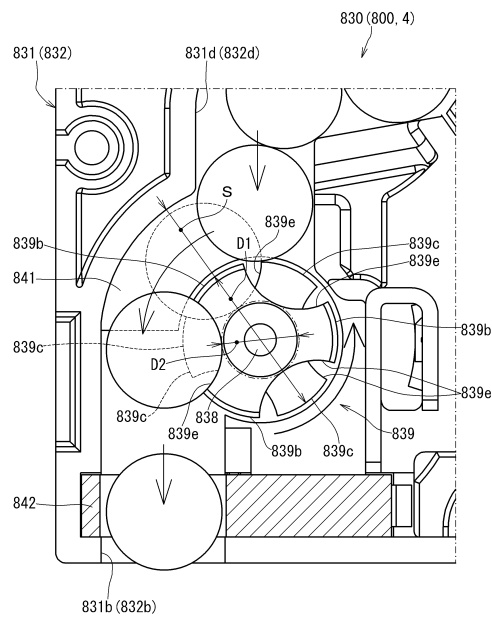
【図 71】



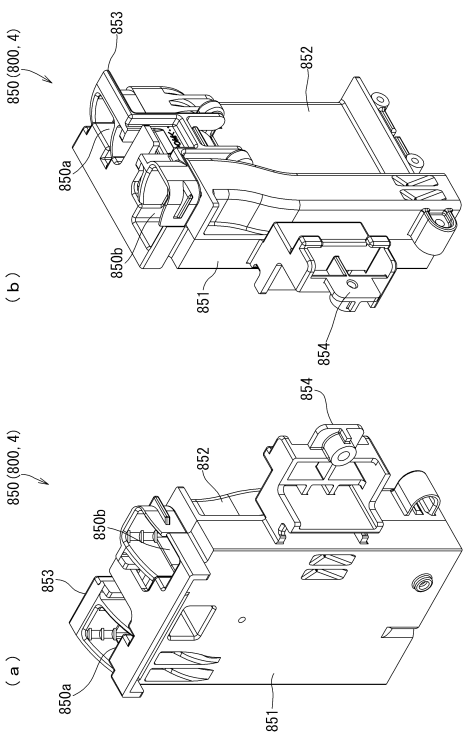
【図 72】



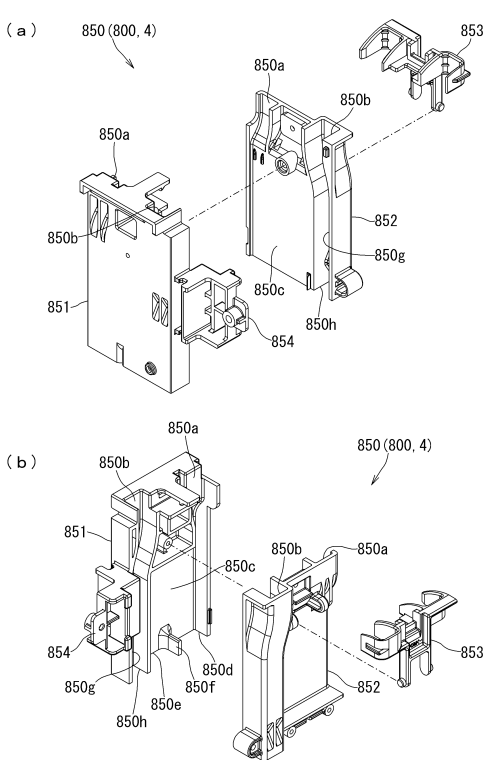
【図 7 3】



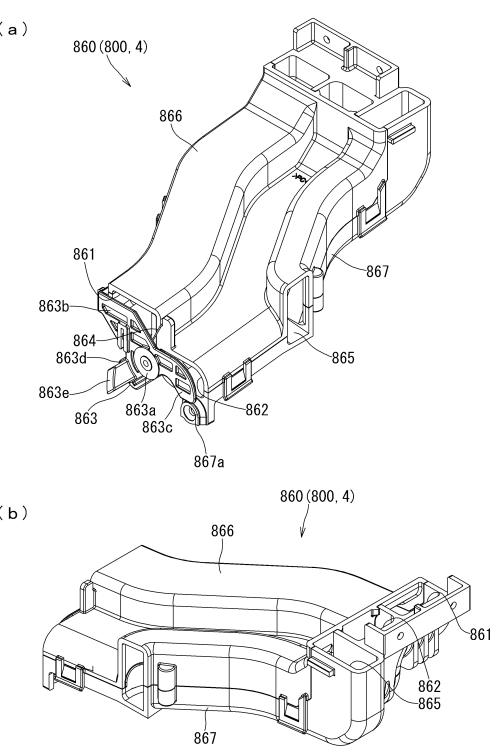
【図 7 4】



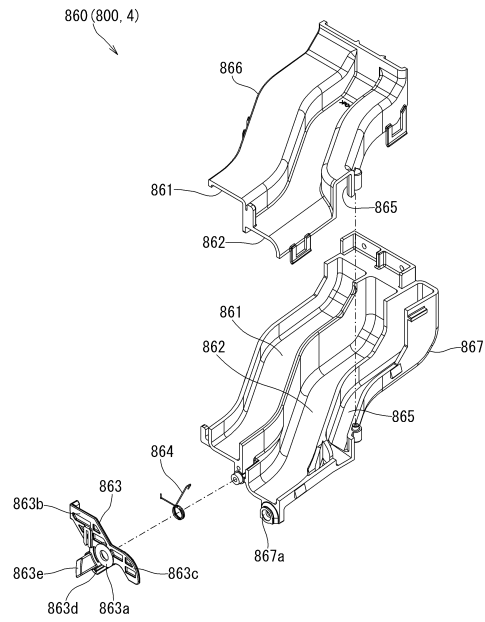
【図 7 5】



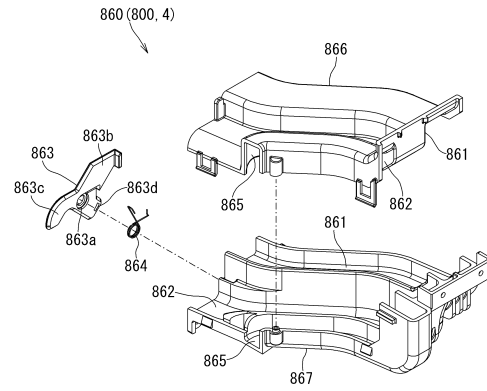
【図 7 6】



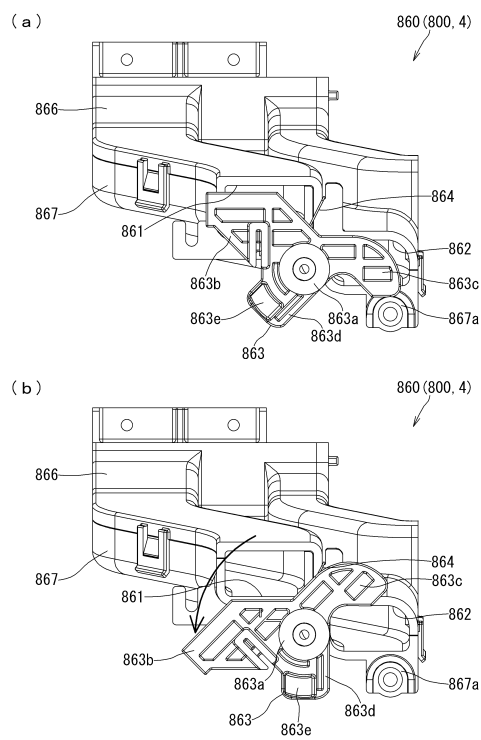
【図 77】



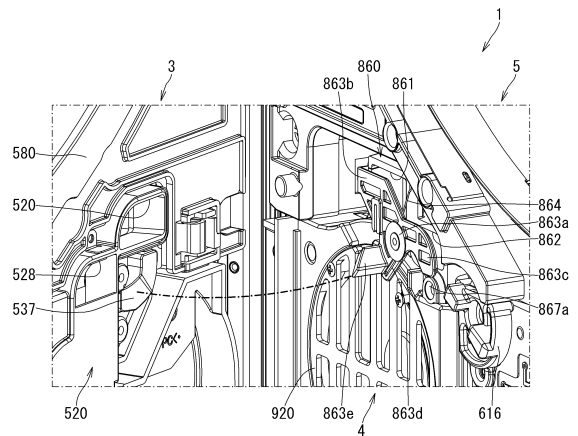
【図 78】



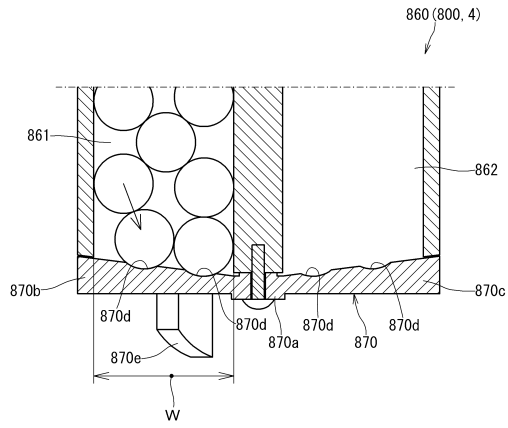
【図 79】



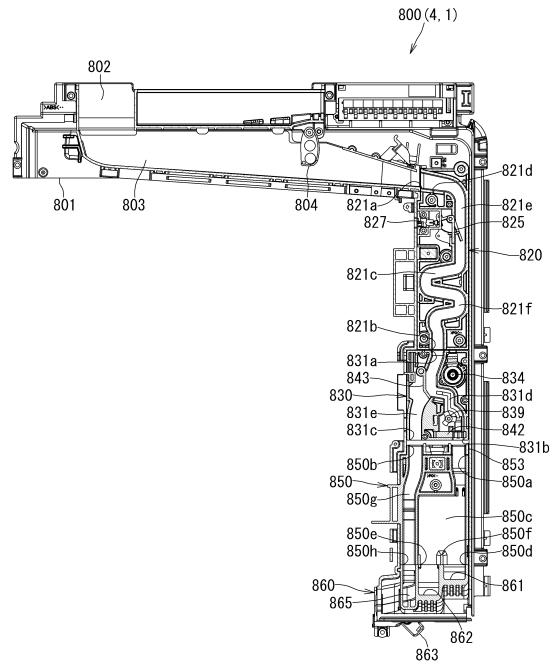
【図 80】



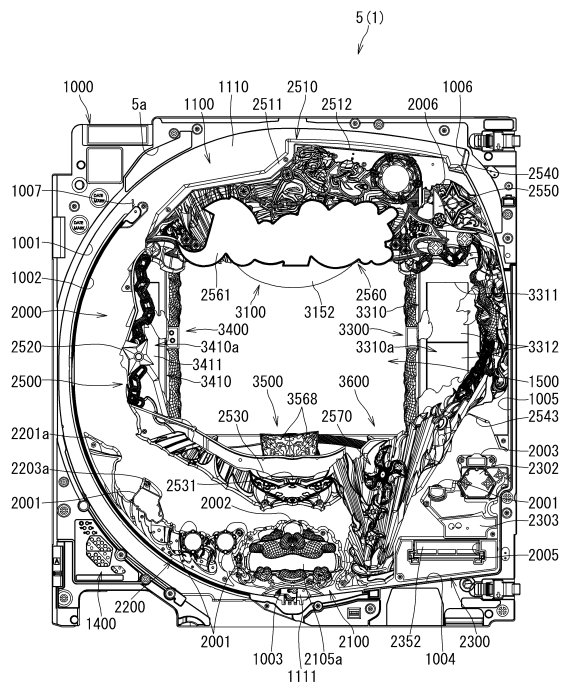
【图 8 1】



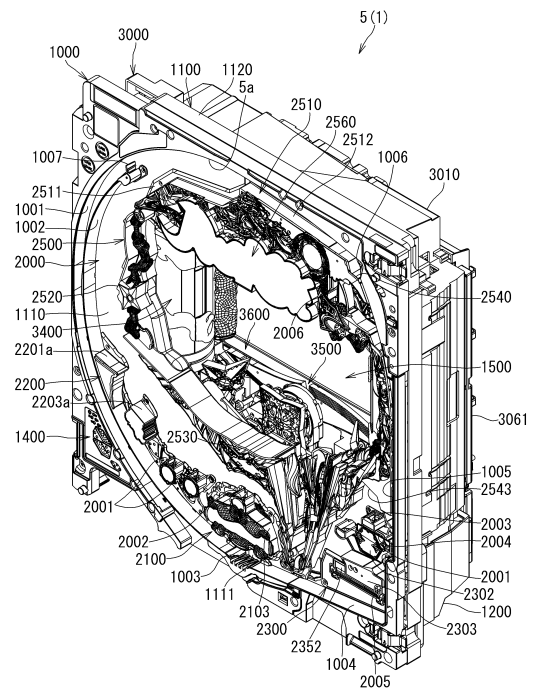
【図 8 2】



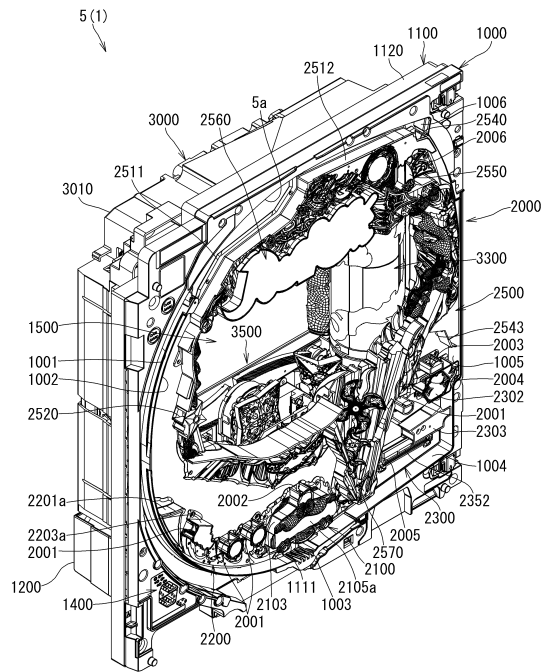
【図 8 3】



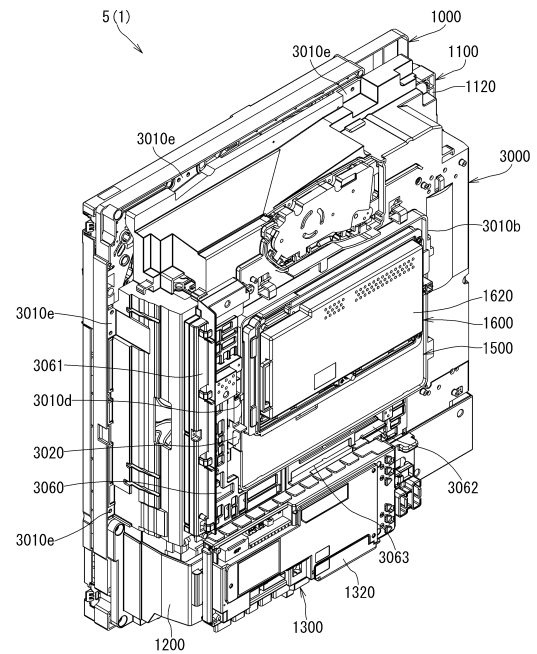
【図 8 4】



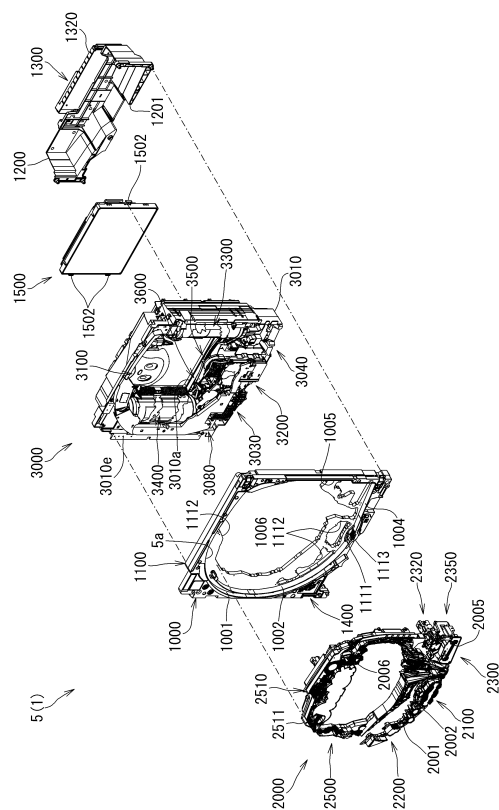
【図 8 5】



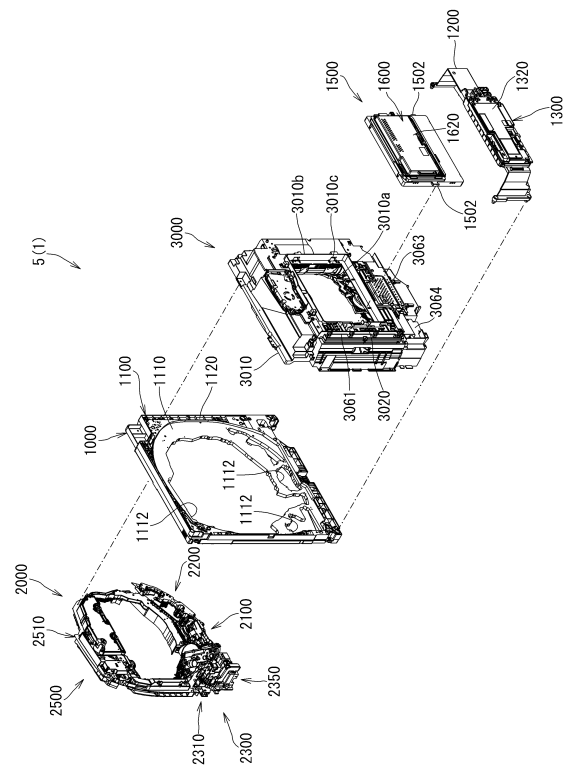
【図 8 6】



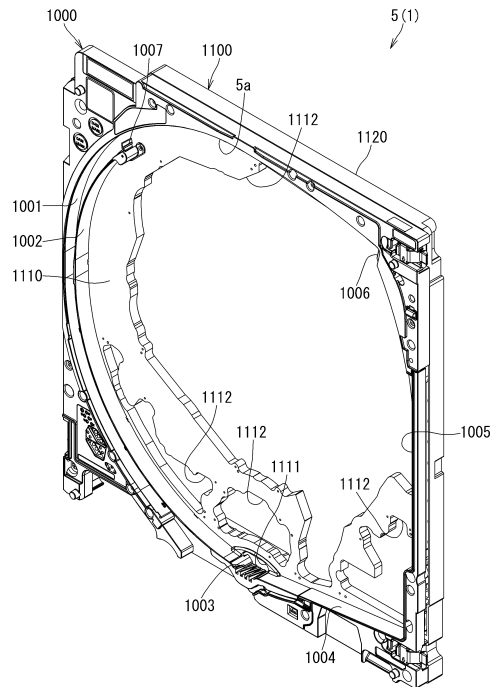
【図 8 7】



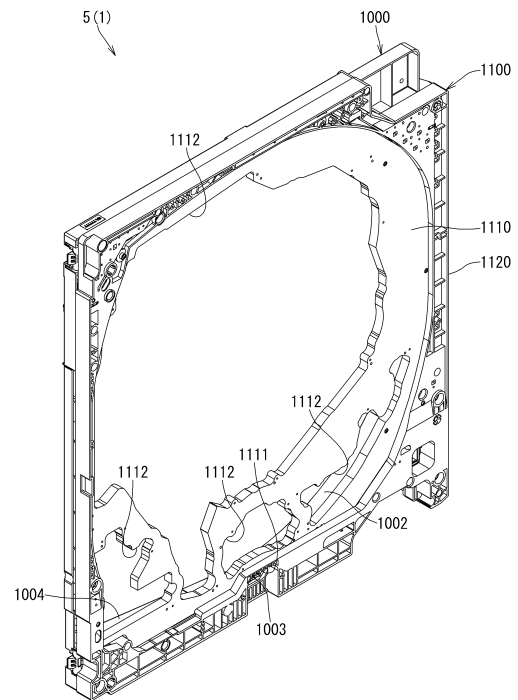
【図 8 8】



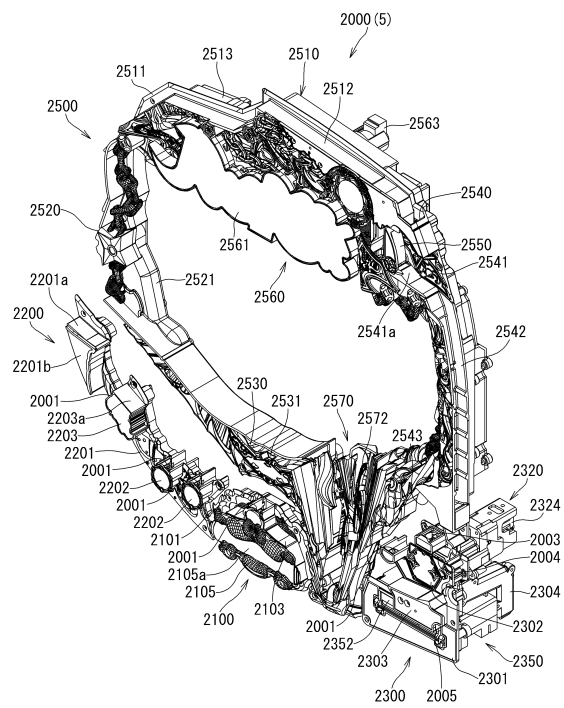
【图 8 9】



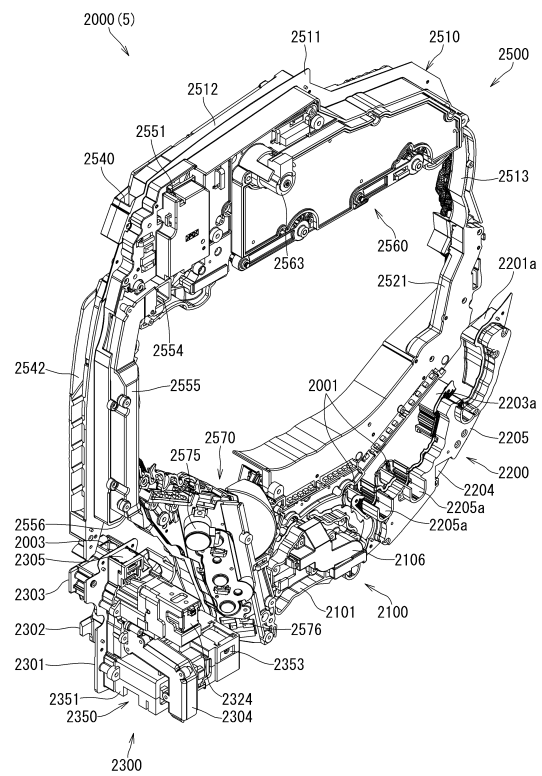
【図 9 0】



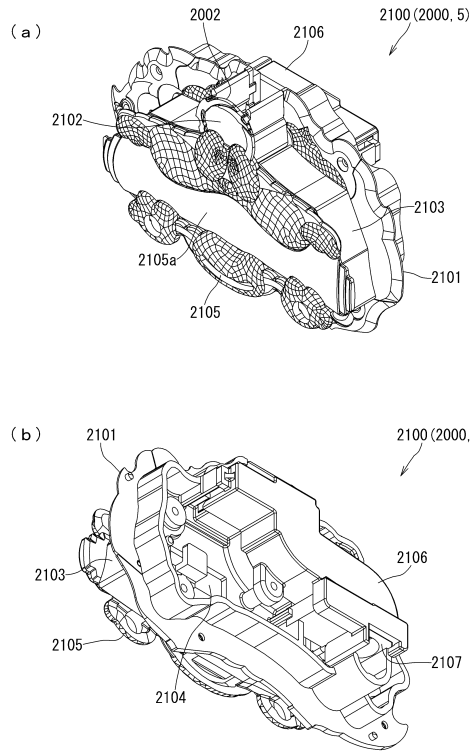
【図 9 1】



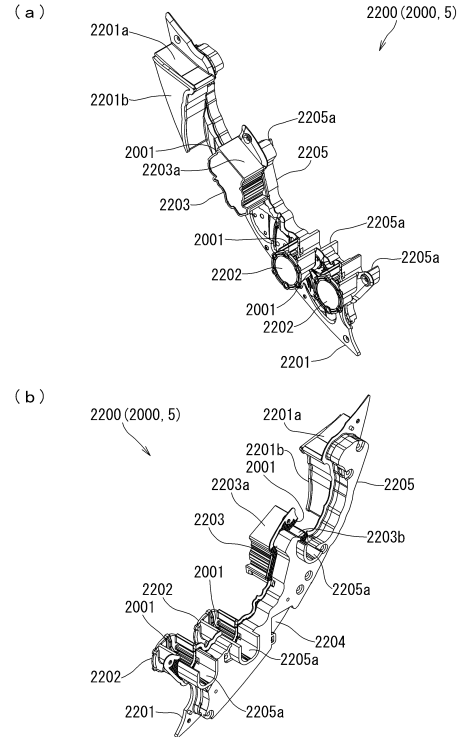
【图 9 2】



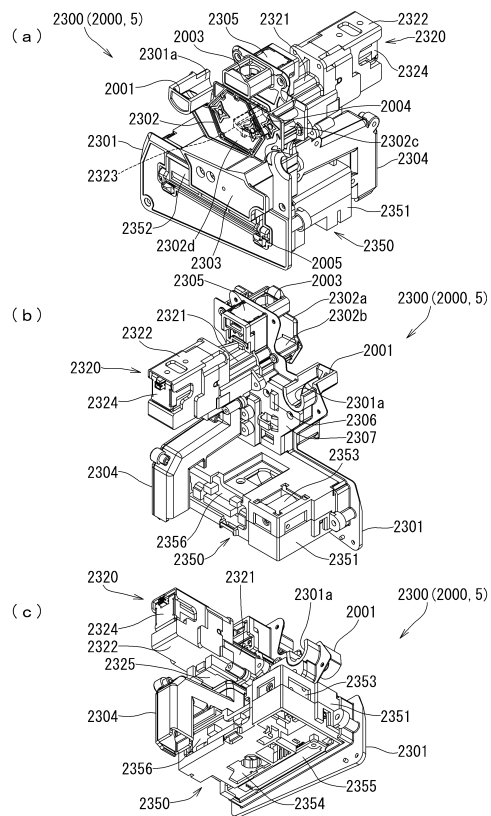
【図 9 3】



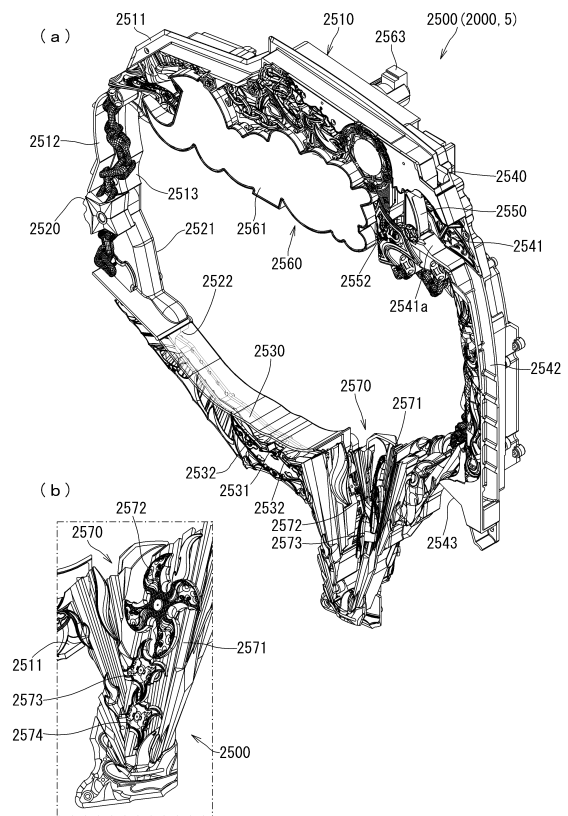
【図 9 4】



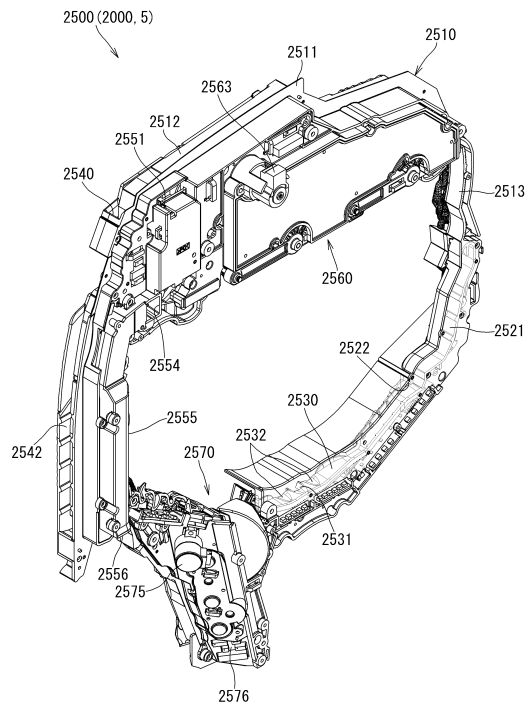
【図 9 5】



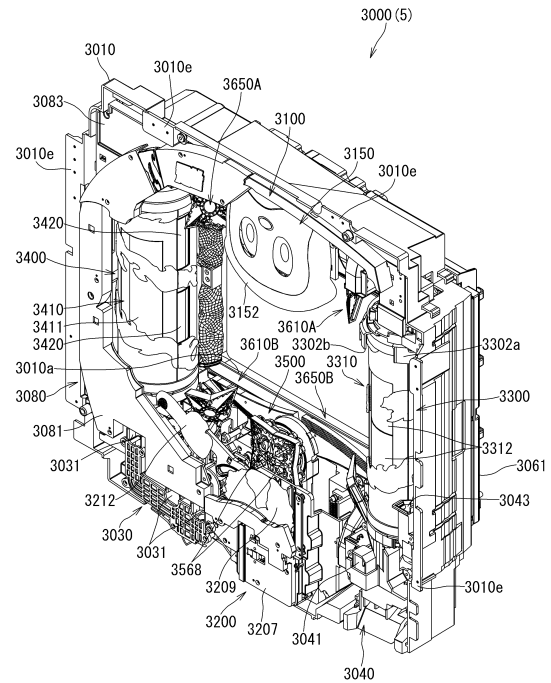
【図 9 6】



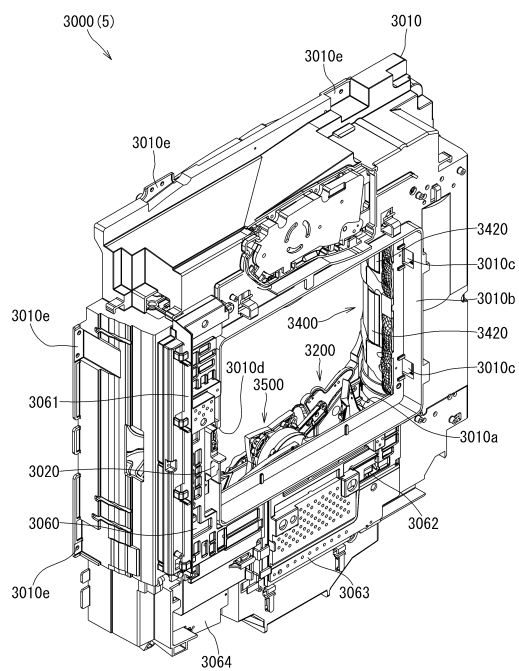
【図 9 7】



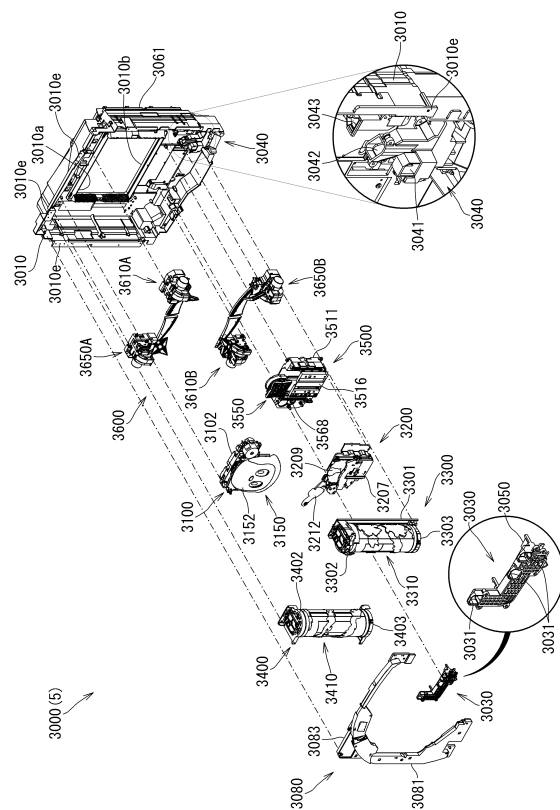
【図 9 8】



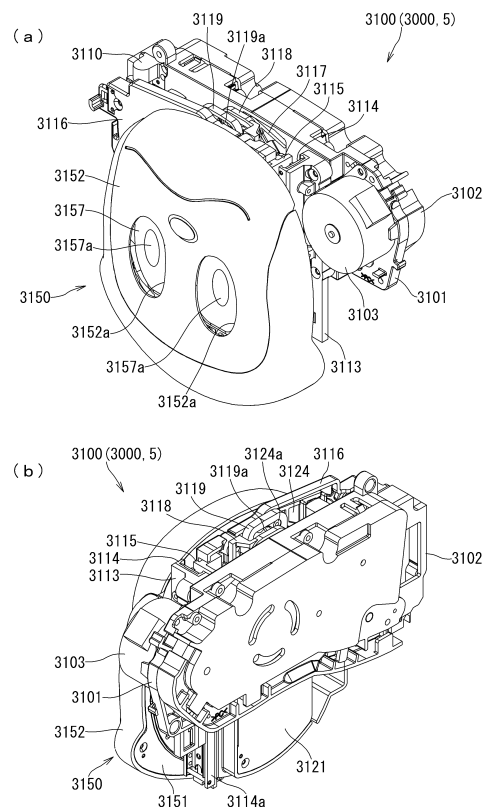
【図 9 9】



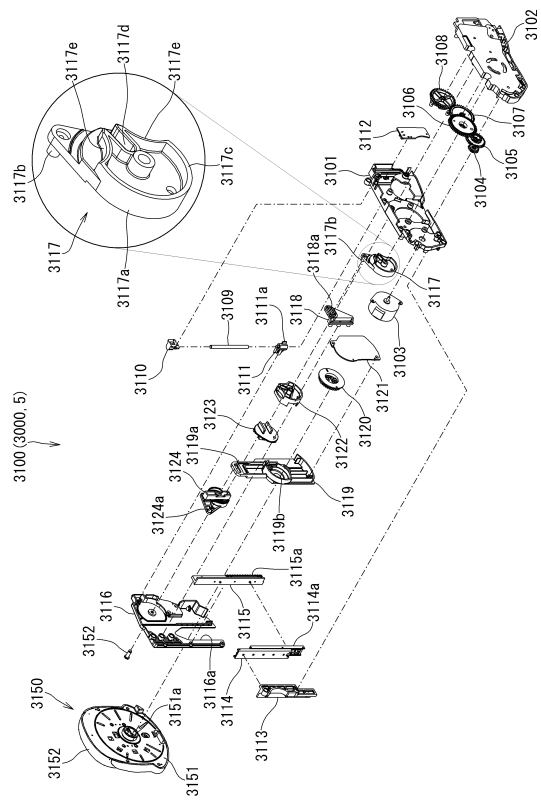
【☒ 1 0 0】



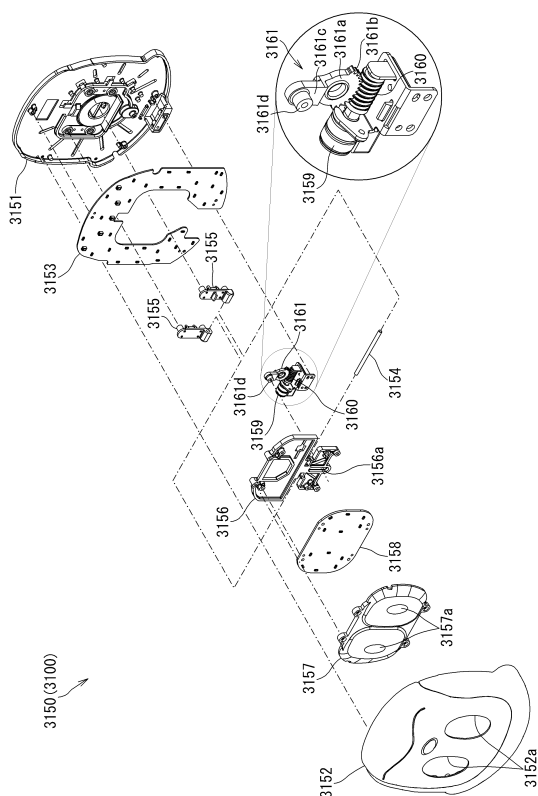
【図 102】



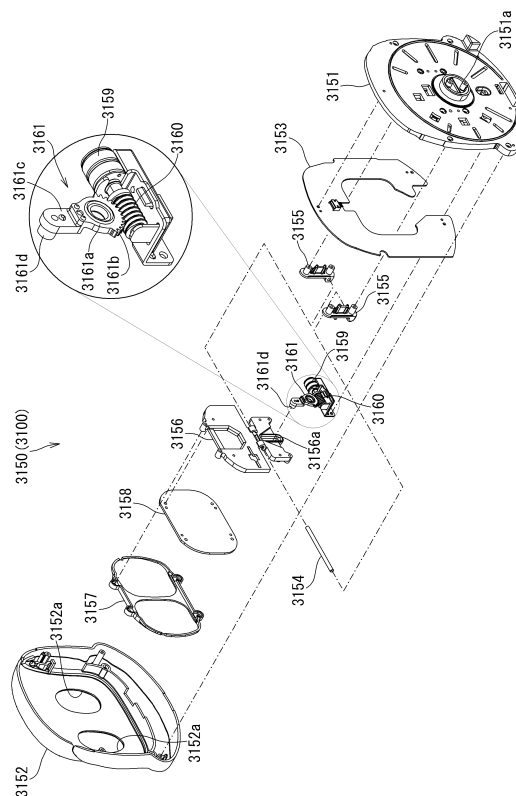
【図 1 0 4】



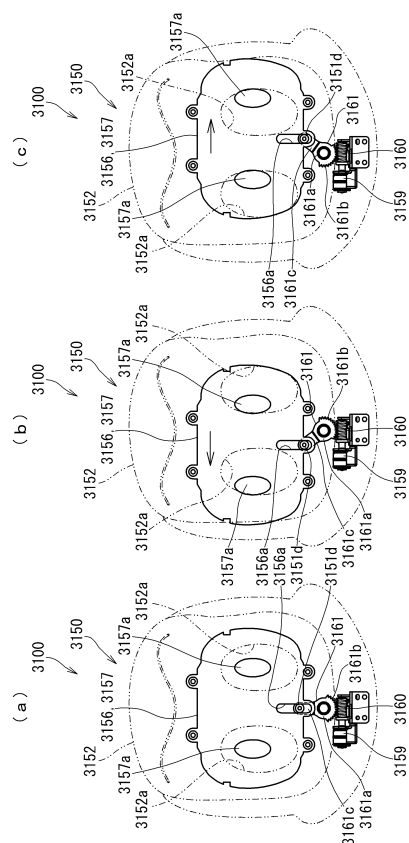
【図 105】



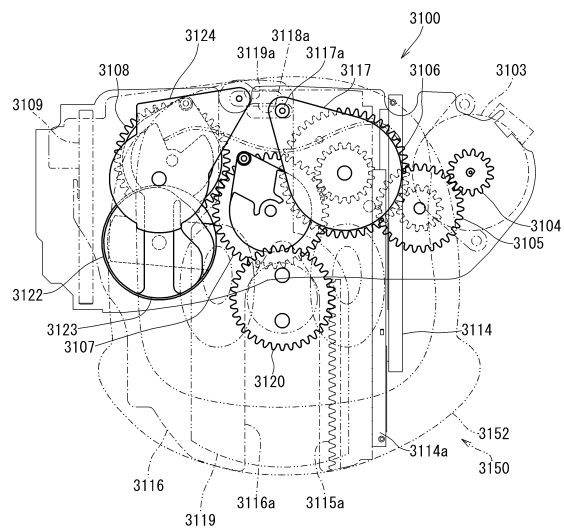
【図 106】



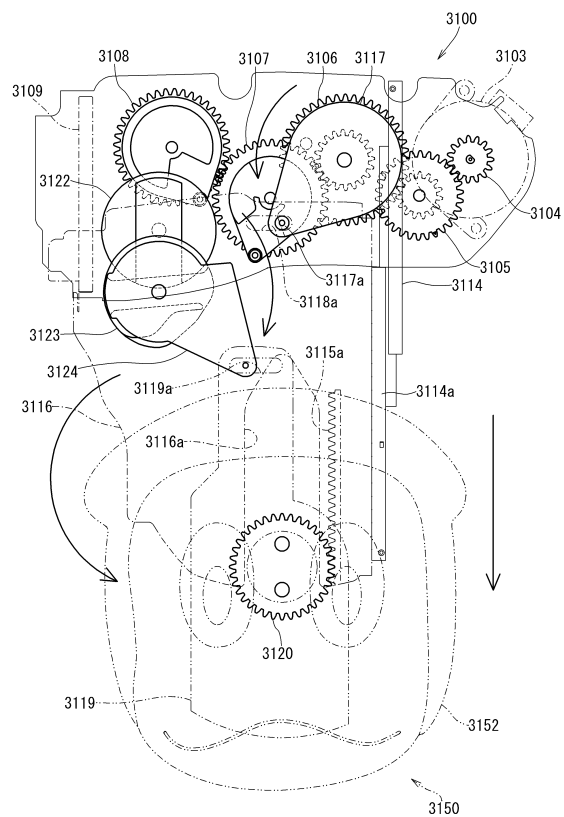
【図 107】



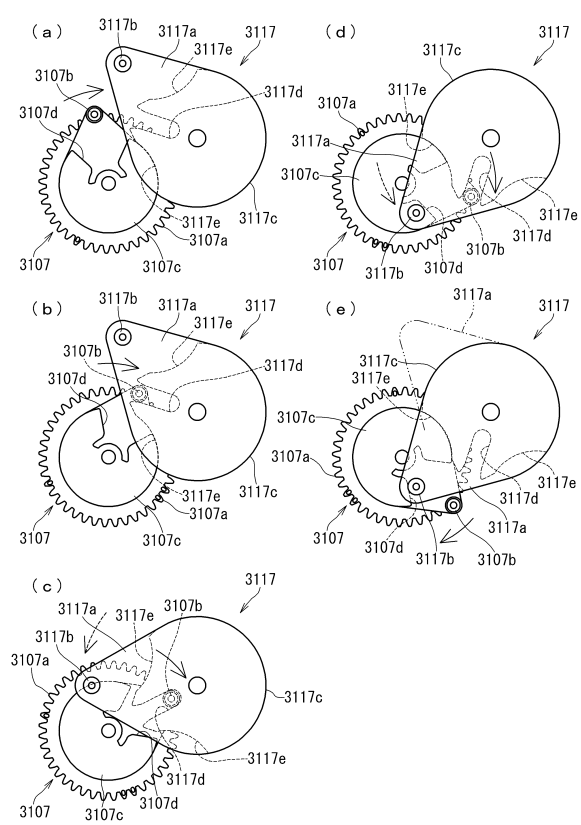
【図 108】



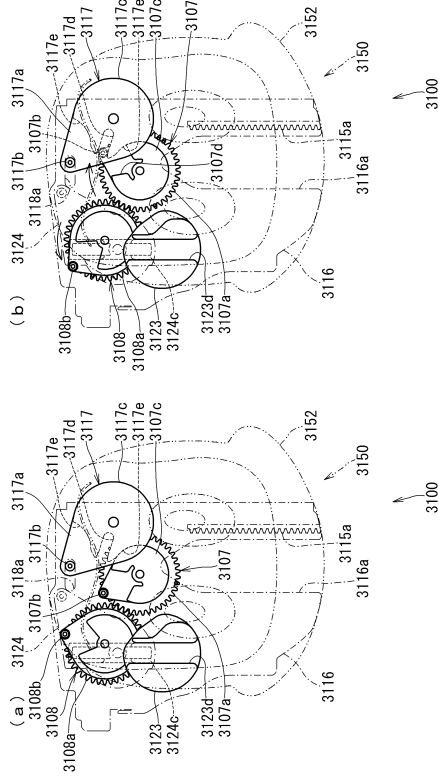
【 ☒ 1 1 0 】



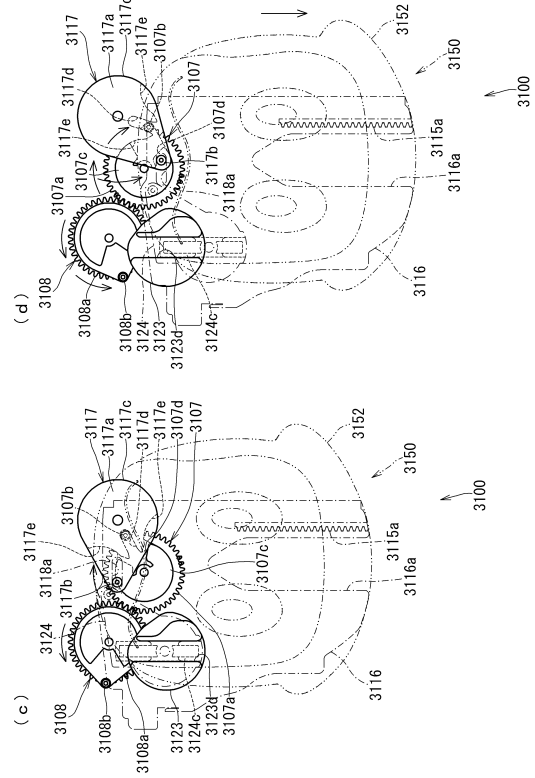
【図 1 1 2】



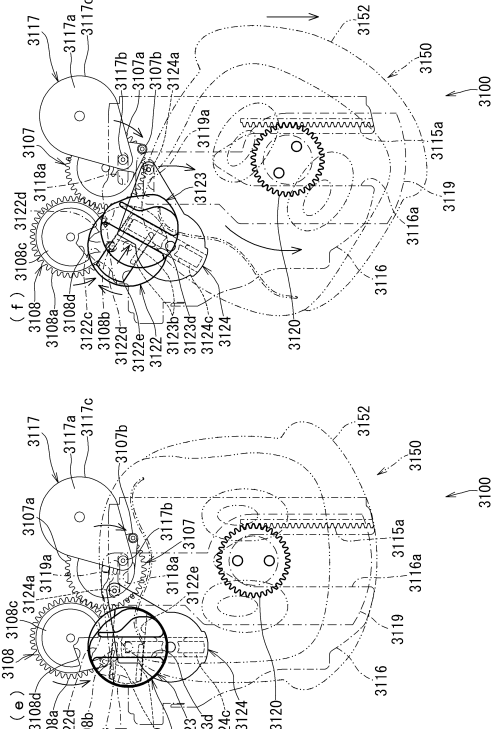
【図 113】



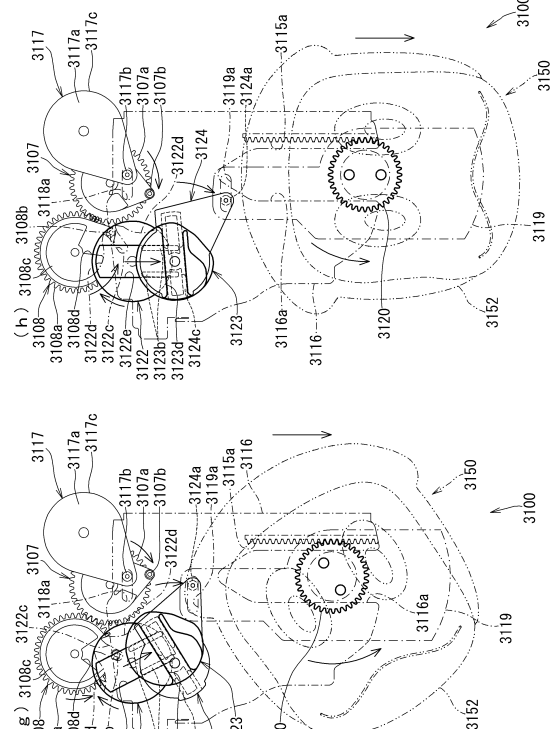
【図 114】



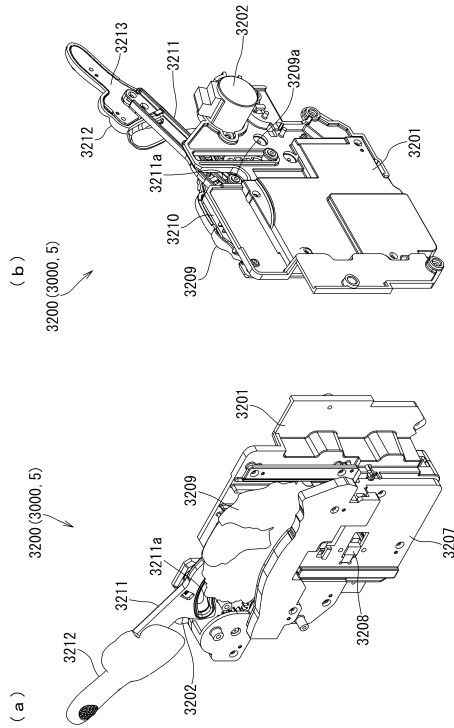
【図 115】



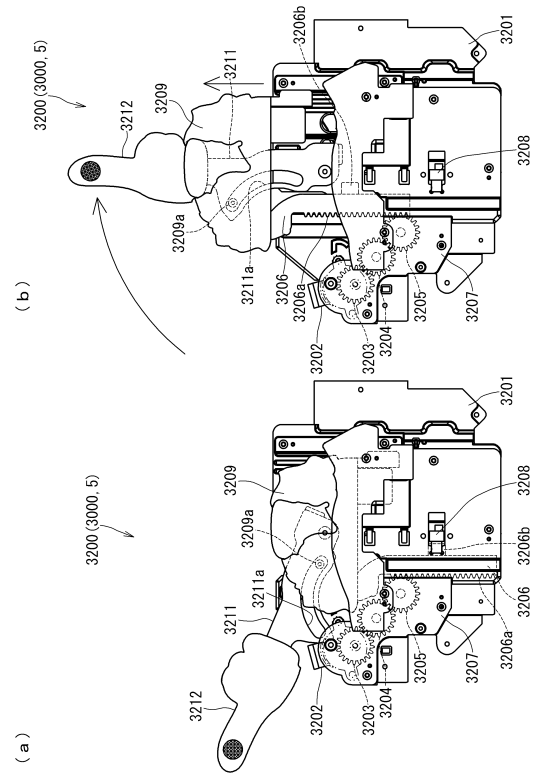
【図 116】



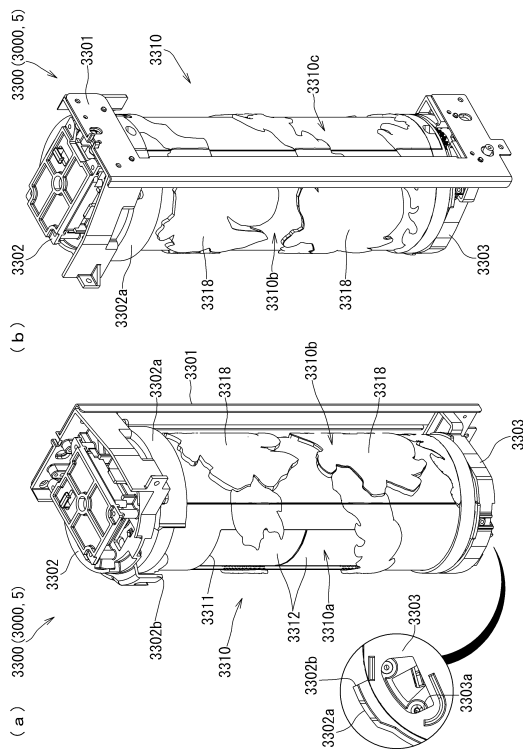
【图 1 1 7】



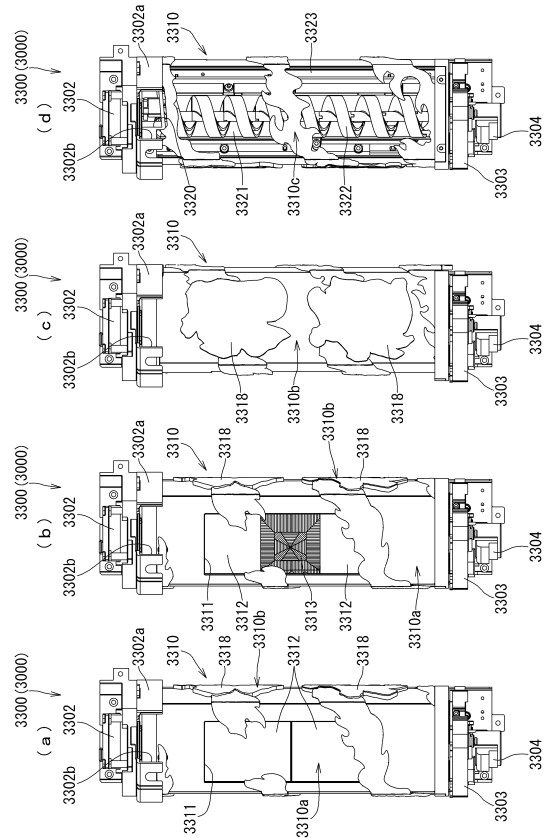
【図 1 1 8】



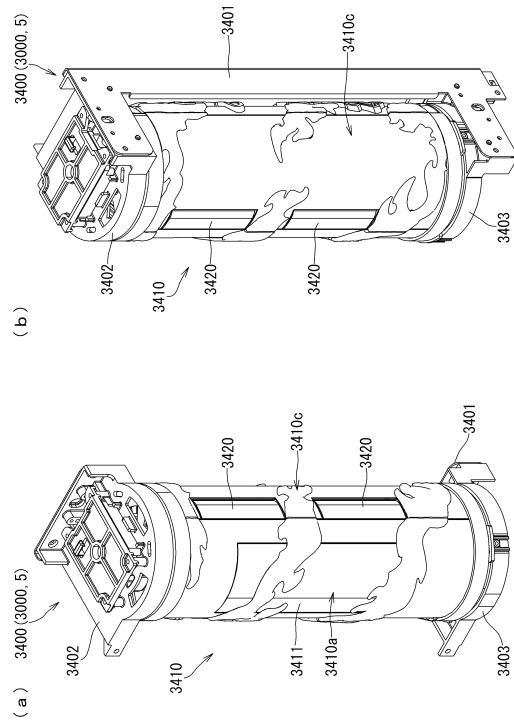
【图 1 1 9】



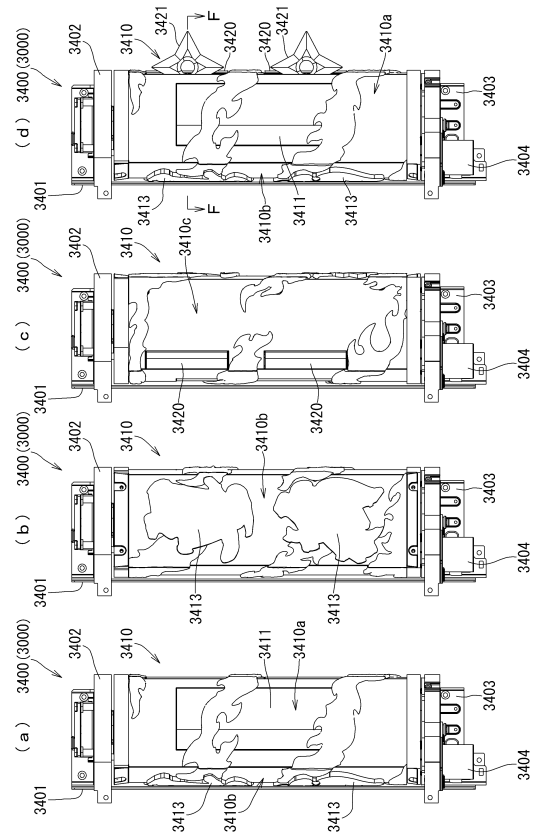
【図 1 2 0】



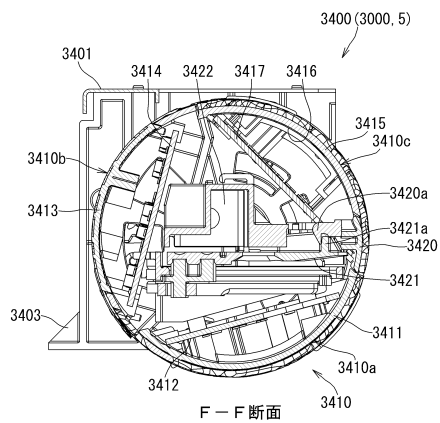
【 図 1 2 1 】



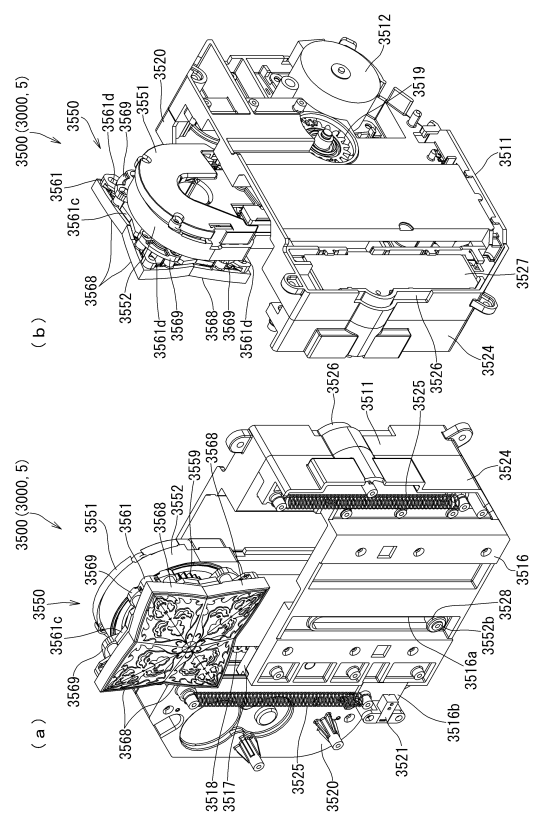
【図 1 2 2】



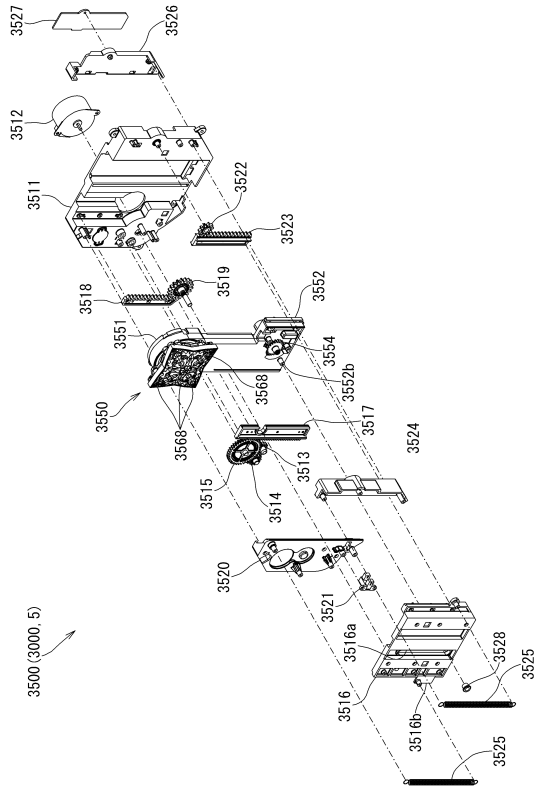
【図 1 2 3】



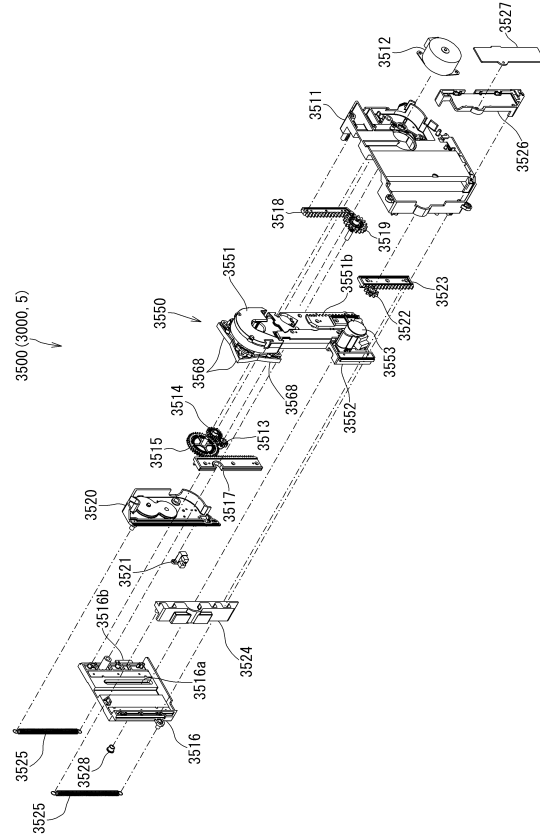
【図 1 2 4】



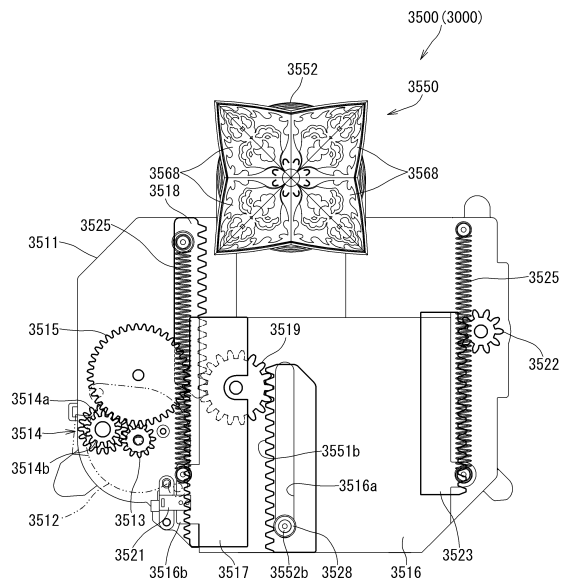
【図 125】



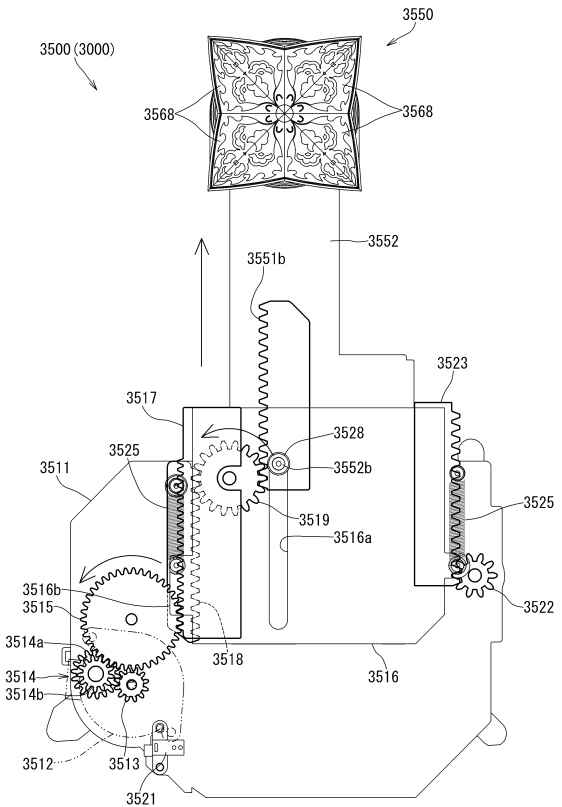
【図 126】



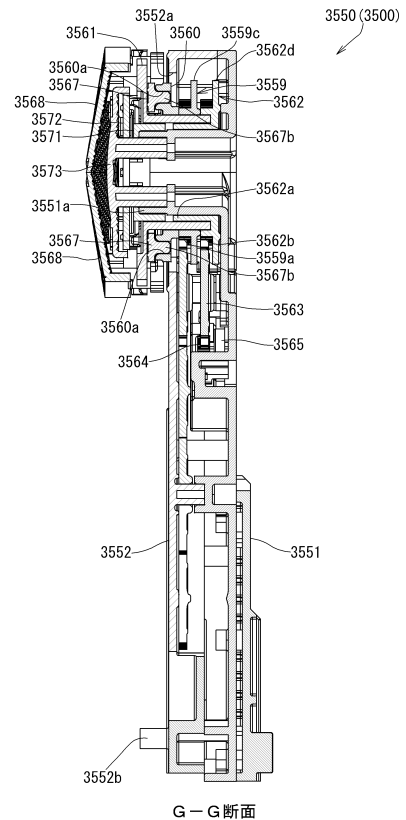
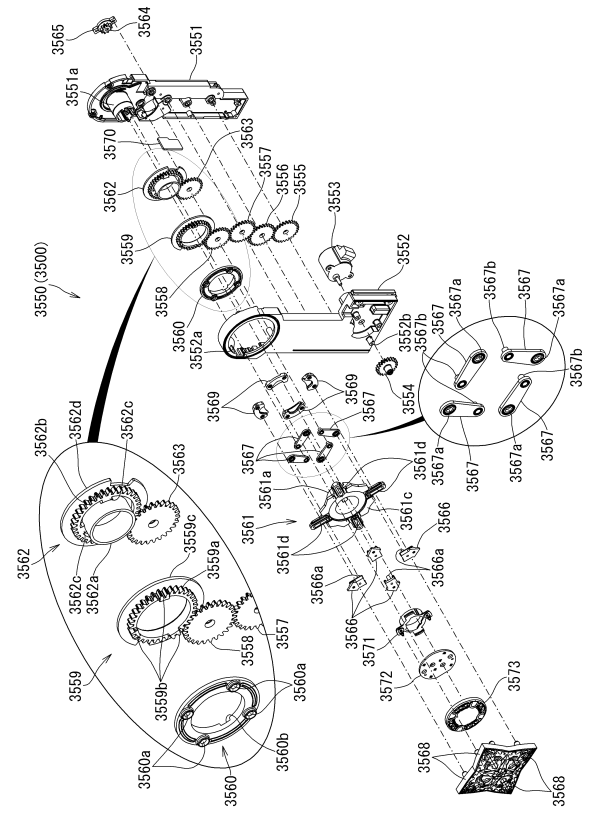
【図 127】



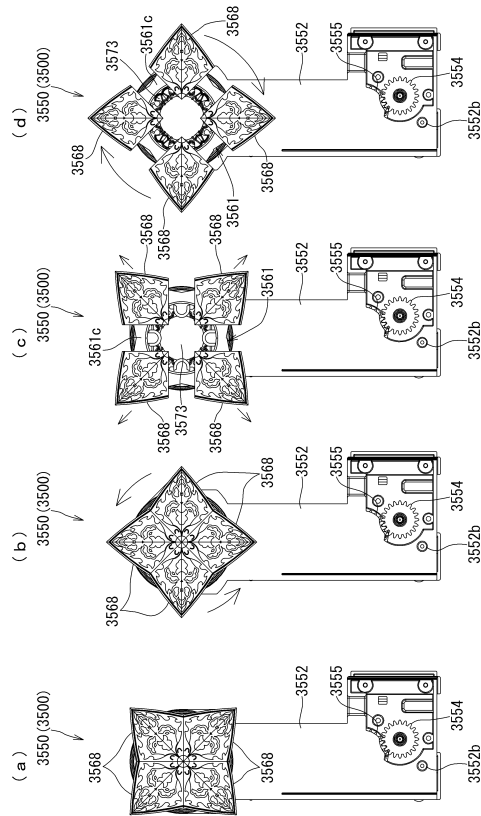
【図 128】



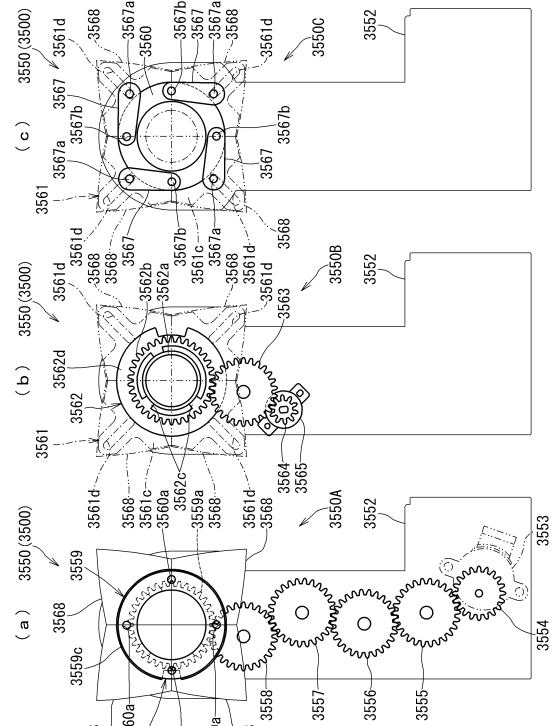
【図 1 3 2】



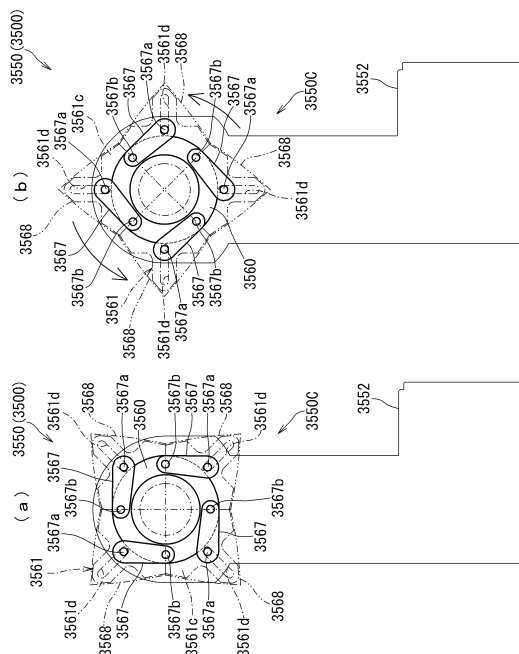
【図 133】



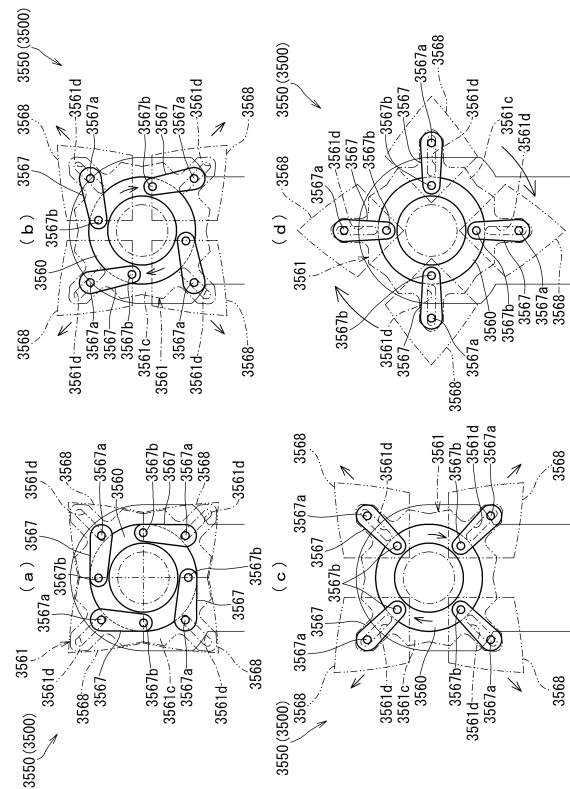
【図 134】



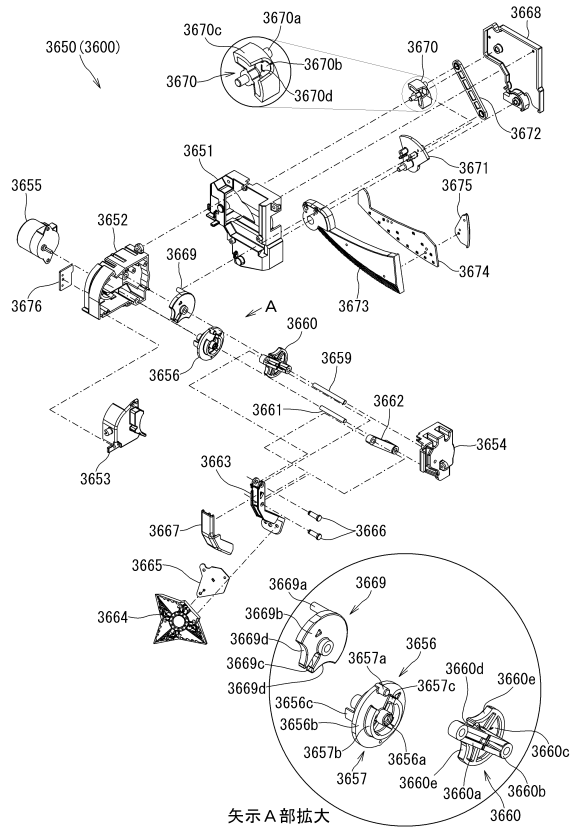
【図 135】



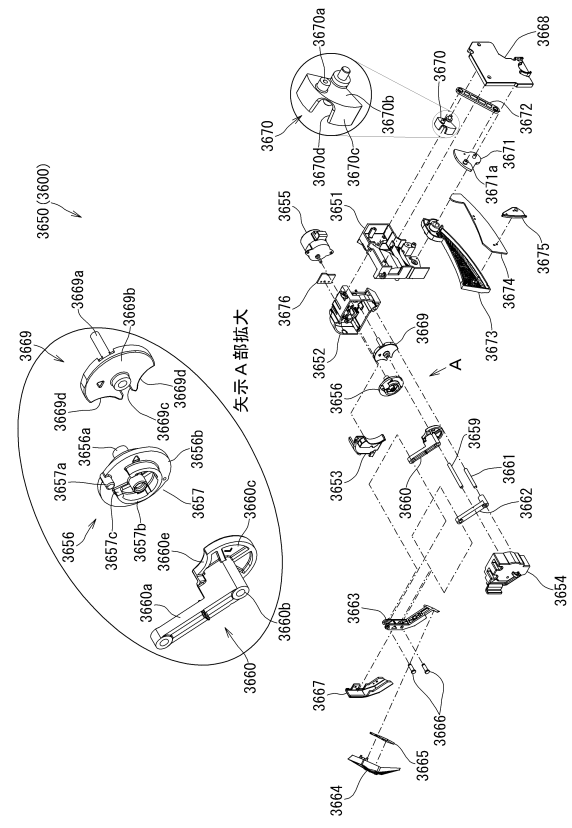
【図 136】



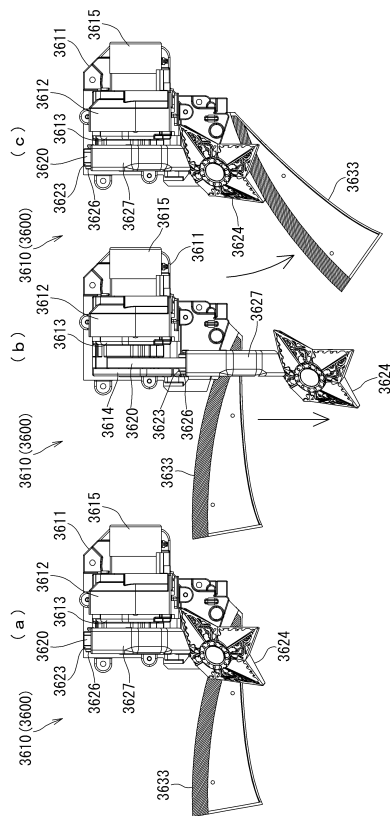
【図 1 4 1】



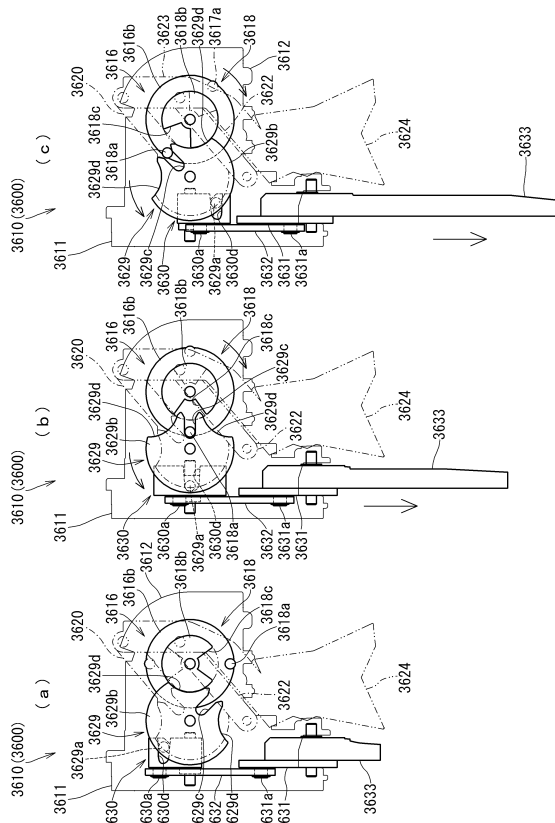
【図 1 4 2】



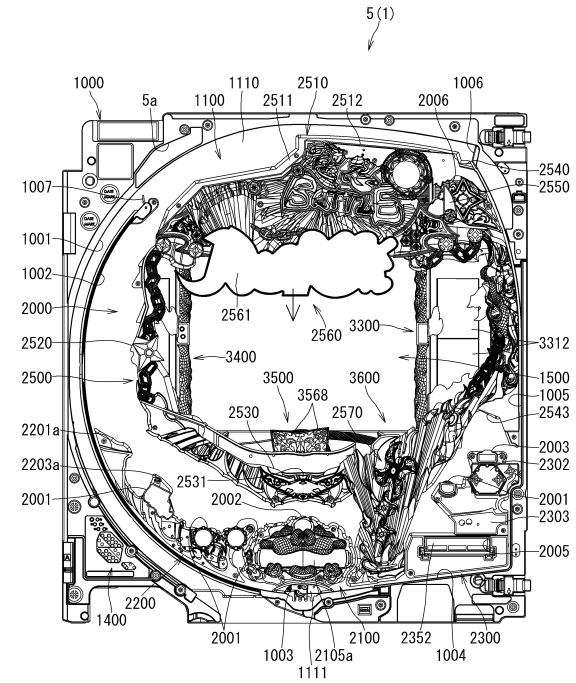
【図 1 4 3】



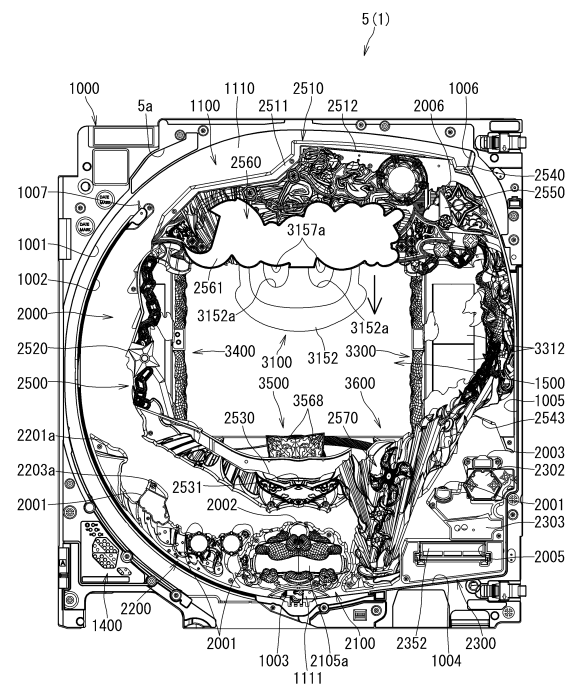
【図 145】



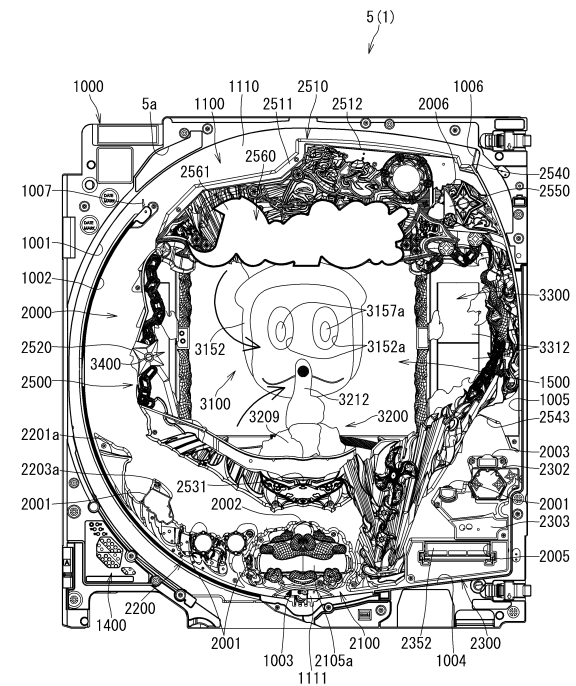
【図 146】



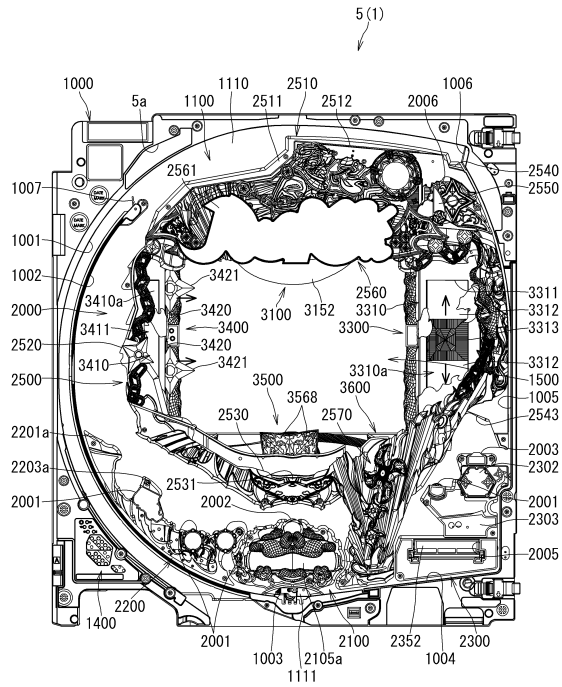
【図 147】



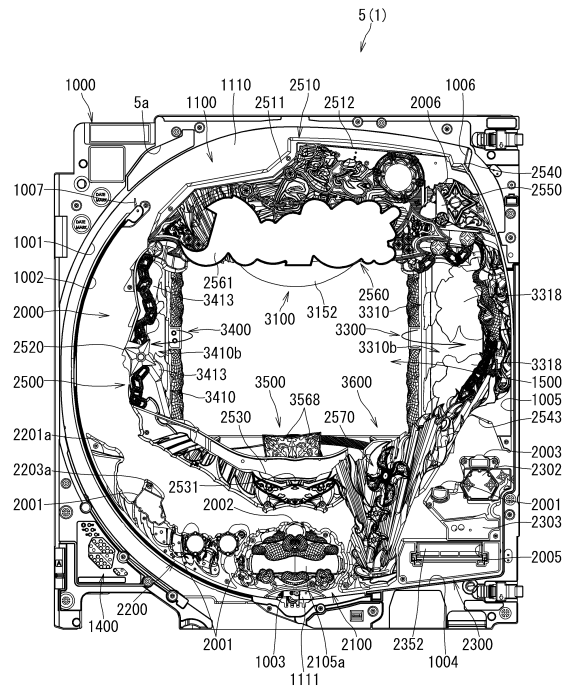
【図 148】



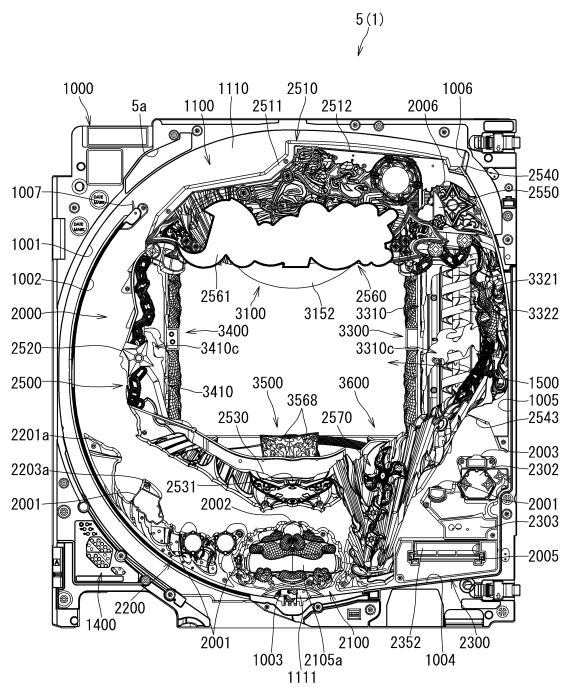
【図 149】



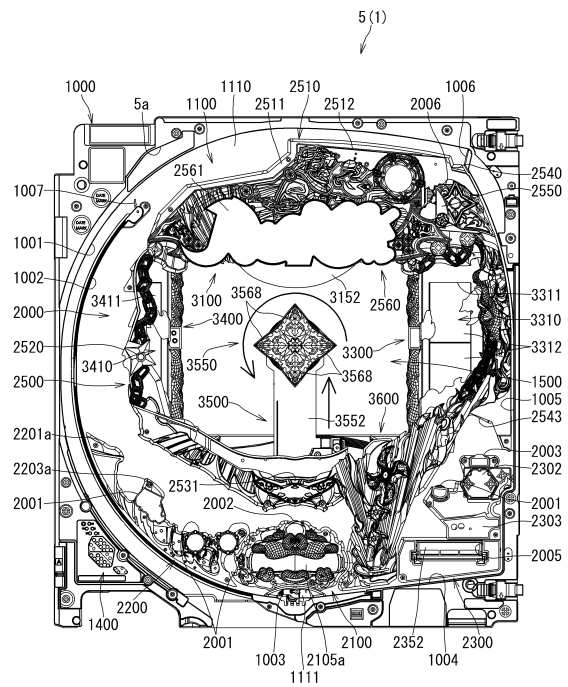
【図 150】



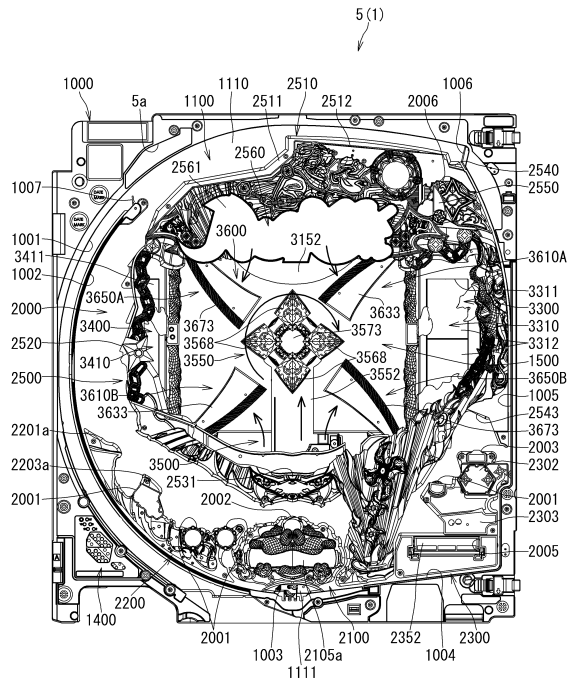
【図 151】



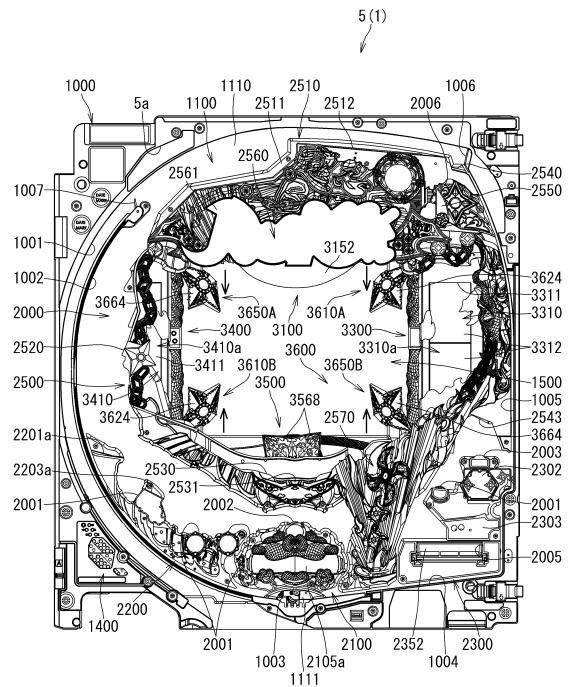
【図 152】



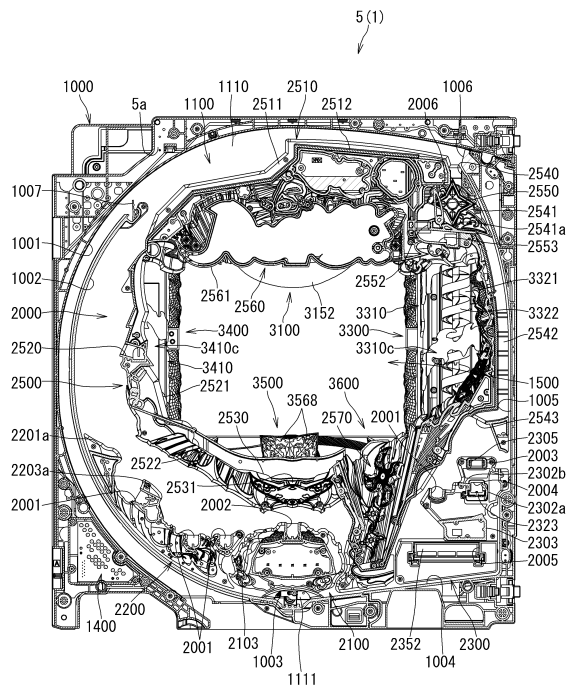
【図 153】



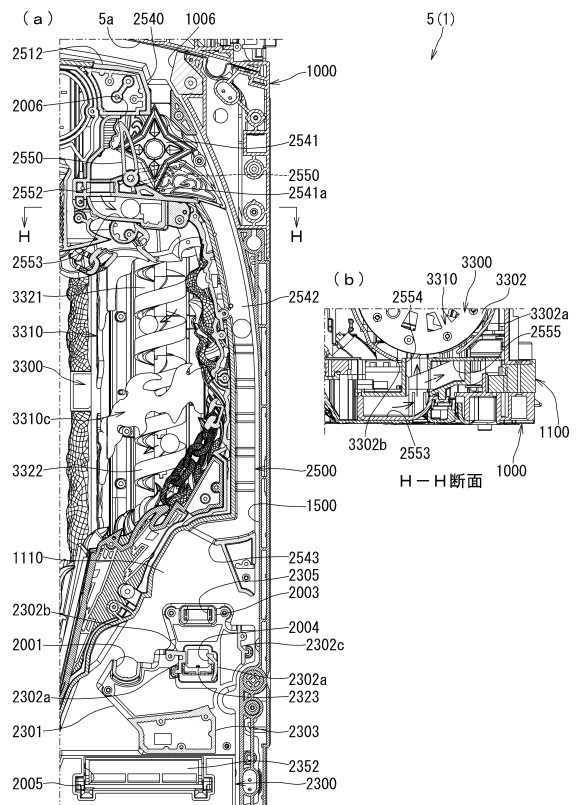
【図 154】



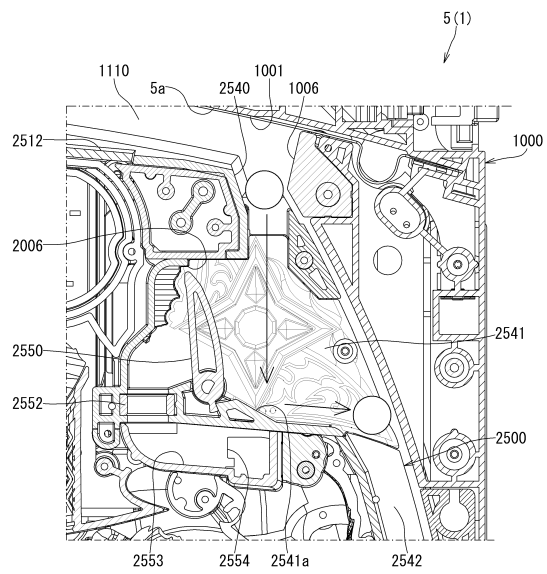
【図 155】



【図 156】



【図 157】



フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2011-103978 (JP, A)
特開2011-000163 (JP, A)
特開2011-056055 (JP, A)
特開2012-010899 (JP, A)
特開2013-022077 (JP, A)
特開2013-116229 (JP, A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., DB名)
A63F 7/02